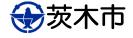
# 第5次茨木市総合計画

# 第4期実施計画

平成 30 年度 ~ 平成 34 年度 (2018年) (2022年)

平成 30 年5月





## 目 次

第	1	実施計画の概要	
	1	実施計画の位置づけ	1
	2	掲載対象事業	2
:	3	計画期間と計画の運用	2
4	4	前期基本計画の重点プラン及び施策体系	3
第	2	第4期実施計画	
	1	総括表	5
	2	重点プランの推進に向けて	6
:	3	実施計画の見方	9
4	4	第4期実施計画	10
		(1) ともに支え合い、健やかに暮らせるまち	10
		(2) 次代の社会を担う子どもたちを育むまち	34
		(3) みんなの"楽しい"が見つかる文化のまち	59
		(4) 市民・地域とともに備え、命と暮らしを守る安全安心のまち …	80
		(5) 都市活力がみなぎる便利で快適なまち	99
		(6) 心がけから行動へ みんなで創る環境にやさしいまち	146
		(7) まちづくりを進めるための基盤	165

#### 第1 実施計画の概要

#### 1 実施計画の位置づけ

第5次茨木市総合計画は、次の3層で構成されています。

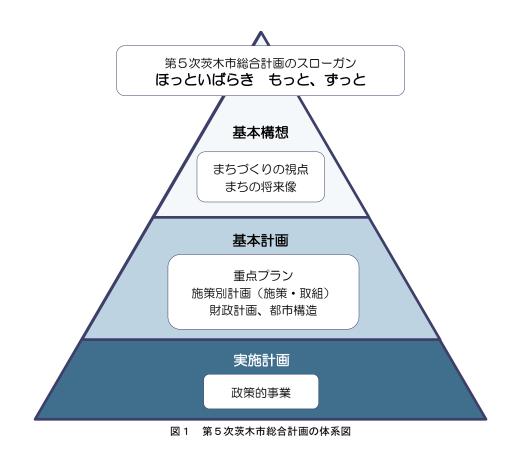
◎基本構想:まちの将来像とそのめざすべき方向性を示す。

◎基本計画:基本構想に掲げるまちの将来像の実現を図る施策と取組の内容(施

策別計画)、重点プラン、都市構造、財政計画を示す。

◎実施計画:基本計画で定めた取組を市で推進する具体的な事業内容を示す。

実施計画は、基本計画に掲載されている施策等を効果的に進めていくために、 今後市として取り組むべき具体的な事業の計画を、施策の進捗状況や社会情勢、 財政状況を踏まえて作成したものです。行政内部の予算編成や事業執行の指針 となるとともに、市の取り組む事業について市民に分かりやすく伝えることに より、行政の説明責任を果たすものです。



#### 2 掲載対象事業

実施計画には、基本計画を推進するための政策的な事業を掲載しており、 市が行うすべての行政活動を網羅しているものではありません。

新規・拡充等を予定している事業 (ビルド) のほか、厳しい財政環境の中、限られた行政資源の配分における選択と集中の実践のため、縮小・廃止等を予定している事業 (スクラップ) も掲載しています。

また、計画期間中に拡充等の予定がなく、現在の事業内容を継続する場合であっても、基本計画の施策を構成する主要な事業である場合は、実施計画掲載の対象としているほか、複数の取組に位置付けられる事業については、再掲事業として複数の取組に掲載しています。

#### 3 計画期間と計画の運用

実施計画の計画期間は5年間とします。また、第5次茨木市総合計画の進行 管理手法である施策評価の結果等を踏まえ、図2のとおり、ローリング方式\*\* で、毎年度、計画内容の見直しを行い公表します。

※ ローリング方式: 社会情勢や財政状況の変化への対応、進捗状況の確認を行い、事業の立 案、見直しや計画の修正を転がすように定期的に行っていく手法のこと。

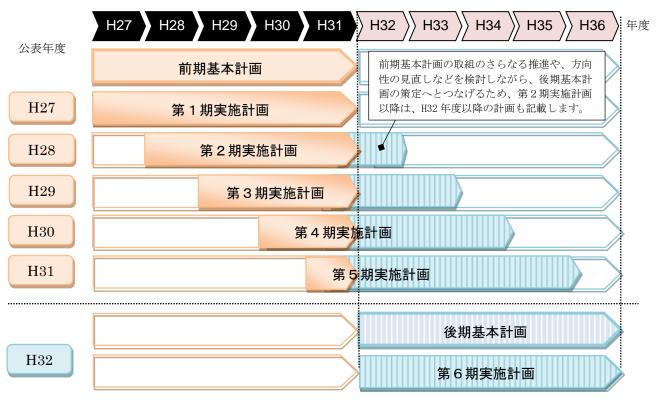


図2 実施計画ローリングのイメージ

#### 4 前期基本計画の重点プラン及び施策体系

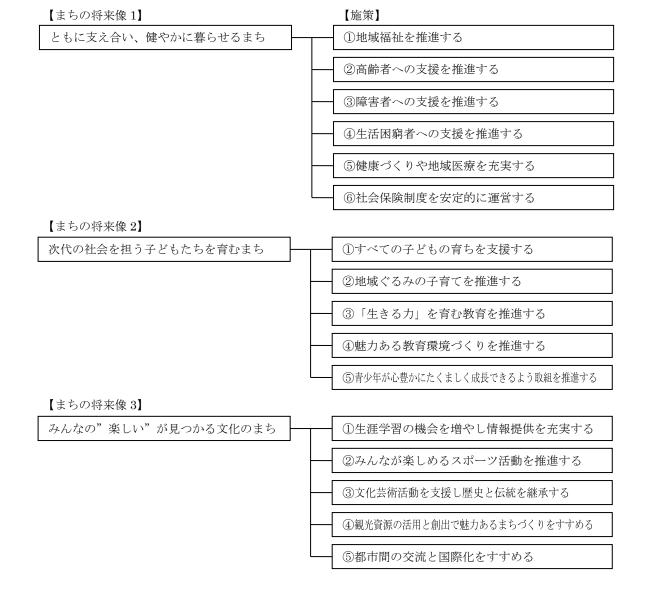
第5次茨木市総合計画基本構想を実現するための、前期基本計画における重 点プラン及び施策体系は以下のとおりです。

#### ■重点プラン

重点プラン3 安全・安心に暮らせるまちをつくる

重点プラン1 若い世代に選ばれ、高齢者がいきいきと活動できるまちをつくる 重点プラン2 魅力と活力のあふれるまちをつくる

#### ■施策体系



## 【まちの将来像 4】 【施策】 ①災害への備えを充実させる 市民・地域とともに備え、命と暮らしを守 る安全安心のまち ②消防・救急体制の充実強化を図る ③防犯や多様な危機への対策強化を図る ④消費者教育を推進し、自立した消費者の育成に努める 【まちの将来像 5】 都市活力がみなぎる便利で快適なまち ①地域経済を支える産業をまもりそだてる ②時代の変化を見通した新しい産業をつくり、そだてる ③就労支援と働きやすい職場づくりをすすめる ④地域特性を活かした都市づくりを計画的にすすめる ⑤良好で住みよい環境・景観づくりをすすめる ⑥時代と市民の期待・要請に応え活力みなぎる都市づくりをすすめる ⑦環境負荷の低減や少子・高齢化社会を見据え持続可能な都市づくりをすすめる ⑧暮らしと産業を支える交通を充実させる ⑨市民・民間によるまちづくりを促進する 【まちの将来像 6】 心がけから行動へ みんなで創る環境にや ①いごこちの良い生活環境をたもつ さしいまち ②バランスのとれた自然環境をつくる ③ライフスタイルの見直しで低炭素なまちをめざす ④きちんと分別で資源の循環をすすめる 【まちづくりを支える基盤】 まちづくりを進めるための基盤 ①まちの魅力を市内外に発信する ②社会の変化に対応する効率的・効果的な自治体運営を推進する ③地域社会の発展に貢献できる職員を育成する ④人権尊重のまちづくりを推進するとともに平和の実現をめざす ⑤市民とともに男女共同参画社会の実現をめざす ⑥地域コミュニティを育み、地域自治を支援する

⑦多様な主体による協働のまちづくりを推進する

### 第2 第4期実施計画

#### 1 総括表

第4期実施計画における、平成30年度の事業費及び前年度に対する事業の方向性の集計は次のとおりです。

		平成30年度事	業費(※1)		F度主な新規 派る事業経費				Σ.	P成30年月	的古齿形	生/ 古業粉	0		
将来像等	事業数 (再掲含む)		うち市負担分		うち市	負担分				- 19430 <del>- 1</del> 75	₹ <>> / J   FQ   I.	I(#74.8%			
		(百万円)	(※2) (音万円)	(百万円)		うち一般財 源 (百万円)	新規	継続	拡充	臨時 拡充	縮小	廃止	完了	新規 完了	その他
将来像1	74	17,881	7,010	416	134	109	1	48	18	4	2	0	1	0	0
将来像2	78	16,035	8,331	1,910	719	444	0	62	12	1	2	0	1	0	0
将来像3	65	1,014	927	197	196	78	0	44	9	9	1	0	2	0	0
将来像4	59	4,808	1,393	2,081	789	219	2	42	7	4	1	0	2	1	0
将来像5	153	2,663	2,062	2,105	1,120	290	5	125	11	6	0	0	6	0	0
将来像6	61	4,309	3,614	1,178	68	68	1	42	5	8	3	0	0	0	2
まちづくりを 支える基盤	84	2,546	2,259	852	716	716	0	63	13	4	2	0	2	0	0
計	574	49,255	25,595	8,739	3,742	1,924	9	426	75	36	11	0	14	1	2

- ※1 事業費に再掲事業は含みません
- ※2 市負担分:事業費のうち、国・府支出金や使用料・手数料等を除く市の財政負担額
- ※3 原則として、ハード事業は新規・拡充として計上しています
- ※4 その他: 平成31年度以降に新規実施予定等の理由により、方向性欄が「-」で表示されている事業

## 2 重点プランの推進に向けて

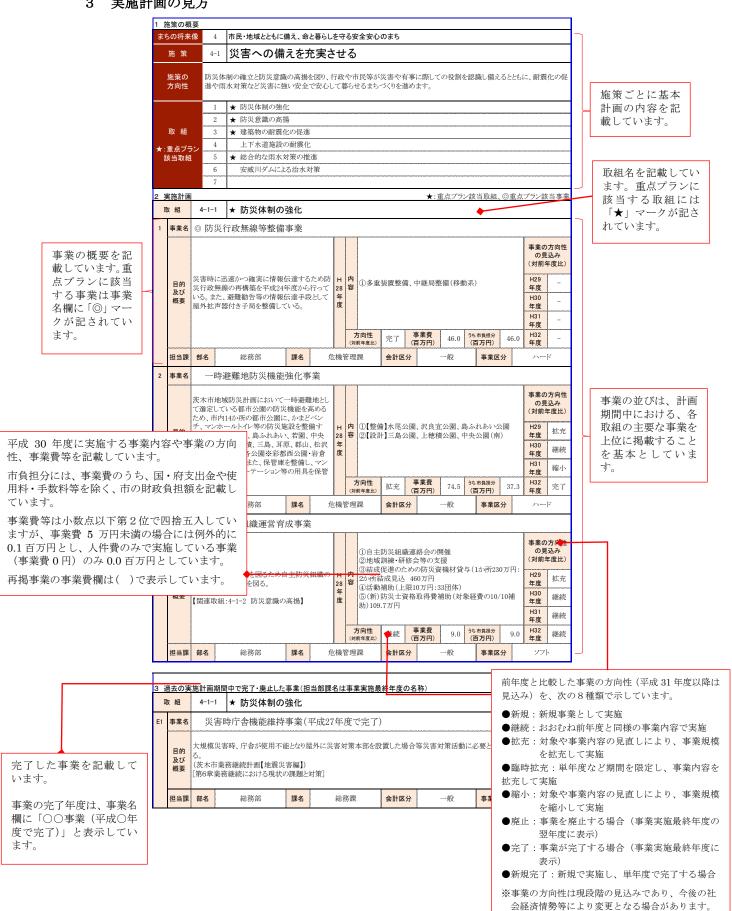
前期基本計画の重点プランの推進に向けて、第4期実施計画では次の事業を 計画しています。

重点プラン	①若い世代	に選ばれ、	高齢者が	ぶいきいきと	活動できるまちをつ	くる
該当事業数	49 事業	該当事 H30 年度事	-14-4	11,835.4 百万円	該当事業の H30 年度市負担分総額	6, 166. 5 百万円
重点プ	ランを構成する	取組			該当事業名	
1-2-1	地域活動・社進	会参加の促	<ul><li>●生活支</li><li>●高齢者</li></ul>	関係団体育成 援体制整備事績 いきがい推進 の居場所づく	<b>業</b> 事業	
1-2-2	地域包括ケアの推進	システム等	<ul><li>●地域包</li><li>●在宅高</li><li>●一般介</li><li>●在宅医</li></ul>	防・生活支援・ 括支援センター 齢者支援事業 齢者支防事業 療・介護連携 総合支援事業	-運営事業 (一般会計) (介護保険事業特別会計)	
1-5-1	健康づくりの打	推進	<ul><li>●地域保</li><li>●特定健</li><li>●特定保</li></ul>	診事業 くり推進事業 健活動強化事業 健指導事業 アップいばらる ック等助成事	き推進事業	
1-5-2	母子保健サート	ごスの充実	●母子保			
1-5-4	救急医療体制の	の充実		次救急医療体制 療機関助成事業		
2-1-1	子どもの健や 等しく支援	かな育ちを	●大学奨	医療費助成事類 学金利子補給 修学に伴う支持	事業	
2-1-2	子育て支援サー供	ービスの提	●一時保	総合案内(利原 育・出前型一 短期支援事業	用者支援)事業 寺保育事業	
2-1-3	幼児教育と保 の充実	育の質と量	<ul><li>●地域型</li><li>●公立公保</li><li>●施設児</li><li>●施設別保</li><li>●幼稚園</li></ul>	育所の機能とれ 稚園の認定こる 童保育室設置 及び地域型給付 育拡充事業 等一時預かり	受割充実事業 ども園化事業(ハード) ・運営事業 付対象施設認定・給付事系 (預かり保育)事業	务事業
2-2-1	交流の場の充実	<b></b>		育て支援拠点 稚園子育て支 <u>持</u>		
2-2-3	地域の人材を 育て支援	活用した子		· · ·	ト・センター事業	
2-3-1	「確かな学力」	の充実			<u>———</u> 推進事業	
2-3-2	「豊かな心」の	の醸成		育・人権教育技 導事業(いじ&	推進事業 か・不登校問題行動等)	

			- W(11:7:	А <del>Т</del> ж. / :	. \										
2-3-3	「健やかな体」	の育成	●学校給 ●体力向	食事業(ソフ 上事業	F)										
5-3-1	就労の支援		●就職サ	ポート事業											
5-3-2	働きやすい職業 推進	場づくりの		労働関係セミュ	ナー及び労働に関する啓発 り推進事業	事業									
重点プラン	②魅力と活	力のあふれ	るまちを	こつくる											
該当事業数	41 事業	該当事 H30 年度事		1,089.1 百万円	該当事業の H30 年度市負担分総額	956. 4 百万円									
重点プ	ランを構成する	取組			該当事業名										
		2-	1 まちな	か空間の活性	化										
5-1-3	商業の活性化			興アクションご 舗改築(改装)	プラン推進事業 補助事業										
5-6-1	生活を支える 備・充実(拠。 ネットワーク( 進)	点の配置と	●茨木市	正化計画策定 中心市街地活 茨木・グラン											
5-6-2	魅力ある中心で周辺の整備	市街地・駅	<ul><li>●市民会</li><li>●次なる</li><li>●茨木市</li><li>●阪急茨</li><li>●JR茨</li></ul>	館跡地エリア? 茨木・グラン 中心市街地活 中市駅西ロ駅 木駅西ロ駅前/	前周辺整備事業 周辺整備事業										
5-7-2	誰にも優しい の推進	まちづくり	●バリアフリー化推進事業 (ハード)												
5-8-1	公共交通の維持	寺・充実	●公共交通対策事業 (ハード) ●公共交通対策事業 (ソフト) ●茨木市総合交通戦略事業												
		2-	- 2 北部	地域の活性化											
5-1-1	農林業の振興		●新規農	業者養成事業											
5-1-2	都市と農村の記による活性化	交流活動等		興推進事業(原 学校跡地活用	農空間活用事業) 事業										
5-6-4	北部地域の魅力	力向上		カアップ事業 辺整備事業											
6-2-2	自然資源の利用	 用の推進	●市民参	加型森林保全	事業										
		2-3	文化・観	光による魅力	<b></b> 向上										
3-3-2	文化芸術とふる る・つながる り														
3-3-3	未来へ向けた 担い手の育成	文化芸術の	●文化振 ●芸術を		づくり推進事業										
3-3-4	歴史遺産の保存	字・継承	●キリシ	タン遺物史料館	館展示充実事業										
3-4-1	観光資源の活 魅力あるまち すめる		●観光あ ●大阪ミ	るき事業 ュージアム関化	系事業										
3-4-3	官民協働で観り	光事業を推	推●観光推進事業												

		2-4	雇用機会の										
5-2-1	地域経済の成る事業者の創		<ul><li>●産学連</li><li>●バイオ</li></ul>		ップ支援事業 ション施設集積促進補助事 ション施設賃料補助事業	美							
5-2-2	幹線道路沿道 地誘導	での企業立	●幹線道	路沿道土地利用	用事業								
5-2-3	特区制度など 企業立地	を活用した		成長特区税制/ 地促進奨励金 <sup>፯</sup>		務事業							
5-4-2	彩都の都市づ	< b	●彩都建	設推進事業									
重点プラン	③安全・安	 心に暮らせ		こつくる									
該当事業数	34 事業	該当事 H30 年度事		2, 482. 0 百万円	該当事業の H30 年度市負担分総額	1,304.6 百万円							
重点プ	ランを構成する	取組	該当事業名										
1-1-2	地域における 制の充実	相談支援体	●民生委	ワーク推進事業 員・児童委員業 暮らし高齢者』									
2-4-2	学校・家庭・の推進	地域の連携	<ul><li>●放課後</li><li>●児童・</li></ul>	育運営事業 子ども教室推設 生徒の安全対策 児童健全育成務	<b>策事業</b>								
2-5-1	青少年健全育	成の推進	●青少年	健全育成事業									
4-1-1	防災体制の強	ľŁ	●自主防災組織運営育成事業 ●防災情報システム等保守業務 ●防災コミュニティ醸成促進事業 ●統合型 GIS 基図修正事業										
4-1-2	防災意識の高	坦	●防災訓 ●防災啓 ●女性防 ●防災啓	練実施事業 発実施事業 災リーダー育原 発冊子作成事 報WEBペー	<b></b>								
4-1-3	建築物の耐震	化の促進		間建築物耐震( 間建築物耐震(									
4-1-5	総合的な雨水	対策の推進	●水路改	水道整備事業 修事業 ーター運営事績									
4-2-1	消防体制の充分	実強化	●消防車	害対応力充実的 両・機器整備 消防総合情報:									
4-2-2	救急業務の充	実強化	<ul><li>●救急業務の高度化推進事業</li><li>●応急手当・普及啓発活動事業</li></ul>										
4-3-2	防犯活動への 民の防犯意識。		●防犯パ	トロール強化	支援事業								
5-8-2	道路整備の推	生	●ダム周	辺道路整備事業	<u></u>								
5-8-5	交通安全対策(	の推進	●歩道設 ●交通安	全対策事業 置事業 全施設整備事員 全施設維持管理									

#### 実施計画の見方



# 【まちの将来像1】

ともに支え合い、健やかに暮らせるまち

まちの将来像	1	ともに支え合い、健やかに暮らせるまち
施策	1-1	地域福祉を推進する
施策の 方向性		地域福祉の担い手となり、相談支援体制を充実することにより、住み慣れた地域で、誰もが人としての尊厳を 固性や能力をいかしながら、社会参加ができ、安心していつまでも暮らすことができるまちづくりを進めます。
	1	市民との協働による地域福祉の推進
	2	★ 地域における相談支援体制の充実
取 組	3	すべての人の権利が守られる地域社会の推進
★:重点プラン	4	
該当取組	5	
	6	
	7	

		7															
2 :	実施計画	1								*	:重点	プラン記	亥当取組、	◎重	点フ	゚゚ラン該	当事業
I	文 組	1-1-1	市民との協	働によ	る地域	或福	祉	の推進	<b>盖</b>								
1	事業名	総合	· · · · · · · · · · · · · ·	進事	<b>業</b>												
		Ti-100 fr		→40 A /F	1 6th L=												方向性 込み 拝度比)
	及び	祉計画( 福祉·障	:3月に策定した茨木市 第2次)に基づき、地域 害者福祉・保健医療の	福祉·高 各種施	高齢者 策等を	H 30 年	内容	①各計 科会を	画の進	捗管 る。( <sup>,</sup>	理を行 461万	うため、 円)	、審議会》	及び名	分	H31 年度 H32	臨時 拡充 臨時
	<b>似女</b>	上を図る	推進することにより、i 。	7氏悀1	ᄄᄼᄼᆡᄞ	度										年度 H33 年度	拡充 継続
								<b>与向性</b> 前年度比)	継続		業費 万円)	4.6	うち市負担な		4.6	H34 年度	臨時 拡充
	担当課	部名	健康福祉部	課名	地	域福	畐祉	:課	会計区	分		一般	事業	区分		ソフ	<b></b>
2	事業名	社会	会福祉協議会支援	事業													
	及び	会の事業 祉の推進	この推進を図るため、社 活動を助成することに に加え、行政の福祉が ティアセンターの運営が	」域福 連携	H 30 年 度	容	並 ② ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( (	補助内部ではいる。 対している できる できる できる できる できる できる できる できる できる でき	容見をからなった。	直しに 理・統 ーム」を う。 社協	基づく 合並び 新たに	に補助内 3校区開 務移管等	容見! 没する	直がた	の見 (対前4 H31 年度 H32 年度 H33 年度	方向性 込み比) ・ 臨拡 臨拡 臨拡 継 ・ 総	
					1			方向性 前年度比)	臨時 拡充		業費 万円)	96.3	うち市負担党		6.5	H34 年度	継続
	担当課	部名	健康福祉部	課名	地	域福	畐祉	:課	会計区	分		一般	事業	区分		ソフ	١
3	事業名	更生	上保護推進事業					_									
			提唱する非行・犯罪を					担金					推進委員:	숙~ <i>0</i>	ற負	の見 (対前年	方向性 込み 拝度比)
	目的 及び	て力を合	動で住民がそれぞれわせ、犯罪や非行のな	い社		30 容 ③保護観察対象者就労支援						尾施(	未	H31 年度	継続		
	概要	どを実施	ための街頭啓発活動。 する。また、更生保護の 会が行う事業に対し助	手であ	年度		定) ④更生	保護サ	ポー	トセンタ	ターの記	2置			H32 年度	継続	
		心体受り	五∥*□ノ尹未(□刈し以	INX Y W	0		7	方向性	公收ぐ丰	事	業費	0.6	うち市負担な	<del>}</del>	o e	H33 年度 H34	継続
	+□ 기7 글⊞	±11 ₽	() () () () () () () () () () () () () (	<b>₩</b> Þ	1:17	145.4	(対	前年度比)	継続		万円)	2.6	(百万円	)	2.6	年度	継続
	担当課	部名	健康福祉部	課名	地	域福	鱼仙	珠	会計区	7)		一般	争業	区分		ソフ	Γ

4	事業名	福初	止事業推進基金事	:業												
								\ ~ 1+ L.	T ~ NVT					の見	方向性 込み 拝度比)	
	目的及び	基金を設	する市民の善意を受り 置し、時代に対応した 進に資する経費に充	広く社会	会福祉	H 30 年	2 高	をの積立。 冷者、障害 こ資する約	手者、こ	ども等広く	社会	福祉事	業の	H31 年度 H32	継続	
	概要		量社の向上を図る。		20125	度								年度 H33	継続継続	
							方向性(対前年度比)	継続	事業			市負担分	0.0	年度 H34 年度	継続	
	担当課	部名	健康福祉部	課名	地	域社	国祉課	会計区		一般		事業区	分	ソフ	<u> </u>	
I	取 組	1-1-2	★ 地域におけ	る相談	炎支援	体制	別の充実		'							
5	事業名	◎ ネッ	トワーク推進事業													
			み慣れた地域で支える				た計画	『に基づ	き推進		養の開	]催(策定	<b></b> 言され	事業の方向性の見込み(対前年度比)		
		な地域で	地域社会の実現をめさ 要援護者を発見・支援 ティネットを設置し、民	受する健	康福	H 30 年		Wの配置	(策定	・ された計画 ィネット、地				H31 年度	継続	
	概要		SWを中心としたネット			度				議体の整理				H32 年度 H33	拡充	
		(これて)が止い					<b>卡</b> 向州	方向性 継続 事業費 69.7 55市負担分 46.2						年度 H34	拡充	
						(対前年度比)     総続     (百万円)     69.7     (百万円)     46.2       炎支援課     会計区分     一般     事業区分						46.2	年度	拡充		
6	担当課事業名	部名	健康福祉部 上委員・児童委員 <sup>3</sup>	相	一談ご	文 接 课	会計区	分	一般		争業区	分	ソフ	·		
		住民誰も	に安貞・九重安貞 = が安心して暮らすこと 着して福祉活動を行っ	ができる		Н	①茨 <sub>2</sub>			i童委員協詞 円)	義会褚	補助金		の見	方向性 込み 拝度比) 臨時	
	目的 及び 概要	員協議会	童委員の活動及び民会の活動を支援する。な その活動を支援する。な 委員の欠員に対し、定	お、民	生委	30 年 度				/ュアップし 協議会事			負討	年度 H32 年度	拡充継続	
		員推薦会	を開催する。	DJHJ(C.	八二女									H33 年度	継続	
							方向性 (対前年度比)	継続	事業 (百万	uu		市負担分	9.4	H34 年度	臨時 拡充	
	担当課	部名	健康福祉部	地	域社	畐祉課	会計区	分	一般		事業区	分	ソフ	<b>F</b>		
7	事業名	© ひと	り暮らし高齢者及	<b>冷者世</b>	帯	爰護事業	É									
		ることを目 者世帯を	スや身元確認等緊急時 目的に、ひとり暮らし高い対象に調査票を送付	齢者及で し、連絡	び高齢 先を		①郵送による緊急連絡先の調査 ②「安心カード」の配布					ス胎	の見 (対前 <sup>4</sup>	方向性 込み 拝度比)		
	及び	の対応の の連絡先 また、緊急	。調査結果についてにはいい、災害時の避難行った。 として活用する。 急時の対応が円滑に行	テ動要支 すえるよう	支援者 うに、	H 30 年度	容時職員③(臨)	員の雇用期間の延り	延長) 鈴者及び高	び高齢者世帯の一斉			H31 年度 H32 年度 H33	維続臨時		
		_	らし高齢者には調査票 ・配付する。	とともに	安心		方向性	臨時	事業	費	うちで	市負担分	0.0	年度 H34	拡充	
	担当課	部名	健康福祉部	課名	1:11	抽炒	(対前年度比)		(百万	4 3		万円)	9.3	年度ソフ	継続	
	担当味	마伯	) 建冰油性司	<b></b>	111	△以↑	田八山木	조하스	/3	-		尹未兦	/1	))	1,	

耵	又 組	1-1-3	すべての人	の権和	削が守	られ	こる地域な	社会の	推進					
8	事業名	高歯	令者権利擁護事業											
							①陸安	· * * * * * * * * * * * * * * * * * * *	<b>老</b> 春往叶	٠١. محمد ١٠	口,尽害然		の見	方向性 込み 拝度比)
		防止と虐えた、高齢	の連携を推進し、高齢 待の早期発見・早期対 者の緊急一時保護事績 り、高齢者の権利の擁	†応を図 業等をま	る。ま ミ施す	H 30 年度	開催等	啓発活動	る虐付的 動と連携仮 命者を保護	進	ワーク連絡 室の確保	(会の	H31 年度 H32 年度	継続継続
		<b>3</b> – <b>2</b> , 3	S ( I W I I I I I I I I I I I I I I I I I		, 40								H33 年度	継続
							方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	1.4	うち市負担分 (百万円)	0.3	H34 年度	継続
	担当課	部名	健康福祉部	課名	相	談う	支援課	会計区分	<del>ने</del>	介護	事業区	经分	ソフ	<b>١</b>
9	事業名	障害	<b>善者虐待防止セン</b>	ター運	営事	業								
									トワークの				の見(対前4	方向性 込み 手度比)
			特防止センターを設置 応や虐待防止に取り			30	容 ③緊急	、一時保証					H31 年度	継続
			権利擁護の啓発を行		01-1	年度	(4)虐待	通報受助	里(コール	センター	(に委託)		H32 年度	継続
													H33 年度	継続
						方向性   継続							継続	
	担当課	部名	健康福祉部	相	談っ	淡支援課 <b>会計区分</b> 一般 <b>事業区分</b>							<b>١</b>	
10	事業名	成年	F後見審判申立事	務事業	<b>Ě</b>									
		栖わて知	たぶいかい、 地間に会と土	¬-メミス <b>゙</b> -᠘	./\);-			:申立費月	Ħ				の見	方向性 込み 拝度比)
	目的	なった認	族がいない、判断能力 知症高齢者、知的障害 、住み慣れた地域で生	害者及び	ド精神	H 30	2精神	鑑定料	n 等作成業科	<b>次</b> 禾			H31 年度	継続
		れるよう、	後見人等の援助者の			年度	(3) AM 115		宇下以未在	为安礼			H32 年度	継続
		<b>本人に1</b> (	わって行う。										H33 年度	継続
							方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	1.3	うち市負担分 (百万円)	1.3	H34 年度	継続
	担当課	部名	健康福祉部	地	域社	<b>冨祉課</b>	会計区分	<del>भे</del>	一般	事業区	5分	ソフ	<b>١</b>	
11	事業名	市目	民後見人養成事業											
			方や知的障害者が、よ できるよう、身近な地域				座への	①大阪府社会福祉協議会主催 f 座への参加				- 4//	の見	方向性 込み 拝度比)
	目的	人となるも	っの。大阪府社会福祉 成講座に参加し、修丁	協議会	の市民	H 30 年	容 ③受任	調整会認	義等への参	多加	等のサポ		H31 年度	継続
	概要	見人バンクに登録、裁判所の要請によって、 市が適切な市民後見人を推薦し、受任する					(4)オリン	エンアー	ンヨン・養月	<b>以</b> 講坐開	見催への協	/J	H32 年度	継続
		の。						,		1			H33 年度	継続
							方向性 (対前年度比)	継続	事業費	2.0	うち市負担分 (百万円)	0.5	H34 年度	継続
	担当課	部名	健康福祉部	課名	地	域社	国祉課 ————————————————————————————————————	会計区分	i <del>)</del>	一般	事業区	5分	ソフ	F

12	事業名	成生	<b>F後見制度利用支</b>	援等	事業											
			Jが低下した障害者・高		-										の見 (対前 <sup>4</sup>	方向性 込み 拝度比)
	目的 及び	を行う場合	『成年後見審判(法定征 合に、申立てに要する	費用を明	助成す	H 30	内容	0,,,,,							H31 年度	継続
	概要	いが困難	成年後見人等に対す な障害者・高齢者に幸		年度									H32 年度	継続	
		る。												H33 年度	継続	
							<b>方向性</b> 前年度比)	新規		業費 (万円)	5.3	 市負担分	1.1	H34 年度	継続	
	担当課	部名	地	域袖	<b>冨祉</b>	課	会計区	分	<b>一</b> 舟	殳•介護	事業区	分	ソフ	<b>,</b>		

1 他来97城女		
まちの将来像	1	ともに支え合い、健やかに暮らせるまち
施策	1-2	高齢者への支援を推進する
施策の 方向性	実するな	活動的な高齢者も社会の支え手の一員となることができるよう体制を整備し、高齢者の社会参加の機会が充など、地域の活性化を図ります。 が医療や介護を必要とする状態になっても、住み慣れた地域や住まいで、自立した生活ができる環境を整備
	1	★ 地域活動・社会参加の促進
	2	★ 地域包括ケアシステム等の推進
取 組	3	
★:重点プラン	4	
該当取組	5	
	6	
	7	

2 }	実施計画	<u> </u>									*	:重点	プラン診	亥当]	取組、◎	重点	アラン該	当事業	
耳	文 組	1-2-1		★ 地域活動·ネ	土会参	加の化	足近	É											
1	事業名	各和	重敬	(老・助成事業															
																	の見	方向性 込み 拝度比)	
	目的 及び			各種事業の実施や	. —		H 30	内容		式祝賀 高齢者			事業				H31 年度	継続	
	概要	る事業を	実施	iし、心豊かな生活	を実現、	する。	年度										H32 年度	継続	
														1			H33 年度	継続	
						т——			<b>方向性</b> 前年度比)	継続		業費 万円)	5.6		市負担分	5.	6 H34 年度	継続	
	担当課	部名		健康福祉部	課名	地	域社	畐祉	:課	会計区	分		一般		事業区2	分	ソフ	<b>F</b>	
2	事業名	敬者	芒•貝	助成事業					,										
							祝金支							の見	方向性 込み 拝度比)				
	目的 及び	高齢者を		H 30	内容	0 1 41-1	者世帯 外国人			事業 沚金支絲	合事	業		H31 年度	継続				
	概要	る事業を	実施	iし、心豊かな生活・	を実現す	する。	年度										H32 年度	継続	
																	H33 年度	継続	
						·			方向性 前年度比)	継続		業費 万円)	41.6		市負担分	41.	6 H34 年度	継続	
	担当課	部名		健康福祉部	課名	長	:寿/	<b>~</b> 護	課	会計区	分		一般		事業区:	分	ソフ	<b></b>	
3	事業名	◎ 高齢	<b>静者</b>	関係団体育成	・支援	事業													
						①老人	カラデオ	- 怪	車架					の見	方向性 込み 拝度比)				
		高齢者のために事業を展開する様々な団体を育成・支援することにより、高齢者の多様					H 30	30 容 ② 京齢者はつらつバ				ンター				_	H31 年度	継続	
	概要	を 育成・文後 することにより、 同齢者の 多様 ニーズに対応し、 充実した生活を実現する。					年度			有は ノ	りつ	ノント	ナザホ	<i>V ) 7</i> :	心下へ		H32 年度	継続	
																	H33 年度	継続	
									方向性 前年度比)	継続		業費 万円)	64.6		市負担分	55.	7 H34 年度	継続	
	担当課	果 部名 健康福祉部 課名					域補	畐祉	:課	会計区	分		一般		事業区	分	ソフ	<b>-</b>	

4	事業名	◎ 生剂	舌支援体制整備事	業										
													の見	方向性 込み 拝度比)
	目的		注活支援・介護予防サー 、ボランティア等の生活			H 30		5支援コ <sup>、</sup> りの設置		ター・協	議体(第1局	層及び	H31 年度	継続
	及び 概要		え・発掘等の地域資源₫ −ク化などを行う。	開発や	その	年度							H32 年度	継続
										_			H33 年度	継続
							方向性 (対前年度比	継続	事業費	3.7	うち市負担分 (百万円)	0.7	H34 年度	継続
	担当課	部名	健康福祉部	課名	地	域社	<b>国祉課</b>	会計区	分	介護	事業区	分	ソフ	F
5	事業名	◎ 高齢	鈴者いきがい推進₹ 	事業										
										7一運営	事業・多世	代交流	の見 (対前 <sup>4</sup>	方向性 込み 拝度比)
	目的 及び		)居場所と出番を提供で り、いきがいを有する生			H 30 年	容 ②いき		尹兼 充広場活動 レ練習広場				H31 年度	拡充
	概要	る。				度	3)7	1.70 /	水田心物	日生ず	未		H32 年度 H33	拡充
							方向性	Litrata	事業費	100 =	うち市負担分		年度 H34	拡充
	担当課	如夕	健康福祉部	細力	1-th	セナ	(対前年度比		(百万円)	123.7 一般	(百万円)	123.7	年度	拡充
6	12日味 事業名	部名	トングラス はいまま はいまま はいまま はいま はいま はいま はいま はいま はいま	課名	111	□坝↑	田仁味	会計区	מלו	一	事業区	ימי	ソフ	ľ
	目的	住民主体	なによる高齢者の居場所	折づくりゃ		H 30			ハウス支援 サービスB		広充(従来型	型の開	の見	方向性込み手度比)拡充
	及び 概要		事業を実施し、高齢者の 生活を実現する。	)地域に	おける	年度		地//主		· ·V219/1	11)		H32 年度 H33	拡充
							方向性 (対前年度比	拡充	事業費	59.4	うち市負担分	38.4	年度 H34 年度	拡充
	担当課	部名	健康福祉部	課名	長	寿分	广護課	会計区	分	一般	事業区	分	ソフ	<u>۱</u>
]	取組	1-2-2	★ 地域包括ケ	アシス	テム	等の	推進		·		·			
7	事業名	◎ 介記	蒦予防・生活支援 サ	ナービ	ス事業	į								
		<b>五十</b> 松	似然の女袋お供江土板	<b>0</b> -	→`) ~ Ja↓				ビスの実施				の見 (対前 <sup>4</sup>	方向性 込み 拝度比)
	目的 及び 概要	して、高値	f等の多様な生活支援のニーズに対 静者が在宅生活を続けることができ 様な生活支援サービスの提供や体制 図る。	できる	H 30 年度	容③介記	護予防ケ	ビスの実旅 アマネジメ ビスの検託	ントの実	施		H31 年度 H32 年度	継続継続	
													H33 年度	継続
							方向性 (対前年度比	継続	事業費(百万円)	740.9	うち市負担分(百万円)	92.6	H34 年度	継続
	担当課	部名	健康福祉部	課名	長	:寿/	)護課	会計区	分	介護	事業区	分	ソフ	<b>F</b>

8	事業名	◎地均		-運営	事業									
		地域の実	情に応じて、高齢者が 関れた地域でその有す	、可能	な限		ら11か			設置か	 所数を、6か	所か	の見	方向性 込み 拝度比)
	目的	自立した	生活を営むことができる 護予防、住まい及び自	るよう、図	医療、	H 30	内 ③総合		受業務の3	<b>汽</b> 実			H31 年度	拡充
		活の支援	が包括的に確保される ムの深化・推進に向け、	5地域を	1括ケ	年度	⑤包括 ⑥介護	的·継続 予防支援	的ケアマ 受業務		ト支援業務(	の充実	H32 年度	拡充
			中核的役割を担う地域 能の充実・強化を図る。		援セ		⑦設置	数増に付	<b>ド</b> う職員数	(増のシン	ステム導入		H33 年度	継続
							方向性 (対前年度比)	拡充	事業費	239.1	うち市負担分 (百万円)	46.0	H34 年度	継続
	担当課	部名	健康福祉部	課名	相	談う	支援課	会計区分	<b>†</b>	介護	事業区	分	ソフ	<b></b>
9	事業名	◎ 在9	它高齢者支援事業	(一般	(会計)									
							② 高齢		系齢者等 F E活用具約		支援事業		の見 (対前4	方向性 込み     手度比)
			住み慣れた地域で暮ら環境を整えるとともに、			H 30	☆ ③緊急	通報装置	置設置事業 計者の増)				H31 年度	継続
			て在宅高齢者の自立支			年度	④事業	の拡充					H32 年度	継続
									古光弗		74 - F # # # # # # # # # # # # # # # # # #		H33 年度	継続
							方向性(対前年度比)	拡充	事業費 (百万円)	35.7	うち市負担分	35.7	H34 年度	継続
	担当課	部名	健康福祉部	課名	長	長寿介護課 会計区分 一般 事業区分							ソフ	<b>F</b>
10	事業名	◎ 在年	它高齢者支援事業	(介護	保険	事業	<b>美特別会</b> 記	+)						
							②高齢 ③シル	者食の自 バーハウ		ナービス 活援助員	員派遣事業		の見	方向性 込み       東度比)
			住み慣れた地域で暮ら 環境を整えるとともに、			H 30	容 利用料	助成			テム専用端	末機	H31 年度	継続
			て在宅高齢者の自立支			年度	⑥認知	症高齢者	しょサート				H32 年度	継続
							(対象と	なる局断	命者の増)				H33 年度	継続
							方向性 (対前年度比)	継続	事業費	43.3	うち市負担分(百万円)	8.5	H34 年度	継続
	担当課	部名	健康福祉部	課名	長	:寿/	个護課	会計区分	<b>1</b>	介護	事業区	分	ソフ	F
11	事業名	○ 一角	<u></u> 安介護予防事業											
		住民運営	での通いの場を充実させ	せ、人と	人との		2(70)			発事業(	元気いばら	き体操	の見 (対前4	方向性 込み 手度比)
	目的 及び	つながり	を通じて、参加者や通い していくような地域づく	ハの場だ	ぶ継続	H 30 年		介護予防	方活動支払 ・ーション		<b>丞車</b> 杂		H31 年度	継続
	概要		:態になっても生きがい きる地域の実現を目指		ともつ	度	0.00		方事業評価		女 尹 禾		H32 年度	継続
							古色性	ot. :	事業費		うち市負担分		H33 年度 H34	継続
							方向性 (対前年度比)		(百万円)	110.3	(百万円)	6.7	年度	継続
	担当課	部名	健康福祉部	課名	地	域社	畐祉課	会計区分	7	介護	事業区	分	ソフ	<b>h</b>

12	事業名	◎ 在写	它医療•介護連携技	<b>性進事</b>	業									
			護の両方を必要とする				②訪問 ③在宅	看護事業序 医療·介護	所等のネ 連携推	シトワー 進連絡会	会の運営	運営	の見 (対前 <sup>4</sup>	方向性 込み F度比)
	目的 及び	人生の最	み慣れた地域で自分ら 対まで続けることができ	きるよう、	、在宅	H 30	容 ⑤多職	らつパスポ 種連携研(	修会の開	携編)の  催	改訂		H31 年度	継続
	概要	に、在宅	護サービスを一体的に 療養に関する医療機関	目と介護	サービ	年度	⑦地域	市町村との 住民への原	啓発(講		昇催)		H32 年度	継続
		ス事業者	などの関係者の連携を	と推進す	<b>-</b> る。		<b>⑧相談</b>	窓口の拡き	充(医師	会委託)			H33 年度	継続
							方向性 (対前年度比)		事業費 百万円)	23.0	うち市負担分 (百万円)	4.4	H34 年度	継続
	担当課	部名	健康福祉部	課名	長	:寿/	<b>丫護課</b>	会計区分		介護	事業区分	}	ソフ	
13	事業名	◎ 認知	印症総合支援事業											
							②認知	症初期集。 症ケアパス 症地域支持	の改訂	、活用の	推進			方向性 込み F度比)
	目的 及び		所齢者等にやさしい地域 とめ、認知症の人が住る		H 30	4認知	症地域又1 症カフェの 症地域連れ	推進				H31 年度	継続	
	概要		境で自分らしく暮らしん かに推進する。	売けるた	めの施	年度	⑥若年	症地域医療性認知症が 症の人のク	施策の強	化	<b>建</b> 百		H32 年度	継続
								)II. • > ) <b>(</b> • > )	/I IIQ FE	**/人版			H33 年度	継続
							方向性 (対前年度比)		事業費 百万円)	15.4	うち市負担分 (百万円)	3.0	H34 年度	継続
	担当課	部名	健康福祉部	課名	相	談	支援課	会計区分	3	介護	事業区分	}	ソフ	<b>,</b>
14	事業名	老	人保護措置事業											
		左宅での日常生活を受けることに支暗がなる65											方向性 込み F度比)	
	目的 及び	歳以上の	) 百帯生品を呂むことに ) 高齢者に対して、養護 、所等の措置を行うこと	長老人ホ	ニーム	H 30	<b>内</b> ①老人 容 ②入所			i i			H31 年度	継続
		等への人 の心身の 供する。	健康の保持及び安定	により、した生活	同町有 舌を提	年度							H32 年度	継続
		17.7.00											H33 年度	継続
							方向性 (対前年度比)	公本 かっこ	事業費 百万円)	13.5	うち市負担分(百万円)	13.5	H34 年度	継続
	担当課	部名	健康福祉部	課名	相	談	支援課	会計区分	-	一般	事業区分	}	ソフ	<b>-</b>

まちの将来像	1	ともに支え合い、健やかに暮らせるまち
施策	1-3	障害者への支援を推進する
施策の 方向性		祉サービスの充実や雇用・社会参加を進めることで、障害を正しく理解し、支え合い、誰もが地域社会で自立 いして生活できる共生社会の構築を進めます。
	1	障害福祉サービスの充実
	2	障害者の雇用・就労対策の促進
取 組	3	障害者の社会活動への参加促進
★:重点プラン	4	
該当取組	5	
	6	
	7	

		7														
2 }	実施計画	<u> </u>								*	r:重点	プラン診	亥当取組、(	重点	プラン該	当事業
耳	文 組	1-3-1	障害福祉サ	ービス	スの充	実										
1	事業名	地域	或生活支援事業													
		障害者が	・地域で自立した生活;	ができる	よう			②移動 ③福祉	電話の	業σ 継続	報酬 記(既存	単価見直 利用者	[し(+1,15		の見(対前年	方向性 込み 拝度比)
		必要な情	報の提供や生活用具の日常生活、社会生活	等の援	助、移	30	内容	連等を	スポーツ	/担	当部局	を交えて	こ て検討する。 手間で整備		H31 年度	継続
			事業を行うことにより、			年度		あるたる		活重	助支援	センター	·Ⅲ型開設(			継続
		VEC IN T	€ 121.20°						生活用			1 1/			H33 年度	継続
								<b>方向性</b> 前年度比)	拡充		業費 「万円)	503.3	うち市負担分 (百万円)	291.3	H34 年度	継続
	担当課	部名	健康福祉部	課名	障	害福	畐祉	:課	会計区	分		一般	事業区	分	ソフ	<b></b>
2	事業名	相認	炎支援事業											·		
			2域に相談支援事業所 量祉課に設置する基幹				②専門	相談支相談事	業業	美務委託	£			の見 (対前 <sup>4</sup>	方向性 込み 拝度比)	
	及び	ターと連排 門的指導 相談支援	への専 害者	H 30 年	内容	委託数		Γ増	(相談)	支援事業	う相談支援 美の委託準 )運営		H31 年度 H32	拡充継続		
			向けた取り組みを行う			度									年度 H33 年度	継続
								<b>方向性</b> 前年度比)	拡充		業費 「万円)	105.2	うち市負担分 (百万円)	52.6	H34 年度	継続
	担当課	部名	健康福祉部	課名	相	談え	支援	課	会計区	分		一般	事業区	分	ソフ	<u>-</u>
3	事業名	重月	度重複障害者等支	援事	<b>業</b>											
			障害者を受け入れる				所等へ見直し	の補助を検討	を国	の報酬	州単価の	た生活介記改定等を考	慮し	の見 (対前 <sup>4</sup>	方向性 込み 手度比)	
	目的 及び	う事業所	ープホーム、短期入別 に補助金を交付し、ま	た、生活	5介護	H 30	内容	国の報	酬単価	の改	定等を	考慮し	事業所への 見直しを検		年度	縮小
	概要	の提供体	での重度障害者への 制の充実を図り、障害			年度		④指定	び園指	設の	維持管	9理		D.L.	H32 年度	継続
		上に寄与	- する。						ーブホー		27,7,51	する事刻	<b>業所への補</b>	叨	H33 年度	継続
					T		フ (対	<b>方向性</b> 前年度比)	継続		業費 「万円)	220.6	うち市負担分(百万円)	220.6	H34 年度	継続
	担当課	部名	健康福祉部	課名 障害			畐祉	:課	会計区	分		一般	事業区	分	ソフ	F

4	事業名	障害者自立支援給付事業													
			利用者)からの申請に					①障害 施	福祉サー	ービス(介	護給付・	訓練等給付	†)の実	の見	方向性 込み 拝度比)
	目的		ス(家事援助、身体介 事業者(指定事業者)な			H 30	内容	付		寮養介護	医療費、	計画相談	支援給	H31 年度	継続
	及び 概要		までの事務を行い、障 生活ができ、その生活			年度		②補装 ③自立		寮(更生、	育成、精	神通院)		H32 年度	継続
		を図る。					-#	5向性	dale data	事業費		うち市負担分		H33 年度 H34	継続
	TO 71 = 00	±0 50	<b>唐</b> 唐·夏·夏·		I7 th	, et-> 4:	(対	前年度比)	継続	(百万円)	4623.2	(百万円)	1161.1	年度	継続
	担当課	部名	健康福祉部	課名			<b>冨祉</b>		会計区分	יני	一般	事業区	.分	ソフ	<u> </u>
5	事業名	障領	髻福祉センターハ∽ ───	ートフル	レ施設	連,	営	事業 □							
		陪宝 <i>老</i> (7	)地域での自立した生活	手令针4	> 会加			②指定	管理施設	定管理者 殳の維持管	<b></b> 管理			の見	方向性 込み    度比)
		の促進を	・図ることを目的に、指類 といおいて、地域活動を	定管理者	針制度	H 30		<ul><li>④ハー</li></ul>	トフル2月		子跡)等	改修(設計		H31 年度	継続
	概要	Ⅱ型、生	活介護等を実施するこ 対単進に寄与する。			年度		料2007  円)	5円、工	事費1,930	万円、備	情品購入費	626万	H32 年度	継続
		口旧压	макетен 7 / S											H33 年度	継続
								方向性 前年度比)	臨時 拡充	事業費 (百万円)	159.0	うち市負担分 (百万円)	127.0	H34 年度	継続
	担当課	部名	健康福祉部	課名	障	害礼	畐祉	:課	会計区分	ने	一般	事業区	分	ソフ	<b>-</b>
6	事業名	障領	<b></b> 害者手当等給付事	業											
															方向性
														の見 (対前 <sup>4</sup>	ま度比)
	目的		- 国手当等を支給し、障	章害者等	の自	H 30			障害者等 支給事務		る支援とい	して支給され	れる国		
	目的 及び 概要		- 国手当等を支給し、隋 -支援する。	章害者等	の自						る支援とい	して支給され	いる国	(対前 <sup>4</sup> H31	<b>丰度比)</b>
	及び			舍者等	の自	30 年					る支援とい	して支給され	いる国	(対前 <sup>4</sup> H31 年度 H32	継続
	及び			<b>資害者等</b>	節自	30 年	容				5支援と1112.7	って支給され うち市負担分 (百万円)	13国 28.7	H31 年度 H32 年度 H33	継続継続
	及び			第名		30 年度	容	手当の <b>5向性</b> 前年度比)	支給事務	事業費(百万円)		うち市負担分	28.7	H31 年度 H32 年度 H33 年度 H34	継続 継続 継続 継続
7	及び 概要	立生活を	支援する。	課名		30 年度	容が対対	手当の <b>5向性</b> 前年度比)	支給事務継続	事業費(百万円)	112.7	うち市負担分(百万円)	28.7	H31 年度 H32 年度 H33 年度 H34 年度	継続 継続 継続 継続
7	担当課	立生活を <b>部名</b> 障等	を接する。 健康福祉部 生者更生援護等事	課名	障	30 年度	容が対対	手当の <b>性性</b> (比) 重助生活	支給事務 継続 会計区分 障害ついが でに変のが	事業費 (百万円) 等に介護 (百分)	112.7 一般 5タクシー 険の特別	うち市負担分(百万円)	28.7 分 部 者	(対前4 H31 年度 H32 年度 H33 年度 H34 年度 フフ	継続 継続 継続 継続
7	及概 担 業 目及 的び	立生活を 部名 障害者の 成等を行	を接する。 健康福祉部 生者更生接護等事 の自立更生に寄与する。 うことで、障害者の生き	課名 業 為に各系がいを	瞳の助、	30 年度 害 H 30	容が対対は、対対は、対対は、対対は、対対は、対対は、対対は、対対は、対対は、対対は	手方前課①ま助生利重重助生利重変成活用度	支給事務とは、大きなは、大きなは、大きなは、大きなは、大きなは、大きなは、大きなは、大きな	事業費 (百万円) 等に介護に介護に介護にかります。 で設しいた。	112.7 一般 5タクシー 険の特別付有料	うち市負担分 (百万円) 事業区 一料金の一 巨施設入所	28.7	(対前4 H31 年度 H32 年 H33 年度 H34 年度 フ 「対前4 H31 年度	程度比) 継続 継続 継続 ・ た た た た り の み よ と り た り と り と り と り と り と り と り と り と り
7	及概 担 業 名 目的	立生活を <b>部名</b> 障害者の ほなの生	を接する。 健康福祉部 写者更生援護等事 自立更生に寄与する	課名 業 為に各系がいを立	瞳の助、	30 年度 害 H	容が対対は、対対は、対対は、対対は、対対は、対対は、対対は、対対は、対対は、対対は	手内度当性度重助生利重部障度成活用度助害	支給事務機械を対している。 とは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	事業費(百万円) 学に対護に介護に対護のでは、介護に対してを認います。	112.7 一般 5タクシー 6険有料 「住宅改 けして配:	<b>うち市負担分</b> ( <b>百万円</b> ) 事業区 一料金の一所 を人ホーム 造に係る経 食サービス	28.7 分 部者 )	(対前4 H31 年度 H32 年33 年34 年度 フ 事業の見 (対前4 H31	整性 継継継継継 本 を を を を を を を を を を を を を を を を
7	及概 担 業 目及 的び	立生活を <b>部名</b> 障害者の ほなの生	度援する。 健康福祉部 手者更生援護等事 自立更生に寄与する。 うことで、障害者の生き 活を充実させ、障害者	課名 業 為に各系がいを立	瞳の助、	30 年度 害 H 30 年	容が対対。日本の内容	手内性度当性度重助生利重部障見度成活用度助害直	支給事務 継続 会計区3 管に介者障成者した の検 引き みり討	事業費(百万円) 等に介護(介達)に対護(では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次	112.7 一般 5タクシー 険付有料 付住宅 改 けして配 計 目 は に に に に に に に に に に に に に に に に に に	75市負担分 (百万円) 事業区 一料金の一 主施設入所 老人ホーム 造に係る経 食サービス 総続)	28.7 分 部者) 費の	(対前4 H31 年 H32 年 H33 年 H34 年 アフ 事 の 見 が H31 年 B32 年 B32 年 B32 年 B32 年 B32 年 B32	整性 継継継継継 本継継継 本継継継 本継継継 本継継継
7	及概 担 業 目及 的び	立生活を <b>部名</b> 障害者の ほなの生	度援する。 健康福祉部 手者更生援護等事 自立更生に寄与する。 うことで、障害者の生き 活を充実させ、障害者	課名 業 為に各系がいを立	<b>瞳</b> の助、 を図る	30 年度	容が対対は、内容	手 <b>向性</b> (上)	支給事務機械を対している。 とは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	事業費(百分) (事事百万円) (事事百万円) (事事百万円) (事事百万円) (事事百円) (事事百円) (事百円)	112.7 一般 5タクシー 6険有料 「住宅改 けして配:	<b>うち市負担分</b> ( <b>百万円</b> ) 事業区 一料金の一所 を人ホーム 造に係る経 食サービス	28.7 分 部者 ) 費の の 23.7	(対前4 H31 年32 年33 年34 年 リンプ 事の見 (対前4 年 リンプ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	<b>E 度比</b> 継継継継継継継継継継継継継継継継継継継継継継継

8	事業名	障害	医者医療事業												
		陪宝老が	安心して医療を受けら	わる休	割を確		負担		等を対象と 『助成の振 実施》				等)	の見	方向性 込み 拝度比)
	目的	保する。」	重度の身体障害者、知 及び難病患者等に対	的障害	者、精	H 30	②重度	障害者等	天旭) 等を対象と 月実施)	した医療	景費の	再構築		H31 年度	継続
	概要	一部を助	成することにより、健康 :定に寄与し、福祉の境	その保持	及び	年度	③自動	償還払い	ハヌ心) いのシステ 百万円)	ム改修				H32 年度	継続
		工1000	人にに り り ひ、 田 正 * ノバ		.∿0		(1	<del>并</del> 积2.0	/ LI /3   1)					H33 年度	継続
							方向性 (対前年度比)	拡充	事業費 (百万円)	645.8	うち市負 (百万		51.9	H34 年度	継続
	担当課	部名	健康福祉部	課名	障	害福	<b>冨祉課</b>	会計区	分	一般	事	業区分	١	ソフ	<b></b>
9	事業名	老	医療事業												
							額」を含	き引いた	ナベき医療 額を助成					の見	方向性 込み 拝度比)
			健康の保持及び福祉 りとし、高齢者に対し医			H 30	<b>内</b> ②重度 成30年	4月実施	百予定、経	過措置な	5り)			H31 年度	継続
		を助成す		2/// 54 ->	нь	年度	③市制る。)	度の廃」	上(府制度	で改正	に併せ	て実力	値す	H32 年度	継続
														H33 年度	縮小
							方向性 (対前年度比)	縮小	事業費	177.1	うち市負		25.9	H34 年度	縮小
	担当課	部名	健康福祉部	課名	保	保険年金課         会計区分         一般         事業区分								ソフ	<b></b>
10	事業名	指定	定障害福祉サービ	ス事業	者等持	旨導	算監査実施	<b>恒事業</b>							
														の見	方向性 込み 拝度比)
			福祉サービス事業者のサービスの質の確保と			H 30	内 ①指導	監査の領	<b>実施</b>					H31 年度	継続
			とし、事業者の指導監			年度								H32 年度	継続
														H33 年度	継続
							方向性 (対前年度比)	継続	事業費	2.0	うち市負 (百万		1.9	H34 年度	継続
	担当課	部名	健康福祉部	課名	福祉	指導	拿監査課	会計区	分	一般	事	業区分	١	ソフ	<u> </u>
11	事業名	地址	或自立支援協議会	運営事	和業事	目談	(支援事業	巻より一	·部移管	)					
														の見	方向性 込み ∓度比)
	目的 及び	よる連携	ける障害者福祉に関 及び支援の体制に関す	する協議	を行う	H 30	内 ①地域	自立支持	爰協議会の	の運営				H31 年度	継続
	概要	ための会 与する。	議の運営等障害者福	祉の向_	上に寄	年度								H32 年度	継続
														H33 年度	継続
							方向性 (対前年度比)	継続	事業費	2.5	うち市負		1.3	H34 年度	継続
		部名	健康福祉部		<b>果名</b> 障害福祉課 <b>会計区分</b> 一般 <b>事業区分</b>							<b>F</b>			

耳	文 組	1-3-2	障害者の雇	用,就	労対	策の	)促進							
12	事業名	障害	<b></b>											
			F者の一般就労への移 内職場実習やスマイル				移管 ②かし	の木園指	旨定管理者	制度運	ば相談支持 営	爰課に	の見	方向性 込み 手度比)
	目的 及び	業、工賃	の 向上のため共同受注 就労支援担当者を配	ノステム	の構	H 30	容 ④共同	受注シス	設の維持管ステムの運	用		55 VL 199	H31 年度	継続
	概要		就労支援をすすめる 障害者の自立及び社会			年度	U / 1 -		《智文人先 )の周知	企業の	開拓、共同 <sub>2</sub>	文社窓	H32 年度	継続
		する。		Z 9970H (	- H1 J								H33 年度	継続
							方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	33.2	うち市負担分 (百万円)	33.2	H34 年度	継続
	担当課	部名	健康福祉部	課名	障	害礼	畐祉課	会計区	分	一般	事業区	分	ソフ	<b></b>
13	事業名	意思	思疎通支援事業											
							②要約	,		いて見	直し(手書)	きに加	の見	方向性 込み 拝度比)
	目的 及び	害者の自	障害のない人の意思の  立した生活や社会参	加を支払	爰する	H 30	□ ③点字	刊行物	の発行業務		入居者にも	扩充	H31 年度	継続
	概要		{に応じるとともに、必要 こより福祉の増進を図る		等を	年度	⑥窓口	等のコミ	ユニケーシ	ョン支担		** 2 =	H32 年度	継続
									· - • 人汉	/IJ/ (//	C II III / * > +7	-, •	H33 年度	継続
							方向性 (対前年度比)	拡充	事業費 (百万円)	16.4	うち市負担分 (百万円)	9.9	H34 年度	継続
	担当課	部名	健康福祉部	課名	障	害礼	畐祉課	会計区	<del>分</del>	一般	事業区	分	ソフ	<b>ŀ</b>
14	事業名	障害	<b>害者社会参加促進</b>	事業										
		ま内の陰	全字老田体が宝歩子で	<b>公会</b>	加促准		補助②障害	金を支糸	合 が実施する		学等に対し	,	の見	方向性 込み 手度比)
	目的 及び	事業に対	の障害者団体が実施する社会参加促 こ対して市が補助金を交付することに 害者の自立した生活を支援し、障害者			H 30	7 3合理	的配慮	* *		助成制度の	創設	H31 年度	継続
						年度	· 対		:スロープ・				H32 年度	継続
						(+3007	デ円)			ı	H33 年度	継続		
							方向性 (対前年度比)	拡充	事業費	5.4	うち市負担分(百万円)	4.8	H34 年度	継続
	担当課	部名	健康福祉部	課名	障	害	<b>届祉課</b>	会計区	分	一般	事業区	分	ソフ	<b>F</b>

まちの将来像	1	ともに支え合い、健やかに暮らせるまち
施策	1-4	生活困窮者への支援を推進する
施策の 方向性		困窮する市民に対し、さまざまなサービスを適切に提供するとともに、困窮状態から自立が図られ、誰もが安 E活ができるまちづくりを進めます。
	1	生活保護制度の適正実施
	2	生活困窮者への自立の支援
取 組	3	
★:重点プラン	4	
該当取組	5	
	6	
	7	

2	実施計画	<u> </u>	l						★:重点	プラン記	亥当取組、(	の重点:	プラン該	当事業
	取組	1-4-1	生活保護制	度の記	<b>適正実</b>	施								
1	事業名	生活	保護等実施事業	į										
		生活保護	の適正な運営に取り	狙むこと	を目的			保護実施	左事光				の見	)方向性 !込み 年度比)
	目的 及び	わせた相談	保護世帯に対し、自 談や助言を行う。 ]残留邦人等について			H 30 年			□尹未 人等支援₹	事業			H31 年度	継続
	概要	生活が送	れるよう、ニーズに応			+ 度							H32 年度	継続
		行う。											H33 年度	継続
							方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	6755.9	うち市負担分 (百万円)	1557.6	H34 年度	継続
	担当課	部名	健康福祉部	課名	生	活补	畐祉課	会計区分	ने	一般	事業区	5分	ソフ	<b>١</b>
2	事業名	生活	保護自立推進事	業										
						②健康	· 支援事業 ・管理等す ・ ひびぬる	支援事業	細	6等拡充事	丵	の見	方向性 込み 年度比)	
	目的 及び	し、就労に	世帯の自立を助長す よる経済的な自立や	地域社	会の一	H 30	2 4収入		兄把握等す			*	H31 年度	拡充
	概要		立した生活を営むこ   かの相談や助言を行う		るよう	年度	⑥警察	との連携	L事采 協力体制 立支援等		業		H32 年度	継続
							UA.	ムレハ日	立义1反守	ず未			H33 年度	継続
							方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	84.3	うち市負担分 (百万円)	45.6	H34 年度	継続
	担当課	部名	健康福祉部	課名	生	.活补	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -	会計区分	ने	一般	事業区	5分	ソフ	۲
:	取組	1-4-2	生活困窮者	1への	自立の	支	援							
3	事業名	生活	困窮者自立支援	事業										
		<b>北江田</b> 館	≠ <sup>2</sup> °□≈5/L÷°2,7 □	₩0) > 08 1	tn.+.v		②住居		寸金の支約	<b>公</b>			の見	方向性 込み 年度比)
	目的							相談支援	爰事業				H31 年度	拡充
	及び 概要					年度	⑤対象	者拡大(			)の検討・耄 整	女育委	H32 年度	継続
		117本で1年)	∴ / <b>v</b> 0										H33 年度	継続
							方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	63.4	うち市負担分 (百万円)	21.5	H34 年度	継続
	担当課	部名	健康福祉部	課名	相	談]	支援課	会計区分	4	一般	事業区	经分	ソフ	<b>١</b>

4	事業名	子と	もの貧困対策事業	ž												
															の見	方向性 込み 手度比)
			その子どもに対し、学習 援を実施することにより			H 30 年	内 容	学習•5	<b>上活支</b> 捷	爰員	の配置				H31 年度	継続
		推進する		八貝四	NWZ	年度									H32 年度	継続
															H33 年度	継続
								<b>万向性</b> 前年度比)	継続		事業費 百万円)	3.3	 市負担分 万円)	1.7	H34 年度	継続
	担当課	部名	健康福祉部	康福祉部 <b>課名</b> 木				課	会計区	分		一般	事業区	分	ソフ	<b>F</b>

まちの将来像	1	ともに支え合い、健やかに暮らせるまち
よりの利木隊	1	このに入れ口が、使でから合うともある
施策	1-5	健康づくりや地域医療を充実する
施策の 方向性	し、市とし 地域で多	その健康保持・増進及び疾病予防を図る地域医療の充実に向け、地区担当制による保健活動の推進などを積極的に展開して取り組むべき医療・保健・食育施策を推進します。 そ心して暮らせるまちをめざし、救急医療体制の充実を図るとともに、すべての市民が自ら地域との連携協力により健康づく 且みます。
	1	★ 健康づくりの推進
	2	★ 母子保健サービスの充実
取 組	3	感染症予防対策の推進
★:重点プラン	4	★ 救急医療体制の充実
該当取組	5	
	6	
	7	

		T																
2 }	実施計画	<u> </u>									*	r:重点	プラン記	亥当取糺	l, ©	重点	プラン該	当事業
耳	文 組	1-5-1		★ 健康づくり <i>0</i>	D推進	•												
1	事業名	◎ 住月	民健	診事業														
										診査や	がん	検診等	<b>等を対象</b>	早齢の	市民	:に実	の見	方向性 込み 拝度比)
		健康診查	こやか	に基づき、市民を ぶん検診等を実施	し、生活	5習慣	H 30	内容						は毎年	実施		H31 年度	継続
	概要			病の早期発見・早 詳増進を図る。	期治療	並び	年度		③胃が	んリスク	検診	<b>沙対象</b> の	が拡充				H32 年度	継続
																	H33 年度	継続
									<b>方向性</b> 前年度比)	拡充		業費 [万円)	536.3	うち市負担		525.0	H34 年度	継続
	担当課	部名	VOLUME TO THE PROPERTY OF THE										事	業区分	分	ソフ	<b></b>	
2	事業名	◎ 健康づくり推進事業																
		民間活力との協働や他課との 次計画に基づき、健康づくりの ・ ②健康づくり講座													第3	の見 (対前4	方向性 込み 拝度比)	
			づき、	□「健康いばらき21 市民自らの生涯』			H 30 年	内容	3健康	づくりの				動  啓発・耈	有		H31 年度 H32	継続
	1945 安	・フヘリを打	EJE 9	' పం			度			健康課 予防対				定			年度 H33 年度	継続継続
									大向性 前年度比)	継続		業費 (万円)	7.1	うち市負担		6.0	H34	継続
	担当課	部名		健康福祉部	課名	保	:健			会計区			一般		業区2	分	ソフ	<u> </u>
3	事業名	⊚ 地址	或保	健活動強化事	業	U.												
		8 ◎ 地域保健活動強化事業												の見(対前年	方向性 込み 拝度比)			
	目的 及び	し、地域の	の住具	した総合的な保健 民、社会資源を巻	だ支援	H 30	内容			動を	担うこ	とのでき	る保健国	雨の,	人材	H31 年度	継続	
	概要			期からの子育て支 QOL向上を目指っ	康寿命	年度		④統括	保健師 時公衆				保健活動 づくり	力の才	推進	H32 年度	拡充	
																H33 年度	継続	
						1		フ (対	<b>方向性</b> 前年度比)	拡充		「業費 「万円)	2.1	うち市負担		2.1	H34 年度	継続
	担当課	部名		健康福祉部	課名	保	:健[	医療	課	会計区	分		一般	事	業区為	分	ソフ	<b>F</b>

4	事業名	◎【重		車業													
4		高齢者のき、40~7	)医療の確保に関する 74歳の市国保被保険者	去律に基 者に特定	2健診											の見	方向性 込み 拝度比)
	目的	予防のた 者、予備	る。糖尿病等の生活習 めに、メタボリックシント 群を減少させるよう保修 を抽出する。	ドローム	該当	H 30 年度	内容	①特定	健康診	査の	実施					H31 年度 H32 年度	継続継続
		【関連取済 定的な運	組:1-6-2 国民健康保 [営】	以険制度	の安			方向性 前年度比)	継続		業費	(120.8)		市負担分	(1.2)	H33 年度 H34 年度	継続継続
	担当課	部名	健康福祉部	課名	保	:健2			会計区			国保	(=	事業区	分	ソフ	L }
5	事業名	◎【再	掲】特定保健指導	事業													
	目的 及び 概要	リックシンと皆理をはます。当時ではいる。 という とり とり という できる という おいまる はいまる はいまる はいまる はいまる はいまる はいまる はいまる は	, ,	が、 自 と と と と と と と め の 療	H 30 年度	内容	的支援	)の実施 習慣病	<u>.</u> 重症	[化予]	供、動機				の見	方向性 込み 手度比) 継続 拡充	
		【関連取済定的な運			方向性 前年度比)	継続		業費 「万円)	(21.3)		市負担分	(0.2)	1124	継続			
	担当課	部名	健康福祉部	保	·健B	医療	課	会計区	分		国保		事業区	分	ソフ	<b>F</b>	
6	事業名	◎【再	掲】ヘルスアップレ	いばらき	き推進	事	業										
	目的	療費適正 等を活用 計画に基	を保険者の健康寿命の E化を図るため、レセプ した「データヘルス計「 でいた施策及び事業 組:1-6-2 国民健康保 営】	·情報 定し、 する。	H 30 年度	内容	0				勧奨以タ 『の次期』		12 411 4	)	の見	方向性 込み 手度比) 継続 継続	
								方向性 前年度比)	継続		業費 「万円)	(14.9)		市負担分	(0)	H34 年度	継続
	担当課	部名	健康福祉部	課名	保	:健B	医痨	課	会計区	分		国保		事業区	分	ソフ	<b>-</b>
7	事業名	◎【再	掲】人間ドック等助	成事	業												
	目的 及び 概要	の早期発 ドック・脳 健康保持 る。 【関連取	を保険者の生活習慣病 見・早期治療につなけ ドックの助成を実施し、 計単進並びに医療費の 組:1-6-2 国民健康保	H 30 年度	内容					呆被保険 施	(者(	の人間は	<b>ヾ</b> ック・	の見 (対前4 H31 年度 H32 年度 H33	方向性 込み 拝度比) 継続 継続		
		定的な運	[名]				方向性	継続		業費	(25.5)		市負担分	(0.3)	年度 H34	継続	
	担当課	部名	健康福祉部	保	·健B		前年度比)	会計区	1	<b>万円)</b>	国保	(È	万円) 事業区		年度ソフ		

8	事業名	食電	 育推進ネットワーク!	による	総合的	りな	食音推進	事業						
		「つくる・か	たべる・つどう・つたえる	う」の食の	か「4つ		①離乳 ②若い	期·幼児 世代·妊	期の食	とした食			の見 (対前4	方向性 込み 年度比)
		ため、市る	と通じた健全な食生活の と保育所・小中学校、市 企業、高校大学等が通	万域の食	をに係	H 30	による1	食育推進	Ė		育推進ネッ 知啓発活動		年度	継続
		食育を推 生涯にわ	進することで、市民が「たって健全な心身を培むことを目指す。	食」を追	重じて	年度	5健康	いばらき		推進計画	画(第3次) に		H32 年度 H33	継続
		町性を目	むことを目指す。				方向性(対前年度比)	拡充	事業費	7.0	うち市負担分 (百万円)	7.0	年度 H34 年度	継続継続
	担当課	部名	健康福祉部	課名	保	:健區	医療課	会計区	(Д/5/1/	一般	事業区	区分	ソフ	<u>-</u>
9	事業名	レバ	ばらき健康マイレー	ジ事業	É									
		市民自ら	が健康づくりや定期的	な健(検	()診の		健康で				ごしている「ご を備等事業		の見(対前4	)方向性 !込み 年度比)
	田的	期発見・」	い、生活習慣病の予防 早期治療につながるよ ージ事業」を実施し、市	う「いば	らき健	H 30 年	域版健ら、市民	康マイレ その健康	/ージシス づくりへ	ペテム) の の意識が	動向を注視向上する、	しなが	H31 年度 H32	継続
	帆安	容のため 図る。	の意欲を喚起し、健康	の保持	増進を	度	が収組	寺につい	いて研究	9 <b>3</b> .			年度 H33	継続継続
							方向性(対前年度比)	継続	事業費	0.0	うち市負担分 (百万円)	0.0	年度 H34 年度	継続
	担当課	部名	健康福祉部	課名	保	:健區	医療課	会計区		一般	事業区	区分	ソフ	<u>-</u>
取	又組	1-5-2	★ 母子保健サ	ービス	スの充	実								
10	事業名	◎ 母∃	子保健事業											
		妊産婦・ 予防や早	法等に基づく各種事業 乳幼児の健康状態を確 乳粉見・早期対応のた	Y認し、 Y Y Y Y Y Y Y Y Y Y Y Y Y Y Y Y Y Y Y	疾病の ・種健		妊婦 ②各種(	呆健指導	康診査、乳		科)健康診査	Ĩ	の見	方向性 見込み 年度比)
	目的 及び	各種保健	行い、育児不安の軽減 結算を行う。 :代包括支援事業(母子			H 30 年	内 ③子育 容 業)の実	て世代包 施	括支援事	業(母子保	中, 快健型利用者 快健型利用者		H31 年度	縮小
	概要	携し実施	「業)を子育て支援総合 することにより、妊娠期 切れ目ない子育て支援	から子	育て期	度	業) 専任 ⑤不育	助産師の	)配置(3.4 助成事業	百万円)(			H32 年度 H33	継続継続
		不育症治	流療費や特定不妊治療的負担の軽減を図る。		-		方向性	拡充	事業費	437.8	うち市負担分	427.2	年度 H34	継続
	担当課	部名	健康福祉部	課名	保	:健區	三療課	会計区	分	一般	事業区	3分	<b>年度</b> ソフ	
取	又組	1-5-3	感染症予防	対策の	の推進									
11	事業名	予防	方接種事業											
			注法に基づく各種予防打発生及びまん延を予修				②B類:				け予防接種 インフルエン		の見(対前な	方向性 !込み 年度比)
	及び	個人の発 に、各種	病又はその重症化を降予防接種を行う。また、 市が定めたものについ	防止する 任意予	るため ·防接	H 30 年度	人用肺 ③公費	炎球菌) 助成(高	)	炎球菌、	大人の風し		H31 年度 H32	縮小継続
		助成を行				戊							年度 H33 年度	継続
							方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	825.7	うち市負担分 (百万円)	795.3	H34 年度	継続
	担当課	部名	健康福祉部	課名	保	:健區	医療課	会計区	分	一般	事業区	区分	ソフ	<b>١</b>

12	事業名	感染												
		新型イン	フルエンザ等、実際に	感染症									の見	方向性 込み 手度比)
			に対策が取れるように 症の予防について、蔓 行う。			H 30 年			の充実を )連携、市		周知•啓発		H31 年度 H32	継続
	概要	【関係取為備】	組:4-3-3 多様な危機	への体	制整	度							年度 H33	継続継続
		VHI 🛽					方向性(対前年度比)	継続	事業費	0.1	うち市負担分	0.1	年度 H34 年度	継続
	担当課	部名	健康福祉部	課名	保	:健區	医療課	会計区分		一般	事業区	5分	ソフ	  -
耵	文 組	1-5-4	★ 救急医療体	制のま	充実						l			
13	事業名	◎市◎	内二次救急医療体	制確例	<b>呆事業</b>									
		古内二次	マ救急医療体制、特に3	至 3 休生	ell o The								の見	方向性 込み 拝度比)
		保が困難	なぶとなるである。 な小児二次救急受入・ でるため、市内で小児	体制の	安定的	H 30	内 ①小児	救急医療	療協力報信	賞金制度	ぜの実施 しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしょ しゅうしょ しょうしん かんしょ かんしょ かんしゅう かんしゅう しゅう しゅうしゅう しゅうしゃ しゅうしゅう しゅう		H31 年度	継続
			持つ医療機関に対し幸			年度							H32 年度	継続
		<i>y</i> 0											H33 年度	継続
							方向性 (対前年度比)	継続	事業費	25.7	うち市負担分 (百万円)	25.7	H34 年度	継続
	担当課	部名	健康福祉部	課名	保	:健區	医療課	会計区分	分	一般	事業区	5分	ソフ	<u> </u>
14	事業名	◎ 救急	急医療機関助成事	業									ı	
							の支出 ②休日				「管理運営 業務負担金		の見 (対前 <sup>4</sup>	方向性 込み 拝度比)
	目的 及び		で心して暮らせるよう、本 な確保するため、三島医			H 30 左			效命救急 <sup>→</sup>	センター	運営経費負	担金	H31 年度	継続
	概要	急医療機	と関に対して運営経費を	を支出す	<b>たる。</b>	年度	の支出 ④大阪 付		<b></b> 枚命救急	センター	運営貸付金	をの貸	H32 年度	継続
									古光串		2+ + 6 to 0	1	H33 年度	継続
							方向性(対前年度比)	継続	事業費	210.9	うち市負担分	210.9	H34 年度	継続
	担当課	部名	健康福祉部	課名	保	:健區	医療課	会計区分	分	一般	事業区	分	ソフ	F
15	事業名	急症	<b>房診療所運営事業</b>											
													の見	方向性 込み 拝度比)
	及び	ンター併	は 康保持に資するため、 設の急病診療所においる。 ○急的な診療を実施する。	いて、休		H 30 年度		診療の乳 診療の乳	実施(高校 実施	生以上)	)		H31 年度 H32 年度	継続継続
													H33 年度	継続
							方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	99.5	うち市負担分 (百万円)	99.5	H34 年度	継続
	担当課	部名	健康福祉部	課名	保	:健區	医療課	会計区分	分	一般	事業区	5分	ソフ	<u>-</u>

16	事業名	地址	或医療推進事業														
		備により	「向け、医療・介護の関 医療機関の病床機能の	分化が	進め			①情報 ②三島	圏域の	市町	丁、関係	行政、「		師会や	医療	の見	方向性 込み 手度比)
	目的 及び		†の救急医療体制にも えられる。地域医療体制	内容	0.00	医療資	源の	)調査・	分析				H31 年度	継続			
	概要	の市町、	の役割が拡大するなか 関係行政、市医師会や	医療機	関と	年度		④「地域 出	域医療支	え援:	病院」の	施設整	備等	等補助金	金の支	H32 年度	継続
			は化を図り、将来的な地 に向けた取組を推進する	, , , , , , , , ,	体制											H33 年度	継続
								<b>与向性</b> 前年度比)	継続		業費 (万円)	57.6		市負担分 「 <b>万円</b> )	57.6	H34 年度	継続
	担当課	部名	健康福祉部	保	:健區	医療	課	会計区	分	-	一般		事業区	分	ソフ	<b>F</b>	

まちの将来像	1	ともに支え合い、健やかに暮らせるまち
施策	1-6	社会保険制度を安定的に運営する
施策の 方向性		険制度の趣旨を踏まえ、すべての世代が相互に支え合い、健やかに暮らすことのできる仕組みを維持するた 建全で安定した財政運営に努め、市民の安心を確保していくことに努めます。
	1	介護保険制度の安定的な運営
	2	国民健康保険制度の安定的な運営
取 組	3	後期高齢者医療制度の安定的な運営
★:重点プラン	4	国民年金制度の普及・啓発
該当取組	5	
	6	
	7	

_		:+tc=1.73	<del></del>									↓. 丢上	<b>プニ</b> ヽ ユ	ナル	<b>時如</b>	金上。	プニヾ゙゠゙゙゙゙゙゙゚	小事金
[		組組	1-6-1	介護保険制	度の	安定的	な	運営	 営		7	₹∶里点	ノフン記	<u> </u>	取組、◎	里思	ノフン談	<u> 日争美</u>
	:	事業名	介護	 隻保険サービス向	上推進	事業												
			.lL 18-41	ᆸᄜᆇᅓᅶᄾᆇᄱᄱ	<b>先!!                                   </b>	÷±≈1				保険苦				2012	中.		の見 (対前 <sup>4</sup>	方向性 ,込み 年度比)
		目的 及び 概要	安心してi ことができ	利用者等が介護保険 適正な介護サービスの るように、サービスの	り提供を	受ける	H 30 年	内容							直た、給付	†費の	H31 年度 H32	継続継続
		,,,,,	向上に努	める。			度										年度 H33 年度	臨時拡充
									方向性 前年度比)	臨時 拡充		事業費 事万円)	20.7		市負担分	6.7	H34 年度	継続
		担当課	部名	健康福祉部	課名	長	:寿/	介護	課	会計区	分		介護		事業区	分	ソフ	<u> ۲</u>
:	2	事業名	介護	<b></b>	É													
			第1 早被/	呆険者の保険料を適	元 / 7 服子章	田 1 24年	н	内	②適切	保険料(な徴収な滞納)		_ , , .					の見 (対前 <sup>4</sup> H31	方向性 ,込み 年度比) 継続
		及び		*映有の保険料を適。 :により、健全な介護的			30 年 度	容	④シス	な価がら テムの安 正等に付	定	的な運	用				年度 H32 年度	継続
								-	方向性		重	<b>事業費</b>		うち	市負担分		H33 年度 H34	継続
	L							(対i	前年度比)	継続		万円)	50.6		万円)	55.2	年度	新規
	ł	担当課	部名	健康福祉部	課名	長	:寿/	<b>介護</b>	課	会計区	分		介護		事業区	分	ソフ	<u>۲</u>
:	}  :  -	事業名	介護 	美人材確保事業														
									①介譜	従事者	<b>養</b> F	北重紫					の見	方向性 ,込み 年度比)
		目的 及び	サービスの	事業所の人材不足の の質の向上を図るため	、介護	福祉士	H 30	内容	②介護	職員住	包	手当助原	战事業 修事業				H31 年度	縮小
		概要	の資格取 及び介護	得や次期リーダー養 職員に住宅手当の助	成研修の成分で	う。	年度										H32 年度	継続
											Ţ.	巨士弗		=+	士名セハ		H33 年度	廃止
	L							(対i	方向性 前年度比)	継続		事業費 事万円)	16.7		市負担分 万円)	15.8	H34 年度	-
		担当課	部名	健康福祉部	課名	長	:寿/	介護	課	会計区	分		一般		事業区	分	ソフ	<u>۲</u>

4	事業名	施記	<b>设整備事業</b>											
	目的				Mr. Tree	н	内 ②火災	報知設備	前等整備补		甫助 ビス施設整	備事	の見 (対前 <sup>4</sup> H31	方向性 込み F度比) 継続
	及び概要		らの補助金を活用し、 施設の整備に係る費用			30 年 度		助要綱)	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	,	- Vegy II.	,iii 3	年度 H32 年度 H33	継続
							方向性	Able Andre	事業費		ち市負担分		年度 H34	継続
	+□ 小部	<b>₩</b> 0. <i>E</i> 7	<b>唐</b>	-m 47	E	± /:	(対前年度比)	継続	(百万円)	22.2	(百万円)	0.0	年度	継続
5	担当課事業名	部名	健康福祉部 定居宅サービス事	課名				会計区分	ייני (בייני) בייניין לבייניין	一般	事業区分		ハー	Γ
5	尹木石	1日人		未 日 寸	1日今1	m. E	大心子	卡					事業の	方向性
				トービス事業者等の給付の適正化 出 内 ① お道監査の実施										込み F度比)
			ザービス事業有等の紹行の週上化 ビスの質の確保と向上を図ることを 事業者の指道監査を行う										H31 年度	継続
	概要												H32 年度 H33	継続
							方向性	ýn/ v±	事業費	0.1	ち市負担分	1.0	年度 H34	継続
	担当課	部名	健康福祉部	課名	福祉	·抬道	(対前年度比)	継続会計区分	(百万円)	2.1   · 一般	事業区分	1.8	年度ソフ	継続 
II.	又組	1-6-2							,	/4X	<b>平木</b> 匹刀			
6	事業名		民健康保険料収納				-, -,							
			- COCACPINISC   DOM	, , , , , , ,										七白州
									ロールセン	ターによる	5早期納付	動奨	事業の の見 (対前 <sup>4</sup>	込み
	目的 及び	国民健康	₹保険事業財政の安定 ₹保険料収納率向上を	図るため	か、納	H 30 年	<b>内</b> 容 ②報奨 ③コン!	金支給屋 ゴニ収納	逐止 開始	<i>/</i> ターによる	5早期納付額	動奨	の見 (対前4 H31 年度	込み F度比) 継続
		国民健康		図るため	か、納		<b>内</b> 容 ②報奨 ③コン!	金支給房	逐止 開始	<i>タ</i> ーによる	5早期納付約	動奨	の見 (対前 <sup>4</sup> H31	込み F度比) 継続 継続
	及び	国民健康	長保険料収納率向上を	図るため	か、納	30 年	内容 を行う。 ②報奨 ③コンピ ④マル	:金支給房 ごニ収納  チペイメ:	<ul><li>● 上</li><li>● 上</li><li>→ 上</li></ul>	44.6	ち市負担分	動奨 	の見 (対前4 H31 年度 H32 年度 H33 年度	経続 継続 継続
	及び	国民健康	長保険料収納率向上を	図るため	か、納 る。	30 年度	<b>内容</b> を行う。 ②報奨 ③コン! ④マル	金支給屋 ゴニ収納	图上 開始 一个検討 事業費 (百万円)	44.6	.t ±8.41.\	14.6	の見 (対前4 H31 年度 H32 年度 H33 年度	込み 拝度比) 継続 継続 継続
7	及び概要	国民健康 付勧奨の 部名	を保険料収納率向上を 推進や納付手段の拡	図るため充を図れたを図れ	か、納 る。 保	30 年度	内容 を行う。 ②報奨 ③コンパ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	金支給原ご二収納チペイメ	图上 開始 一个検討 事業費 (百万円)	44.6	おおまり (百万円)	14.6	の見 対前4 H31 年度 H32 年度 H33 年度 H34 年度	込み 拝度比) 継続 継続 継続
7	及び概要担当課	国民健康 付勧奨の 部名 国目	展保険料収納率向上を 力推進や納付手段の拡 健康福祉部 民健康保険医療費	図るため 充を図 課名 等適 エ	b、納る。 保 E化事	30 年度	内容 を行う。 ② 報ンル ・ 方向性 (対前年度比) 下金課 ・ ② 会に ・ ② 会に ・ ここと ・ に ・ ここと ・ ここ	金支給解がごった。	養止 開始 ント検討 事業費 (百万円)	44.6	おおまり (百万円)	14.6	の見が H31 年32 日33 日33 日33 日34 日34 日34 日37 日37 日37 日37 日37 日37 日37 日37	込み 拝度比) 継続 継続 継続
7	及概 担 事 目及び 明 は ま ま は かび	国民健康 部名 国民民民的という 国民民 はままま 国民 はままま はんしん はんしん はんしん はんしん はんしん はんしん はんしん	展保険料収納率向上を を保険料収納率向上を が推進や納付手段の拡 健康福祉部 民健康保険医療費 医保険事業財政の安定 医保険の医療費の適正さ 、医療機関から提出さ	図るため、	か、納 保 に と に と に と た い る。	30年度	内容     方前       まで、     大方前年度比)       下金     中度比)       下金     中度比)       本金     ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	金支収イメ	<ul><li>養出</li><li>開始</li><li>小ト検討</li><li>事業費</li><li>(百万円)</li><li>計</li><li>(百万円)</li><li>(百万円)</li><li>(百万円)</li><li>(百万円)</li><li>(百万円)</li><li>(百万円)</li><li>(百万円)</li><li>(百万円)</li><li>(百万円)</li><li>(百万円)</li><li>(百万円)</li><li>(百万円)</li><li>(百万円)</li><li>(百万円)</li><li>(百万円)</li><li>(百万円)</li><li>(百万円)</li><li>(百万円)</li><li>(百万円)</li><li>(百万円)</li><li>(百万円)</li><li>(百万円)</li><li>(百万円)</li><li>(百万円)</li><li>(百万円)</li><li>(百万円)</li><li>(百万円)</li><li>(百万円)</li><li>(百万円)</li><li>(百万円)</li><li>(百万円)</li><li>(百万円)</li><li>(百万円)</li><li>(百万円)</li><li>(百万円)</li><li>(百万円)</li><li>(百万円)</li><li>(百万円)</li><li>(百万円)</li><li>(百万円)</li><li>(百万円)</li><li>(百万円)</li><li>(百万円)</li><li>(百万円)</li><li>(百万円)</li><li>(百万円)</li><li>(百万円)</li><li>(百万円)</li><li>(百万円)</li><li>(百万円)</li><li>(百万円)</li><li>(百万円)</li><li>(百万円)</li><li>(百万円)</li><li>(百万円)</li><li>(百万円)</li><li>(百万円)</li><li>(百万円)</li><li>(百万円)</li><li>(百万円)</li><li>(百万円)</li><li>(百万円)</li><li>(百万円)</li><li>(百万円)</li><li>(百万円)</li><li>(百万円)</li><li>(百万円)</li><li>(百万円)</li><li>(百万円)</li><li>(百万円)</li><li>(百万円)</li><li>(百万円)</li><li>(百万円)</li><li>(百万円)</li><li>(百万円)</li><li>(百万円)</li><li>(百万円)</li><li>(百万円)</li><li>(百万円)</li><li>(百万円)</li><li>(百万円)</li><li>(百万円)</li><li>(百万円)</li><li>(百万円)</li><li>(百万円)</li><li>(百万円)</li><li>(百万円)</li><li>(百万円)</li><li>(百万円)</li><li>(百万円)</li><li>(百万円)</li><li>(百万円)</li><li>(百万円)</li><li>(百万円)</li><li>(百万円)</li><li>(百万円)</li><li>(百万円)</li><li>(百万円)</li><li>(百万円)</li><li>(百万円)</li><li>(百万円)</li><li>(百万円)</li><li>(百万円)</li><li>(百万円)</li><li>(百万円)</li><li>(百万円)</li><li>(百万円)</li><li>(百万円)</li><li>(百万円)</li><li>(百万円)</li><li>(百万円)</li><li>(百万円)</li><li>(百万円)</li><li>(百万円)</li><li>(百万円)</li><li>(百万円)</li><li>(百万円)</li><li>(百万円)</li><li>(百万円)</li><li>(百万円)</li><li>(百万円)</li><li>(百万円)</li><li>(百万円)</li><li>(百万円)</li><li>(百万円)</li><li>(百万円)</li><li>(百万円)</li><li>(百万円)</li><li>(百万円)</li><li>(百万円)</li><li>(百万円)</li><li>(百万円)</li><li>(百万円)</li><li>(百万円)</li><li>(百万円)</li><li>(百万円)</li><li>(百万円)</li><li>(百万円)</li><li>(百万円)</li><li>(百万円)</li><li>(百万円</li></ul>	44.6 国保 、被保険 後発医薬	ち市負担分 (百万円) 事業区分	44.6 照	の見が H31 年32 年33 年33 年34 年 第 の前 H31 年 のの見が	込み F度比 継継継継継継 継継続 向みよ 大込度 機続
7	及概要 黒 名 目的	国民健康 番名 国国国目的療報 はいい おいい はい は	展保険料収納率向上を 力推進や納付手段の拡 健康福祉部 民健康保険医療費 展保険事業財政の安定 展保険の医療費の適正	図るため、	か、納 保 に と に と に と た い る。	30 年度	内容方のたつの23(対中度上の中度してして(対か柔に大方前ままりはしてことなどことなどことなどことなどことなどことなどことなどことなどことなどことなどことなどことなど <td< th=""><th>金支収イイが、金十八をお医機るのでは、一次では、金十八のでは、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次</th><th><ul> <li>養出</li> <li>開始</li> <li>→ト検討</li> <li>事業費(百万円)</li> <li>計</li> <li>費</li> <li>に</li> <li>の受診啓発</li> </ul></th><th>44.6 国保 、被保険 後発医薬</th><th>ます員担分 (百万円) 事業区分 者への内容 品の啓発・打 負者へ通知</th><th>44.6 照</th><th>の 別 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明</th><th>込み (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大)</th></td<>	金支収イイが、金十八をお医機るのでは、一次では、金十八のでは、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次	<ul> <li>養出</li> <li>開始</li> <li>→ト検討</li> <li>事業費(百万円)</li> <li>計</li> <li>費</li> <li>に</li> <li>の受診啓発</li> </ul>	44.6 国保 、被保険 後発医薬	ます員担分 (百万円) 事業区分 者への内容 品の啓発・打 負者へ通知	44.6 照	の 別 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明	込み (大)
7	及概 担 事 目及び 明 は ま ま は かび	国民健康 番名 国国国目的療報 はいい おいい はい は	展保険料収納率向上を を保険料収納率向上を が推進や納付手段の拡 健康福祉部 民健康保険医療費 に医療機関から提出さる ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	図るため、	か、納 保 に と に と に と た い る。	30年度	内容 を	金ごチ 拡 会 プ整る医機る者 が 会 検療 よっ正為に 人 大 を	<ul><li>番止</li><li>開始</li><li>財力</li><li>事業費</li><li>書</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li></li></ul>	44.6 国保 、被保険 後発医保険 で償事務委	き 市負担分 (百万円) 事業区分 者への内容 品の啓発・対 資者へ通知・ 話 に 市負担分	44.6 照	の 別 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明	込み (大)
7	及概 担 事 目及び 明 は ま ま は かび	国民健康 番名 国国国目的療報 はいい おいい はい は	展保険料収納率向上を を保険料収納率向上を が推進や納付手段の拡 健康福祉部 民健康保険医療費 に医療機関から提出さる ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	図るため、	が、納 保 上 に に に に に に に に に に に に に	30年度 険 半 H 30年度	内容     内容       たつ。     (対)       方前     (対)       下金     (対)       内容     (対)       大方前     (1)       (2)     (3)       (3)     (4)       (5)     (3)       (4)     (4)       (5)     (4)       (6)     (4)       (7)     (4)       (8)     (4)       (8)     (4)       (8)     (4)       (8)     (4)       (8)     (4)       (8)     (4)       (8)     (4)       (8)     (4)       (8)     (4)       (8)     (4)       (9)     (4)       (8)     (4)       (9)     (4)       (9)     (4)       (9)     (4)       (9)     (4)       (9)     (4)       (9)     (4)       (10)     (4)       (10)     (4)       (10)     (4)       (10)     (4)       (10)     (4)       (10)     (4)       (10)     (4)       (10)     (4)       (10)     (4)       (10)     (4)       (10)	金支収イイが、金十八をお医機るのでは、一次では、金十八のでは、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次	産止 開州 開州 開州 開州 開州 開州 開州 開州 開州 開州 開州 開州 開州	44.6 国保 、被保険 後発医保険 で償事務委	お市負担分 (百万円) 事業区分 者への内容 品の啓発・対 (首者へ通知・	44.6 照 単する 27.4	の 別 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明	这

C	事業名	<b>/</b> 共二	上健康診査事業														
8	尹禾石	村人	比埃尿的宜事表														
			医療の確保に関する 4歳の市国保被保険者													の見	)方向性  込み  年度比)
	目的	を実施す	る。糖尿病等の生活習めに、メタボリックシント	関情病の	発症	H 30	内容	①特定	健康診	査の	実施					H31 年度	継続
	及び 概要		群を減少させるよう保修 を抽出する。	建指導を	心要	年度										H32 年度	継続
		【関連取	組:1-5-1 健康づくりの	の推進】												H33 年度	継続
								方向性 対前年度比)	継続		業費 万円)	120.8		市負担分 万円)	1.2	H34 年度	継続
	担当課	部名	健康福祉部	課名	保	:健!	医猩	茶課	会計区	分		国保		事業区	分	ソフ	<b>١</b>
9	事業名	特別	定保健指導事業														
		リックシン ら生活習	診査の結果から抽出さ ドローム該当者・予備 慣の課題を認識し、行	群の人z 動変容	び、自 と自己						<b>青報提</b>	供、動機	そづり	け支援、	積極	の見	方向性 込み 年度比)
	目的 及び	できるよう	い、健康的な生活を維専門職による支援を行	<b>すう。また</b>	二、健	H 30 左	内容	的支援 ②生活	習慣病	重症		方のため	、伢	<b>?健師等</b>	による		継続
	似女		のうち、生活習慣病重 医療にかかっていない			年度		訪問指	特なとり	ク夫の	地					H32 年度 H33	拡充
		.,	ュ。 俎:1-5-1 健康づくり <i>0</i>	の推進】			_	方向性	ýnk ý <del>ci</del> :	事	業費	01.0	うち	市負担分	0.0	年度	継続
							(文	前年度比)	継続	(百)	万円)	21.3		万円)	0.2	年度	継続
	担当課	部名	健康福祉部	課名		·健图	医阴	条課	会計区	分		国保		事業区	分	ソフ	<u>۲</u>
10	事業名	~)	レスアップいばらき	推進事	業												
		市国保被	<b>6保険者の健康寿命の</b>	延伸及	び医			①土产	<b>∌∧ ⇒⁄- ⊊</b> h:	将()	、ガセ	勧奨以タ	in on	<del>                                    </del>	<b>\</b>	の見	方向性 込み 年度比)
	目的 及び	等を活用	化を図るため、レセプした「データヘルス計画	画」を策	定し、	H 30	内容	②医薬	連携に	よる精	唐尿病	性腎症	重症	[化予防		H31 年度	継続
	概要		づいた施策及び事業		する。	年度			10,100	1.71		yy	IV/C			H32 年度	継続
		【関連取為	組:1−5−1 健康づくりの	り推進】												H33 年度	継続
								方向性 <sup>打前年度比)</sup>	継続		業費 万円)	14.9		市負担分	0.0	H34 年度	継続
	担当課	部名	健康福祉部	課名	保	:健물	医猩	<b>寮課</b>	会計区	分		国保		事業区	分	ソフ	<u>۲</u>
11	事業名	人間	引ドック等助成事業	<u>.</u>													
		の早期発	7保険者の生活習慣病 5見・早期治療につなけ	、人間	н	内	1 (1) 40 a	7.4 歩の	七十	士园//	ᄝᅓᄰᄱ	> <del>*</del> *	の1間に	<b>`.</b> , Д.	の見(対前な	方向性 !込み 年度比)	
	及び	ドック・脳ドックの助成を実施し、被保険者の健康保持増進並びに医療費の適正化を図る。						1040~ 脳ドック				保被保険 布	(1日)	・ノハ印』「	· ツク・	H31 年度 H32 年度	継続継続
		【関連取締	祖:1-5-1 健康づくりの												H33 年度	継続	
							方向性 前年度比)	継続		業費 万円)	25.5		市負担分	0.3	H34 年度	継続	
	担当課	部名	健康福祉部	課名	保	:健區	医猩	<b>奈課</b>	会計区	分		国保		事業区	分	ソフ	<u> </u>

12	事業名	国巨	民健康保険システム	ムパック	ケージ	導	入事業							
		要末 声は	:、「市民サービスの向」	上山行	<b>か</b> 奴弗								事業の の見 (対前年	
	目的及び	の削減」「する情報	行政内部事務の効率 システム最適化事業に	化」を目 こおいて	l的と 、国保	H 30 年	<b>内</b> 容 ①システ	テムリリー	ス				H31 年度 H32	-
	概要		り再構築を行う。(H28 は稼働予定)	∼Н29ӵ	<sup>算</sup> 入作	度						-	年度 H33	
							方向性(対前年度比)	完了	事業費	0.0	うち市負担分	0.0	年度 H34 年度	-
	担当課	部名	健康福祉部	課名	保	:険 <sup>左</sup>	F金課	会計区分		国保	事業区分		ソフ	<u></u>
I	文 組	1-6-3	後期高齢者	医療制	制度の	安	定的な運	営			<u> </u>			
13	事業名	後其	明高齢者医療保険	料徴』	又事務	事	業							
		①電話による納付勧奨 ②臨戸訪問によるきめ細やかな納付相談 ※期京齢者医療保険制度の円滑な運用のた。 H 内 ③財産調査を行い、十分な収入や資産がある者に										事業の の見 (対前年	込み	
	目的 及び	物 後期高齢者医療保険制度の円滑な運用のた 30 財産調査を 30 容 対しては速や								分の実施	拖		H31 年度	継続
	概要		みや対応を行う。	141 M L C (		年度	(4)保険 奨	料の納付	けについて	C、口座技	辰替での納付?	を勧	H32 年度	継続
							+ <b>5</b> #		事業費		=+ + <del>4 + 4 + 1</del> + 1 + 1 + 1 + 1 + 1 + 1 + 1 + 1 +		H33 年度 H34	継続
							方向性 (対前年度比)		(百万円)	9.4	(日万円)	9.2	年度	継続
	担当課	部名	健康福祉部	課名			F金課 -	会計区分	3	高齢	事業区分		ソフ	
	文組	1-6-4	四24十並が		当及•□	<b>学</b>	Ě							
14	事業名	国 国 国	尺年金普及啓発事	·莱 ———										
		①日本年金機構との協力・連携による国民年金制 度の普及・啓発や年金相談事業などの実施										事業の の見 (対前年	込み	
	目的 及び	制度の普	機構との協力・連携に及・啓発や年金相談	事業など	を行う	H 30	②取得	•喪失等	、平並作 各種届出 ≤金相談の	の受付			H31 年度	継続
	概要		受給権確保のため、耶 受付を行う。	マ得・喪力	失等各	年度		業務の一		. / \/B	72V H		H32 年度	継続
									市光忠		74 + 4 M / 1		H33 年度	継続
		方向性 (対前年度比)     拡充     事業費 (百万円)     14.7     うち市負担分 (百万円)     0.0									0.0	H34 年度	継続	
	担当課	部名	健康福祉部	課名	保	:険 <sup>£</sup>	F金課	会計区分	}	一般	事業区分		ソフ	<u> </u>

# 【まちの将来像2】

次代の社会を担う子どもたちを育むまち

まちの将来像	2	次代の社会を担う子どもたちを育むまち
施策	2-1	すべての子どもの育ちを支援する
施策の 方向性		育成支援行動計画に基づき、すべての子ども・家庭の状況に応じた切れ目のない支援を行うことにより、子ど やかな育ちを保障するとともに、安心して子育てできる環境を整えます。
	1	★ 子どもの健やかな育ちを等しく支援
	2	★ 子育て支援サービスの提供
取 組	3	★ 幼児教育と保育の質と量の充実
★:重点プラン	4	
該当取組	5	
	6	
	7	

		7																
2 :	実施計画	<u> </u>	ı								*	:重点	プラン記	亥当」	取組、②	重点	プラン該	当事業
I	反 組	2-1-1		★ 子どもの健・	やかな	育ちる	を等	٠ ا	く支援									
1	事業名	⊚こと	` <b>&amp;</b> [	医療費助成事業	<b>E</b>													
																	の見	方向性 ,込み 年度比)
	目的 及び			医療費の一部を助 )健全な育成に寄り			H 30 年	内容	こども医 実施	医療費助	成対	付象を1	12歳から	515点	歳に拡え	てして	H31 年度	継続
	概要	祉の向上	:をB	図る。			度										H32 年度	継続
									<b></b> 10		<b>.</b>	· ** #					H33 年度	継続
			I						方向性 前年度比)	拡充		漢費 万円)	1115.7		市負担分	1026.6	H34 年度	継続
	担当課	部名		こども育成部	課名	2	どもi	政策	き課	会計区	分	-	一般		事業区	分	ソフ	<u>۲</u>
2	事業名	◎大学	学奖	学金利子補給	事業													
									授学全	市に居住の利子名							の見(対前4	方向性 ,込み 年度比)
	目的 及び	とともに、		の奨学金返済の負 者の本市への流入。			H 30 年	内容	<ul><li>既給付</li><li>新規局</li></ul>	寸決定者 な募者へ	·への ・予算	の継続	給付			1 30	H31 年度	継続
	概要	する。					度		②事業	周知物位	作成	Ž					H32 年度 H33	継続
								_	<del>-</del> +4-		古	***	I		- 7 II A		年度 H34	継続
			I						方向性 <sup>前年度比)</sup>	継続		(	12.0		市負担分 万円)	12.0	年度	継続
	担当課	部名		こども育成部	課名	<u> </u>	どもi	政策	受課 一	会計区	分	-	一般		事業区	分	ソフ	۲
3	事業名	児重	<b></b>	達支援センター	一事業													
									施	児を対象の障害が							の見	方向性 ,込み 年度比)
				爰センターとして、 爰サービスや地域村			H 30	内容	の訪問	による地 上を目打	域	支援を	実施し、	また			H31 年度	継続
	概要			し、子どもの健全な			年度			相談等の					をに伴う	体制	H32 年度	継続
													Т				H33 年度	継続
						Г		フ (対	<b>方向性</b> 前年度比)	継続		業費 万円)	68.5		市負担分	0.0	H34 年度	継続
	担当課	部名		こども育成部	課名	子	育て	支担	爰課	会計区	分	-	一般		事業区	分	ソフ	<u>۲</u>

4	事業名	月音	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・														
•		·	<u> </u>				池	央定を行	発達支援 行う。(利り と見込む)	用者数						の見	方向性 ,込み 丰度比)
	目的	営むこと	自立した日常生活又の ができるよう、児童福祉	法に基	づく障	H 30	内灾	行う。	こ応じ、陥					相談	支援を	H31 年度	継続
			「支援及び障害児相談 、もって障害児の福祉 りとする。			年度	(	<ul><li>4計画</li><li>5金に</li></ul>	見相談支 目談を普加えて、神 でいるのよ	及させ 甫助金	せるため を額の見	事業所・ 見直しを含	への補助 含め、計i			H32 年度 H33	継続
							方「	向性 年度比)	継続	事美	* 弗	1001.3	うち市負担		303.9	年度 H34 年度	継続継続
	担当課	部名	こども育成部	課名	子	育て	支援	課	会計区			一般		業区	分	ソフ	<b> </b>
5	事業名	乳丝	力児療育支援事業														
		びその置 効果的な 方う。また 支援 さら 変援 を継	問がある乳幼児の身体かれている環境に応じ療育(児童発達支援等に、原育が必要な乳幼りにつなぐため親子ひる、地域で孤立すること続するため療育終了後本制をとる。	て適切 事業)や 見を児童 ろばを実 なく連続	かつ 相談を	H 30 年度	内容	D施②電話を選集をできる。に面発に、100mmのでは、1	親子教室、不接達課 、実課題のある。	る親子( る乳幼ロ) シタリカ を別の の の の の の の の の の の の の の の の の の の	児をもつ [) 風】 への個別	O保護者の 別療育を領 る療育が必	)方対象の 実施する 公要な児童	の相影	の実施	の見	方向性 込み 手度比) 継続 継続
								<b>向性</b> 年度比)	拡充		業費 万円)	52.0	うち市負担		27.6	H34 年度	継続
	担当課	部名	こども育成部	課名	子	育て	支援	課	会計区	分	-	一般	事	業区	分	ソフ	<u>۲</u>
6	事業名	児重	置虐待防止事業										·				
									市要保					)円剂	骨な運	の見 (対前4	方向性 ,込み 年度比)
			の予防、早期発見、迂び支援を行い、重症(			H 30	容(	2)養育	系機関と 支援訪!	問事	業の実	<b></b> 延施			<del>1</del> ← △+	H31 年度	継続
			虐待の防止を図る。			年度		3)ナと	も家庭総	念官文	乙抜拠	尽の設	直につい	<i>,</i> , (	使剖	H32 年度	継続
								- <b>-</b>		古	<b>坐</b>		- L 7.1	<b>5</b> ()		H33 年度	継続
							(対前:	<b>向性</b> 年度比)	継続		業費 万円)	10.1	うち市負担		5.0	H34 年度	継続
	担当課	部名	こども育成部	課名	子	育て	支援	課	会計区	分	-	一般	事	業区	分	ソフ	<u> </u>
7	事業名	<b>以</b>	子•父子福祉事業					D7N上N	親自立	* 支援	経員に	トス相談	•情報 <b></b>	見仕.	• 白 ☆		
								の援助 ②ひと! ③自立	)親のた 支援給	めの 付金(	法律相 の支糸	目談				の見(対前名	方向性 ,込み 年度比)
	目的 及び 概要	母子、寡 祉の増進	婦及び父子家庭の自 を図る	立の援助	助と福	H 30 年度	容 (	- (情報3 ⑤母子	)親家庭 を換)事 家庭等 )親家庭	業 総合	対策総	給合支援		生	古文援	H31 年度 H32 年度	継続継続
						.~	C		·生活支				5ブロッ	クタ	体制で	H33 年度	継続
								向性	VIII V-t:	事訓	業費	30.6	うち市負担	旦分	10.7	H34	継続
								年度比)	継続	(百)	万円)	30.0	(百万F		12.7	年度	// 124//20

8	事業名	子育	育て支援総合センタ	ター機	能のチ	艺美	<u> </u>									
		公立保育	「所が地域の子育ての	拠点に	立置付					ンターと連	☑携し子	育て	世代包	括支	の見	方向性 込み 拝度比)
	日的	けられる	こあたり、地域で行うべ として行うべきことを整ま	きこと、	総合	H 30	内容	②公立	を実施す保育所で	への一部	事業移行	· の村	負討		H31 年度	継続
	及び 概要	に関する	あらゆる情報を収集し、 ィネートを行うなど機能	、必要に	応じ	年度				ネウボラ」の 支援拠点と		を検	討		H32 年度	継続
		る。													H33 年度	継続
								方向性 対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	0.0		市負担分 「万円)	0.0	H34 年度	-
	担当課	部名	こども育成部	課名	子育	育て	支	援課	会計区	分	一般		事業区	分	ソフ	<b>k</b>
9	事業名	ひと	り親家庭医療費助	<b>力成事</b>	業											
								1.10字形	7以2面(空)	こかかる保		定怯	変典の集	李白	の見	方向性 込み 拝度比)
			家庭に対し、医療費の- い、生活の安定と児童			H 30	内容	コム扣		一部自己負					H31 年度	継続
		を図る。	り、生色の女匠と児童	ツ)(民土)	な月八人	年度		2.197110							H32 年度	継続
															H33 年度	継続
								方向性 対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	173.8		市負担分 「 <b>万円</b> )	87.7	H34 年度	継続
	担当課	部名	こども育成部	課名	28	Ľŧī	政策	策課	会計区	分	一般		事業区	分	ソフ	<b>F</b>
10	事業名	◎ 就	学・修学に伴う支援	事業				_								
		経済的理	∄由によって就学困難と	:認めら	れる児					支給事務 就学奨励፺	ᄟᆂᄽᆄ	i zkr (	(立口) 产	旧本	の見	方向性 込み 拝度比)
	目的 及び	部からの	対する就学援助費等 バス通学児童生徒に対	けする通	学費	H 30	内容	生徒学		支給額の変		竹为(	オリハ子	・ゾム里・	H31 年度	継続
	概要	により、参	行うなど、各種費用を な育の円滑な実施に資	支給する すること	ること :を目	年度				#4 <del>33</del> <b>鱼学費補</b> 助	事業				H32 年度	継続
		的とする。													H33 年度	継続
								方向性 対前年度比)	継続	事業費	295.1		市負担分 「 <b>万円</b> )	282.8	H34 年度	継続
	担当課	部名	教育総務部	課名		学科	务訓	果	会計区分	分	一般		事業区	分	ソフ	<b>h</b>
11	事業名	こと	も食堂補助事業													
		広く子ど	ら達に家庭的な雰囲気	の食事	を提		_	(D > 184	<b>企</b> 坐空	24 <del>1  </del>					の見 (対前 <sup>4</sup>	方向性 込み 拝度比)
		供するこ	とに加え、学習や交流 る団体を支援すること	の場など	ごの確	H 30 左	内容		食堂運衛生責任	宮舗切 壬者養成記	冓習会受	講	費用補助	助	H31 年度	継続
	概要	運営に寄	:与するとともに、子ども !期発見のきっかけとす	達が抱		年度									H32 年度	継続
				- 0						- dr - th	1				H33 年度	継続
								方向性 対前年度比)	継続	事業費	0.9		市負担分 「 <b>万円</b> )	0.9	H34 年度	継続
	担当課	部名	こども育成部	課名		ĽもI	政策	策課	会計区分	分	一般		事業区	分	ソフ	<b>F</b>

			,, ,, ,, , , , , , , , , , , , , , , ,														
12	事業名	次廿	世代育成支援	行動計	迪事業												
		安心して	子どもを生み育~	て、すべて	ての子ども			2:2 t	市次世 <sup>。</sup> 育成支							の見	方向性 込み F度比)
	目的		に育つことのでる ため、5年を1期					<mark>カ</mark> 営 図少子	かみ等.	車業						H31 年度	臨時 拡充
	及び 概要	代育成支	援行動計画」を	策定する	。また、「ネ	英 年		④(臨)	<b>芡木市</b> 涉	大世代		て援行!	動計	·画(第4	1期)	H32	継続
	176.5	木市次世 を行う。	上代育成支援行動	動計画」の	進行管理	度度		の策定	(ニーズ	調査)	)					年度 H33	
		C1170														年度	継続
							(	方向性 対前年度比)	臨時 拡充	事業 (百万		11.5		5負担分 万円)	11.5	H34 年度	継続
	担当課	部名	こども育成部	部調	果名 .	こども	政	策課	会計区	分	_	·般		事業区	分	ソフ	<b>,</b>
耳	文 組	2-1-2	★ 子育で	支援サ	ービスの	D提	供						•		•		
13	事業名	◎ 子育	育て総合案内	(利用者	針支援)	事業											
		子どもが	健やかに成長す	ることがて	できる地域			①保健 援事業	医療課」と連携							の見	方向性 込み F度比)
	目的		ミ現に寄与するた ・・、または妊娠し <sup>・</sup>					内 子育で								H31 年度	継続
	及び 概要	に基づき	多様な教育、保 多様な教育、保 事業等を円滑に	育施設、	地域の子	年			合アプリ	JIVV						H32 年度	継続
		な支援を		-/"J/IJ C C	このみりんけ			IZ IH TK	V/ )L ID 0							H33 年度	継続
							(:	方向性対前年度比)	拡充	事業		2.9		5負担分 万円)	1.0	H34 年度	継続
	担当課	部名	こども育成部	部調	果名 -	子育で		泛援課	会計区			·般		事業区	分	ソフ	
14	事業名	⊚ 一月	└─── 寺保育・出前型	型一時仍	呆育事業	<u> </u>											
									センター 拠点(ひ								方向性 込み F度比)
	目的		保育が困難な乳			H 30	_	施する。	)	,	. ,,,				•	H31 年度	継続
	及び 概要	で、保護を促進さ	者の育児負担の せる。	軽减及ひ	「社会参加	年度		②新設	で公募 <sup>*</sup> を働きか		かりけ(/)	仏場に	_—⊭	守頂刀刈	り争業	H32 年度	継続
						IZ.										H33	継続
							-	方向性	継続	事業		58.6		<b>市負担分</b>	28.3	年度 H34	継続
	担当課	部名	こども育成部	±ı7 <b>≡</b>	<b>果名</b> -	ム苔で		対前年度比)	会計区	公百万	) H)	·般	百	万円) 事業区		年度ソフ	
15	事業名		この形成		К-Ш	1 11 (			Ane	/,		ЛХ		7 7 1	/		
10	尹未石	● <b>丁</b> ⊧	月、広州又仮	尹未													
			病気や仕事の理			_		. ①子育	て短期	支援事	事業(ト)	フイラィ	小ス	テイ、シ	/a	の見 (対前 <sup>4</sup>	方向性 込み F度比)
	目的 及び	が経済的	至で養育が困難と 1問題等により緊?	急一時的	」に保護を			ステイ)	を引き終委託先	売き実	施			, , ,		H31 年度	継続
	概要	必要とす	る場合に、児童教 、養育・保護の確	養護施設	にて一定	年		6文人	女礼兀	マノ州が	口で19月	11900	>			H32 年度	継続
		上を図る			•											H33 年度	継続
							(:	方向性対前年度比)	継続	事業		1.0		5 万円)	0.5	H34 年度	継続
	担当課	部名	こども育成部	部調	果名 -	子育で		泛援課	会計区			·般		事業区	分	ソフ	<u> </u>
			<u>I</u>														

16	事業名	産前	前・産後ホームヘル	ノパー	派遣事	工業									
		***** ****	※ とおまて 点 炊 のよう	いっぱま	である									の見	方向性 ,込み 年度比)
	目的	児が困難	後に体調不良等のため な家庭や、多胎児を出 ヘルパーを派遣し、家	出産した	家庭	H 30	内容		<ul><li>産後オ</li></ul>	<b>バームヘル</b>	パー派注	豊事業を引	き続き	H31 年度	継続
			ず児の軽減を図り、保護			年度								H32 年度	継続
		C FI 190 )	0											H33 年度	継続
					Г			方向性 前年度比)	継続	事業費	4.5	うち市負担分(百万円)	3.4	H34 年度	継続
	担当課	部名	こども育成部	課名		育て	支担	爰課	会計区	分	一般	事業区	区分	ソフ	<u>۲</u>
17	事業名	おと	出かけ版お楽しみ』	広場事	業										
		進れが与	軽に立ち寄れる商業が	な砂の態	ませんつ									の見	方向性 ,込み 年度比)
	目的	ペースに	型に立り前れる商業が 出向き、子育て親子が ことで、子育て情報を	楽しめ	るイベ	H 30	内容	1. 42.4			きりやすい	いところに出	信き	H31 年度	継続
			場所の周知を図り、子 <sup>-</sup> 経減を図る。	育て不多	安や負	年度								H32 年度 H33	継続
							_	方向性		事業費		うち市負担分		年度 H34	継続
			. 222				(対	前年度比)	継続	(百万円)	1.6	(百万円)	0.0	年度	継続
	担当課	部名	こども育成部	課名				爰課 -	会計区	分	一般	事業区	Ӡ分	ソフ	<u> </u>
	組	2-1-3	X 33503X11C					<b>注</b>							
18	事業名	◎ 公立	立幼稚園の認定こ	とも園	連名 争	事業								の見	方向性
	- Ab		の学校教育・保育の総 ・機児童の解消を図るが			Н	内	①英士	•垣井•	ਜ਼•★田•	水层韧带	ぎこども園の	進令	H31	継続
		需給状況	『媛儿童の解析を図る』 『等も勘案し、認定こど 『実情に応じた公立幼稚	も園化を	と含め	30 年	容		ТШЛТ		/JV/EBIDA	ECC OMV	建百	年度 H32	継続
		ていく。	)(III)(=)(II)(=1)()(II)	<b>в</b> щ с х		度								年度 H33	継続
								方向性 前年度比)	継続	事業費 (百万円)	269.2	うち市負担分 (百万円)	154.1	年度 H34 年度	継続
	担当課	部名	こども育成部	課名	保育	幼稚	園	総務課	会計区	分	一般	事業区	≤分	ソフ	<u>۲</u>
19	事業名	◎ 地址	域型保育事業							·		·	·		
														の見	方向性 ,込み 年度比)
	目的 及び 概要	く対応で	おける多様な保育ニー きる、質の確保された() 成長を支援する。			H 30 年度	内容	①待機	児童の	状況により	、必要に	に応じて実力	拖。	H31 年度 H32	継続継続
		, ,				及								年度 H33 年度	継続
														一十八又	l
								方向性 前年度比)	継続	事業費 (百万円)	0.0	うち市負担分 (百万円)	0.0	H34 年度	継続

20	事業名	◎ 公立	 対保育所の機能と行	役割充	実事	 業								
									業の実施				の見	方向性 ,込み 年度比)
			育所の機能と役割を拡援の拠点として整備を ほな行う			H 30			事業との連 事業の実施				H31 年度	継続
	及び 概要		€€117。 且2-2-02子育て支援の	)輪づく	<b>1</b> 07	年度							H32 年度	継続
				1110					<b>吉</b> **	1 1	***		H33 年度	継続
			>>> 1: b !::				方向性 (対前年度比)	継続	事業費(百万円)	0.9	うち市負担分	0.9	H34 年度	継続
	担当課	部名	こども育成部	課名			園総務課	会計区分	分	一般	事業区	分	ソフ	<u> </u>
21	事業名	◎ 公∑	立幼稚園の認定こる 	ども園	化事業	€(/	ハード)							
		分月期	の学校教育・保育の総	会的な	提供と								の見	方向性 ,込み 年度比)
		保育所待需給状況	機児童の解消を図るためによるという。	ため、将も園化を	来の	H 30 左	内 ①保育 園)	室を給食	食室への改	<b>と</b> 修工事	実施(茨木	幼稚	H31 年度	-
	概要	て地域の ていく。	実情に応じた公立幼科	性園を運	屋営し	年度							H32 年度	-
									古光忠		7 A. I. O.		H33 年度	-
							方向性(対前年度比)	完了	事業費	72.0	うち市負担分	7.2	H34 年度	-
	担当課	部名	こども育成部	課名	保育组	力稚	園総務課	会計区分	分	一般	事業区	分	ハー	ド
22	事業名	◎ 待榜	幾児童保育室設置	•運営	事業									
													の見	方向性 ,込み 年度比)
	目的 及び		童の解消・保育の受入 、待機児童保育室を設			H 30			育室みらい 育室あゆみ				H31 年度	継続
	概要	<b>さ。</b>	、竹城儿里休月主で以	(国"))	<b>5</b> 9	年度							H32 年度	継続
													H33 年度	継続
							方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	151.0	うち市負担分 (百万円)	129.9	H34 年度	継続
	担当課	部名	こども育成部	課名	保育组	力稚	園総務課	会計区分	分	一般	事業区	分	ソフ	<u>۲</u>
23	事業名	◎ 施記	2型及び地域型給	付対象	象施設	:認:	定•給付事	事務事業	業					
			R育の利用を希望する 申請に基づき、教育・f								)保護者に 要性を認定		の見	方向性 ,込み 年度比)
	目的 及び	(利用時	甲頭に塞っさ、教育で 間)を認定するとともに 必要な費用の給付を行	、教育・	保育	H 30	定証又	は通知書	書を発行し	送付	用に必要な	•	H31 年度	継続
	概要	「一人ひる	とりの子どもが健やかに 社会の実現に寄与する	に成長す	ること	年度	の給付		- 1301	1. D 324A	/ H ( - 石 · 女 ' c	· X / II	H32 年度	継続
		する。		,					<b>—</b> 40 44				H33 年度	継続
				_			方向性 (対前年度比)	継続	事業費	6103.8	うち市負担分	2175.8	H34 年度	継続
	担当課	部名	こども育成部	課名	保育组	力稚	園事業課	会計区分	分	一般	事業区	分	ソフ	<u>۲</u>

24	事業名	○性日	川保育拡充事業											
24	尹木竹	● 1寸 <i>/</i> .	"小月邓儿ず禾 —————										車業の	七白州
		<b>促</b> 謹考	の就労形態の多様化ん	に伴い	多様				所の実施 か所の実				の見	方向性 ,込み 年度比)
	日的	な保育ニ	ーズへの対応が求めら ともが急に病気になった	うれてい	ること	H 30	内 ③休日容 ④訪問	保育1カ	所の実施		Lか所)		H31 年度	拡充
	及び 概要	に仕事等	で保育が困難となった 預けることができる環	た場合に	も保	年度							H32 年度	継続
		で、子ど	・子育て支援を総合的	内に推進	生する。								H33 年度	継続
							方向性 (対前年度比)	拡充	事業費 (百万円)	42.2	うち市負担分 (百万円)	23.5	H34 年度	継続
	担当課	部名	こども育成部	課名	保育组	力稚	園事業課	会計区	分	一般	事業区	分	ソフ	<b>١</b>
25	事業名	◎ 幼稚	性園等一時預かり(	(預かり	(保育)	事	業							
							(1)₹₩ 🕏	三 (31 三	ルナッ国・	지나 남	<b>ナエデル</b> 連	∵ <b>₩</b> .⊁.	の見	方向性 ,込み =度比)
	目的 及び		稚園で一時預かり(預 とにより、保護者のニー			H 30	本格実		こども園イ		充モデル事 幼稚園につ		H31 年度	継続
		支援を行		> (CV)	,L.O/C	年度	14, 50	TCHA					H32 年度	継続
										1			H33 年度	継続
							方向性 (対前年度比)	継続	事業費	26.5	うち市負担分 (百万円)	5.6	H34 年度	継続
	担当課	部名	こども育成部	課名	保育组	功稚	園事業課	会計区	<del>分</del>	一般	事業区	分	ソフ	<u> </u>
26	事業名	保育	育所·幼稚園職員等	等の研	修事業	<b>E</b>								
													の見	方向性 ,込み 年度比)
	目的 及び		保育や人権保育に関っ いて、最近の知識や情			H 30		児保育、 る研修を		等、職員	員のスキルフ	アップ	H31 年度	継続
			ルアップに資する。	H TK C T	F C \ 194	年度							H32 年度	継続
										T			H33 年度	継続
							方向性 (対前年度比)	継続	事業費	1.2	うち市負担分 (百万円)	1.2	H34 年度	継続
	担当課	部名	こども育成部	課名	保育组	力稚	園総務課	会計区	分	一般	事業区	分	ソフ	<u> </u>
27	事業名	私立	立保育所等の建設 	補助										
									d0.00				の見	方向性 ,込み 年度比)
	目的 及び 概要	員増を見	している私立保育所等 .込める建替えに対して 近の解消を含めた保育!	「補助を	行い、	H 30 年度	内①私立	保育所等	等の建替、	増築に付	系る整備費	の補	H31 年度 H32 年度	継続継続
													H33 年度	継続
							方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	1168.4	うち市負担分 (百万円)	130.2	H34 年度	継続

00	古光夕	世	上去去但去正只学	小中子	¥-									
28	事業名	次/	<b>卜市立保育所民営</b>	715一十字	Ħ.									
			・効果的な保育所運営 保育園の柔軟性や即の					14-2/- 4	- FF #U (	alah bi	tit Wilm I		の見	方向性 ,込み 年度比)
	- 45	し、地域で	で求められる保育ニー	ズに柔輔	吹に対	H 30	津·玉	島)	の開催(ト) 評価の実施	. –	训·道祖本	•甲	H31 年度	縮小
	概要		年4月下穂積·鮎川保			年度		化学未同	一川 ツ 大 川	r.			H32 年度	完了
		年4月迫 島保育所	祖本·中津保育所、平 f)	成28年	4月土				+ * *				H33 年度	-
							方向性 (対前年度比)	縮小	事業費	0.5	うち市負担分	0.5	H34 年度	-
	担当課	部名	こども育成部	課名	保育组	力稚	園総務課	会計区	分	一般	事業区	分	ソフ	<u>۲</u>
29	事業名	心理	里判定員配置事業											
			に幼稚園・保育所・認え						ř所・認定ご 期的な巡回		や地域型保	育事	の見	方向性 ,込み 手度比)
	及び	る児童の	と育事業施設を巡回し、 行動観察や保護者・暗	銭員への	面談、	H 30 年	容②保護		員への面診		iや指導助言	î	年度 H32	継続
	概要		を行うことで、すべて <i>0</i> を送れるようにする。	り児童か	<b>汝心</b>	度	の元旦	:1火 . <b>旦.</b> マフラ	<del>之</del> 加				年度 H33	継続
							方向性	今かりを主	事業費	00.0	うち市負担分	15.0	年度 H34	継続
						-	(対前年度比)	継続	(百万円)	22.3	(百万円)	15.3	年度	継続
	担当課	部名	こども育成部	課名	保育组	力稚	園総務課	会計区	分	一般	事業区	分	ソフ	٢
30	事業名	保育	育所·幼稚園営繕 哥	事業										
								:保育所• 斤)(20.0)		忍定こど	も園の維持	補修	の見	方向性 ,込み 年度比)
	目的		育所・公立幼稚園の施			H 30	<b>2</b> ②公立	保育所	の施設改修 の施設改修				H31 年度	継続
			に入所・入園児童の保 に実施することを目的		:(グ)連	年度					一(内部設計	)	H32 年度	継続
													H33 年度	継続
							方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	125.0	うち市負担分	20.5	H34 年度	継続
	担当課	部名	こども育成部	課名	保育	力稚	園総務課	会計区	分	一般	事業区	分	ハー	ド
31	事業名	小夫	見模保育施設整備	運営	事業									
													の見	方向性 ,込み 丰度比)
	目的 及び		童解消のため、0歳から して公立の小規模保育			H 30	内 ①小規	模保育店	施設の運営	1			H31 年度	継続
		運営する		3 20世界人	正岬	年度							H32 年度	継続
									± ** :**				H33 年度	継続
							方向性 (対前年度比)	継続	事業費	39.1	うち市負担分	2.5	H34 年度	継続
	担当課	部名	こども育成部	課名	保育	力稚	園総務課	会計区	分	一般	事業区	分	ソフ	<b>١</b>

32	事業名	私立		受入事	事業(新	折規	逍	加)							
			・ 育事業所卒園児など	-										の見	方向性 込み 拝度比)
	及び	受入先が 受け入れ れを確保	、自事来が午園れなど、 課題となっており、私ご を促進することで、3歳 するとともに、待機児重	立幼稚園 見の受	園への :け入	H 30 年度	内容	①補助	の執行					H31 年度 H32 年度	継続継続
		る。						方向性		事業費	0.4	うち市負担分		H33 年度 H34	継続
	10 W ==	±n ==	~101 <del>**</del> ** ** ***		/n <del>//</del> /	L 711	(対	前年度比)	拡充	(百万円)	0.4	(百万円)	0.4	年度	継続
	担当課	部名	こども育成部	課名			遠	事業課	会計区	分	一般	事業区	≦分	ソフ	<u>۲</u>
33	事業名	私立	立保育所運営補助	金事剂	务争美										
												育給付」の 交付するこ		の見	方向性 込み 拝度比)
	目的及び	象施設•	型給付」及び「地域型保 事業者に対し、市が補 り、教育・保育の必要	助金を	交付す	H 30 年	内容	り、教育 全な育	で保育の 成を図る	の必要性の る。	の認定を引	受けた児童	重の健	H31 年度 H32	継続
	概要		の健全な育成を図る。	エッンかい <i> </i>	LEX	度		②補助	項目・補	前助内容の	)精査及び	び検討をす	<b>⁻</b> る。	年度 H33	継続
								方向性	継続	事業費	1386.5	うち市負担分	1127.9	年度 H34	継続継続
	担当課	部名	こども育成部	課名	保育组	力稚		事業課	会計区	分	一般	事業区		年度ソフ	
34	事業名	私立	立幼稚園等助成事	業											
														の見	方向性 込み 拝度比)
	目的 及び 概要	状況に応 の軽減を	育の振興の観点から、 「じた保育料とすること <sup>~</sup> 図り、すべての子ども	で経済的	り負担	H 30 年	内容			就園奨励 在籍園児		助		H31 年度 H32	継続継続
		教育を提	供できるようにする。			度								年度 H33 年度	継続
								方向性 前年度比)	継続	事業費 (百万円)	397.3	うち市負担分 (百万円)	286.4	H34 年度	継続
	担当課	部名	こども育成部	課名	保育组	力稚	園	事業課	会計区	分	一般	事業区	区分	ソフ	<b></b>
35	事業名	<b>→</b> 月	寺預かり事業												
		私立保	育所、小規模保育事業	<b>纟所、事</b>	業所									の見	方向性 込み 拝度比)
		幼稚園が が補助金	「業所、私立認定こども ぶ実施する一時預かり事 を交付することにより、	事業に対 安心し	た、市 て子育	H 30 年	内容			ー時預かり こ対応した		ることによ テラ。	り、保	H31 年度 H32	継続継続
	~		る環境を整備し、もって 図ることを目的とする。	「児童の	福祉	度								年度 H33 年度	継続
								方向性 前年度比)	継続	事業費 (百万円)	67.6	うち市負担分 (百万円)	22.5	H34 年度	継続
	担当課	部名	こども育成部	課名	保育组	力稚	園	事業課	会計区	分	一般	事業区	区分	ソフ	<b>.</b>

36	事業名	【再	掲】保幼小中連携	事業													
		キュラム」	でブロックで作成した「例 に基づき、保幼小間の を進めるとともに、小・ロ で流による授業実践。	系統的 □学校教	な保 対員の							単会議と	中学	学校ブロ	ック連	の見(対前年	方向性 込み 拝度比)
	П г ,	徒会交流	てなどにより、小1プロブ の解消を図るなど、保幺	レム・中	1	H 30	内容	携会議 ②中学				爱教員0	つ配	置(1,81	18万	H31 年度	継続
	概要	ムーズな	が解析を図るなど、体質接続と系統的な指導を  らの進路を切り拓くこと	通じて、	15歳	年度		円)								H32 年度	継続
		育成する		_v> C @	3/12											H33 年度	継続
		【関連取	組:2-3-1 「確かな学	実】			<b>方向性</b> 前年度比)	継続		事業費 5万円)	(18.3)		市負担分	(18.3)	H34 年度	継続	
	担当課	部名	学校教育部	課名	学校	教育	育推	進課	会計区	分	-	一般		事業区	分	ソフ	<b>-</b>

3 過去の実施計画期間中で完了・廃止した事業(担当部課名は事業実施最終年度の名称)

<u> </u>	四ムリラ		別的子でル 1 発血の	- 尹木 (	担当部誌名は事業美	心以心干汉	(U) 11 11/1/		1
J	反 組	2-1-3	★ 幼児教育と	保育0	質と量の充実				
E1	事業名	幼児	見教育・保育に係る	5利用:	者負担額見直し事	務事業(	H29年度事業完	E了)	
	及び	政令で定 示す基準 会へ諮問	がる額を限度とし、市 の75%と定めたが、検	町村が 証の結り 答申を	用者負担については、 定めることとされており、 果、実態は国の示す基 踏まえ、適正化を図る。 ていくこととした。	従前の保 準の70%程	育所等利用者負担 度と乖離があった。	額の考え方 これを適正	等を踏まえ、国の 化するため、審議
	担当課	部名	こども育成部	課名	保育幼稚園総務課	会計区分	一般	事業区分	ソフト
E2	事業名	私立	立保育所等防音壁	整備	事業(H29年度事業	完了)			
	目的 及び 概要		育所・認定こども園の降 5発な保育活動が実施		育を進めるため、防音量 ようになった。	達の整備費	用を補助することで	、近隣住民	との良好な関係
	担当課	部名	こども育成部	課名	保育幼稚園総務課	会計区分	一般	事業区分	ハード

一ルネの帆女		L-10 - 11 A - 10 10 1 1 1 1 10 1
まちの将来像	2	次代の社会を担う子どもたちを育むまち
施策	2-2	地域ぐるみの子育てを推進する
施策の 方向性		さまざまな人材が連携・協力し、子育てを支援することで、親子ばかりではなく世代を超えた人たちの交流の実するなど、「子育てでつながる地域社会」の実現をめざします。
	1	★ 交流の場の充実
	2	子育て支援の輪づくり
取 組	3	★ 地域の人材を活用した子育て支援
★:重点プラン	4	
該当取組	5	
	6	
	7	

		7																
2	実施計画	<u> </u>									*	▼:重点	プラン診	5当	取組、◎	重点	プラン該	当事業
	取組	2-2-1	7	★ 交流の場の	充実													
1	事業名	◎ 地填	或子:	育て支援拠点	事業													
		就学前児	童と	その保護者が気車	 そに集え	 とる場			②地域	子育で	支援	ミセンタ	一事業	を子	団体に	こやか	の見(対前4	方向性 込み 年度比)
		ちができる	る環境	成の中で安心して 竟を整備するととも て支援センターを	に、私	立保育	H 30 年度	内容	体に委 ③つど	託 いの広り	易を	新規に	2ヶ所開	設。	保育園等		H31 年度 H32 年度	拡充拡充
		て世帯に	対し	て専門的な支援を	行う。		泛		4, 72	V 107)Aş	<b></b> 一	·时頂//·	*907頁0	ソ回	上冊切り	ク夫旭	H33 年度	拡充
						I			方向性 前年度比)	拡充		業業費 (万円)	182.9		市負担分	73.3	H34 年度	継続
	担当課	部名	,	こども育成部	課名	子	育て	支担	爰課	会計区	分		一般		事業区	分	ソフ	<b>١</b>
2	事業名	◎市立	2幼	稚園子育て支	援事業	色												
									流の場 ②幼稚	とする 園は、月	∄2[	回、子育	ずて相談	室	びを通しを開設し	、保護	の見(対前4	方向性 込み 年度比)
	目的 及び			·開放し、在園児や  士の活動を通して		H 30 年	内容	③認定	こども園	でり	は、子育	育て相談	を	対応する	を子育		継続	
	概要	の交流を	図る。	,		度		みへの		司時				る子育で 心して遊		H32 年度	継続	
									場り1定	快を11]							H33 年度	継続
									<b>方向性</b> 前年度比)	継続		事業費 百万円)	0.2		市負担分	0.2	H34 年度	継続
	担当課	部名	,	こども育成部	課名	保育组	力稚	園	総務課	会計区	分		一般		事業区	分	ソフ	<b>١</b>
:	取 組	2-2-2		子育て支援	の輪つ	づくり												
3	事業名	子育	うて	支援ネットワー	ク事業	É												
		を地域の 同士のつ	中で なが	の誕生日までの乳 交流できる場を提 りのきっかけ作りと	呆護者 ご流を			て、子青	育て支援	受団,	体連絡	会を引き	き続	ックに欠き開催す の見直し	る。	の見	方向性 込み 年度比)	
	目的 及び	委員·児達	童委員	・育てに関わる機関 員等の支援者と、・	子育て	中の保	H 30	内容	い、今行	多のあり	方に	こついて	(検討行	う。	てニーズ		H31 年度	縮小
	概要	催し、子育	育てに	当事者が構成する に係る情報交換や 団体等の特色を	交流、	イベン	年度								よう連携		H32 年度	継続
		合いなが	ら、道	団体等の特色を製 連携して子育て支持 子育て力の向上を	援を行う				<del>-</del> +4	П	t	<b>*</b> 弗		24	士名也八		H33 年度	継続
		1-120			. KII Wo				方向性 前年度比)	継続		事業費 (万円)	0.9		市負担分 万円)	0.6	H34 年度	継続
	担当課	部名	,	こども育成部	課名	子	育て	支担	爰課	会計区	分		一般		事業区	分	ソフ	<u>۲</u>

]	取組	2-2-3	★ 地域の人材	を活月	月した	子育	育 T	て支援							
4	事業名	◎ ファ	ミリー・サポート・セ	ニンター	事業										
		_ ,,,,	いて育児の援助を行い											の見	方向性 込み 手度比)
	日的	相互扶助	」を受けたい者が会員と 」の精神に基づき行う援	受助活動	かを支	H 30	内容			ペートセンタ 集運用の見		の実施		H31 年度	継続
	概要	に、地域	とで、仕事と育児の両፯ で安心して子育てがで			年度								H32 年度	継続
		備する。												H33 年度	継続
								方向性 时前年度比)	継続	事業費 (百万円)	8.3	うち市負担分 (百万円)	2.7	H34 年度	継続
	担当課	部名	こども育成部	課名	子市	育て	支	援課	会計区分	分	一般	事業区	分	ソフ	<b>F</b>
5	事業名	子育	育て支援応援人材	バンク	事業										
			を持った市民が、子育					遣事業	に、高齢	者支援課	と連携し	育てサポーク シニアマイ	スター	の見	方向性 込み 手度比)
	日的	議会のボ	などで活躍できるよう、 ランティアに登録してい	いる人や	分野	H 30						おられる様 びかけ充ま		H31 年度	継続
	概要		取り、必要に応じてマッ 活力の有効活用・居場			年度		る。 ②人材:	情報をオ	トームペー	・ジへ掲載	烖		H32 年度	継続
		する。												H33 年度	継続
								方向性 时前年度比)	継続	事業費 (百万円)	0.0	うち市負担分 (百万円)	0.0	H34 年度	継続
	担当課	部名	こども育成部	課名	子市	育て	支	接課	会計区分	分	一般	事業区	分	ソフ	<u> </u>

一心來可吸女		
まちの将来像	2	次代の社会を担う子どもたちを育むまち
施策	2-3	「生きるカ」を育む教育を推進する
施策の 方向性	大限引き	の児童・生徒の「生きる力」、すなわち「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」を育成し、個人の可能性を最き出すため、学校園をはじめ保育所、関係諸団体が連携して就学前から中学校卒業まで一貫した「きめ細や の高い教育」を保障し、「学びを通した信頼される学校づくり」を進めます。
	1	★「確かな学力」の充実
	2	★「豊かな心」の醸成
取 組	3	★「健やかな体」の育成
★:重点プラン	4	学校支援体制の充実
該当取組	5	
	6	
	7	

		7																
2	実施計画	<u> </u>									*	₹:重点	プラン記	亥当	取組、②	重点	プラン該	当事業
耳	文 組	2-3-1		★「確かな学力	<b>り」の</b> 3	<b>汽実</b>												
1	事業名	◎ 学2	力向	上事業														
				計画茨木っ子グロー き、実践的教育活						サポー							の見	方向性 ,込み 年度比)
	目的	図り、本市	†の	さ、天践の教育品 教育振興を図る。 又組みを持続可能			H 30	内容								0万	H31 年度	継続
	及び 概要			MAAを付続り配 ーター、業務サポ			年度		円)								H32 年度	継続
																	H33 年度	継続
									方向性 前年度比)	継続		議業費 「万円)	150.4		市負担分	149.7	H34 年度	継続
	担当課	部名		学校教育部	課名	学校	教育	育推	推課	会計区	分		一般		事業区	分	ソフ	<b>١</b>
2	事業名	◎ 授業	<b>美力</b>	向上事業														
	目的及び	に授業で	うくりし	授業研究会を活性 に関する研修を行	内容	合同授 ②学び ③指導	業研究のシンス主事が	会の ポジ 各校	)公開 ウム全( をの授業	本会とし	て講	コ学校フ 講演会を 支援する	開催	の見 (対前 <sup>4</sup> H31 年度	方向性 込み 年度比) 継続			
	概要	の授業実	<b>《践</b> 力	りの向上を図る。			年度		研支援				I		- a ta o		H32 年度 H33 年度	継続継続
						Т			方向性 前年度比)	継続		業費 「万円)	0.0		市負担分	0.0	H34 年度	継続
	担当課	部名		学校教育部	課名	学校	教育	育推	推課	会計区	分	,	一般		事業区	分	ソフ	۲
3	事業名	◎ 保約	力小	中連携事業														
		カリキュラ 保育・教	ム」 育を	ュックで作成した「係 に基づき、保幼小「 進めるとともに、小 を流による授業実践	間の系統 ・中学校	売的な 交教員							生会議と	:中学	学校ブロ	ック連	の見(対前4	方向性 ,込み 丰度比)
	目的 及び	ギャップの	の解	などにより、小1プロ 消を図るなど、保タ	加小中間	間のス	H 30		_ , ,				爱教員の	の配	置(1,8]	.8万	H31 年度	継続
	概要	時点で自	150	と系統的な指導を 進路を切り拓くこと	他じて	、15歳 る力を	年度		円)								H32 年度	継続
		育成する			/n <del>**</del>	SG ) P											H33 年度	継続
		【関連取得の充実】	祖:2	-1-3 幼児教育と	保育の	質と重			<b>方向性</b> 前年度比)	継続		業費 「万円)	18.3		市負担分	18.3	H34 年度	継続
	担当課	部名		学校教育部	課名	学校	教育	育推	推課	会計区	分		一般		事業区	分	ソフ	<b>١</b>

4	事業名	支担													
							①小中	学校支	経学級に	か助員を	·配置(19,5	74万	の見	方向性 ,込み 年度比)	
	目的		る児童・生徒一人ひと に学ぶことを通して、そ			H 30	内 円)		指導員の活		. , . ,	. 1/4	H31 年度	継続	
	及び 概要	を高め、 や介助を	生活や学習できるよう、 行う。	必要な	支援	年度							H32 年度	継続	
													H33 年度	継続	
							方向性 (対前年度比)	継続	事業費	196.4	うち市負担分(百万円)	185.1	H34 年度	継続	
	担当課	部名	学校教育部	課名			育推進課	会計区		一般	事業区		ソフ	<u>۲</u>	
5	事業名	外国	国人英語指導助手	による	外国語	吾耈	女育(公立	保育所	·幼稚園	•小学	校•中学	校)			
		中学校に 体験型の	ř所・認定こども園・幼稚 NET(外国語指導講師 英語で遊そぼうデイや	F)を派達 英語シ	豊し、 ヤワー		る(9849 (保育所	万円) 「・幼稚園	)英語で遊り	ぼうディを	りな英語教育 年3回実施 -ディを実施	ずを進め	の見	方向性 ,込み 年度比)	
	目的 及び	きた英語	施し11年間継続して子 と出会う場を作るととも	に、小肖	之校外	H 30	<b>内</b> (小学1	~4年生)		りためのN	VET配置拡:	左	H31 年度	継続	
	概要	業の充実	か・外国語科と中学校外 を図り、本市児童・生行 通用するコミュニケーシ	走に国 🏻	祭社会	年度	(中学1 ワーディ	~3年生) の実施	授業充実の	りためNE	T配置·英語	シャ	H32 年度	継続	
		たおいて う。	理用するコミュニケーン	ノヨン能	川を夜			学校の教		推進担当 =	者会を実施	ı	H33 年度	継続	
							方向性(対前年度比)	拡充	事業費 (百万円)	98.4	うち市負担分	98.4	H34 年度	継続	
	担当課	部名	学校教育部	課名	学校	教	育推進課	会計区	分	一般	事業区	分	ソフ	<u> </u>	
6	事業名	部名 学校教育部 課名 学校教育推進課 会計区分 一般 事業区分 学校図書館教育事業 ①市内全小中学校に開館業務、授業支援等を行う学校図書館支援員を配置し、司書教諭・学校図書館ボランティアと連携して学校図書館機能を充実													
	目的 及び	ター機能	学校の読書センター・st を充実し図書館教育を 立図書館との連携の充	推進す	るとと	H 30 左	(3,312	万円)			流システム		H31 年度	継続	
	概要		ム図書館との連携の元 ・生徒の読書活動の推			年度		(49万円 館を使~	,	学習コン	/クー/レ(5(	万円)	H32 年度 H33	継続	
							<b>卡</b> 白州		事業費		うち市負担分		年度 H34	継続	
			No. 1 In tel and a law		2611	- July -	方向性 (対前年度比)	継続	(百万円)	34.1	(百万円)	34.1	年度	継続	
7	担当課事業名	部名	学校教育部 色ある学校づくり推	課名		教	育推進課	会計区	分	一般	事業区	分	ソフ	<u> </u>	
,	<b>学</b> 未有						①学校	規模に	赤じた交付	一金を交付	付(2,220万	.円)	の見	方向性 ,込み 年度比)	
		ことによりプとマネ	る学校づくり推進交付会、小・中学校長が自らく 、小・中学校長が自らく ジメントに基づいた特色 できるよう支援し、本市	のリータ 色ある学	ーシッ 校づく	H 30 年度	U 4 D	吸未満の	学校に40	万円、1	5以上20学	級未満	年度 H32 年度	継続継続	
		2					<u> </u>		市业世		71 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	ı	H33 年度	継続	
							方向性(対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	22.0	うち市負担分(百万円)	22.0	H34 年度	継続	
	担当課	部名	学校教育部	課名	学校	教育	育推進課	会計区	分	一般	事業区	分	ソフ	<u>۲</u>	

8	事業名	相見		施事業												
											展示する。		) la se	++- 1-1-	の見	方向性 込み 拝度比)
	及び	の自然科	学教育振興のため  学・情報技術に関す 優れた作品の展示・	トる自由研	F究を	H 30 年度	台	科学賞 ③展示	を授与 <sup>*</sup> の際に <sup>*</sup>	する。 実験ブ <sup>、</sup>	最優秀作 ースを設け 会を設ける。	、小			H31 年度 H32 年度	継続継続
								i向性		事業領	<b>.</b>	5±	市負担分		H33 年度 H34	継続
	担当課	部名	学校教育部	課名	纵	存七	(対前	前年度比)	継続会計区	(百万F			事業区	0.3	年度ソフ	継続
H-	文 組	2-3-2				H	/		云山区	/]	/JX		尹未匹	/)	//	
9	事業名		-   <b>ページ / ペー</b> 恵教育・人権教育													
		特別の教	女科道徳の実施に向	けて、児童	重•生徒				教育研						の見	方向性 込み 拝度比)
	目的 及び	などを育	な心情や判断力、 成する道徳教育のオ	定実する。	また、	H 30		③管理	職人権	研修会			])		H31 年度	継続
	概要	推進する	もや地域の実態に応 とともに、教職員対象	象の人権研	肝修を	年度		(4)いの	ちの教育	育の推議	進(70万円)	)			H32 年度	継続
		允実し、	教職員の人権意識の	)同上を図	15.						+				H33 年度	継続
			I					前年度比)	継続	事業領			市負担分 万円)	1.0	H34 年度	継続
	担当課	当課 部名 学校教育部 課名 学校教育推進課 会計区分 一般 事業区分											分	ソフ	<u> </u>	
10	事業名	<ul> <li>★名 ◎ 生徒指導事業(いじめ・不登校問題行動等)</li> <li>② いじめ防止基本方針に基づき、いじめの防</li> <li>② SSWの会内学校区配置によびまずまである。</li> </ul>												配置	の見	方向性 込み F度比)
		暴力行為ウンセラー	発見・解決を図る。 為等の問題行動に対 ー(SC)・スクールソー	して、スク ーシャルワ	ールカ ーカー	H 30 年			サポーク		2置(955万 の配置(63		四)		H31 年度 H32	継続
	概要	かつきめ	生徒サポーターの活 細やかに対応できる			度					パジウム開作		1 1/		年度 H33	継続
		支援する	),					i向性	外公士	事業領	47.0	うち	市負担分	47.0	年度 H34	継続
	担当課	部名	学校教育部	課名	学校	粉;		前年度比) 進課	継続会計区	(百万F	47.0 一般	(1	事業区	47.0	年度ソフ	継続
11	事業名		・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		, ,		月 1庄	医床	ZNE	/)	/JX		<b>サ</b> 木匹	/	//	
	77.1	小•中学	校の児童・生徒を虐  を連携し、ネットワー	待から守る	るため、	F.		①子杏	で支援。	<b>センター</b>	-とのケーン	2 合	業の実施	rī.	の見	方向性 込み 拝度比)
	目的 及び 概要	する。 虐待の通 と連携を また、日 <sup>1</sup>	通告があった場合、学図り、安全確保およ 項から関係機関と情	△校や関係 び見守りを	系機関 ご行う。	H 30 年度	内容	②子ど	も家庭さ	マンター	との学校記 )定期的な	訪問			H31 年度 H32 年度 H33	継続継続
		待の早期	月発見に努める。					i向性	A15.5.	事業領	<b>3</b>	うた	市負担分		年度 H34	継続
	+0 ·V =0	<b>₩</b>	)^_ ↓÷ +χ_ − +		77V T-1	±x1	(対前	<b>が年度比)</b>	継続	(百万F	9) 0.0		5万円)	0.0	年度	継続
	担当課	部名	学校教育部	課名	字校	(教)	育雅:	進課	会計区	7)	一般		事業区	が	ソフ	Γ

12	事業名	学村	交応援サポート事業	<u></u>													
		小• 中学	交における教育活動上	の諸課	!題や			①いじ	め対策技	<b>岩道</b>	員の派	遣(584	万円	)			方向性 込み 拝度比)
	目的	保護者・	地域住民等からの様々 だけでは対応が難しい	な要望	のう	H 30		<b>②弁護</b>	士への ・SCのス	相談	(64万)	円)			ケー	H31 年度	継続
	及び 概要	て、専門を図る。	家や指導員による支援	を行い	、解決	年度		ス会議	の開催(	(52万	7円)					H32 年度 H33	継続継続
								<b>万向性</b> 前年度比)	継続		業費 万円)	7.0		負担分 万円)	6.0	年度 H34 年度	継続
	担当課	部名	学校教育部	課名	学校	教育		進課	会計区			一般	1,1-1	事業区	分	ソフ	<u> </u>
13	事業名	ゆめ	)実現支援(奨学会	<b>è</b> 活用	)事業										,		
		= 中の7	どもたちが家庭事情や	う奴公会が	52FF - H-		т.		金の冊・金通信・			12万円)	)			の見(対前年	方向性 込み 拝度比)
	目的 及び 概要	により進せ	さもにらかる歴事情や 学をあきらめることのない いて広く紹介し、子ど 現できるよう支援する。	いよう、 もたちσ	各種奨	H 30 年度	容	③説明	金畑信 会の実 施(283)	施に	よる奨	学金制	度の原	割知•個	国別相	H31 年度 H32 年度	継続継続
		和主で大	光くさるより又扱する。	•		12										H33 年度	継続
					I			5向性 前年度比)	継続		業費 万円)	3.2		負担分 万円)	2.1	H34 年度	継続
	担当課	部名	学校教育部	課名	学校	教育	育推	進課	会計区	分	-	一般		事業区	分	ソフ	<b>,</b>
耳	又 組	2-3-3	★「健やかなん	本」の育	育成												
14	事業名	◎ 学村	交給食事業(ソフト)	)		ı											
		に資する 健康を考	は児童・生徒の心身のものであり、生きた教をえ、よい食習慣を身に	オとして↓ :付け、1	自分の 食に関				で調理 作成委				員会	の開催	ł	の見	方向性 込み 拝度比)
	目的 及び	要な役割	ハ理解と適正な判断力 を果たすものであるこ 校給食の充実や学校	とから、	安全で	H 30		④選択	衛生管:制の中:	学校	給食実	<b>延施</b>				H31 年度	拡充
	概要	の推進を	図るため、各種学校給 ともに、アレルギー対応	食事業	を推	年度		⑤中学 委託	校給食	につ	いて各	方式の	試算	をコン	サルに	H32 年度	拡充
		沿った対	応や、地元食材の使用 向上・充実に関する調	用を含め	た給						alle =th					H33 年度	継続
		員研修等	を行う。 					方向性 前年度比)	拡充		業費 万円)	380.2		5 万円) 万円)	380.2	H34 年度	拡充
	担当課	部名	教育総務部	課名		学	务課		会計区	分	-	一般		事業区	分	ソフ	<u> </u>
15	事業名	学校	交保健事業														
		W 140 - 2		oto ==== 15	7 1-1-124				症、アレ 管理下						を支	の見 (対前 <sup>生</sup>	方向性 込み 拝度比)
	目的	進を図る	いて、児童生徒等の修 こと、学校教育活動に	必要な	建康や	H 30 年	内容	<ul><li>③市が</li><li>金を支</li></ul>				害に対し	し、賠	償補償	保険	H31 年度 H32	継続
	及び 概要		配慮を行うことなど学			度		4)負傷	児童等	搬达	争兼						継続
			配慮を行うことなど学る るために様々な施策を			度			児童等	種検	診等を	·実施				年度 H33 年度	継続
						度				種検 事		·実施		負担分 万円)	0.0	年度 H33	

16	事業名	◎ 体ラ	力向上事業											
		児童・生	まに生涯にわたって運	動に親	しむ資			命館大学	と連携した	:小学校(	の体力向上	プログ		方向性 込み 拝度比)
		持増進と	の基礎を育てるととも 体力の向上を図る。ス	ポーツラ	テストの	H 30		中6年間2 木っ子運	スポーツテ	スト(345)	万円)		H31 年度	継続
	概要	自らの体	・タの蓄積・比較により、 力の状況を把握・分析 に有効に活用する。			年度		(ドラ) 達:	<b>∌</b> J∨21⊟71]				H32 年度 H33	継続継続
							方向性	継続	事業費	3.4	うち市負担分 (百万円)	3.4	年度 H34 年度	継続
	担当課	部名	学校教育部	課名	学校	教育	育推進課	会計区	分	一般	事業区	分	ソフ	<b> </b>
17	事業名	中等	学校部活動指導事	業										
		部活動に	おいて専門的な技術	指導力	を備え								の見 (対前 <sup>生</sup>	方向性 込み 拝度比)
	目的 及び	た適切な部活動の	外部指導者を派遣する維持と活性化を促する性・能力・体力のさらな	ることに。 とともに、	より、 生徒	H 30 年度	内容 ①外	部指導者	の派遣(1,	512万円	])		H31 年度 H32	継続継続
		る。				泛							年度 H33 年度	継続
							方向性 (対前年度比	継続	事業費 (百万円)	15.1	うち市負担分 (百万円)	15.1	H34 年度	継続
	担当課	部名	学校教育部	課名	学校	教育	育推進課	会計区	分	一般	事業区	分	ソフ	F
耳	仅 組	2-3-4	学校支援体	制の3	<b>允実</b>									
18	事業名	不到	፟፟፟፟፟校児童·生徒支持	爰事業										
								h <b>t</b> .1 \ 1	ームの開診	ī.			の見	方向性 込み 拝度比)
	及ひ	解消のた	を目指し、不登校児童 めの相談や学校生活 などの支援を学校や『	に必要だ	なスキ	H 30 年	四 ②不	登校相談		-			H31 年度	継続
	概要	携して行		判怵愧恃	りて建	度							H32 年度 H33	継続
							方向性		事業費		うち市負担分		年度 H34	継続
	In the	+	W 1444	-m +	del -		(対前年度比		(百万円)	0.5	(百万円)	0.5	年度	継続
10	担当課	部名	学校教育部	課名	教	育で	ニンター	会計区	分	一般	事業区	分	ソフ	<u> </u>
19	事業名	教	月相砍拍导事業										***	
		₩/.~\\\ ) = BE		> .> // IE			達相数音		ぬ育相談・[		して面接相。  電話相談・		の見 (対前 <sup>生</sup>	方向性 込み 拝度比)
		童・生徒 専門家や	する不安や悩みを抱: 保護者や教員に対し  相談員による適切な打	て、医師	事等の	H 30 年度	<b>內</b> ②小 ③専	・中学校に 門医等に	と対して巡	育相談	り実施 の実施(317	5円)	H31 年度 H32 年度	継続継続
		の支援を	117.			汉	(5) V	じめホッと	電話相談	啓発カー			年度 H33 年度	継続
							方向性 (対前年度出	縮小	事業費 (百万円)	2.4	うち市負担分 (百万円)	2.4	H34 年度	継続

20	事業名	教耶	 職員研修事業												
		国・府の	動向や学校園のニース	でない。	ラで研		27	任者研修 べての教				·杏諏县	<b>重</b> を		方向性 込み F度比)
		修を企画	iし、教職員の資質向上 P経験者を対象とした法	:を図る。	)	H 30	アラー	マとした研験の少ない	修の実施	(157万円	月)			H31 年度	継続
			験の少ない教職員やミ			年度		業力向上			10-77	C1X v > 1	<i>(</i> _ <i>(</i> )	H32 年度	継続
		C 17/2/	0											H33 年度	継続
							方向性 (対前年度)	継続	事業費 (百万円)	2.3	うち市負担 (百万円		2.3	H34 年度	継続
	担当課	部名	学校教育部	課名	教	育セ	ンター	会計区	分	一般	事	業区分		ソフ	<b>\</b>
21	事業名	校系	<b>答支援システム拡</b> え	它事業											
		校務の効率化のため、現行の校務支援システム借上げ テムの機能を拡充する。指導要録や出席簿 等の帳票作成を一元化することにより、教職													方向性 込み F度比)
		テムの機	能を拡充する。指導要	録や出	専用サー	-バ借り上				H31 年度	拡充				
		員の事務	₹↑F成を一元化すること 発負担を軽減し、児童生 産保を図る。			年度	(使月	月料 9月~	~3月 17	9万円/月	])			H32 年度	継続
		₩/J [H] A ンルB	EME DISO											H33 年度	継続
							方向性 (対前年度)	拡充	事業費 (百万円)	22.4	うち市負担		22.4	H34 年度	継続
	担当課	部名	学校教育部	課名	教	育セ	ンター	会計区	分	一般	事	業区分		ソフ	<b>\</b>
22	事業名	教耶	<b></b>												
		め、学校	かの円滑な実践、充実を 保健安全法に基づき、 教職員の健康診断(視	学校の	設置		① 数	職員の健	事診烁					事業の の見 (対前 <sup>年</sup>	
	目的 及び	血液、心	教職員の健康診断(税) 電図、結核等)を実施 <sup>・</sup> 5生法に基づき健康管理	するほか	、労	H 30	2勤	概員の選 務時間の 服貸与		屋を行う。				H31 年度	継続
		に、近年	・ これの病にかかる教職 いることから、発症を未然	員が増加	加する	年度	(J) 1)X	瓜貝丁						H32 年度	継続
		ためのメ	ンタルケア対策を講じる リに基づき、被服貸与を	5。また、										H33 年度	継続
		2 4 /9650	. a - criming re	-1470			方向性 (対前年度)	継続	事業費 (百万円)	11.9	うち市負担 (百万円		1.9	H34 年度	継続
	担当課	部名	学校教育部	課名	- 李	<b>牧職</b>	員課	会計区	分	一般	事	業区分		ソフ	<b>\</b>

まちの将来像	2	次代の社会を担う子どもたちを育むまち
よりの打水豚	2	XIVO ITACIE / I C OIC DE HOS D
施策	2-4	魅力ある教育環境づくりを推進する
施策の 方向性		れの学校において、子どもたちが良好で快適な環境のもとで教育を受けることができる環境を整備します。 地における教育コミュニティづくりが進むとともに、子どもたちが安全に安心して過ごすことができる環境を整
	1	学校施設の計画的な整備・充実
	2	★ 学校・家庭・地域の連携の推進
取 組	3	
★:重点プラン	4	
該当取組	5	
	6	
	7	

		7	'															
2	実施計画	<u> </u>									*	r:重点	プラン記	亥当.	取組、《	)重点	ブラン該	当事業
]	取組	2-4-1		学校施設の	計画的	内な整	備	· 充	実									
1	事業名	小堂	学校'	営繕事業														
									0 / 1//2	模改造		•					の見(対前:	)方向性 !込み 年度比)
	目的 及び 概要			整備により、安全 句上を図る。	で快適	に学べ	年	容	③エレ	教室エ ベーター 改修事	一設						H31 年度 H32	継続継続
							度										年度 H33 年度	継続
									方向性 前年度比)	継続		業費 「万円)	850.3		市負担分	765.	1104	継続
	担当課	部名		教育総務部	課名		施訂	<b></b>		会計区	分		一般		事業区	分	ハー	ド
2	事業名	中等	学校'	営繕事業														
		カ ①エレベーター設置事業												の見	)方向性 !込み 年度比)			
	目的 及び			整備により、安全	で快適	に学べ	H 30	内容	②大規		事業		•				H31 年度	継続
	概要	る教育環	:境の	句上を図る			年度		( K/)	9X   > F	^						H32 年度	継続
																	H33 年度	継続
									<b>万向性</b> 前年度比)	継続		業費 「万円)	142.4		市負担分	119.	H34 年度	継続
	担当課	部名		教育総務部	課名		施記	<b></b>	:	会計区	分		一般		事業区	分	ハー	·ķ
J	取 組	2-4-2	. 7	k 学校·家庭·	地域(	の連携	<b></b> の	推i	進		•					•		
3	事業名	◎ 学章	<b></b>	育運営事業														
				てと就労を両立て					②分割 出72,4	87万円、	施(3 、利,	80保育 用料等	室66クラ 歳入50 ≷の結果	,653	万円)		の見	)方向性 !込み 年度比)
	目的 及び	等の居場	所を	童に安心して利用 提供する。また、カ	汝課後-	子ども	H 30	内容	開始予	定			易所等に				H31 年度	継続
	概要	験•活動	を行う	ることにより、児童: ことができ、地域? な図る			年度		討				の利用、				H32 年度	継続
		童の健全	月风	<b>で区分。</b>						みの借り			て教委		****	I	H33 年度	継続
				1					前年度比)	継続		業費 「万円)	724.9		市負担分 万円)	218.	H34 年度	継続
	担当課	部名	3	こども育成部	課名	学	童	保育	課	会計区	分		一般		事業区	分	ソフ	<b>١</b>

4	事業名	◎ 放詞	果後子ども教室推済	<b>進事業</b>												
		+1.== /// k/		chia ch. )	<b></b>			委託		後子ども教 表者による					の見	方向性 込み 拝度比)
		場所を確	ドに子どもたちの安全で 保するため、地域住民	この参画	を得	H 30	内容			フ研修会等 大学と連		、学生は	<sup>デラン・</sup>	ティ	H31 年度	継続
	及び 概要	全体で地	らたちと諸活動に取組。 2域の子どもたちを見守 5、啓発と活動の充実を	的育む		年度		アを募 ④市内	集	る、小学					H32 年度	継続
								方向性	継続	事業費	50.7	うち市負担	分	47.0	H33 年度 H34	継続継続
	担当課	部名	教育総務部	課名	社会	: 教音		前年度比)	会計区分	(百万円)		(百万円	(区分		年度ソフ	
5	事業名	1	量・生徒の安全対策			120	17.P	NO NOR	ZIIE	,,	/1/	7,				
	7.712	· ·						U -	0 2	上守り隊交付					の見	方向性 込み 拝度比)
	目的 及び	きるよう、	中学校の児童・生徒が ボランティア巡視員に。 路の安全点検等、子と	よる見守	り活動	H 30 年	内容	実施	もが暴力 ブザー <i>0</i>	から身を	子るワー	クを全小	、学校	で	H31 年度	継続
	概要		品の女主点領等、する -クづくりを推進する。	. UC L	10	度		(A) 13E	<i>&gt;</i>	ZBLTY					H32 年度 H33	継続継続
								方向性前年度比)	継続	事業費	5.1	うち市負担		5.1	年度 H34 年度	継続
	担当課	部名	学校教育部	課名	学校	教育		推課	会計区分	1,2121	一般		(区分		ソフ	<u> </u>
6	事業名	家原	E教育支援事業													
															事業の	方向性
		家庭教育	ずを支援するために学 <b></b>	交と連携	しなが					ナーの開					の見	込み F度比)
	目的及び	ら、保護級の開設	者同士が交流し学びを や、家庭教育セミナー	う家庭	教育学	H 30	内容	②保護 ③親学 ④親ま	者のため 習支援者 なびおて	うの講座の 者フォロー かけ講座	開催 アップ の開催	肝修の開	催		の見	
	目的 及び 概要	ら、保護級の開設 級の開設 の提供等	者同士が交流し学びあせ、家庭教育セミナーを行う。	う家庭教 -等学習	教育学			②保護 ③親学 ④親ま ⑤家庭	者のため 習支援者なびおて 教育学績	うの講座の 者フォロー	開催 アップ研 の開催 開設		催		の見 (対前 <sup>4</sup> H31 年度 H32 年度	<b>丰度比)</b>
	及び	ら、保護級の開設 級の開設 の提供等	者同士が交流し学びを や、家庭教育セミナー	う家庭教 -等学習	教育学	30 年	容	② 保護 ③ 親親 ⑤ 家 ⑥ 家 庭	者のため 習支援者なびおて 教育学績	かの講座の 者フォロー かけ講座 吸の委託 吸指導者の	開催 アップ研 の開催 開設	開催			の見 (対前4 H31 年度 H32 年度 H33 年度	継続
	及び概要	ら、保護級の開設 級の開設 の提供等	者同士が交流し学びあ なや、家庭教育セミナー まを行う。 組:3-1-3 成人教育の	う家庭教 -等学習	教育学 機会	30 年度	容(対	②(金) (金) (金) (金) (金) (金) (金) (金) (金) (金)	者のため 習支援者なびおて 教育学績	のの講座の 者フォロー だかけ講座 扱の委託 り 扱指導者 (百万円)	P開催 アップ研 の開催 開設 肝修会の 2.7	うち市負担	分 ()	2.1	の見 (対前4 H31 年度 H32 年度 H33 年度 H34 年度	継続 継続 継続 継続
	及概要 担当課	ら、保護級の開設の提供等 の提供等 【関連取済 部名	者同士が交流し学びあ さや、家庭教育セミナー を行う。 組:3-1-3 成人教育の 教育総務部	う家庭報 -等学習 )推進】	教育学 機会 社会	30 年度	容(対	② 保親親 (1) (2) (3) (3) (3) (4) (5) (5) (6) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	者のため習支援ではいるできます。 教育学科教育学科	のの講座の 者フォロー だかけ講座 扱の委託 り 扱指導者 (百万円)	P開催 アップ研 の開催 開設 肝修会の	うち市負担	分		の見 (対前4 H31 年度 H32 年度 H33 年度	継続 継続 継続 継続
7	及び概要	ら、保護級の開設の提供等 の提供等 【関連取済 部名	者同士が交流し学びあ なや、家庭教育セミナー まを行う。 組:3-1-3 成人教育の	う家庭報 -等学習 )推進】	教育学 機会 社会	30 年度	容(対	②(金) (金) (金) (金) (金) (金) (金) (金) (金) (金)	者のためる習ができませる。 を表するでは、教育学科 を表する。 をまする。 を表する。 をまする。 を表する。 をまする。 をまする。 をまする。 をまする。	のの講座の 者フォロー だかけ講座 扱の委託 り 扱指導者 (百万円)	P開催 アップ研 の開催 開設 肝修会の 2.7	うち市負担	分 ()		の見 (対前 <sup>4</sup> H31 年度 H32 年度 H33 年度 H34 年度	継続 継続 継続 継続
7	及概要 担当課	ら、保護級の開設の提供等 の提供等 【関連取済 部名	者同士が交流し学びあ さや、家庭教育セミナー を行う。 組:3-1-3 成人教育の 教育総務部	う家庭報 -等学習 )推進】	教育学 機会 社会	30 年度	容育振	②保護学ま庭庭 ・ (事) では ・ (事) では (事) では (事	者習な教教 継続 会計区 保育事	のの講座の 者フォは講な でかけ講話 でいいでである。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。	開催 アップ催 同設 肝修会の 2.7 一般	うち市負担 (百万円 事ま)	分 []) <b>类区分</b>		の見 (対前4 H31 年 H32 年 日 H33 年 日 H34 年 タ リ リ リ リ リ リ リ リ リ リ リ リ リ リ リ リ リ リ	継続 継続 継続 継続
7	及概 担 事 目及び 課 名	ら、保護 級の開 の提供等 【関連取 <b>部名</b> ⑥ 放 章 章の 保 等	者同士が交流し学びあため、家庭教育セミナーを行う。 組:3-1-3 成人教育の 教育総務部 果後児童健全育成 事業を行う民間事業等を補助することにより、	う家庭報子等学習 ・等学習 ・推進】 ・課名 ・費補即 者に対し	教育学 社 事 運営	30 年度	容(対	②保 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	者習な教教継続会計区分割に受ける場合では、表記の大きなで、表記のでは、ましいでは、ましいでは、ましいでは、表記のでは、表記のでは、表記のでは、表記のでは、表記のでは、表記のでは、表記のでは、表記のでは、表記しいは、表記のでは、表記のでは、表記のでは、表記のでは、表記のでは、表記のでは、表記のでは、表記のでは、表記のでは、表記しいは、表記のでは、表記しいは、表記のでは、表記しいは、表記のでは、ましいは、表記のでは、ましいは、表記のでは、ましいのでは、まし	のの講座の がおける がおける でかける でかける でかける でかける でかける でかける である である である である である である である であ	開催 アップ催 開設 肝修会 の開 も は)(2,59) 事業は)(2,59) 事業に)(2,59)	が うち市負担 (百万円 事ま) 者に対し 2万円)	(文章)	営費	の見 (対前4 H31 年度 H32 年度 H33 年度 H34 年度 フプ	継続 継続 継続 <b>大 大 入 大 人 人 大 人 大 人 人 大 人 人 大 人 人 大 人 人 大 人 人 大 人 人 大 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人</b>
7	及概 担 事 目及び 課 名	ら、保護: 級の開設の提供等 【関連取 <b>部名</b> ⑥ 放言 学童保育	者同士が交流し学びあため、家庭教育セミナーを行う。 組:3-1-3 成人教育の 教育総務部 果後児童健全育成 事業を行う民間事業等を補助することにより、	う家庭報子等学習 ・等学習 ・推進】 ・課名 ・費補即 者に対し	教育学 社 事 運営	30 年度 教 H 30	容が対抗の内	②保 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	者習な教教継続会計区分割に対している。	のの講座の がおける がおける でかける でかける でかける でかける でかける でかける である である である である である である である であ	開催 アップ催 開設 肝修会 の開 も は)(2,59) 事業は)(2,59) 事業に)(2,59)	が うち市負担 (百万円 事ま) 者に対し 2万円)	(文章)	営費	の見 (対 H31 年32 年33 年34 年年 (対 第 の見 4 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	整理を表現した。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
7	及概 担 事 目及び 課 名	ら、保護 級の開 の提供等 【関連取 <b>部名</b> ⑥ 放 章 章の 保 等	者同士が交流し学びあため、家庭教育セミナーを行う。 組:3-1-3 成人教育の 教育総務部 果後児童健全育成 事業を行う民間事業等を補助することにより、	う家庭報子等学習 ・等学習 ・推進】 ・課名 ・費補即 者に対し	教育学 社 事 運営	30 年度 教 H 30 年	容が対し、対し、大容のでは、対し、大学を持ちにより、大学を持ち、大学をもらいる。	②保報学ま庭庭 「「「「「「」」」」 「「」」」 「「」」」 「「」」」 「「」」」 「「」」 「「」」」 「」のでは、「」」 「」のでは、「」」。 「」のでは、「」」。 「」のでは、「」」。 「」のでは、「」」。 「」のでは、「」のでは、「」。 「」のでは、「」のでは、「」。 「」のでは、「」のでは、「」。 「」のでは、「」のでは、「」。 「」のでは、「」のでは、「」。 「」のでは、	者習な教教継続会計区分割に受ける場合では、表記の大きなで、表記のでは、ましいでは、ましいでは、ましいでは、表記のでは、表記のでは、表記のでは、表記のでは、表記のでは、表記のでは、表記のでは、表記のでは、表記しいは、表記のでは、表記のでは、表記のでは、表記のでは、表記のでは、表記のでは、表記のでは、表記のでは、表記のでは、表記しいは、表記のでは、表記しいは、表記のでは、表記しいは、表記のでは、ましいは、表記のでは、ましいは、ましいのでは、ましいは、ましい	か か お が お が お が お が の お で の お で の お で の お で の お で ま で ま で ま で ま の も で ま を ま を ま を ま を ま を ま を ま を ま を ま を ま を ま を ま を ま を ま を ま ま を ま ま を ま ま ま を ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま	開催 アップ催 開設 肝修会 の開 も は)(2,59) 事業は)(2,59) 事業に)(2,59)	うち市負担       15市負担       (百万円事業)       者に対対し       2万円の以       うち市負担	分別の分別の分別の分別の分別の分別の分別の分別の分別の分別の分別の分別の分別の分	営費	の 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明	を
7	及概 担 事 目及び 課 名	ら、保護 級の開 の提供等 【関連取 <b>部名</b> ⑥ 放 章 章の 保 等	者同士が交流し学びあため、家庭教育セミナーを行う。 組:3-1-3 成人教育の 教育総務部 果後児童健全育成 事業を行う民間事業等を補助することにより、	う家庭報子等学習 ・等学習 ・推進】 ・課名 ・費補即 者に対し	教育学 社 事 運営	30 年度 教 H 30 年	容が対し、対し、大容のでは、対し、大学を持ちにより、大学を持ち、大学をもらいる。	②保報学ま庭庭 方前年 課 第一次 1 の 2 預 3 事 3 第 3 第 3 第 3 第 3 第 3 第 3 第 3 第 4 第 5 第 5 第 5 第 6 第 6 第 6 第 6 第 6 第 6 第 6	者習な教教 継 会 保を後に評価 場に と	の書字を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を	開催 アップ催 同設 所修会 の 制 制 制 制 制 り (2,59) 事 対 (2,59) 事 対 ) 業 対 り 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	)開催   <b>うち</b> 市負担 ( <b>百万円</b> 事動 者に対し 2万円) 出団体以	分別の分別の分別の分別の分別の分別の分別の分別の分別の分別の分別の分別の分別の分	営費	の 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明	推 继 継 継 継 継 継 継 継 継 継 継 継 継 継 継 継 継 継 継

8	事業	<b>美名</b>	学章	<b></b>													
									②春日	→畑田:	学童	【保育		E(730万F			方向性 込み 拝度比)
	目的	的に	受け入れ	児童数が増加し、現場 することができない学	童保育	室にお	H 30	内容	③次年 円)	度クラス	増り	こ向ける	た教室改	女修(5クラ	ス75万	H31 年度	継続
	概要	要		ノハブの新築、増築等 待機児童の解消を図る		するこ	年度		④次年 円)	度クラス	増	こ向ける	た備品等	ទ(5クラス	500万	H32 年度	継続
																H33 年度	継続
									<b>方向性</b> 前年度比)	継続		業費 「万円)	162.8	うち市負担を	44.	H34 年度	継続
	担当	<b>当課</b>	部名	こども育成部	課名	学	童伊	录育	課	会計区	分		一般	事業	区分	ハー	ド

まちの将来像	2	次代の社会を担う子どもたちを育むまち
施策	2-5	青少年が心豊かにたくましく成長できるよう取組を推進する
施策の 方向性		青少年がさまざまな地域活動や体験活動に参加するとともに、適切な支援を受けることにより、心豊かにたく 長することができるよう取組を進めます。
	1	★ 青少年健全育成の推進
	2	青少年の体験活動の充実
取 組	3	若者の自立支援
★:重点プラン	4	
該当取組	5	
	6	
	7	

		(								0				
	実施計画 取組	<u>1</u> 2−5−1	★ 青少年健全	育成(	 D推進				★:重点	プラン訂	亥当取組 <u>、</u>	◎重/	点プラン訂	<u>後当事業</u>
1	事業名	◎ 青少												
		青少年健	全育成運動を推進し、	より一月	層の青		①青少	年健全育	<b></b> 京成事業補	前助等に	こよる団体	の活動	の! (対前	の方向性 見込み 年度比)
	目的及び	少年育成 青少年育	を図るために青少年間 成の方針を樹立し、関 に連携をとりながら、青	問題協議 ]係機関	養会が  ・団体	H 30 年	<b>内</b> 支援 <b>容</b> ②青少	年問題協	系議会の開	<b>月催</b>	票等の啓発		H31 年度 H32	継続
	概要		事業の実施及び問題			度	967	I WEIL H	1/VÆ3/3	7W H .Y	K-47-70 )(	•	年度 H33	継続
		. ,	,				方向性		事業費	10.5	うち市負担分		年度	継続
	+0 小部	如夕	サンタング ウロ	細々	九△	*4-	(対前年度比)		(百万円)	10.5	(百万円)	10	牛皮	継続
	型当課 取組	部名 2-5-2		青少年の体験活動の3				会計区分	-	一般	事業	△万	ソフ	<u>'</u>
 	事業名					.天								
	<b>学</b> 术句	1 C		十次 于	·* 								± **	5 <del></del> 14
		多様な体	「者の安全・安心な居場 験活動や交流の場等	を提供	する。						小学生の		の! (対前	の方向性 見込み 年度比)
	目的及び概要	ともに、子	人や保護者の相談窓□ ・ども・若者とその保護 解決につなげるため、₺	者の問題	題の早	H 30 年	内 (こども) ②平成 設						H31 年度 H32	継続
	概要		とのネットワークの構築			度							年度 H33	継続
		【関連取約	狙:2-5-3 若者の自立	支援】			方向性	継続	事業費	37.6	うち市負担分	33	年度 6 H34	継続継続
	担当課	部名	こども育成部	課名	~ <u>)</u>	レゼ、i	(対前年度比) 政策課	会計区分	(百万円)	- 般	事業		·0 年度 ソフ	
3	事業名		中条青少年センター			_ 0,		ZHEA		/4/	7.			1
		<u> </u>		~ 1	7-71								事業(	の方向性
							@ E to				幾会の提供 交流事業		のり(対前	見込み 年度比)
		ため、体験	び青少年団体の健全 験活動や文化的交流。	事業を 美	を施す しんしょう しょうしん かんしょ しょうしん かんしょ しんしょ しんしょ しんしょ しんしょ しんしょ しんしょ しん	H 30	③ミキシ	/ング講習	冒会等実持	支講習会	えいまん 会の実施 流イベント		午 使	継続
	概要	るとともに 援する。	、自主的・組織的な青	少年活	動を支	年度			業務の実		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	- /\n	H32 年度	継続
													H33 年度	継続
			ı				方向性 (対前年度比)	継続	事業費	24.6	うち市負担分 (百万円)	21	.1 H34 年度	継続
	担当課	部名	教育総務部	課名	社会	教育	育振興課	会計区分	-	一般	事業	区分	ソフ	<b>7</b> ト

	事業名	青少	少年野外活動セン	ター運	営事	業								
								者の受え事業の領					の見	方向性 込み 拝度比)
	目的 及び	団生活の	健全育成のために、E 機会を提供するととも	に、開設	と40周	H 30	の ③キャン	/プカウ	<sub>天旭</sub> ンセラーの 及び維持褌				H31 年度	継続
	概要		27年度)を期に、施設 <i>0</i> 実を図る。	の周知や	è主催	年度	C NEW	·> B •±.//	X 0 //#11 //				H32 年度 H33	継続継続
							方向性(対前年度比)	継続	事業費	63.1	うち市負担分	61.2	年度 H34 年度	継続
	担当課	部名	教育総務部	課名	社会	教育	<b>育振興課</b>	会計区	(1777)	一般	事業区	分	ソフ	<b> </b>
5	事業名	青少	少年活動・育成事	業								·		
							②百人	一首カノ	ボール講習 レタ研修会	の実施			の見	方向性 込み 拝度比)
	目的 及び 概要	らの青少 展開する	とはじめとした青少年E 年を育成する組織が活ための情報や活動機	5発な活 会の提供	動を	H 30 年	容 ④こども ⑤こども	会親善	支援者の	カルタ競 募集	技大会の第	<b>実施</b>	H31 年度 H32	継続継続
		め、青少	年教育活動の推進を図	<u></u> 当る。		度	⑥犬阪	付こども	会安全共	済会加ノ	人舗切		年度 H33 年度	継続
							方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	1.8	うち市負担分 (百万円)	1.8	H34 年度	継続
	担当課	部名	教育総務部	課名	社会	教育	<b>育振興課</b>	会計区	分 -	一般	事業区	分	ソフ	<b></b>
耳	文 組	2-5-3	若者の自立	支援										
6	事業名	子と	も・若者自立サポ	ート事	業								1	
			- 1 アジ状体の仏能											<del></del>
		ンターを設	ニート・不登校等の状態 き参加できるよう、子ども・ : :置し、ひきこもり等の当事 =>>	若者自立	支援セ		(1.7.1×	1 ++-±x	<b>卢</b>	a) (h	サカチシ			万回性 込み 拝度比)
	目的 及び	ンターを設 談支援を行 市民税非 等の子ども	参加できるよう、子ども・ 置し、ひきこもり等の当事 テう。 果税世帯・生活保護世帯・ ・若者及びその保護者に	若者自立 す者や家が 等のひき こは、セン	:支援セ 族の相 :こもり	H 30	2子ど	も・若者	自立支援† 自立支援† 支援地域抗	マンター	利用助成		の見 (対前 <sup>4</sup> H31 年度	込み
	目的 及び 概要	ンターを設 談支援を行 市民税非 等無料で利が また、子ど	参加できるよう、子ども・ 置し、ひきこもり等の当事 テう。 果税世帯・生活保護世帯・ ・若者及びその保護者に 用できるよう利用券を交付 も・若者支援地域協議会	若者自立 等者や家が 等のひき には、セントする。 し	支援相 にもり シター 複雑・		2子ど	も・若者		マンター	利用助成		の見 (対前 <sup>4</sup> H31 年度 H32 年度	込み    度比)
	及び	ン教市等無まを設っている。 を設定を設定を設定を設定を表現のです。 とは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これで	参加できるよう、子ども・ 置し、ひきこもり等の当事 了う。 課税世帯・生活保護世帯・ ・若者及びその保護者に 用できるよう利用券を交付	若者や家が 等のひせン けする。営対して では、こことでは、ことでは、	支援相 りを 雑々し	30 年	<b>内</b> ②子ど ③子ど	も・若者も・若者	自立支援1支援地域制	マンター	利用助成沙運営		の見 (対前4 H31 年度 H32 年度 H33 年度	送み 下度比) 継続 継続
	及び概要	ンタ支民の 等無まを が表現の が表現の が表現の が表現の が表現の が表現の が表現の が表現の が表現の がまれた。 が表現の がまれた。 がまれた。 がまれた。 がは、 がは、 がは、 がは、 がは、 がは、 がは、 がは、	*参加できるよう、子ども・ でし、ひきこもり等の当事 行う。 課税世帯・生活保護世帯・ ・若者及びその保護者に 相できるよう利用券を交付 も・若者支援地域協議会 5課題を抱えた子ども・若 を有する支援機関が必要 支援することで、早期困難	若者自立家 等者のひきと はなる。 はなる。 される。 される。 される。 はれるに は に は に は に は に は に は に は に は に は に は	支   大   大   大   大   大   大   大   大   大   大	30 年度	<b>万向性</b> (対前年度比)	も・若者 も・若者 継続	自立支援 · 支援地域 i 专	マンター: 協議会の 10.1	利用助成 )運営 <sup>うち市負担分</sup> (百万円)	5.2	の見 (対前4 H31 年度 H32 年度 H33 年度 H34 年度	込み 乗度比) 継続 継続 継続
	及 概要 担当課	シタ支民の特別を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表	参加できるよう、子ども・ で置し、ひきこもり等の当事 でう。 課税世帯・生活保護世帯・ ・若者及びその保護を交付 も・若者支援地域協議会 を頼する支援機関が必要 を握する支援機関が必要 支援することで、早期困関 こども育成部	若者自立家 等のひせン けなる。営し する選に応じて を者に応消を は、なる は、なる。 は、なる。 は、なる。 は、なる。 は、なる。 は、なる。 は、なる。 は、なる。 は、なる。 は、なる。 は、なる。 は、なる。 は、なる。 は、なる。 は、なる。 は、なる。 は、なる。 は、は、なる。 は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	支援	30年度	<b>7</b>	も・若者も・若者	自立支援 · 支援地域 i 专	マンター: 協議会の	利用助成 )運営		の見 (対前4 H31 年度 H32 年度 H33 年度 H34	込み 乗度比) 継続 継続 継続
7	及び概要	シタ支民の特別を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表	*参加できるよう、子ども・ でし、ひきこもり等の当事 行う。 課税世帯・生活保護世帯・ ・若者及びその保護者に 相できるよう利用券を交付 も・若者支援地域協議会 5課題を抱えた子ども・若 を有する支援機関が必要 支援することで、早期困難	若者自立家 等のひせン けなる。営し する選に応じて を者に応消を は、なる は、なる。 は、なる。 は、なる。 は、なる。 は、なる。 は、なる。 は、なる。 は、なる。 は、なる。 は、なる。 は、なる。 は、なる。 は、なる。 は、なる。 は、なる。 は、なる。 は、なる。 は、は、なる。 は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	支援	30年度	<b>7</b>	も・若者 も・若者 継続	自立支援 · 支援地域 i 专	マンター: 協議会の 10.1	利用助成 )運営 <sup>うち市負担分</sup> (百万円)		の見 (対前4 年度 H31 年度 H32 年度 H33 年度 ソフ	継続 継続 継続
7	及 概要 担当課	ング談市等無ま多の包す ・ 一ををおれている。 ・ 一ををおれている。 ・ 一ををおれている。 ・ 一ををおれている。 ・ 一ををおれている。 ・ 一手 ・ 老体	※参加できるよう、子ども・ できるよう、子ども・ ででし、ひきこもり等の当事 できるようには、かきこの保護を交付 できるよう援地域協議会を を有する支援機関がよた子ども・若 を有する支援機関が、早期困難 こども育成部 掲】子ども・若者を を有かるとで、早期困難 こども育成部	若者やのひというでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、この	支こタ次連出体制大大大よよ大大よよよ大よよよよ大よよよよ大よよよ	30年度	Y容 ②子ど クラーク クラーク クラーク クラーク クラーク クラーク クラーク クラー	む・若者 む・若者 継続 会計区:	自立支援・ 支援地域   事業費 (百万円)   分   センターの	zンター: 協議会の 10.1 一般 施設に	利用助成 )運営 <sup>うち市負担分</sup> (百万円)	分場所	の見 (対前4 H31 年 H32 年 H33 年 B H34 年 アフ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	込み 乗度比) 継続 継続 継続
7	及概 担 事 目及 のび	ンジ談市等無ま多の包す ・一接税子で子化門的 ・一接税子で子化門的 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	参加できるよう、子ども・ できるよう、子ども・ ででし、ひきこもり等の当事 できるようでは、 は、お着者及びその保護を存付 も・若者支援地域協議会 を持する支援機関が、早期困難 を持ずることで、早期困難 こども育成部 掲】子ども・若者巨	若	支	30年度	N容 ②子ど グラ	も・若者 も・若者 継続 会計区:	自立支援者 支援地域を 事業費 (百万円) 分	zンター: 協議会の 10.1 一般 施設にご学	利用助成 ・運営  「ち 市負担分 (百万円) 事業区  ・学生の居	場所置	の見 (対前4 H31 年32 年33 年度 H34 年度 ノブ 事業の見 (対前4 H31 年度 H32	込みより ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
7	及概 担 事 目及 のび	ン教市等無ま多の包す タ支民の料た様専括。 <b>部</b> 子多まと期関 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	意参加できるよう、子ども・ 関し、ひきこもり等の当事 一覧し、ひきこもり等の当事 一覧し、ひきこもり等の当事 一門できるよう、日本の保護護交付 も・若者を担えたたり利用券を変付 も・若者を抱えたたりますが、早期困難 を有する支援機関が必要 を接することで、早期困難 こども育成部 「おりまする」とで、場合 「おりまする」とで、場合 「おりまする」とで、場合 「おりまする」といる。 「おりまする」といる。 「おりまする」といる。 「おりまする」といる。 「おりまする」といる。 「おりまする」といる。 「おりまする」といる。 「おりまする」といる。 「おりまする」といる。 「おりまする。 「おりまする」といる。 「おりまする。 「おりまする。」といる。 「なりまする。」といる。 「なりまする。」といる。 「なりまする。」といる。 「なりまする。」といる。 「なりまする。」といる。 「なりまする。」といる。 「なりまする。 「なりまする。」といる。 「なりまする。 「なりまする。」といる。 「なりまする。 「なりなりなりなりなりなりなりなりなりなりなりなりなりなりなりなりなりなりなり	若	支	30年度 もす 第 H 30年	N容	も・若者 も・若者 継続 会計区:	自立支援者 支援地域を 事業費 (百万円) 分	zンター: 協議会の 10.1 一般 施設にご学	利用助成 )運営 (百万円) 事業区 小学生の設置 コースプラー	場所置	の見 (対 H31 年 H32 年 H33 年 第 の 前 が が 第 の 見 が は の に が に が の に 。 に の に の に 。 に 。 に の に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に に に に に に に に 。 に 。 に 。 に 。 に に に に に に に 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。	込みより ・ は ・ は ・ は ・ は ・ は ・ た ・ た ・ た ・ た ・ た ・ た ・ た ・ た
7	及概 担 事 目及 のび	ン談市等無ま多の包す	意参加できるよう、子ども・当 一間し、ひきこもり等の当事 一間し、ひきこもり等の当事 一門できるよう、等の当事 一部できるよう利用券を破済を がおきるよう利用券をを がおきれた。 一部できるよう利用券を をを有する支援機関が必要 をを をを をを をを で、 を を を を を を を を を を を を を	若	支	30年度 もす 第 H 30年	Y容	も・若者 も・若者 継続 会計区:	自立支援者 支援地域を 事業費 (百万円) 分	zンター: 協議会の 10.1 一般 施設にご学	利用助成 ・ 選生 ・ 選生 ・ 選を ・ できる ・ できる。 ・ できる ・ で	場所置	の 別 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明	込み ( )

## 3 過去の実施計画期間中で完了・廃止した事業(担当部課名は事業実施最終年度の名称)

	取 組	2-5-2	2	青少年の体	験活重	か充実				
E.	■ 青少年野外活動センター維持補修事業(H29年度事業完了)									
	目的 及び 概要	利用者は	<b>二安全•</b> 9	安心な施設環境	意を提供	するため、老朽化の著	皆しい施設σ	)維持・補修を行っ	た。	
	担当	果 部名	教	育総務部	課名	青少年課	会計区分	一般	事業区分	ハード

# 【まちの将来像3】

みんなの"楽しい"が見つかる文化のまち

まちの将来像	3	みんなの"楽しい"が見つかる文化のまち
施策	3-1	生涯学習の機会を増やし情報提供を充実する
施策の 方向性	民ニーズ 社会教育	選挙習に関する取組の基本となる計画を策定するとともに、市民、行政、教育機関などの連携により、社会的な課題や市 に対応した多様な学習の場や機会、情報などを提供し、市民の主体的な生涯学習活動を促します。 所については、学校教育との連携を図りながら、これからの時代に求められる成人教育や、公民館活動の推進、図書館の 変を図ります。
	1	生涯学習推進体制の整備
	2	生涯学習についての普及啓発の推進
取 組	3	成人教育の推進
★:重点プラン	4	公民館活動の推進
該当取組	5	図書館サービスの充実
	6	
	7	

2	実施計画	<u> </u>	·							★:重点	「プラン詞	亥当取組、@	重点に	プラン該	当事業
]	取 組	3-1-1	生涯学習推	進体制	制の整	備									
1	事業名	生涯	<b>E学習センターきら</b>	めき詞	構座等	実力	拖事	事業							
		<b>上</b> 涯学翌	に取り組む市民を支持	至士スレ	レも、レフ			①きらる の実施		ュニア、ボ	ランティン	ア講師による	が講座		方向性 込み 拝度比)
		活動の充	実・向上を図るため、といて講座、きらめきホー	生涯学	習セン	H 30 年	内容	②ホー	ル事業の	の実施 連携講座	の実施			H31 年度	継続
	概要	実施する	0			度		④おお	さかふみ	みんネット)	<b>広域講</b> 座	<b>室の実施</b>		H32 年度	継続
							-	方向性		事業費		うち市負担分		H33 年度 H34	継続
							(対ī	前年度比)	継続	(百万円)	69.3	(百万円)	32.5	年度	継続
	担当課	部名	市民文化部	課名	文	化排	長興	.課	会計区	分	一般	事業区	分	ソフ	<u> </u>
2	事業名	生涯	E学習参画事業 ———————					ı							
			体が培った知識・経験					①ボラン	ンティア	講師による	る講座の	講師募集		の見 (対前4	方向性 込み 拝度比)
	目的 及び		是供し、学習成果を活 の学習参画機会を展開		温広い	H 30 年	内容	②各種	コンサー	ートの出演 スタの実施	者公募			H31 年度	継続
	概要	【関連取約 及啓発の	狙:3-1-2 生涯学習に 推進】	こついて	の普	度								H32 年度 H33	継続
		<i>X</i> 1 <i>y</i> 1 <i>y</i> 1	J. Jacobson M. Mariana				-1	方向性		事業費		うち市負担分		年度 H34	継続
							(対ī	前年度比)	継続	(百万円)	0.3	(百万円)	0.3	年度	継続
	担当課	部名	市民文化部	課名	文	化排	長興	課	会計区	分	一般	事業区	分	ソフ	<u> </u>
3	事業名	生涯	E学習推進事業 ——————					ı							
														の見	方向性 込み 拝度比)
	目的 及び	市の生涯	学習施策を総合的に	より一層	推進	H 30			仮称)生 調査の		進計画	の策定に向	けた市	年度	臨時 拡充
	Tou and		上めの方策について検	- 1 1 w		年度								H32 年度	臨時 拡充
								与白州	臨時	事業費		うち市負担分		H33 年度 H34	継続
							(対)	方向性 前年度比)	拡充	(百万円)	4.7	(百万円)	4.7	年度	継続
	担当課	部名	市民文化部	課名	文	化排	長興	.課	会計区	分	一般	事業区	分	ソフ	<u> </u>

4	事業名	天フ	文観覧室運営事業												
							①市立	:小•中学	校、広報	誌、市ホ	ニームページ	ンでの	カ		方向性 込み F度比)
	目的 及び		いて分りやすく解説し ため、プラネタリウムの			H 30	内 容 ②プラ	ネタリウム	ム投影や市	5民天体	観望会等	の実	施	H31 年度	継続
			ため、フライブリウムの ☆等の催しを行う。	1又泉~\-	川氏人	年度	③オリ:	ジナル番	組の投影					H32 年度	継続
														H33 年度	継続
							方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	9.3	うち市負担分 (百万円)	8	3.7	H34 年度	継続
	担当課	部名	市民文化部	課名	文	化拢	辰興課	会計区	分	一般	事業国	⊠分		ソフ	<b>-</b>
耳	双 組	3-1-2	生涯学習に	ついて	ての普	及福	啓発の推	進							
5	事業名	【再	掲】生涯学習参画	i事業											
			体が培った知識・経験				①# <u>;</u> =	シンティア言	講師による	達成の	<b>港</b>				方向性 込み F度比)
	目的 及び		提供し、学習成果を活 の学習参画機会を展開		量広い	H 30	四 ②各種	コンサー	ートの出演 スタの実施	者公募	<b>吽叩</b> 夯米			H31 年度	継続
	概要		組:3-1-1 生涯学習丼	生進体制	の整	年度	0000	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		1				H32 年度	継続
		備】									T			H33 年度	継続
				1			方向性 (対前年度比)	継続	事業費	(0.3)	うち市負担分 (百万円)	((	).3)	H34 年度	継続
	担当課	部名	市民文化部	課名	文	化捷	辰興課	会計区分	分	一般	事業国	⊠分		ソフ	<b>-</b>
	+ * 7	41.50					La SILC								
6	事業名	生》	<b>E学習センター情</b>	報提供	等実施	他手	事業								
6	事業名	生物	生学習センター情: 	報提供	等実施	他	①生涯		業を集約し	た情報	誌の発行				
6	目的	広報誌• 出前講座	市ホームページ・生涯 登等を通じて、様々な生	学習情報	報誌•	H 30	①生涯 ②出前 ③広報	講座の記述・市ホ	実施 ニムペー	ジでの啓			-	の見	込み
6		広報誌• 出前講座	市ホームページ・生涯	学習情報	報誌•	Н	<b>内容</b> ①生涯 ②出前 ③広報 ④生涯	講座の記述・市ホ 学習関連	実施	ジでの 目談	<b>李発</b>		-	の見 (対前 <sup>4</sup> H31 年度 H32 年度	込み F度比) 臨時
6	目的及び	広報誌• 出前講座	市ホームページ・生涯 登等を通じて、様々な生	学習情報	報誌•	H 30 年	内容 ①生涯 ②出前 ③広報 ④生涯 ⑤ホー	講座の記述・市ホ 学習関連	実施 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ジでの 目談	<b>外発</b> 検討		-	の見 (対前4 H31 年度 H32 年度 H33 年度	込み F度比) 臨時 拡充
6	目的及び	広報誌• 出前講座	市ホームページ・生涯 登等を通じて、様々な生	学習情報	報誌•	H 30 年	<b>内容</b> ①生涯 ②出前 ③広報 ④生涯	講座の記述・市ホ 学習関連	実施 ニムペー 車の窓口村	ジでの 目談	<b>李発</b>	2	2.5	の見 (対前4 H31 年度 H32 年度 H33	込み F度比) 臨時 拡充 継続
6	目的及び	広報誌• 出前講座	市ホームページ・生涯 登等を通じて、様々な生 性供を行う。 市民文化部	学習情報	報誌・	H 30 年度	内容 ① 生祖前報祖 一 方向性	講座の写 誌・市ホ 学習関連 ムページ	実施 ニームペー 車の窓口 本 ジのリニュー 事業費 (百万円)	ジでの唇 目談 ーアルを	タ発 検討 うち市負担分	4	2.5	の見 (対前4 H31 年度 H32 年度 H33 年度 H34	込み 下度比) 臨拡継続 継続
	目的び概	広報誌・ 出前講座 情報の提 <b>部名</b> 3-1-3	市ホームページ・生涯 登等を通じて、様々な生 提供を行う。 市民文化部 成人教育の	学習情報	報誌・	H 30 年度	内容 ①生涯前 ②②③生工 ③③生工 ———————————————————————————————	講座の記念・市本語・市本語・学習関連という	実施 ニームペー 車の窓口 本 ジのリニュー 事業費 (百万円)	ジでのP 目談 ーアルを 2.6	を発 検討 うち市負担分 (百万円)	4	22.5	の見 対前 H31 年度 H32 年度 H33 年度 H34 年度	込み 下度比) 臨拡継続 継続
	目的び概要担当課	広報誌・ 出前講座 情報の提 <b>部名</b> 3-1-3	市ホームページ・生涯 登等を通じて、様々な生 性供を行う。 市民文化部	学習情報	報誌・	H 30 年度	内容 ①生涯前 ②②③生工 ③③生工 ———————————————————————————————	講座の記念・市本語・市本語・学習関連という	実施 ニームペー 車の窓口 本 ジのリニュー 事業費 (百万円)	ジでのP 目談 ーアルを 2.6	を発 検討 うち市負担分 (百万円)	4	2.5	の見 対前 H31 年度 H32 年度 H33 年度 H34 年度	込み 下度比) 臨拡継続 継続
耳	目のが変要担当課料	広報誌・ 出前講座 情報の携 3-1-3 社会	市ホームページ・生涯 登等を通じて、様々な生 性を行う。 市民文化部 成人教育の 会教育事業	学習情等 課名 计推進	報誌· 門関連 文	H 30 年度	内容 ① ② ③ ④ ⑤	講座の行った。市市は学生のでは、本語のでは、本語のでは、またのではでは、またのではでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またので	実施 :ームペー 連の窓口は シのリニュー 事業費 (百万円) 分	ジでのPE 目談 ーアルを 2.6 一般	を発 検討 うち市負担分 (百万円)	4	2.5	の 別 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明	込み 下度比) 臨拡継続 継続
耳	目のが変要担当課料	広報誌・ 強調 部名 3-1-3 社会 知識 の主的	市ホームページ・生涯 登等を通じて、様々な生 性を行う。  市民文化部  成人教育の 会教育事業	学習情報 注選学 課名 )推進 と連帯意	報誌・ 関	H 30 年度 化打	内容     方前       最少     大方前       大方前     課       ①②     ①②       (対     展       内容     内容	講述・可求は、一部では、一部では、一部では、一部では、一部では、一部では、一部では、一部で	実施 に 本の に 本 で で で で で で で で で で で で で で で で で で	ジでのP 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	今発 検討 (百万円) 事業配	4	2.5	の見 (対 ) H31 年 32 年 33 年 33 年 54 年 9 が 対 131 年 9 の り り り り り り り り り り り り り り り り り り	込み (大)
耳	目及概 担 双 事 目的が要 課 名 的	広報誌・ 強調 部名 3-1-3 社会 知識 の主的	市ホームページ・生涯 登等を通じて、様々な生 性を行う。  市民文化部  成人教育の 会教育事業	学習情報 注選学 課名 )推進 と連帯意	報誌・ 関	H 30 年度 化打	内容     方前       最少     大方前       大方前     課       ①②     ①②       (対     展       内容     内容	講述・可求は、一部では、一部では、一部では、一部では、一部では、一部では、一部では、一部で	実施 (エロップ ) (エロップ	ジでのP 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	今発 検討 (百万円) 事業配	4	2.5	の 別 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明	込み (大)
耳	目及概 目及概 担 組 業 目及 のび のび のび のび のび のび のが のが のが のが のが のが のが のが のが のが	広報誌・ 強調 <b>部名</b> 3-1-3 社会 知識自ること	市ホームページ・生涯 登等を通じて、様々な生 性を行う。  市民文化部  成人教育の 会教育事業	学習情報 注選学 課名 )推進 と連帯意	報誌・ 関	H 30年度 化打	内容     方前 果       ①②③④⑤     方前 果       ①②③     ①②③	講述・可求は、一部では、一部では、一部では、一部では、一部では、一部では、一部では、一部で	実施 ペート キャック 東西 アー・東西 アー・東西 アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・ア	ジでのP 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	終発 検討 (百万円) 事業は	区区分	2.5	の 対 H31 年 H32 年 H33 年 H34 年 メ グ 対 H31 年 の 列 H31 年 の の 月 の の 日 の の の の の の の の の の の の の	込み (大)
耳	目及概 目及概 担 組 業 目及 のび のび のび のび のび のび のが のが のが のが のが のが のが のが のが のが	広報誌・ 強調 <b>部名</b> 3-1-3 社会 知識自ること	市ホームページ・生涯 登等を通じて、様々な生 性を行う。  市民文化部  成人教育の 会教育事業	学習情報 注選学 課名 )推進 と連帯意	報誌・ 関	H 30年度 化打	内容     方前       1②③④⑤     方前       大前     課       1②②     1       1     1       2     1       2     1       3     1       4     1       5     1       6     1       7     1       8     1       8     1       9     1       1     1       2     1       2     1	講述・可求は、一部では、一部では、一部では、一部では、一部では、一部では、一部では、一部で	実施 に 本の に 本 で で で で で で で で で で で で で で で で で で	ジでのP 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	今発 検討 (百万円) 事業配	区区分	3.1	の 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明	及

8	事業名	<i>社学</i>	<u> </u>	成事等	<u> </u>											
3		<u> </u>		,9×	.~		①社会	会教育関	係団	体等リ	ーダー	研修	会の開	<u> </u>		方向性 込み F度比)
	日的	育の振興				H 30	内 ②団体 容 ③後払	本が行う₹ 爰事業チ	事業/ ラシ	への後 等の庁	援 内設置			,,,,,	H31 年度	継続
	概要		関係団体等を対象とし 等により支援する。	たリー	ダー研	年度	④茨>	<b></b> 大のこども	かを守	でる運動	かへの支	泛援			H32 年度 H33	継続
							方向性	継続		業費	0.3		<b> 1 1 1 1 1 1 1 1 1 </b>	0.3	年度 H34	継続継続
	担当課	部名	教育総務部	課名	社会	教育	(対前年度比)	会計区		万円)	一般	(百	万円)		<b>年度</b> ソフ	
9	事業名	【再	揭】家庭教育支援	事業												
			を支援するために学校				②保記	至教育セ 獲者のた。	めの	講座の	開催					方向性 込み 拝度比)
	目的		や、家庭教育セミナー	どびあう家庭教育学 ドナー等学習機会 3			<b>容</b> ④親。 ⑤家履	学習支援 そなびお 全教育学	でかる	ナ講座 委託開	の開催  設				H31 年度 H32	継続継続
		【関連取約 の推進】	且:2-4-2 学校·家庭·				⑥家原	医教育学	赦指	得有好	†修会の	)開催	É		年度 H33 年度	継続
							方向性 (対前年度比)	継続		業費 万円)	(2.7)		<sup>方</sup> 負担分 万円)	(2.1)	H34 年度	継続
	担当課	部名	教育総務部	課名	社会	教育	育振興課	会計区	分	-	一般		事業区	分	ソフ	<b>-</b>
耳	知 組	3-1-4	公民館活動	の推済	<b></b>											
10	事業名	小学	<sup>丝</sup> 校区公民館講座	等実施	<b>色事業</b>										ı	
		各公民館	において、社会教育 <i>0</i>	り場とし	て、地		②講習	民館講座 習会の開	催						の見	方向性 込み F度比)
	日的	どの講座	ニーズに対応した文化 等を開催し、住民の主			H 30	容④講演	5教育講 資会の開	催		の <b>各</b> 刀 込出 )	) <del>~</del>	) 小子 =#*	93 🔨	H31 年度	継続
	似女		援する。 題・地域課題の解決に 合わせた取り組みを進		、地域	年度		代的課題 資討、実施		<b>吹</b> 硃越	の無次(	(二 円)	りに再	首宏	H32 年度	継続
		V74/(1)L(C	日47 ピ7これりが40をとい	= W) Wo			方向性	Able 6-la	事	業費	1-0	うちさ	<b> 5 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1</b>		H33 年度 H34	継続
	担当課	部名	教育総務部	課名	社会	数っ	対前年度比	継続会計区	(百:	万円)	15.9 一般		万円)	8.6	年度ソフ	継続
11	事業名		·公民館講座実施		止云	IJ.	7 1/X 24 1/X	AND	. / 5		/UX		<b>尹</b> 木凸	/ <b>J</b>	//	
		1 2		- //												方向性
		実を図るが	の観点から、市民の学 ため、生涯学習センタ・	ーを活月	用した	1.1	②中5	は語読み と公民館 域課題0	として	ての役割	割を明確				(対前年	
	及び	学級を実	の学習体制による日オ 施するとともに、中央2 確にし、現代的課題・1	く民館と	しての	H 30 年度	<b>容</b> 各課のる。ま	)取り組みた、各公	みや作 民館	也市事 と意見	例につい 交換を行	いて <sup>を</sup>	情報提 など情報	供す	H31 年度 H32	継続継続
		決に向け	た事業推進について、 要な事業を実施する。			泛	に劣め	うるととも			丌修寺	夫他`	9 <b>0</b> 0		年度 H33 年度	継続
			,				方向性(対前年度比)	継続		業費 万円)	1.2		5負担分 <b>万円</b> )	1.2	H34 年度	継続
	担当課	部名	教育総務部	課名	社会	教育	育振興課	会計区	分	-	一般		事業区	分	ソフ	<b>-</b>

12	事業名	公則	民館区事業補助事	業													
								<ul><li>①ふる。</li></ul>	さとまつ	ŋ	文化展	(祭)、批	九域〕	レクリエ・	ーショ	の見	方向性 込み 拝度比)
			その主体的な学習活動			H 30	内容	Auto to	8発行事	業	に対して	て補助金	をを	交付		H31 年度	継続
			らって地域住民の生活 、補助金を交付する。	又160%	仮興で	年度		め、地域	或行事閉	昇催	等事業	補助へ	移行	うを進め	る。	H32 年度	継続
																H33 年度	継続
								方向性 前年度比)	継続		業費 「万円)	7.3		市負担分 万円)	7.3	H34 年度	継続
	担当課	部名	教育総務部	課名		教育	旨振	興課	会計区	分	-	一般		事業区	分	ソフ	<u> </u>
13	事業名	公臣	民館エレベーター記	没置等	事業												
			·身障者等全ての利用													の見	方向性 込み 拝度比)
	目的 及び	ターを設	やすい施設とするため 置し、バリアフリー化を	図る。		H 30	内容	①外壁	改修・扂	匙上	防水工	事の実	施(	1館)		H31 年度	拡充
	概要	寿命化、	レベーター設置に合わ 効率的な工事実施の額	観点から		年度										H32 年度	継続
		改修 上事	4、屋上防水工事を施口	上する。							- N/ -+h					H33 年度	継続
								方向性 前年度比)	縮小		下 (万円)	22.2		市負担分 万円)	22.2	H34 年度	継続
	担当課	部名	教育総務部	課名		教育	旨振	<b>興課</b>	会計区	分	-	一般		事業区	分	ハー	ド
14	事業名	小点	学校区公民館維持	補修事	事業												
		小学校区	び単位での住民等の主	体的な	学習活				民館施	設及	なび設備	前の維持	<b>京、</b> 裈	修、更	新の	の見	方向性 込み 拝度比)
	目的 及び	するため	し、生活の向上と文化 、学習機会、情報の提	供を行	う。 そ	H 30	内容	O								H31 年度	継続
	概要	施設利用	民館施設の利用者が	設の長		年度		③屋上	防水の	実施	<u>ī</u>					H32 年度	継続
		を図るた	め、維持補修に努める	0							- 111115.					H33 年度	継続
								方向性 <sup>前年度比)</sup>	継続	-	下 (万円)	50.9		市負担分 万円)	50.9	H34 年度	継続
	担当課	部名	教育総務部	課名		教育	旨振	<b>興課</b>	会計区	分	-	一般		事業区	分	ハー	K
I	反 組 T	3-1-5			)充実												
15	事業名	資料	斗情報収集提供事	·業 ——				①次率1.	桂却ナ.片	E / III	7年1 2	第一丁 1ヶ夕等	IH / F	<b>左</b> 1	田老に		
			な養、調査研究、レクリニ とを目的に、図書、視耶				提供する ②読書第 な資料・	る 案内やレ 情報をつ	ファロ	レンスサ <sup>・</sup> げる	ービスに	より、	存し、利 利用者 、様々な	と必要	事業の	方向性 込み 拝度比)	
	目的 及び 概要	データベ集し、整理	ース等記録その他必要 理し、保存して、市民の と読書案内やレファレン	要な資料 )利用に	↓を収 提供	H 30 年	内容	料·情報 ④広告』	提供を行 又入により	テう り財?	原を確保	いする		、依々な		H31 年度 H32	継続継続
	,,,,,,		つ支援)などで、利用者			度		する						斗提供方		年度 H33 年度	継続
								<b>方向性</b> 前年度比)	継続		業費 「万円)	163.4		市負担分 万円)	163.2	H34 年度	継続
	担当課	部名	教育総務部	課名	中	央区	凶書	許館	会計区	分	-	一般		事業区	分	ソフ	<b>F</b>

16	事業名	読	<b>書推進事業</b>											
							取組を ②図書	実施する 館・学校等	等でおは	なし会を	推計画に注 実施する 入れを行う	沿った	の見	方向性 込み 拝度比)
	目的 及び	読書を楽	マ乳幼児から高齢者 しむことができるよう、	学校や	関係施	H 30					読書活動を	推進	H31 年度	拡充
	概要		課と連携し、環境を整作 、読書活動を推進する		の提	年度	⑤高齢				を実施する		H32 年度	継続
							を行う	7047(7)(7)	W10 G 10	/IJ C (/T	- E J O I C I	<b>V</b> 1	H33 年度	継続
							方向性 (対前年度比)		事業費 百万円)	35.9	うち市負担分 (百万円)	32.1	H34 年度	継続
	担当課	部名	教育総務部	課名	中	央国	図書館	会計区分		一般	事業区	分	ソフ	<b>.</b>
17	事業名	図書	<b></b>											
		より多くの	)市民に利用してもらい	、利用	者の教		う(人形 移動区	劇・工作等  書館を活	等行事、用したイ	ライブラ!		バル、	の見	方向性 込み 拝度比)
	目的 及び		多くの市民に利用してもらい、利用者の レクリエーション等に資することを目的 民との協働によりさまざまな行事や取り				内 ②図書 を 施する	館職員に	よる図書	館の使い	ハ方講座な	どを実	H31 年度	継続
	概要		もに、市民の利便性の 拠点の充実など、図書			年度	いて検	討する			拠点の充実	につ	H32 年度	継続
		の整備を	行う。				(70)4)-	子ども向け	の演劇の	)上演を	行う		H33 年度	継続
							方向性 (対前年度比)		事業費 百万円)	26.7	うち市負担分 (百万円)	26.7	H34 年度	継続
	担当課	部名	教育総務部	課名	中	央国	図書館	会計区分		一般	事業区	分	ソフ	<b>F</b>
18	事業名	図書	<b>볼館ICT事業</b>											
		ICながの	導入による資料管理の	が家仏	1.85			館システュ			)利活用につ	コムて	の見	方向性 込み 拝度比)
	目的	ホームペ	与人による質材官座の ージの充実、Wi-Fi環 市民の利便性の向上を	竟の整個	備など	H 30	情報収	集を図り、	研究する	5	対はカルこと		H31 年度	継続
			料へのアクセスを容易			年度	要検討		一义利に	可け、込	(79) V / M	V 2719∕L	H32 年度	拡充
		172117	0										H33 年度	継続
							方向性 (対前年度比)	かまか 一	事業費 百万円)	73.2	うち市負担分 (百万円)	73.2	H34 年度	継続
	担当課	部名	教育総務部	課名	中	央国	図書館	会計区分		一般	事業区	分	ソフ	<u>-</u>

「心水の加女		
まちの将来像	3	みんなの"楽しい"が見つかる文化のまち
施策	3-2	みんなが楽しめるスポーツ活動を推進する
施策の 方向性	味や年にスポーツ	/関係団体等と連携し、健康増進・生きがいづくりのイベント、スポーツ教室等を開催するとともに、各自の興齢、体力、技能等に応じて、誰もが気軽に生涯スポーツに親しむことができる環境を整えます。また、本市の /推進に関する取組の基本となる計画を策定します。 パーツ等の活動・運営を支える人材の育成や互いに協力しあえるネットワークを構築します。
	1	多様な生涯スポーツ活動の推進
	2	スポーツ関係団体や指導者の育成
取 組	3	
★:重点プラン	4	
該当取組	5	
	6	
	7	

		7													
2	実施計画	Ξ.								★:重点	プラン診	ぎ当取組、◎	重点に	プラン該	当事業
Ą	D 組	3-2-1	多様な生涯	スポー	-ツ活	動0	D拍	進							
1	事業名	生涯	<b>Eスポーツ推進事</b>	業											
												ロ(市制70居 流大会の実		の見	方向性 込み 拝度比)
	目的 及び	いつでも	推進計画に基づき、す ・どこでも・いつまでもス	スポーツ	に親し	H 30	内容	②用具	の貸し出			ル八云の夫	地)	H31 年度	継続
	概要		スポーツ社会の実現と こめ、スポーツ機会のオ			年度		④スポ <sup>、</sup>	ーツに関		H32 年度	継続			
														H33 年度	継続
								方向性 前年度比)	拡充	事業費	27.0	うち市負担分 (百万円)	25.8	H34 年度	継続
	担当課	部名	市民文化部	課名	スポ	ーツ	/推	進課	会計区:	分	一般	事業区	分	ソフ	F
2	事業名	スホ	ペーツ施設管理運行	営事業											
														の見	方向性 込み 拝度比)
	目的 及び	心して快	推進計画に基づき、市 適にスポーツ活動がて	ぎきるよう	、市民	H 30		O		-ル・忍頂= -トの利用:		ツ公園及び 里	グラウ	H31 年度	継続
	概要		市民プール及び運動原 軍営を行う。	広場等の	)適切	年度								H32 年度	継続
										± ** #				H33 年度	継続
			I					前年度比)	継続	事業費 (百万円)	488.7	うち市負担分	335.6	H34 年度	継続
	担当課	部名	市民文化部	課名	スポ	ーツ	/推	進課	会計区:	分	一般	事業区	分	ソフ	<b>F</b>
3	事業名	運動	動広場等営繕事業	<u> </u>											
			推進計画に基づき、高 すべての市民がより利					①多日	的トイレ	の新設士:	重(短出	運動広場)		の見	方向性 込み 拝度比)
		るよう、ス	ポーツ施設の附帯設備	帯を整備	すする。	H 30	内容					産動は場が 3号公園グラ	ウン	H31 年度	継続
		用者用の	)多目的トイレを新設す 園グラウンドに、本部新	<b>-</b> る。		年度		,						H32 年度	継続
		行う。	- ZZ · · · · · · · · · · · · · · · · · ·											H33 年度	継続
								方向性 前年度比)	継続	事業費	13.0	うち市負担分 (百万円)	1.8	H34 年度	継続
	担当課	部名	市民文化部	課名	スポ	ーツ	/推	進課	会計区:	分	一般	事業区	分	ハー	ド

	取	組	3-2-2	スポーツ関	係団体	おお	導行	当(	の育成								
4	. [:	事業名	スポ	ーツ団体・指導者	育成	事業											
			スポーツ割	推進計画に基づき、ス	ポーツを	と支え			<ul><li>①指導</li></ul>	≠≠羽	今.	<b>莊</b>	の実施				方向性 込み 拝度比)
		日的	ポーツ関係	等の人材の育成を行 系団体や老人クラブ等	等の地域	に根	H 30	内容	②推進	委員活	動の	つ支援	の美施 23介制度	の制定		H31 年度	継続
		概要	体と連携・	かする団体、大学、企 協働することにより生			年度		(D) 1.71	> 1⊟ -	7.0	五.烬		v>1 111,7∟		H32 年度	継続
			境の充実	を図る。												H33 年度	継続
									方向性 前年度比)	拡充		事業費 事万円)	10.5	うち市負担分 ( <b>百万円</b> )	10.5	H34 年度	継続
		担当課	部名	市民文化部	課名	スポ	ーツ	/推	進課	会計区	分	-	一般	事業区	分	ソフ	<u>۱</u>

まちの将来像	3	みんなの"楽しい"が見つかる文化のまち
施策	3-3	文化芸術活動を支援し歴史と伝統を継承する
施策の 方向性	チを進む	興ビジョンに基づき、市民の主体的な文化活動や交流を支援するとともに、子どもたちへの多様なアプロー めるなど、新しい担い手の発掘と育成を図ります。また、歴史遺産の保存と活用を推進し、拠点施設の機能充 )、市民の郷土愛を育むことで、歴史文化遺産を発展的に継承します
	1	市民との協働による文化のまちづくり
	2	★ 文化芸術とふれる・感じる・つながる「場」づくり
取 組	3	★ 未来へ向けた文化芸術の担い手の育成
★:重点プラン	4	★ 歴史遺産の保存・継承
該当取組	5	郷土への愛着心とブランド形成
	6	
	7	

			7																
2	身	施計画	1									*	:重点	プラン記	亥当.	取組、◎	重点	プラン該	当事業
	取	組	3-3-1		市民との協	働によ	る文化	Ľ <i>0</i> .	ま	きちづく	J								
1	1	事業名	文化	/芸	術振興補助事	業													
			ど、文化芸	芸術の	護、若手芸術家の 振興につながる 圣費の一部を補助	取組み				①茶木	古坦安	小草	チリハナ	长汗動寸	<b>- 译</b>	事業評価	<b>ボ</b> 禾 旨	の見 (対前4	方向性 !込み 年度比)
		及ひ	【関連取組		-3-2 文化芸術と 島」づくり】	ふれる・	·感じ	H 30 年	内容	会の意	会の意見をもとに対象事業の審査を行い、選考事 業に対し補助金を交付							継続	
		<b>似安</b>	【関連取組の担い手	且:3- の育	-3-3 未来へ向け 成】												年度 H33	継続継続	
			【関連取組:3-3-5 郷土への愛着心とブランド形成】							方向性 対前年度比)	拡充		業費 万円)	0.8		市負担分	0.8	年度 H34 年度	継続
		担当課	部名		市民文化部	課名	文	化排	辰戼	<b></b>	会計区	分	-	一般		事業区	分	ソフ	۲
2	2	事業名	名 【再掲】文化振興事業									•							
		目的 及び 概要	術文化に 広く市民 団体の活 【関連取終 る・つなが	関化を動き   1:3-   1:3-	する事業を実施の向上を図るととの向上を図るととい の向上を図るととい 促進させる。 3-2 文化芸術と 易」づくり】	文化芸術とふれる・感じ				②文化 員会と <sup>(3)</sup> ③立命 ルを利 ④小学 ⑤財団	の連携 館いばに 用する 生に加 のあり方	進市っき業で派令	民会議 フューラ こ補助 就学前	集、文化 チャーフ 金を交 親子対	振り付け	興施策推 ボグラント イベントの	、ホー の実施	の見 (対前 <sup>4</sup> H31 年度 H32 年度	を
			の担い手 【関連取約 ド形成】		成】 -3-5 郷土への愛	着心と	ブラン			切手シ 方向性 <sup>抗角度比)</sup>	一トを作 拡充	事	業費万円)	(111.9)		市負担分	(111.1	H33 年度 H34 年度	継続継続
		担当課	部名		市民文化部	課名	文	化批	辰師	4課	会計区	分	-	一般	•	事業区	分	ソフ	<u>۲</u>
;	3	事業名	【再	揭】	吹奏楽団・少年	F少女	合唱	可言	瓦	<b></b>	業								
			を図ること	を目	化の振興と青少年 的に、吹奏楽や行動の充実に努め	合唱には	おいて			の見								方向性 込み 年度比)	
		目的 及び	文化の向	上を	図る。			H 30 年	内容	①吹奏 催	楽団・少	年少	少女合	唱団の	定期	演奏会	の開	H31 年度	継続
			る・つなが	る「均				度										H32 年度 H33	継続
			【関連取組:3-3-3 未来へ向けた文化芸術の担い手の育成】							方向性	継続		業費	(3.4)		市負担分	(3.4	年度 H34	継続継続
	-	担当課	課 部名 市民文化部 課名							<del>対前年度比)</del> 単課	会計区		万円)	一般	(百	事業区		ザ 年度 ソフ	
			- H		4 4.1 00 00 00	H-1- H	名 义	. , 1/		. 1711		•		/		, ,,,,,,			•

4	事業名	【再	掲】市立ギャラリー	運営	事業									
			を展示することによりで 作及び鑑賞活動を促										の見	方向性 込み 年度比)
	目的 及び		作及い鑑賞店期を促え 民文化の振興を図る。	迷し、夫	11111 全	H 30	内容・①ギャラ	ラリーの道	軍営及び企	と画展の	開催		H31 年度	継続
			狙:3-3-2 文化芸術と ぶる「場」づくり】	ふれる	・感じ	年度							H32 年度 H33	継続継続
							方向性(対前年度比)	継続	事業費	(5.9)	うち市負担分(百万円)	(2.2)	年度 H34 年度	継続
	担当課	部名	市民文化部	課名	文	化拔	長興課	会計区分		一般	事業区	分	ソフ	<u>۲</u>
5	事業名	【再	掲】芸術を活用した	たまち	づくり扌	隹迮	進事業					·		
		し、芸術で 展を図る。 また、運管	, 営については、市内の	のさらな 芸術団	さ発 体と市									
	目的 及び 概要	【関連取約	よる実行委員会形式で 組:3-3-2 文化芸術と ぶる「場」づくり】				<b>内</b> 容 ①アー	トプロジェ	H31 年度 H32 年度	継続継続				
		【関連取組の担い手	狙:3-3-3 未来へ向け の育成】	-3 未来へ向けた文化		度							H33 年度	継続
		【関連取得 ド形成】	狙:3-3-5 郷土への褒	フフン		方向性 (対前年度比)	継続	事業費	(3)	うち市負担分(百万円)	(3)	H34 年度	継続	
	担当課	部名	市民文化部	課名	文	化挑	長興課	会計区分	<del>分</del>	一般	事業区	分	ソフ	<b>١</b>
耳	又 組	3-3-2	★ 文化芸術と	3-3-2 ★ 文化芸術とふれる・										
							2,673.0	201 -	/ \ 7					
6	事業名	◎【再	 掲】市民会館跡地					. 201 2	,					
6	事業名	閉館した民との対	市民会館の跡地エリア 話を基本に、市中心部	エリア につい に位置	活用事で、市		を (ソフト) ①基本	計画策策	定•PPP手》	去導入下	可能性調査		の見	方向性込み年度比)
6	目的	閉館した 民との対	市民会館の跡地エリア	エリア (についる)に位置 関など。	活用事で、市	事業 H 30	を(ソフト) ①基本 ②実施 ③育て	計画策策 方針作品 る広場実	定•PPP手泡 戏				の見	込み
6		閉館した 民との対 いう立地・ え、その活	市民会館の跡地エリア 話を基本に、市中心部 や、社会情勢、政策課 舌用を検討、推進する。 组:5-6-2 魅力ある中	エリア (につい ほに位置 題など	活用事で、市けるとをふま	事業 H	を (ソフト) ①基本 ②実施	計画策策 方針作品 る広場実	定•PPP手泡 戏				の見 (対前 <sup>4</sup> H31	込み 年度比) 臨時
6	目的及び	閉館した 民との対いう立地・ え、そのだ 【関連取終 周辺の整	市民会館の跡地エリア 話を基本に、市中心部 や、社会情勢、政策課 舌用を検討、推進する。 组:5-6-2 魅力ある中 備】 组:7-2-4 公共施設等	エリアについるに位置題などで、心市街	活用で、たるまをかまます。	事業 H 30 年	ト (ソフト) ①基本施 ②実施 実験の	計画策策 方針作成 る広場実 実施)	定・PPP手派 成 琴現への取		-クショップ 、		の見 (対前4 H31 年度 H32 年度 H33 年度	込み 年度比) 臨時 拡充
6	目的及び	閉館した 民との対いう立地・ え、そのが 【関連取籍 【関連取籍 【関連取籍	市民会館の跡地エリア 話を基本に、市中心部 や、社会情勢、政策課 舌用を検討、推進する。 组:5-6-2 魅力ある中 備】 组:7-2-4 公共施設等	エリアについるに位置題などで、心市街	活用で、たるまをかまます。	事業 H 30 年	を(ソフト) ①基本 ②実施 ③育て	計画策策 方針作品 る広場実	定•PPP手泡 戏				の見 (対前 <sup>3</sup> H31 年度 H32 年度	込み 年度比) 臨時 拡充 継続
6	目的及び	閉館した 民との対いう立地・ え、そのが 【関連取 問辺の整 【関連を有 部名	市民会館の跡地エリア話を基本に、市中心部や、社会情勢、政策課 舌用を検討、推進する。 组:5-6-2 魅力ある中 備】 组:7-2-4 公共施設等 効活用】	エリア につい なに位置 など 心市街	活用でするま地・駅がおります。	事業 H 30年度 跡址	(ソフト)	計画策策方方公場等	定・PPP手注 成 送現への取 事業費 (百万円)	組(ワー	-クショップ 、 うち市負担分	(21.7)	の見 (対前 <sup>4</sup> H31 年度 H32 年度 H33 年度 H34	は は は は は は は は は は は は は は は は は は は
7	目的び概要	閉館した 民との対いう立地・ え、そのが 【関連取 問辺の整 【関連を有 部名	市民会館の跡地エリア 話を基本に、市中心部 や、社会情勢、政策課 舌用を検討、推進する。 组:5-6-2 魅力ある中 備】 组:7-2-4 公共施設等	エリア につい なに位置 など 心市街	活用でするま地・駅がおります。	事業 H 30年度 跡址	(ソフト)	計画策策方方公場等	定・PPP手注 成 送現への取 事業費 (百万円)	組(ワー (33.5)	-クショップ、 うち市負担分 (百万円)	(21.7)	の見 (対前4 H31 年度 H32 年度 H33 年度 H34 年度	は は は は は は は は は は は は は は は は は は は
	目的び概要担当課	閉館した 別館した 対いうえ、その対 、、その対 、、関連の取を の の の の の の の の の の の の の	市民会館の跡地エリア話を基本に、市中心部や、社会情勢、政策課 舌用を検討、推進する。 组:5-6-2 魅力ある中 備】 组:7-2-4 公共施設等 効活用】	エリアでに位という。心中の計画は、エリアでは位という。	活 てする 地 的 市 活 てす か 駅 な 会 耳 市とま	事業 H30年度 跡 業	内容 (ソフト) ①基本施ての (対前年度比) 也活用推進課 (ハード)	計画策策 方針作り ま施) 臨時充 会計区な	定・PPP手記 成 実現への取 事業費 (百万円)	組(ワー (33.5) 一般	-クショップ、 うち市負担分 (百万円)	(21.7)	の見 (対前3 年32 年33 年33 年34 年 9 の前4 で の前4	は は は は は は は は は は は は は は は は は は は
	目及概 担 事 目及の	閉氏とうそ、 関連の立そ、 関連の連と有 の の の の の の の の の の の の の	市民会館の跡地エリア話を基本に、市中心部や、社会情勢、政策語所を検討、推進する。 祖:5-6-2 魅力ある中 備】 祖:7-2-4 公共施設等 効活用】 企画財政部 掲】市民会館跡地 市民会館の跡地エリア語を基本に、市中心部 や、社会情勢、政策語の課 活用を検討、推進する。 祖:5-6-2 魅力ある中	エリア につい置い 心 市 計画 課名 エリア に位 が ままり ア に で 位 ど に か ば に な が に な が が に な が が ままり ア に に 位 ど が が が が ままり ア い 置 に か と が が か ままり ア い 置 い に か と が か か ままり ア い 置 い に か と が か か ままり ままり	活 てする 地 的 市 活 てする 駅 な 会 用 市とま	事業 H 30年度 跡址	内容 (ソフト) ① 基本施ての ② 実育作の 方前年度比) 地活用推進課 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	計方針作場 計方針作場 臨拡 会計区 会門)	定・PPP手記 成 実現への取 事業費 (百万円)	組(ワー (33.5) 一般 会館・人	ラち市負担分 (百万円) 事業区	(21.7)	の (対前 <sup>4</sup> H31 年度 H32 年度 H33 年度 H34 年度 フ	込み は は
	目及概 担 事 目及の	閉民いえ、 関節とうそ、 関辺連とを 部名 ③ 【 明民いえ、 関辺連とを の立そ、 連の立そ、 連の立るで、 東辺の立るで、 取整、 地での立るで、 東辺の立るで、 東辺の を表した対地で、 取整、 は、	市民会館の跡地エリア語を基本に、市中の第 を基本に、市中の策 を基本に、市中の策 活を基本に、市中の策 活用を検討、推進する。 選:5-6-2 魅力ある中 選:7-2-4 公共施設等 お 市民会館の跡地エリア部 活を基本に、市中の策 活を基本に、勢、政策課 活用を検討、推進する。 母:5-6-2 魅力ある中 第:5-6-2 魅力ある中 第:5-6-2 松共施設等	エリア にで位と 市 計 画 エリ つに位と 市 でに位と でになる で、市 計 画	活 てする 地 的 市 活 てする 地 n まとま 駅 な 会 耳 市とま 駅	事 H 30年度	内容	計方の実 臨拡 計 区 会 民 万 民 の 会 に の 会 に の 会 に の 会 に の 会 に の 会 に の 会 に の 会 に の 会 に の 会 に の 会 に の 会 に の 会 に の 会 に の 会 に の 会 に の と	定・PPP手約 成 見現への取 事業費 (分) 福祉文化 人工台地	組(ワー (33.5) 一般 会館・人 解体工	-クショップ、 (百万円) 事業区 、工台地解	(21.7)	の見 対 H31度 H32 年 H34 年 H34 年 ア 対 前 H31 年 H32 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	込み
	目及概 担 事 目及の	閉民いえ 【周【整郎とうそ 関辺連と有いる、関辺連と有いる。 【 関辺連と おもしの立そ 連の取れる 「関辺連とう、 関辺連の立る 「関辺連の変形を対した対地の、 取整系	市民会館の跡地エリア語を基本に、市中の第 を基本に、市中の策 を基本に、市中の策 活を基本に、市中の策 活用を検討、推進する。 選:5-6-2 魅力ある中 選:7-2-4 公共施設等 お 市民会館の跡地エリア部 活を基本に、市中の策 活を基本に、勢、政策課 活用を検討、推進する。 母:5-6-2 魅力ある中 第:5-6-2 魅力ある中 第:5-6-2 松共施設等	エリア にで位と 市 計 画 エリ つに位と 市 でに位と でになる で、市 計 画	活 てする 地 的 市 活 てする 地 的 雨 たま 駅 な 会 耳 市とま 駅 な	事 H 30年度	内容 (ソフト) ① 基本施ての ② 実育作の 方前年度比) 地活用推進課 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	計方針作場 計方針作場 臨拡 会計区 会門)	定・PPP手記成 現への取 事業万円 福祉工 台地	組(ワー (33.5) 一般 会館・人	ラち市負担分 (百万円) 事業区	(21.7) (21.7) 体設計	の見 対 H31度 H32 年 H34 年 H34 年 ア 対 前 H31 年 H32 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	込みよい     継継継継       協立     機能       大い     大い       大い

8	事業名	市立	ンギャラリー運営事	業											
		美術作品	っを展示することによりテ	市民の美										の見	方向性 込み 拝度比)
	目的 及び		作及び鑑賞活動を促え 民文化の振興を図る。	進し、美	術を	H 30	内容	①ギャ	ラリーのゴ	軍営及び公	企画展の	開催		H31 年度	継続
	概要	• 10 • · · ·	組:3-3-1 市民との協	働による	5文化	年度				H32 年度	継続				
		のまちづ	<9]											H33 年度	継続
								<b>向性</b> 〕年度比)	継続	事業費	5.9	うち市負担分	2.2	H34 年度	継続
	担当課	部名	市民文化部	課名	文	化扩	長興:	課	会計区	分	一般	事業区	4	ソフ	<u> </u>
9	事業名	⊚ <b>ま</b> 5	なかアートツアー												
														の見	方向性 込み    度比)
	目的 及び	作品を市	置されている彫刻や約 民に知ってもらうことに	より、文	化芸	H 30						片内の芸術イ 'アー」を実カ		H31 年度	継続
	概要		に感じてもらう機会とす トツアー」を実施する。	トるため	、「まち	年度								H32 年度	継続
										***				H33 年度	継続
								(向性 (声度比)	継続	事業費	0.1	うち市負担分	0.1	H34 年度	継続
	担当課	部名	市民文化部	課名	文	化技	長興:	課	会計区	分	一般	事業区	<del>7</del>	ソフ	<u> </u>
10	事業名	【再	掲】文化振興事業												
		術文化に 広く市民	○団体や文化振興財団 ○関係する事業を実施で 文化の向上を図るとと ・動を促進させる。	すること	により、			②文化 員会と	芸術推済 の連携		義、文化	振興施策推			方向性 込み 拝度比)
	目的 及び		祖:3-3-1 市民との協	働にトス	<b>ミナル</b>	H 30	内灾							H31 年度	継続
		のまちづ				年度		⑤財団	団のあり方検討 制施行70周年記念事業としてオリジナル記念					H32 年度	継続
		の担い手【関連取得	:の育成】 組:3-3-5 郷土への愛	を着心と	ブラン				ートを作					H33 年度	継続
		ド形成】						<b>向性</b> 百年度比)	拡充	事業費	(111.9)	うち市負担分	(111.1)	H34 年度	-
	担当課	部名	市民文化部	課名			長興		会計区	分	一般	事業区	7	ソフ	<u> </u>
11	事業名	【冉	掲】吹奏楽団・少年	+少女	合唱	山自		古動与	事業						
		を図ること	楽文化の振興と青少年と とを目的に、吹奏楽や作楽活動の充実に努め	合唱には	おいて			~							方向性 込み F度比)
	目的 及び		上を図る。	JCC01	- u /\	H 30 年		①吹奏 催	楽団・少	`年少女合	・唱団の気	定期演奏会の	か開	H31 年度	継続
		【関連取得のまちづ		-3-1 市民との協働による文										H32 年度	継続
		【関連取組:3-3-3 未来へ向けた文化芸術の担い手の育成】								古米井				H33 年度	継続
							(対前	(向性 (百度比)	継続	事業費 (百万円)	(3.4)	うち市負担分	(3.4)	H34 年度	継続
	担当課	部名	市民文化部	課名	文	化排	長興:	課	会計区分	分	一般	事業区	ने	ソフ	<b>F</b>

12	事業名	【再	掲】文化芸術振興	具補助 事	事業									
		ど、文化	この保護、若手芸術家芸術の振興につながる に、経費の一部を補助	る取組み			1)茨木	市提案公	·募型公益	益活動支	接事業評価	五委員	の見 (対前4	方向性 込み F度比)
	及ひ	【関連取済のまちづ	組:3-3-1 市民との協	場働による	5文化	H 30 年	内容学に対	見をもとに し補助金	二対象事 を交付	業の審査	£を行い、選	考事	H31 年度 H32	継続
	概要		組:3-3-3 未来へ向に	けた文化	芸術	度				年度 H33	継続			
		【関連取済 ド形成】	組:3-3-5 郷土への参	愛着心と	ブラン		方向性	継続	事業費	(0.8)	うち市負担分	(0.8)	年度 H34	継続
	担当課	部名	市民文化部	課名	文	化挑	(対前年度比)	会計区分	(百万円)	一般	事業区		年度ソフ	
13	事業名	◎【再	掲】芸術を活用し	たまち・	づくり扌	<b>生</b> 進	生事業							
		し、芸術 展を図る また、運	営については、市内の	iのさらな ・芸術団(	:る発 体と市								の見	方向性 込み F度比)
	目的 及び		よる実行委員会形式			H 30	<mark>内</mark> 容 ①アー	トプロジェ	クトの実力	施			H31 年度	継続
	概要	のまちづ	組:3-3-1 市民との協 くり】 組:3-3-3 未来へ向り			年度							H32 年度	継続
		の担い手					方向性	(1) ( ) ( )	事業費	(-)	うち市負担分	(-)	H33 年度 H34	継続
	In	ド形成】					(対前年度比)		(百万円)	(3)	(百万円)	(3)	年度	継続
	担当課	部名	市民文化部	課名	又	1匕扔	長興課	会計区分		一般	事業区	分	ソフ	
14		寄託を受	上正晴記念館事業 記けた郷土の作家である 資料の収集・整理・保		H	②富士 ③ミュー	正晴の絵 -ジアムネ	はがき販 ットワーク	売	集·整理保 <sup>2</sup> 加、川端康 1		の見 (対前4	方向性 込み F度比)	
	X.O.	北東田出				30	容④講演	会の開催					H31 年度	継続
	概要		景符の収集・登座・休 3告書の刊行や、整理 年1回)を実施する。				容   ④講演     ⑤企画     ⑥未刊		・ ・等の発行	•	公開			継続継続
	概要		告書の刊行や、整理			30 年	容   ④講演     ⑤企画     ⑥未刊	会の開催展の開催行の資料目録のホ	・ ・等の発行	•	公開 うち市負担分 (百万円)	2.1	年度 H32 年度 H33	継続
	担当課	講演会(名	受告書の刊行や、整理 年1回)を実施する。 教育総務部	資料の企課名	公開、 中	30 年度	容 ④講演画 ⑤ 示 內性 (対前年度比) 図書館	会の開催展の開催行の資料目録のホ	等の発行 ームペー 事業費 (百万円)	ジでの!	うち市負担分		年度 H32 年度 H33 年度 H34	継続継続
15		講演会(名	登告書の刊行や、整理 年1回)を実施する。	資料の企課名	公開、 中	30 年度	容 ④講演画 ⑤ 示 內性 (対前年度比) 図書館	会の開催 展の開催 行の資料 目録のホ 継続	等の発行 ームペー 事業費 (百万円)	・ジでの <u>2</u>	うち市負担分(百万円)		年度 H32 年度 H33 年度 H34 年度	継続継続
15	担当課事業名	部名 福名 市民福祉	受告書の刊行や、整理 年1回)を実施する。 教育総務部	資料の公課名 総合セ をの向上。	公開、 中 ンター を図	90年度 央 運	容     4講演画刊       (a) (a) (b) (c) (b) (c) (c) (c) (c) (c) (c) (c) (c) (c) (c	会の開催 展の開催 行の資料 目録のホ 継続	等の発行ームペー事業費(百万円)	ジでの <u>/</u> 2.2 一般	うち市負担分(百万円)		年度 H32 年度 H33 年度 H34 年度 ソフ	継続継続・大方込まり、大方込まり、大方とは、大方とは、大方には、大方には、大方には、大方には、大方には、大方には、大方には、大方に
15	担当課	講演会(*** 部名 福祉 下民文する。 芸化化事 な化ま	発告書の刊行や、整理 年1回)を実施する。 教育総務部 止文化会館・市民 が関係や文化振興財団に業を実施する拠点となる。 ででである。	資料の公課名 総合セ 総合セ 総合と 総合を 総合を を の向上。	公開、 中 レター を図に営	30 年度	容       4講演画刊料         方向年度比)       大方前年度比)         水書館       事         12館団社         29間団社	会の開催展の開催行の資料 目録の 本継続 会計区分の維持管	等の発行 事業 百万円 型 関 関 関 に に に に に に に に に に に に に	ジでの <i>2</i> 2.2 一般 定管理	うち市負担分 (百万円) 事業区		年度 H32 年 日 H33 年 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 り の り 同 月 日 り 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	継続継続
15	担当課事業名目的び	講演会(を 部名 市り、関する。	発告書の刊行や、整理 年1回)を実施する。 教育総務部 止文化会館・市民 が関係や文化振興財団に業を実施する拠点となる。 ででである。	資料の公課名 総合セ 総合セ 総合と 総合を 総合を を の向上。	公開、 中 レター を図に営	30 年度	容     (対前年度比)       方向年度比)     (対前年度比)       (対前年度比)     (対前年度比)       (対前年度比)     (対前年度比)       (対前年度比)     (対前年度比)       (対前日間・     (対前日間・       (対方の方式)     (対方の方式)       (対方の方式)     (対方の方式)	会の開催を表の開催を表の開催を表の開催を表の開催を表しています。 一般 おんしゅう おんしゅう おんしゅう おんしゅう かんしゅう はんしゅう はんしゅん はんしん はんし	等 の の の の で で で で で で で の の で の の で の の の で の の の で の に の に の に の に の に に に に に に に に に に に に に	ジでのク 2.2 一般 定管理 引けた検	うち市負担分 (百万円) 事業区	分	年度 H32 年33 年33 年34 年第 の前 H31 年32 年33 年33 年33 年33 年33 年33 年33	継続 総続 病 向み は 経 機 総 総 総 総 総 総 総 総 に を り る り と り を り を り を り を し を り を り を り を り を り を
15	担当課事業名目的び	講演会(*** 部名 福祉 下民文する。 芸化化事 な化ま	発告書の刊行や、整理 年1回)を実施する。 教育総務部 止文化会館・市民 が関係や文化振興財団に業を実施する拠点となる。 ででである。	資料の公課名 総合セ 総合セ 総合と 総合を 総合を を の向上。	公開、 中 ク 図に営 ・	30年度 中 田 30年度	容       4講演画刊料         方向年度比)       大方前年度比)         水書館       事         12館団社         29間団社	会の開催を表の開催を表の開催を表の開催を表の関係を表しています。	等 の の の の の の の の の の の の の	ジでの <i>2</i> 2.2 一般 定管理	うち市負担分 (百万円) 事業区	分 238.2	年度 H32 年33 年33 年34 年第 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9	継継継継継継継継継継継継継継継継継継継継

取	双 組	3-3-3	★ 未来へ向け	た文化	上芸術	の	担い	手の	育成						
16	事業名	吹麦	奏楽団・少年少女	合唱団	育成	舌重	事	業							
		を図ること 市民の音	「楽文化の振興と青少とを目的に、吹奏楽や 「楽活動の充実に努め 「上を図る。	合唱にお	おいて	н			楽団・少	>年少女合	1唱団の気	定期演奏会 <i>0</i>	)開	の見 (対前 <sup>4</sup> H31	方向性 込み 拝度比) 継続
	及び概要	【関連取締のまちづ	 組:3-3-1 市民との協			30 年 度	容	催						年度 H32 年度 H33	継続
		る・つなか	がる「場」づくり】					<b>向性</b> (年度比)	継続	事業費 (百万円)	3.4	うち市負担分 (百万円)	3.4	年度 H34 年度	継続
	担当課	部名	市民文化部	課名	文	化技	辰興詞	果	会計区	分	一般	事業区分	<b>&gt;</b>	ソフ	<b>-</b>
17	事業名	◎ 文化	<b>上振興事業</b>												
		術文化に 広く市民	係団体や文化振興財団 ご関係する事業を実施 文化の向上を図るとと 行動を促進させる。	すること	により、	I	(	②文化 員会と ③立命	芸術推 の連携 館いば	うきフュー	議、文化 チャープ	振興施策推議 ラザグランド		の見	方向性 込み 拝度比)
		【関連取締のまちづ	組:3-3-1 市民との協	動による	る文化	30 年	容(	④小学				寸 象イベントの	実施	年度 H32	継続継続
		【関連取締る・つなか	組:3-3-2 文化芸術と ぶる「場」づくり】			度		6市制		周年記念	事業として	てオリジナル	記念	年度 H33 年度	継続
		【関連取得における。	組:3-3-5 郷土への9	愛着心と	ブラン			<b>向性</b> (年度比)	拡充	事業費 (百万円)	111.9	うち市負担分 (百万円)	11.1	H34 年度	継続
	担当課	部名	市民文化部	課名	文	化技	辰興詞	果	会計区	分	一般	事業区分	}	ソフ	<b>-</b>
18	事業名	◎【再	掲】芸術を活用し	たまち	づくり打	推進	丰事	業							
		し、芸術は展を図る。	記やまちの課題解決に 文化都市として茨木市 。 営については、市内の	iのさらな	る発									の見	方向性 込み 拝度比)
	目的 及び		よる実行委員会形式			H 30	内容	①アー	トプロジ	ェクトの実	施			H31 年度	継続
	194.女	のまちづ	組:3-3-1 市民との協 くり】 組:3-3-2 文化芸術と			年度								H32 年度	継続
		る・つなか 【関連取締	組.3 3 2 文化去例で がる「場」づくり】 組:3-3-5 郷土への動				方	向性	継続	事業費	(3)	うち市負担分	(3)	H33 年度 H34	継続継続
	担当課	ド形成】	市民文化部	課名	4	-{\rangle \pi	(対前 長興言	年度比)	会計区	(百万円)	一般	事業区分		年度ソフ	
19	事業名					- 1 - 1	W/\ B	VK .	2112	73	/4×	7 10 10			
		伝統芸能 ど、文化:	Eの保護、若手芸術家芸術の振興につながる けし、経費の一部を補助	の育成 3	支援な			↑#: +·	士相安	八古田八	光江利士	·極事悉認位	<del>~</del> 吕	の見	方向性 込み 拝度比)
		のまちづ	組:3-3-1 市民との協 くり】 組:3-3-2 文化芸術と			H 30 年度	内	会の意	見をもと			接事業評価を行い、選		H31 年度 H32 年度	継続継続
		る・つなか 【関連取	がる「場」づくり】 組:3-3-5 郷土への動											H33 年度	継続
		ド形成】						<b>向性</b> (年度比)	拡充	事業費(百万円)	(0.8)	うち市負担分	(8.0)	干皮	継続
	担当課	部名	市民文化部	課名	文	化技	辰興詞	果	会計区	分	一般	事業区分	1	ソフ	<u> </u>

20	事業名	川得	岩康庁		事業													
		多くの市」	民に川	端文学に親しん	ノでもら <u>う</u>												の見	方向性 込み 拝度比)
	目的 及び			成ゆかりの資料の 高め、市民文化			H 30	内容	の開催	、併設学	ギヤ	館の運営 ラリーで 文学賞⊄	の企画			:画展	H31 年度	継続
	概要	【関連取約	狙:3-3	8-5 郷土への愛	着心と	ブラン	年度		2)////	ARAX H	*H*>	人丁貝。	7月111庄				H32 年度 H33	継続
		ド形成】							方向性	臨時		事業費	32.9		負担分	32.2	年度 H34	継続継続
	担当課	部名	Г	<b>市民文化部</b>	課名	文	化拔		前年度比)           	拡充		百万円)	一般		万円) 事業区		<b>年度</b> ソフ	
取	又 組	3-3-4	*	を要遺産の	保存・	継承												
21	事業名	 千掛	是寺才	を かる 遺跡史	跡整備	事業												
				遺跡の歴史的資													の見	方向性 込み 拝度比)
	目的 及び	活性化の	<u>ー</u> つ	こめに調査を行い ひ拠点としても活 ナて取り組む。			H 30 年		①埋蔵 ②科学				194万円	4			H31 年度 H32	-
	概要			5-4 市北部地域	しゅ 魅力 かい	向上]	度										年度 H33	_
									方向性	完了		事業費	2.2		負担分 万円)	1.1	年度 H34 年度	_
	担当課	部名	孝		課名	歴史	史文		財課	会計区			一般		事業区	分	八一	ド
22	事業名	◎ キリ	シタン	/遺物史料館	展示	充実事	業											
				重なキリシタン遺り													の見	方向性 込み 拝度比)
	目的 及び	調和を図	るため	ある現状を鑑み、 、高精度複製品	場に	進める	H 30 年	内容	①キリシ	ノタン遺	物社	复製品集	以作(1点	₹) 199	9万円		H31 年度	継続
	概要		、本市	は果も含めた企画 に残された歴史			年度										H32 年度	完了
		(C <del>H</del> ()/S	0						方向性		Ξ	事業費		うた本	負担分		H33 年度 H34	-
				et -hates =to				(文	前年度比)	継続	(E	5万円)	2.0	(百万	万円)	2.0	年度	_
	担当課	部名		数育総務部 	課名			-	財課	会計区		-	一般		事業区	分	ソフ	<u> </u>
23	事業名	)	足的发	建造物等保存	·活用f	住廷争	·兼	(作	任・守	元/よと	(1)						± 444 .0	
				の代表的なものと 1社)や寺院(105			н	内	①(臨)	歴史的	建ì	告物総合	·調査	10万	П		の見	方向性込み
	目的 及び 概要	存在し、z いることか て理解を	本市の ゝら、 深め、	風土・文化・景観 所民が歴史的建立 地域での保存と よう調査・啓発を	観を形成 告物等! :活用の	えして こつい	30 年度		②(臨)					/*	. •		年度 H32 年度	完了
		かと 夫仃	いさる	よノ袽笡・俗筅で	117)。				方向性	臨時	Į.	事業費	1.0	うち市	負担分	1.0	H33 年度 H34	_
	担当課	部名	力		課名	麻口	<b>₽ ∀</b>	(文	財課	拡充	(Ē	5万円)	1.8 一般	(百万	万円)	1.8	年度ソフ	  -
	12 JM	нг Ц	ৰ	스 더 (Virum 더 스	hw.n	ДΕЭ	~~	.   Ш.	V.1 H/L	741 F	. / J		/1X		- 水巴	,,		1

24	事業名	文化	上財保護啓発事業	·												
								実			·企画展·	コー	ナー展	の充	の見	方向性 込み 手度比)
	目的		子料等の調査・保存指導 関する情報の積極的			H 30	内容	③文化	財専門						H31 年度	継続
	及び 概要		を ・ ・ ・ は ら に も に も に も に も に も に も に ら に も に も に も に も に も に も に も に も に も に も に ら に ら に ら に ら に ら に ら に ら に ら に ら に ら に に ら に の に に に に に に に に に に に に に			年度		⑤市史	収集資	する調査 料の整理 ・部移管	里·活用(ī	<b></b>	収集資料	斗保存	H32 年度 H33	継続継続
								方向性 前年度比)	継続	事業費			市負担分	7.3	年度 H34 年度	継続
	担当課	部名	教育総務部	課名	歴9	史文		財課	会計区	1,	一般	()-	事業区	分	ソフ	<u></u> Ь
25	事業名	史蹟	亦郡山宿本陣管理	事業						•						
		国由跡で	ぶる郡山宿本陣(椿の	大陆)	0亿方										の見	方向性 込み 拝度比)
	及び	管理計画理による	「めつ印口省本陣(権の 『策定も視野に入れた』 保存に努め、公開事業 『産の理解と関心を深》	適切な網を通じて	推持管 て市民	H 30 年度	内容			運営及で あり方の	ゾ施設維持 検討	寺管	理 6197	7円	H31 年度 H32	継続継続
		とする。				区									年度 H33 年度	継続
								方向性 前年度比)	継続	事業費 (百万円			市負担分	6.2	H34 年度	継続
	担当課	部名	教育総務部	課名	歴9	史文	化!	財課	会計区	分	一般		事業区	分	ソフ	<b>F</b>
26	事業名	埋着	蔵文化財出土品保	存活月	用推進	事	業									
															の見	方向性 込み       実度比)
	目的及び	用を図る	だによる出土品の適正な ため、収蔵庫建設を含 蔵庫のあり方や活用方	め分散	保管し	H 30 年	内容				整理業務。 部移管)			跡調	H31 年度 H32	継続
	概要		活用を推進する。	12 2 101	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	度									年度 H33	継続
								方向性	継続	事業費	197		市負担分	19.2	年度 H34	継続継続
	担当課	部名	教育総務部	課名	歴	史文		財課	会計区	分	一般	(Ē	5万円) 事業区		年度ソフ	
耳	又組	3-3-5	郷土への愛	:着心と		ノド	形	 成								
27	事業名	芸術	            	づくり推	進事	業										
		し、芸術展を図る	でやまちの課題解決に 文化都市として茨木市。 。 営については、市内の	のさらな	る発										の見	方向性 込み 手度比)
	目的及び	の協働に	よる実行委員会形式で 組:3-3-1 市民との協	で実施す	<del>-</del> る。	H 30 年	内容	①アー	トプロジ	ェクトの	実施				H31 年度 H32	継続
	似女	のまちづ 【関連取済				度									年度 H33 年度	継続継続
			組:3-3-3 未来へ向け	た文化	芸術			方向性 前年度比)	継続	事業費			市負担分	3.0	H34 年度	継続
	担当課	部名	市民文化部	課名	文	化排	長興	課	会計区		一般		事業区	分	ソフ	<u> </u>

28	事業名	【再	掲】川端康成文学	館運営	営事業	:									
			民に川端文学に親しん  端康成ゆかりの資料の					<b>①川提</b>	<b>唐</b> 战 文学	学館の運営	サ 及で学	設展示、企	画屏	事業の の見 (対前年	込み
	目的 及び		教養を高め、市民文化			H 30	内容	の開催	、併設ギ	キロの連げ キラリーで 条文学賞の	の企画原		四成	H31 年度	継続
	概要		組:3-3-3 未来へ向け	た文化	芸術	年度		(I) / 1/4  I	/AC/-/A 17 * F		<b>ンDUIE</b>			H32 年度	継続
			の育成】	, , , , ,	- 1112				Who mile					H33 年度	継続
								方向性 前年度比)	臨時 拡充	事業費	(32.9)	うち市負担分	(32.2)	H34 年度	継続
	担当課	部名	市民文化部	課名	文	化扩	長興	課	会計区分	<b>जे</b>	一般	事業区	分	ソフト	
29	事業名	【再	掲】文化振興事業												
		術文化に広く市民	《団体や文化振興財団 -関係する事業を実施 文化の向上を図るとと ・動を促進させる。	すること	により、			②文化 員会と	芸術推済 ひ連携		義、文化技	 辰興施策推		事業の の見 (対前年	込み
	目的 及び		関連取組:3-3-1 市民との協働による文化										H31 年度	継続	
		のまちづ	別理収組: 3-3-1									H32 年度	継続		
		る・つなな	関連取組:3-3-2 文化芸術とふれる・感じ ・つながる「場」づくり】 関連取組:3-3-3 未来へ向けた文化芸術								H33 年度	継続			
		の担い手		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,				<b>万向性</b> 前年度比)	拡充	事業費 (百万円)	(111.9)	うち市負担分 (百万円)	(111.1)	H34 年度	継続
	担当課	部名	市民文化部	課名	文	化扩	辰興	課	会計区分	i <del>)</del>	一般	事業区	分	ソフト	
30	事業名	【再	掲】文化芸術振興	補助事	事業										
		伝統会能の保護、若手会術家の育成文援な ど、文化芸術の振興につながる取組みを行う 事業に対し、経費の一部を補助する。										事業の の見 (対前年	込み		
	目的 及び		組:3-3-1 市民との協	働による	る文化	H 30	内容	会の意		に対象事				H31 年度	継続
	概要		組:3-3-2 文化芸術と	ふれる・	感じ	年度		WICN]	〜 1111 <i>+</i> 91 77	^17				H32 年度	継続
		【関連取	がる「場」づくり】 組:3-3-3 未来へ向け のさせ	た文化	芸術									H33 年度	継続
		の担い手	・ の育成】 					<b>万向性</b> 前年度比)	拡充	事業費	(0.8)	うち市負担分 (百万円)	(0.8)	H34 年度	継続
	担当課	部名	市民文化部	課名	文	化排	長興	課	会計区分	<del>ं</del>	一般	事業区	分	ソフト	

まちの将来像	3	みんなの"楽しい"が見つかる文化のまち
よりの付木隊	J	がかなり、未らい、か、元うか。の人にのよう
施策	3-4	観光資源の活用と創出で魅力あるまちづくりをすすめる
施策の 方向性	の人が記	の自然、歴史、文化、地域で生み出される特産品など豊富で魅力的な観光資源を最大限に活用し、市内外防れて「楽しい」と思ってもらえるよう、観光資源をつなぐ取組を推進します。さらに、観光協会と連携し、幅広にでが、効果的な情報発信を行い、わがまちに誇りを持てる、観光をいかしたまちづくりを進めます。
	1	★ 観光資源の発掘とネットワーク化の推進
	2	観光情報の発信を強化
取 組	3	★ 官民協働で観光事業を推進
★:重点プラン	4	
該当取組	5	
	6	
	7	

		7	'														
2	実施計画	<u> </u>									<b>★</b> :重	点プラン	該当	取組、◎	重点に	プラン該	当事業
I	取 組	3-4-1		★ 観光資源の	発掘と	ヒネット	マ	<u>-</u> /	ケ化の	推進							
1	事業名	◎ 観決	どあ	るき事業													
		医	7.6泊沙	☆線において、沿線	自白沙4	<b>ホー 1</b> 24+										の見	方向性 !込み 年度比)
	及び	道事業者 を発信し	がま てい	でいていて、石板 で行委員会を作り、 くことを目的とし、「 き」のPR事業やイ	地域の 阪急京	魅力	H 30 年	内容				こよるPR ロイベント			ング	H31 年度 H32	継続継続
	100.54	う。	<i>ری د</i>	G]v/I N事来(7)	· • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	F.⊄.11	度									年度 H33 年度	継続
									与向性 前年度比)	継続	事業費			市負担分 万円)	0.2	H34 年度	継続
	担当課	部名		産業環境部	課名	商	工党	<b></b>	課	会計区	分	一般		事業区	分	ソフ	<b>F</b>
2	事業名	◎大阪	反ミニ	ュージアム関係	事業												
				体をミュージアムに												の見 (対前4	方向性 込み 年度比)
	目的 及び	よりまちの	魅力	が源を発掘・再発見 力を内外に発信する。	ることを	目的と	30	内容	<ul><li>①各課</li></ul>	から事業	<b>Ě提案</b> を	:募集				H31 年度	継続
	概要	ミュージフ	アムを	5魅力的な地域資 登録物として登録し			年度									H32 年度	継続
		用した観	光雅	進を行う。												H33 年度	継続
									<b>方向性</b> 前年度比)	継続	事業費 (百万円			市負担分 <b>百万円</b> )	0.0	H34 年度	継続
	担当課	部名		産業環境部	課名	产	jТŝ	<b></b>	:課	会計区	分	一般		事業区	分	ソフ	<u>۲</u>
Į	取 組	3-4-2	!	観光情報の	発信を	を強化											
3	事業名	【再	掲】	観光推進事業													
		の観光情	報の	19地域を活性化す )発信を行う。また、 いる観光協会に補	、各種額	見光事			① <b>ホ</b> ー	<b>小ペー</b> `	ジ竿で揺	見光情報の	の発行	<b>=</b>		の見	方向性 込み 年度比)
	目的 及び	自主的な	運営	を支援するとともい 連携を図りながら	こ、その	他の	H 30 年	内容	②観光	協会に	補助金	と交付 と交付 した関連				H31 年度	継続
	概要	進する。					т 度									H32 年度	継続
		【関連取為 推進】	組:3	-4-3 官民協働で	観光事	業を					古 ** *	2				H33 年度	継続
				Т					前年度比)	継続	事業費			市負担分 <b>百万円</b> )	(9.8)	H34 年度	継続
	担当課	部名		産業環境部	課名	商	j工党	<b></b>	課	会計区	分	一般		事業区	分	ソフ	<u>۲</u>

4	事業名	【再扫		プイべい	ント創	出す	育成事業							
			興及びブランド化を促				(C+++)				\ \L\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\			方向性 込み 拝度比)
	目的		誘致及び市の知名度 実施する事業に対し、 Z			H 30	意見を		象事業の		ン推進委員 が、採択事		H31 年度	継続
	概要		」。 1:3-4-3 官民協働で	·観光事	業を	年度	対し作.	明金とう	<b>C1</b> 1				H32 年度	継続
		推進】		.,.,	,,,_				<b>市</b> # #		N. + 8 IB 0		H33 年度	継続
			and Me alter to be				方向性 (対前年度比)	継続	事業費(百万円)	(2.5)	うち市負担分	(2.5)	十戊	継続
-	担当課	部名	産業環境部	課名			労政課  #	会計区	分	一般	事業区	分	ソフ	<u> </u>
5	又 組 事業名	3-4-3	★ 官民協働で 推進事業	観亢手	₹を	推江	<u>E</u>							
3		観光振興の観光情報	を図り地域を活性化す と図り地域を活性化す 跟の発信を行う。また、 している観光協会に補	、各種莓	光事				ご等で観光		発信		の見 (対前 <sup>4</sup>	方向性 込み 拝度比)
	目的 及び	自主的なi	こくいる観元協会に構 軍営を支援するとともに とも連携を図りながら	こ、その	他の	H 30 年			補助金を交 まじめとした		体との連携	į.	H31 年度 H32	継続
	拟女	進する。				度							年度 H33	継続
		【関連取組	1:3-4-2 観光情報の	発信を	強化】		方向性	継続	事業費	9.8	うち市負担分	9.8	年度 H34	継続継続
	担当課	部名	産業環境部	課名	商	工労	(対前年度比)	会計区	分	一般	事業区		年度ソフ	
6	事業名	茨木	フェスティバル事	業										
		古巳音警	の高揚とみんなの郷 ヨ	トベノハオ	シザ准									方向性 込み 拝度比)
		し、市民の	連帯感を高めるため 協会・青年会議所の	、市・商	工会	H 30			ウンド等で に開催す		/トなどを、'	7月下	H31 年度	継続
	概要		トフェスティバル協会			年度							H32 年度	継続
							+ <b>+</b> +		事業費		2+ +各担八		H33 年度 H34	継続
		1	and Me alter to be to a				方向性 (対前年度比)	継続	(百万円)	11.0	うち市負担分	11.0	年度	継続
	担当課事業名	部名	産業環境部 らき光の回廊事業	課名	商	1上9	<b>労政課</b>	会計区	分	一般	事業区	分	ソフ	
7	尹未乜	۷,۱۹	.0011/7四郎事ま	<del></del>									車業の	方向性
		++ 0) = 1	ᄣᇈᇫᄼᆒᄞ	<b>1</b> = m → f	201 7 J		1 ①資源	活用•地	也域経済活	性化実質	態調査の結	果を	の見 (対前 <sup>生</sup>	込み
	目的 及び	め、市と民	ぎわいを創出し、観光 間団体で構成する実 ベーション装飾及び関	行委員	会によ	H 30 年	T - 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	て内容を			ーションや関		H31 年度	継続
	概要	実施する。		压11、1/	. IC	度							H32 年度 H33	継続
							方向性	ψηψ <del>ζ-t:</del>	事業費	01.0	うち市負担分	01.0	年度 H34	継続
	担当課	部名	産業環境部	課名	<del>, , , ,</del>	丁 A	(対前年度比)	継続	(百万円)	21.0 一般	(百万円)	21.0	年度	継続
	担ヨ酥	마다	生未界児司	<b>林</b> 伯	旧	エブ	7以咪	会計区	71	川又	尹未区	71	ソフ	Ι,

8	事業名	地址	 或魅力アップイベン	∕卜創出	育成	事	業										
		観光の振	<b>・</b> ・ 興及びブランド化を促	進する	ため、			①苯十	士卒坐	扫描	トマカミ	~\^P=	ン推進委	吕公		事業の の見 (対前年	込み
	目的 及び	イベントを	)誘致及び市の知名度 ≥実施する事業に対し、			H 30	内容		もとに対	象	事業の		が、採択			H31 年度	継続
	概要	を補助す	- 0		→6 n ¶	年度		NI CIME	91 NY. G ⊃	X I I						H32 年度	継続
		【関連取	組:3-4-2 観光情報の	発信を	強化】											H33 年度	継続
								方向性 対前年度比)	継続		業費 「万円)	2.5	うち市負担分 (百万円)	2	2.5	H34 年度	継続
	担当課	部名	産業環境部	課名	商	工党	芳耳	<b></b>	会計区	分		一般	事業	区分		ソフト	`
9	事業名	資源	原活用•地域経済活	舌性化	実態調	周査	ī 事	事業									
																事業の の見 (対前年	込み
			Fの活性化へ繋げる「茨 ついて検討するため、「			H 30	内容						査結果を路	ほえ	`	H31 年度	-
			合性化実態調査」を実施		/11 /11	年度										H32 年度	-
									1			,				H33 年度	-
								方向性 <sup>討前年度比)</sup>	完了		業費 「万円)	0.0	うち市負担分 (百万円)	0	0.0	H34 年度	-
	担当課	部名	産業環境部	課名	商	工党	芳迺	<b></b>	会計区	分		一般	事業	区分		ソフト	`

まちの将来像	3	みんなの"楽しい"が見つかる文化のまち
施策	3-5	都市間の交流と国際化をすすめる
施策の 方向性		の姉妹都市を中心とした市民レベルの交流を促し、他地域の文化の理解を深めるとともに、さまざまな分野 化活動の交流を図ります。さらに、市民の異文化理解活動を支援し、国籍を超えた多彩な交流を進めます。
	1	都市間交流の促進
	2	地域国際化を推進するための環境整備
取 組	3	
★:重点プラン	4	
該当取組	5	
	6	
	7	

		7																
2 }	実施計画	<u> </u>									,	★:重点	プラン診	<b>发</b> 当耳	ρ組、©	重点	プラン該	当事業
耳	又 組	3-5-1		都市間交流	の促済	進												
1	事業名	姉妹	未都	市等との交流	事業													
	目的の概要		レベ	D姉妹都市等との。 シンの交流を促し、 そめる。			H 30 年度	内容	ソン、キ 交換等 ②国茨木 の受は ④(臨)	ヤンプラ の実施 が妹都 フェスラ 入れ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	交包市ディ 町は	各姉妹者 で等)や への宿泊 ベル・農 この姉妹 お妹都市	その他の 白費用補 業祭での 都市提	)交流 前助制 か姉っ 携30	荒(絵画 削度の頃 妹都市 )周年・	i・書の 実施 ブ ケ田	の見 (対前 <sup>4</sup> H31 年度 H32	方向性 込み比) 経 に に に に に に に に に に に に に に に に に に
									方向性 前年度比)	臨時 拡充		事業費 5万円)	9.8		5負担分 <b>万円</b> )	9.	H34 年度	継続
	担当課	部名		市民文化部	課名	文	化技	辰興	!課	会計区	分		一般		事業区	分	ソフ	<u>۱</u>
2	事業名	茨オ	た市	国際親善都市	協会社	· 甫助事	業											
	目的及戦概要	との交流- 市協会の	事業 活動 組:3	を実施する茨木市 かを支援する。 -5-2 地域国際化	流や、在住外国人・留学生施する茨木市国際親善都 活援する。										の見 (対前4 H31 年度 H32 年度 H33 年度	方向性 込み 手度比) 継続 臨拡 時充 継続		
					方向性 臨時 事業費 1 0 うち市負担分 1 0								H34 年度	継続				
	担当課	部名		市民文化部	課名	文	化排	辰興	!課	会計区	分	-	一般		事業区	分	ソフ	<b>١</b>
耳	又 組	3-5-2		地域国際化	也域国際化を推進するための環境整備													
3	事業名	【再	掲】	茨木市国際親	大木市国際親善都市協会補助事業													
	目的び要	との交流 市協会の	事業)活動	この交流や、在住タ を実施する茨木市 かを支援する。 -5-1 都市間交流	内容	在住外 の交流 協会へ ②(臨)	国人へか イの補豆 が を実 を実施	の等で	の市民記者を実施でいたが、おければ、おければ、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは	牧室、在 する茨木 都市提 提携5月	住外:市国 携30 割年を	国人と 国際親書 )周年・ <sup>/</sup>	市民を都市が田したる	の見 (対前4 H31 年度 H32 年度 H33 年度	方向性 込み 手度比) 継続 臨拡続 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・			
	TO 70 = E	÷n >-		<b>七日本//</b>	-m -s		- /1 - 4	(対	前年度比)	継続	(]	5万円)	(1.8)		万円)	(1.	年度	継続
	担当課	部名		市民文化部	課名	又	化排	反興	一、	会計区	分		一般		事業区	分	ソフ	٢

4	事業名	地址	或国際化推進事業														
		古内で生	三活する外国人が生活	\$>₹1.	<b>、</b> ト為			<ol> <li>①外国</li> </ol>	<b>銋</b> 仕.足.	$\sim \sigma$	<b>)ア</b> ンケ	<b>L</b>	□.た.=	<b>ニ</b> に <i>タ</i> の	ばか	事業の の見 (対前4	込み
	目的 及び	市民ハン	ボブック等の刊行物の ボブック等の刊行物の で可能な職員の配置な	多言語	化や、	H 30	内容		国籍の人			やすい弱				H31 年度	継続
	概要		本人も共に生活できる			年度		加巴州 飞	匠のる							H32 年度	継続
		1170														H33 年度	継続
								<b>方向性</b> 前年度比)	継続		業費 (万円)	1.0		市負担分 「 <b>万円</b> )	1.0	H34 年度	継続
	担当課	部名	市民文化部	課名	文	化技	長興	課	会計区	分	-	一般		事業区	分	ソフ	<b>-</b>

## 【まちの将来像4】

市民・地域とともに備え、 命と暮らしを守る安全安心のまち

まちの将来像	4	市民・地域とともに備え、命と暮らしを守る安全安心のまち
施策	4-1	災害への備えを充実させる
施策の 方向性		制の確立と防災意識の高揚を図り、行政や市民等が災害や有事に際しての役割を認識し備えるとともに、耐 足進や雨水対策など災害に強い安全で安心して暮らせるまちづくりを進めます。
	1	★ 防災体制の強化
	2	★ 防災意識の高揚
取 組	3	★ 建築物の耐震化の促進
★:重点プラン	4	上下水道施設の耐震化
該当取組	5	★ 総合的な雨水対策の推進
	6	安威川ダムによる治水対策
	7	

		7																
2 :	実施計画	1									*	:重点	プラン記	亥当耳	対組、◎	重点	プラン該	当事業
Į	反 組	4-1-1	7	★ 防災体制の	強化													
1	事業名	<b>→</b> 月	寺避	難地防災機能	強化	事業												
	目的及び	して選定るため、「ンチ、マンする。(水	してい †内1 ンホー く尾、	災計画において る都市公園の防 4か所の都市公園 -ルトイレ等の防災 尺良宜、島ふれあ	災機能 に、か を施設を い、若	を 高 き き 整 備 園、中	H 30	内容	(6,900 ②【設記 万円)	計】若園	公園	、郡山	公園、	松沢	池公園	(650	の見 (対前 <sup>4</sup> H31 年度	方向性 込み 年度比) 継続
	概要	松沢池、 岩倉公園 し、マンオ	あさき 』は整 トール	、上穂積、三島、 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ に 、 に 、 に 、 に 、 に 、 に 、 に 、 に 、 に 、 に 、 に 、 に 、 に 、 に 、 に 、 に 、 に 、 に 、 に に に に に に に に に に に に に	・彩都西 管庫を	i公園・ 整備	年度			度整備ョン、便							年度 H33 年度	完了
		具を保管	でする。	,					方向性 前年度比)	継続		業費 万円)	78.2		5負担分 万円)	58.1	H34 年度	_
	担当課	部名		総務部	課名	危	機管	<b></b>	課	会計区	分	-	一般		事業区	分	ハー	ド
2	事業名	◎ 自当	主防	災組織運営育	成事	<b></b>												
	目的及概概要	の活動を	·支援	強化を図るため自 し育成を図る。 ·1-2 防災意識の		<b>災組織</b>	H 30 年度	内容	②地域 ③結成 見込 2 ④活動	防災組 訓練・研 248万円 補助 上 士資円 3万円	肝修会 ため( ) 上限2	会等の の防災 20万円	支援 資機材 :30団(	本(42	20万円)	)	の見	方向性 込み 上
									与向性 前年度比)	拡充		業費 万円)	7.6		5負担分 <b>万円</b> )	7.6	H34 年度	縮小
	担当課	部名		総務部	課名	危	機管			会計区			一般	1,0	事業区	分	ソフ	<b> </b>
3	事業名	地域	或防	災計画等修正	事業													
				の自治体や関係													の見	方向性 込み 年度比)
	目的 及び	て、支援	を要っ	を最大限活かすこ ける業務や受け入	れ体制	を事	H 30	内容	①地域	防災計	画修	正(62	0万円)				H31 年度	継続
	概要	に、地域		援計画の策定を 計画、業務継続計			年度										H32 年度	継続
		見直す。						7	方向性	4c to	事	業費	0.0	うち市	5負担分	6.6	H33 年度 H34	継続
	Tu 71 = 20	±n =		VA Thr trr		<i>~</i>	- July &	(対i	前年度比)	新規	(百:	万円)	6.2	(百	万円)	6.2	年度	継続
	担当課	部名		総務部	課名	危	機管	学理	課	会計区	分		一般		事業区	分	ソフ	<u>۲</u>

4	事業名	災賃		新業系	<u>×</u>									
•	7.1						理用品	4) (1,859)	万円)		1か所(オム	ツ、生	の見	方向性 込み 拝度比)
		保管庫を	を拡充するため、全過 設置する。(※避難所  は既に設置済みのた	75か所	の内、	H 30	3同左	(246万円			所 <b>※</b> 1か所×1	000	H31 年度	縮小
	概要	所に設置	する。)また、既設の名 毛布等の更新を行う。			年度	枚×1,	500円/				,,,,,,	H32 年度	縮小
							方向性		事業費		うち市負担分		H33 年度 H34	継続
	担当課	如夕	<b>☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆</b>	細々	7	- <del>1</del> 686 &	(対前年度比)	拡充	(百万円)	27.1	(百万円)	27.1	年度	継続
		部名	総務部 	課名		/恢气	管理課 ————	会計区分	י"	一般	事業区	7	ソフ	
5	事業名	<ul><li>◎ 炒沙</li></ul>	災情報システム等任	呆寸美	·務 ———									
			は等を収集するため、防				②防炎				里(130万円) 里(71万円)		の見 (対前 <sup>4</sup>	方向性 込み (手度比)
	目的 及び	迅速に行	務を委託するとともに うため、防災情報WEI	3ページ	、防災	H 30	3防災	後情報シス	テム保守 プ保守管	管理(12	28万円)		H31 年度	継続
	概要		テム、いばなびマップ、 を委託している。(政策			年度	⑤防災	<b>经行政無</b> 線	泉の保守管	理(624	4万円)		H32 年度 H33	継続
		*/					方向性		事業費		うち市負担分		年度 H34	継続
							(対前年度比)	継続	(百万円)	11.0	(百万円)	11.0	年度	継続
	担当課	部名	総務部	課名			<b>学理課</b>	会計区分		一般	事業区	分	ソフ	<u> </u>
6	事業名	全国	国瞬時警報システ、	ム(Jア	ラート)	新	型受信機	をの導入	事業					
													の見	方向性 込み F度比)
	目的 及び	短縮や伝	する特別警報等の情 達情報の充実を図る	ため、全	国瞬	H 30	内 ①全国容 導入(4		最システム	(Jアラー	-ト)新型受(	言機の	H31 年度	-
	概要	時警報シ 入する。	⁄ステム(Jアラート)新型	受信機	を導	年度							H32 年度	-
								Lucius					H33 年度	-
							方向性 (対前年度比)	新規完了	事業費	4.9	うち市負担分	4.9	H34 年度	-
	担当課	部名	総務部	課名	危	機管	<b>学理課</b>	会計区分	<del>}</del>	一般	事業区	分	ソフ	<b>h</b>
7	事業名	SN	S(ソーシャル・ネ	ットワー	キング	ブ・-	サービス)	活用促	進事業					
														方向性
			k収集・伝達の方法とし											を受けり
	目がの概要	ブック、ツ 効に活用 運用マニ	イッターなどのSNSを  するため、緊急時にお ュアルを作成するとと	災害時 ける関 しに、関	に有 係課の 係課と	H 30 年度	内容	時におけ	けるSNSの衤	舌用等に	こついて検言	討	(対前4 H31 年度 H32	
	及び	ブック、ツ 効に活用 運用マニ	イッターなどのSNSを するため、緊急時にお ュアルを作成するとと 、職員に災害時におけ	災害時 ける関 しに、関	に有 係課の 係課と	30 年		時におけ	けるSNSの衤	舌用等に	こついて検言	计	H31 年度 H32 年度 H33	継続
	及び	ブック、ツ 効に活用 運用マニ 連携して	イッターなどのSNSを するため、緊急時にお ュアルを作成するとと 、職員に災害時におけ	災害時 ける関 しに、関	に有 係課の 係課と	30 年		継続	事業費 (百万円)	舌用等( 0.0	こついて検 うち市負担分 (百万円)	0.0	(対前 <sup>4</sup> H31 年度 H32 年度	継続継続

8	事業名	◎ 防災	(ジコミュニティ醸成)	促進事	 「業											
		発災直後 ける組織 の主役と 要であり、	の救急・救助活動や、 的な運営などにおいて して住民による助け合 住民の力を積極的に の防災体制を構築す	避難所 には、地 いの活動 活かした	にお 域防災 動が重 た、市	Н	内	O BELEVI		ハギ <del>作</del> 車 布	その字体				の見	方向性・込み・手度比)
	及ひ	そのため	、自主防災組織の未納 働きかけを行うとともに	吉成地垣	戊には	30 年	容		団体との	)連携事業	その美胞				年度 H32	継続
	概要	いるところ	っは活動の活性化を図 さへの女性の参画を促	る。また	、自主	度									年度 H33	継続
		は、関係	団体と連携し、関係団方災意識の高揚が図れ	体等の	活動を		L.	<del>-</del> 14	1	事業費		うち市負担	Λ.		年度 H34	継続
			みを行なう。		· ·		(文	方向性 <sup> 前年度比)</sup>	継続	(百万円)	0.0	(百万円		0.0	年度	継続
	担当課	部名	総務部 	課名	危	機管	管理	建課	会計区	分	一般	事美	区分	•	ソフ	<b>F</b>
9	事業名	指定	它避難所運営体制	強化事	事業											
		避難者の	語時の避難所におい 健康管理、生活環境 保、男女のニーズの遺	やプライ	バ			①H294	生度ので	かな型を元	:に、10カ	ℷ所の辟	難所	運営	の見 (対前 <sup>生</sup>	方向性 込み       東度比)
	目的 及び	要配慮者	のための対策など様々 するため、各避難所の	々な課是	夏に円	30	内容	マニュラ	アルを作		•			~	H31 年度	継続
		者の受入	手順、物資保管や更 配置、備蓄品等を詳約	衣室など	ご各ス	年度			//IÆ []		11 /4/24/11	16 (02)3	1 3/		H32 年度	継続
			を、自主防災組織等の												H33 年度	継続
		716	~ / Vo					方向性 <sup> 前年度比)</sup>	拡充	事業費 (百万円)	0.9	うち市負担 (百万円		0.9	H34 年度	継続
	担当課	部名	総務部	課名	危	機管	管理	里課	会計区	分	一般	事業	区分	•	ソフ	<b>F</b>
10	事業名	災害	<b></b> 手種別避難誘導標	識再	整備事	業										
		記号」及	規格において、「災害 び「災害種別避難誘導 定・改正されたことにより	標識シ	ステ			①指定	避難所	誘導標識	の標識板	gをJIS規	格の	ヒ゜クト	の見	方向性 込み 拝度比)
	目的 及び	改正され	た案内用図記号を標記 、地域住民のみならず			H 30	内容	グラム仕   ※特別	様に変す 交付税	更する。(1 措置支援?	00枚) 対象				H31 年度	継続
		安全な場	・所へ素早く避難誘導 た、全国統一的に運用	すること	が可能	年度									H32 年度	継続
		種別記号	で表示することにより、 害に対応しているかー	その避	難所										H33 年度	完了
		来る。		н ст	1141111			方向性 <sup> 前年度比)</sup>	継続	事業費 (百万円)	7.9	うち市負担		7.9	H34 年度	-
	担当課	部名	総務部	課名	危	機管	管理	里課	会計区	分	一般	事業	区分	•	ハー	ド
11	事業名	避難	維行動要支援者デ	ータ共	<b>共有化</b>	事業	業									
		者名簿の	章害者等の災害時避難 作成が市町村に義務 連携し対象者全員の	付けられ	1、関	Н	内		名簿の泊	舌用につい	って、関	係機関と	協議	•調	の見	方向性 込み 拝度比)
	目的 及び 概要	ている。 め平常時 奨してい	国は、災害時にこの名名 から支援関係団体と情 るため、厳格な個人情	簿を活た 青報共有 報保護	nすた fを推 を念頭	30年度	容	2	確認シ	ステムの保	守管理				年度 H32 年度	継続継続
			支援関係機関と調整を 接体制づくりを進める。		地域全										H33 年度	継続
								方向性		事業費	0.0	うち市負担	分	0.0	H34	《水公丰
								前年度比)	継続	(百万円)	0.6	(百万円		0.6	年度	継続

12	事業名			事業										
12	7 A U	火下	三、1、1、1、三、1次、11元、11元、11元、11元、11元、11元、11元、11元、11元、	# <del>*</del>									<b>_</b>	
		L. Le let- //		مد خی د علا									の見	方向性 .込み 拝度比)
		災害対策	害時、庁舎が使用不能 本部を設置した場合等 いなる雰囲乳機等な専	等災害対	付策活	H 30	内 平成25 容 (1,700	年度備蓄 人分)	唇の職員月	非常食	の更新		H31 年度	継続
	及び 概要	(茨木市	となる電源設備等を整 業務継続計画【地震災 務継続における現状の	[害編]		年度							H32 年度	継続
		[310±x	3)) he hyd ( = 401) & yddy ( •		- 1 2 1 2 1								H33 年度	継続
							方向性 (対前年度比)	臨時 拡充	事業費	3.8	うち市負担分 (百万円)	3.8	H34 年度	継続
	担当課	部名	総務部	課名		総	<b>务課</b>	会計区分	-	一般	事業区分		ソフ	<u> </u>
13	事業名	ため	)池防災減災事業											
													の見	方向性 込み 拝度比)
	目的 及び		する集中豪雨や大規 に対応するため、ため			H 30	<b>内</b> ①ハザ	ードマップ	プの作成				H31 年度	完了
		策を推進				年度							H32 年度	-
										Г			H33 年度	-
							方向性 (対前年度比)	継続	事業費	32.5	うち市負担分	0.0	H34 年度	-
	担当課	部名	産業環境部	課名	農と	みど	り推進課	会計区分	•	一般	事業区分		ソフ	<u> </u>
14	事業名	土石	少災害情報相互通	報シス	マテム	整備	事業							
			から人命と財産を守る				①施設	保守点検	<u>.</u>				の見	方向性 込み 拝度比)
	目的 及び	データを	に整備した雨量観測局 収集し、市のホームペ	ージにオ	曷載す	30				を住民	及び関係機関	目と	H31 年度	継続
	概要	害警戒情	、気象庁及び府が発え 報の基礎データとして			年度	× 11						H32 年度	継続
		ている。											H33 年度	継続
							方向性 (対前年度比)	継続	事業費	1.3	うち市負担分 (百万円)	1.3	H34 年度	継続
	担当課	部名	建設部	課名	下	水道	施設課	会計区分	-	一般	事業区分		ソフ	<b>F</b>
15	事業名	地籍	<b>普調査事業</b>											
			時における迅速な復				<b>.</b> (0,± )	-t-/t-11b) -	الاست المحادة	<i>a 101</i> 57 ⊇1121 <del>-    -   </del> -	<b>★₩/ /*</b>	.⊐⊞	の見(対前年	方向性 込み 拝度比)
	目的 及び	おくことか	界が明確にされた地図 「重要となることから、地 四本)なまなしている	也籍調查	事業	H 30 左	内 (1)中心 容 査)を引		-わいて地	<b>出</b> 精調宜	事業(一筆地	上前	H31 年度	継続
	概要	であるJR	調査)を実施している。 茨木市駅周辺の西駅前			年度							H32 年度	継続
		しくおり、	順次拡大していく。						* * *				H33 年度	継続
							方向性 (対前年度比)		事業費	6.7	うち市負担分	2.1	H34 年度	継続
	担当課	部名	建設部	課名	建	設管	<b>管理課</b>	会計区分	-	一般	事業区分	•	ソフ	<u> </u>

16	事業名	擁具	壁•法面等点検事業	<b></b>										
		60to alec la		<b>a</b> -la-1.				· V.L. — forbook			A de estable 1. ve		事業の の見 (対前年	込み
		認定道路	皮害を防止する観点から 各の道路構造物(擁壁・	法面)に	こつい	H 30	内①雑壁容	• 法面等	こういっ	(二次点剂	食を実施する。	,	H31 年度	-
	概要		〔検を実施し台帳を整伽 点検を行い、補修計画			年度							H32 年度	-
													H33 年度	-
							方向性 (対前年度比)	完了	事業費 (百万円)	6.5	うち市負担分 (百万円)	3.7	H34 年度	-
	担当課	部名	建設部	課名	建	設領	管理課	会計区分	分	一般	事業区分		ソフ	`
17	事業名	◎ 統領	合型GIS基図修正導	事業										
	目的	ため、資に、委託	夏数部署において多目 産税課により撮影の航 発注により市域の現況	空写真 平面図	をもと	H 30	内 容 ①H33·	年度~H	[35年度]	こ実施予領	官		事業の の見 (対前 <sup>4</sup> H31 年度	込み
		茨木市級	ものに3か年かけて修〕 た合型地理情報システ、	ム整備記		年度							H32 年度	継続
		により、 きなってい	見況平面図修正業務は ハる。	.6年毎0	り更新	/X							H33 年度	臨時
							方向性(対前年度比)	継続	事業費	0.0	うち市負担分(百万円)	0.0	H34 年度	拡充 臨時 拡充
	担当課	部名	建設部	課名	建	設領	字理課	会計区分		一般	事業区分		ソフ	*** =
18	事業名	無智		帳整例	<b>講事業</b>									
													事業の の見 (対前年	込み
	目的 及び	(平成7年	引溝の整備等に関する! =法律第39号)の規定!	こより、芝	克木市	H 30	内容 ①台帳	整備(彩	都地区	第1期)			H31 年度	継続
	概要		る電線共同溝の構造 合帳化し適切に管理を		犬況等	年度							H32 年度	完了
													H33 年度	-
							方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	10.0	うち市負担分 (百万円)	10.0	H34 年度	-
	担当課	部名	建設部	課名	建	設管	管理課	会計区分	分	一般	事業区分		ソフ	`
耵	双 組	4-1-2	★ 防災意識の	高揚										
19	事業名	◎ 防災	災訓練実施事業											
							②一時	避難地を	を活用し	営を取りた防災訓練	陳(438万円)	_	の見 (対前 <sup>生</sup>	
			ド職員の防災意識の向 あるため、地域での防			H 30	容 円)				-の派遣(217		H31 年度	継続
			け象にした訓練を実施す		,,,,	年度	(4)職員	を対象と	する研修	<b>多を実施す</b>	├る。(10万円	)	H32 年度	継続
													H33 年度	継続
							方向性 (対前年度比)	縮小	事業費	4.7	うち市負担分 (百万円)	4.7	H34 年度	継続
	担当課	部名	総務部	課名	危	機管	管理課	会計区分	分	一般	事業区分		ソフ	`

20	事業名	◎ 防災	 災啓発実施事業													
									講座の			vp. o. 6	***	. 1.11	の見	方向性 込み 拝度比)
	日的		或での減災対策を促進 どあらゆる機会を活用			H 30	内容	③防災			事務所、N アドバイ				H31 年度	臨時 拡充
		災意識の	向上を図るとともに、 発を行う。			年度		円)	イベント	の実施(	3万円)				H32 年度	継続
															H33 年度	臨時 拡充
			,					方向性 <sup>前年度比)</sup>	継続	事業費	0.2		<sup>市負担分</sup> 万円)	0.2	H34 年度	継続
	担当課	部名	総務部	課名	危	機管	学理	課	会計区	分	一般		事業区	分	ソフ	<b></b>
21	事業名	◎ 女性	生防災リーダー育局	<b>以事業</b>												
															の見	方向性 込み 拝度比)
	日的	防災対策要である	や避難所運営には女 ため、自主防災組織等	性の視 におい	点が重 て方	H 30	内容			-ダーが』 〔20万円	果たす役 <sup>9</sup> )	割と	実践につ	ついて	H31 年度	臨時 拡充
	及び 概要	針決定過 する。	程に参画する女性リー	-ダーを	育成	年度									H32 年度	継続
															H33 年度	継続
								<b>方向性</b> 前年度比)	継続	事業費	0.2		市負担分 万円)	0.2	H34 年度	継続
	担当課	部名	総務部	課名	危	機管	<b></b>	課	会計区	分	一般		事業区:	分	ソフ	<b></b>
22	事業名	◎ 防災	泛啓発冊子作成事	業												
			を活かすため、一般的 く、避難時や避難所で								マップ類				の見	方向性 込み 拝度比)
	目的	害時の要	配慮者への対応なども 立った防災啓発冊子を	掲載し	、多様	H 30	内容	②(臨)	洪水・片	水ハザー	ハンドブッードマッフ	。(土	砂•淀川	等)	H31 年度	臨時 拡充
	概要	るとともに	、洪水・内水ハザード 、ツプを増刷し転入時又	マップ及	び地	年度		のいは	なびマッ	ブ修止(	保守管理	里料0	り甲に含	iむ)	H32 年度	継続
			等で配布する。		· · · · ·				net . m. l .						H33 年度	継続
								方向性 <sup>前年度比)</sup>	臨時 拡充	事業費	2.1		<sup>市負担分</sup> 万円)	2.1	H34 年度	継続
	担当課	部名	総務部	課名		機管	<b></b>	課	会計区	分	一般		事業区	分	ソフ	<u> </u>
23	事業名	【再	掲】自主防災組織	運営で	育成事	業										
								②地域 ③結成	訓練•母	職連絡会 ₩値会等の ための防		·貸与	ま(1カン所	行結成	の見 (対前 <sup>4</sup>	方向性 込み 拝度比)
	目的 及び		力の強化を図るため自 支援し育成を図る。	主医统统	<b>ミ組織</b>	H 30	内容	見込 2	248万円	)	円:30団(				H31 年度	拡充
	概要	【関連取為	祖:4-1-1 防災体制の	強化】		年度			士資格		i助(対象				H32 年度	拡充
									*	<b></b>					H33 年度	縮小
			1					方向性 前年度比)	拡充	事業費	(7.6)		市負担分 「万円)	(7.6)	H34 年度	縮小
	担当課	部名	総務部	課名	危	機管	<b></b>	課	会計区	分	一般		事業区:	分	ソフ	<b>F</b>

24	事業名	◎ 防災	災情報WEBページ	ジの運	営									
													の	の方向性 見込み (年度比)
	目的 及び		最を防災ポータルサイト に見やすく、わかりやす			H 30	<b>内</b> ①防災	WEB~-	ージの保守	宇管理(′	71万円)		H31 年度	継続
			管理を行う。	, v .w.E	D. /	年度							H32 年度	継続
													H33 年度	継続
					Г		方向性 (対前年度比)	継続	事業費	0.7	うち市負担分 (百万円)	0.	7 H34 年度	継続
	担当課	部名	総務部	課名	危	機管	管理課	会計区分	分	一般	事業区	分	ソフ	フト
耳	知 組	4-1-3	★ 建築物の耐	け 震化の	の促進									
25	事業名	◎ 既存	字民間建築物耐震	化補明	<b>助事業</b>									
			引から市民の生命及び の住宅・特定建築物の								補助を行う。		の (対前	の方向性 見込み 「年度比)
	目的	用及び木	で発生を表現を で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、			H 30	容 う。				震診断補助	を行	年度	継続
	概要	, HAC	. 1114-74 7 20			年度	(3)共同	任毛の血	耐震改修•	除却補.	助を行う。		H32 年度	継続
		[5-5-4:	良好な住宅ストックの刑	<b>彡成】</b>					± 414 ±11				H33 年度	継続
							方向性(対前年度比)	継続	事業費	15.4	うち市負担分	5.	1 H34 年度	継続
	担当課	部名	都市整備部	課名	居	住項	汝策課	会計区分	4	一般	事業区	分	ソフ	7ト
26	事業名	◎ 既存	字民間建築物耐震	化啓	発事業									
													の (対前	の方向性 見込み (年度比)
											阪府と共に	「まち	ま	1 1/2 207
	目的 及び	め、民間	うから市民の生命及びの住宅等の耐震化にする	対する市	「民意	H 30 年	<b>内</b> るごと而 容 ②民間	対震化支 住宅等に	援事業」の	)推進を			ま H31 上 年度	公水 公主
	目的	め、民間識の向上		対する市	「民意		<b>内</b> るごと而 容 ②民間	懷化支	援事業」の	)推進を	行う。		H31 年度 H32 年度	継続継続
	目的 及び	め、民間識の向上	の住宅等の耐震化にためるとともに、耐震	対する市	「民意	30 年	<b>内</b> るごと而 ②民間 に対す	対震化支 住宅等に る周知を	援事業」の こついてに 行う。	が推進をは、講習	行う。会等によりる	耐震化	出 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	継続継続
	目的 び 概要	め、民間識の向上いて広く	の住宅等の耐震化に -を図るとともに、耐震 問知を行う。	対する計画助制度	民意	30 年度	内容 ②民間 に対す 方向性 (対前年度比)	対震化支 住宅等に る周知を 継続	援事業」のこついては、 行う。 事業費 (百万円)	)推進を は、講習: 0.3	行う。 会等により而 うち市負担分 (百万円)	<b>耐震</b> (	H31 年度 H32 年度 H33 年度 H34 年度	継続継続継続
	目りび概担当課	め、民間・ 識の向上 いて広く) 部名	の住宅等の耐震化に 空図るとともに、耐震 周知を行う。 都市整備部	対する市浦助制度	i 民意 度につ 居	20年度	内容②民間に対す	対震化支 住宅等に る周知を	援事業」のこついては、 行う。 事業費 (百万円)	が推進をは、講習	行う。 会等により而 うち市負担分	<b>耐震</b> (	ま H31 年度 H32 年度 H33 年度 H34	継続継続継続
	目的び要 課 組	め、民間 識の向上 いて広く) <b>部名</b> 4-1-4	の住宅等の耐震化に 定図るとともに、耐震 周知を行う。 都市整備部 上下水道施	対する市制制度	i 民意 度につ 居	20年度	内容 ②民間 に対す 方向性 (対前年度比)	対震化支 住宅等に る周知を 継続	援事業」のこついては、 行う。 事業費 (百万円)	)推進を は、講習: 0.3	行う。 会等により而 うち市負担分 (百万円)	<b>耐震</b> (	H31 年度 H32 年度 H33 年度 H34 年度	継続継続継続
取	目りび概担当課	め、民間 識の向上 いて広く) <b>部名</b> 4-1-4	の住宅等の耐震化に 空図るとともに、耐震 周知を行う。 都市整備部	対する市制制度	i 民意 度につ 居	20年度	内容 ②民間 に対す 方向性 (対前年度比)	対震化支 住宅等に る周知を 継続	援事業」のこついては、 行う。 事業費 (百万円)	)推進を は、講習: 0.3	行う。 会等により而 うち市負担分 (百万円)	<b>耐震</b> (	H31 年度 H32 年度 H33 年度 H34 年度	継続継続継続
	目的び要 課 組	め、民間 識の向上 いて広く) <b>部名</b> 4-1-4 下フ	の住宅等の耐震化に 定めるとともに、耐震 相用を行う。 都市整備部 上下水道施水道総合地震対策	対する市開助制度を表現します。	 	20年度	内容 ②民間 に対す 方向性 (対前年度比)	対震化支 住宅等に る周知を 継続	援事業」のこついては、 行う。 事業費 (百万円)	)推進を は、講習: 0.3	行う。 会等により而 うち市負担分 (百万円)	<b>耐震</b> (	ま と	継続継続継続
	目及概 担 乳 条 の 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	め、民間 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	の住宅等の耐震化に を図るとともに、耐震 周知を行う。 都市整備部 上下水道施 水道総合地震対策 、道管路及びポンプ場 下水道総合地震対策	対する計画を対する計画を表現しています。	民意という。 一大は一大は一大は一大は一大は一大は一大は一大は一大は一大は一大は一大は一大は一	30 年度 住 1 30	内容のでは、大力のでは、大力のでは、大力の性では、大力の性では、大力の性が、大力のでは、大力では、大力では、大力では、大力では、大力では、大力では、大力では、大力	対震化支 住宅等は る周知を 継続 会計区5	援事業」のこついては、 行う。 事業費 (百万円)	<ul><li>2推進を</li><li>は、講習:</li><li>の.3</li><li>一般</li></ul>	行う。 会等により而 うち市負担分 (百万円)	<b>耐震</b> (	ま H31 年度 H32 年度 H33 年度 H34 年度 グ対前 H31 年度	継続 継続 継続 継続   継続
	目及概 担 組 集 目的び要 課 組 条 目的	<ul><li>・民間より</li><li>・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</li></ul>	の住宅等の耐震化に 定を図るとともに、耐震 周知を行う。 都市整備部 上下水道施 水道総合地震対策 、道管路及びポンプ場	対する計画を表する計画を表する計画を表する計画を表する計画を表する。	民意という。 一大は一大は一大は一大は一大は一大は一大は一大は一大は一大は一大は一大は一大は一	30 年度 住 工 H	内容のでは、大力の性では、大力の性では、大力の性では、大力の性では、大力の性では、大力の性が、大力の性が、大力のなどは、大力のないないは、大力のなどは、大力のなどは、大力のないないは、大力のないは、ためのは、ためのは、ためのは、ためのは、ためのは、ためのは、ためのは、ための	対震化支 住宅等は る周知を 継続 会計区5	援事業」のことでは、行う。	<ul><li>2推進を</li><li>は、講習:</li><li>の.3</li><li>一般</li></ul>	行う。 会等により而 うち市負担分 (百万円)	<b>耐震</b> (	ま H31 年度 H32 年度 H33 年度 H34 年度 グ対前 H31 年度 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学	継続 継続 継続 継続   継続
	目及概 担 双 事 目及のび要 課 名 的び	<ul><li>・民間より</li><li>・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</li></ul>	の住宅等の耐震化に を図るとともに、耐震 周知を行う。 都市整備部 上下水道施 水道総合地震対策 、道管路及びポンプ場 下水道総合地震対策 施設の耐震化工事を行	対する計画を表する計画を表する計画を表する計画を表する計画を表する。	民意という。 一大は一大は一大は一大は一大は一大は一大は一大は一大は一大は一大は一大は一大は一	30年度 住 日 30年	<b>内容</b>	対震化支 住宅等は る周知を 継続 会計区5	接事業」のことでは、行う。	<ul><li>2推進を</li><li>は、講習:</li><li>の.3</li><li>一般</li></ul>	行う。 会等により耐 (百万円) 事業区	<b>耐震</b> (	ま H31 年 H32 年 H33 年 H34 年 第 の 対 前 H31 年 月 第 の 対 に 対 に 対 に 対 に 対 に 対 に 対 に 対 に 対 に 対 に に 対 に 対 に が に 対 に が に に に に に に に に に に に に に	継続 継続 継続 7 D 方向性 記 年度 比) 継続 継続
	目及概 担 双 事 目及のび要 課 名 的び	<ul><li>・民間より</li><li>・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</li></ul>	の住宅等の耐震化に を図るとともに、耐震 周知を行う。 都市整備部 上下水道施 水道総合地震対策 、道管路及びポンプ場 下水道総合地震対策 施設の耐震化工事を行	対する計画を表する計画を表する計画を表する計画を表する計画を表する。	民意という。 一大は一大は一大は一大は一大は一大は一大は一大は一大は一大は一大は一大は一大は一	30年度 住 日 30年	内容のでは、大力の性では、大力の性では、大力の性では、大力の性では、大力の性では、大力の性が、大力の性が、大力のなどは、大力のないないは、大力のなどは、大力のなどは、大力のないないは、大力のないは、ためのは、ためのは、ためのは、ためのは、ためのは、ためのは、ためのは、ための	対震化支 住宅等は る周知を 継続 会計区5	援事業」のことでは、行う。	<ul><li>2推進を</li><li>は、講習:</li><li>の.3</li><li>一般</li></ul>	行う。 会等により而 うち市負担分 (百万円)	<b>耐震</b> (	ま H31 年 H32 年 H33 年 H34 年 第 の 対 H31 年 第 の 対 H32 年 第 の 対 に 大 の は に は に に に に に に に に に に に に に	継続 継続 継続 7 D 方向性 記年度比 継続 継続 継続

28	事業名	水江	道施設等耐震化事	業												
	及び	ため、「施	・全・安心な水道水を安設要新計画」に基づ	き、水道		H 30 年	内容	①管路	の耐震体	上工事					事業の の見 (対前年 H31 年度 H32	継続
	概要	及い官路	8の耐震化工事を行う。			度									年度 H33 年度	継続継続
								<b>「向性</b> 前年度比)	継続	事業費 (百万円)	2192.7		<sup>市負担分</sup> 「万円)	0.0	H34 年度	継続
	担当課	部名	水道部	課名	総務課・	工剂	务課	•浄水護	会計区分	<b>分</b>	k道企業		事業区分		ハー	ド
取	組	4-1-5	★ 総合的な雨	水対策	策の推	進										
29	事業名	◎ 公封	<b>共下水道整備事業</b>	(雨水	:)											
		工业类体	:設及び雨水貯留施設		· <i> </i> 共1ァト		内		工事費						の見 (対前年	
	及ひ	る効率的	は及び雨が肝留施設な雨水排除とソフト対象 で、雨水に関する総名	策、自助	りを組	H 30 年	容		設計費 関係負担	旦金					H31 年度	継続
			行い浸水被害の最小			度									H32 年度 H33	継続
								i 向性	anti-a ti-	事業費		うち	市負担分	_	年度 H34	継続
			74-71.00			1.53%	(対前	前年度比)	継続	(百万円)			万円)	0.5	年度	継続
	担当課	部名	建設部	課名	トス	K迫	総務	<b>券課</b>	会計区分	ग्रे	下水企業		事業区分		ハー	ř .
30	事業名	◎ 水 <b>i</b>	各改修事業													
		Y F OF	1-r-11- 1- 1- 1- 1- 1- 1- 1- 1- 1- 1- 1- 1-	0-40	V/- L		_	<ol> <li>①水路</li> </ol>	改修工事	<b>F</b>					の見 (対前年	
	目的 及び	効果や機	l所的なゲリラ豪雨など 後能の向上を図るため、 ○長寿命化計画に基づ	下水道	事業と	H 30 年	内容	②設計	委託						H31 年度	拡充
			実施する。	<b>、小岭</b>	以修せ	度									H32 年度 H33	継続
								- r <del></del> h4+		事業費		à+:	市負担分 「		年度 H34	継続
	-						(対前	「向性 前年度比)	継続	(百万円)			i万円)   <sup>つS</sup>	9.0	年度	継続
	担当課	部名	建設部	課名	下力	K道	施設	<b></b> 读課	会計区分	7	一般		事業区分		ハー	ř .
31	事業名	水區	各施設の長寿命化	事業												
			!する水路施設は約36 う劣化の進行により、			-	内								事業の の見 (対前年 H31	
	目的 及び	繕や改築	いったい連打により、 そのコスト増大を招くこと ネジメントを実施するこ	から、方	施設の	H 30 年	容	①2次記	調査(沢)	良宜、安	威排水区	()			年度 H32	_
	恢安	理•改築位	がある。 修繕の一体的な最適に が施設の機能を確保す	とを図り		度									年度 H33	-
							<del></del>	i向性	<u>,,,,</u>	事業費	0.5	うち	市負担分		年度 H34	_
							/_	1.2 IT		-1-5	9.5					_
	担当課	部名	建設部	課名		と米	(対f 施部	1年度比)	完了	(百万円)	一般	(百	事業区分	9.5	<b>年度</b> ソフト	

32	事業名	<b>→</b> k															
32	7.41	/1/1/	ロが近りず木													の見	)方向性 見込み 年度比)
	目的		風に備え、通水断面の るため、市内の市管理			H 30	<b>卢</b> 容	2 / 公水路	補修 浚渫等 管理業							H31 年度	継続
	及び 概要	て調査し 理を行う。	、地元要望も踏まえた	適切な網	維持管	年度		0個小	官垤未	伤多	ē fī Tī					H32 年度	継続
							L				- 111/					H33 年度	継続
							(\$	方向性 対前年度比)	継続		漢費 [万円)	103.6		市負担分 <b>5万円</b> ) 「	103.6	H34 年度	継続
	担当課	部名	建設部	課名	下	水道	施	設課	会計区	分		一般		事業区	分	ハー	- F
33	事業名	河川	維持事業					_									
																の見(対前:	)方向性 見込み 年度比)
	目的 及び		いまちづくりを推進す。			H 30	内容	①春日	丘川、/	\J	清掃浚	漢委託				H31 年度	継続
	概要	埋の幹締	水路(河川)の清掃・溶	<b>炎</b> 保を有	「フ。	年度										H32 年度	継続
										-	- ** #				ı	H33 年度	継続
					ı			方向性 対前年度比)	継続		「業費 「万円)	8.8		市負担分 <b>万円</b> )	8.8	H34 年度	継続
	担当課	部名	建設部	課名	下	水道	施	設課	会計区	分		一般		事業区	分	ハー	ド
34	事業名	◎テレ	ノーター運営事業	<u> </u>													
			所的なゲリラ豪雨など													の見(対前:	)方向性 見込み 年度比)
	目的 及び	観測局が	然に防止するため、市らの降雨データと主要	水路等	を か水 しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう かんしょ しゅうしゅ かんしょ かんしょ かんしょ しゅうしゅう しゅう しゅうしゅう しゅうしゃ しゃり しゃ	H 30	容	①テレ	メータシ	ステ	ムの再	構築				H31 年度	継続
	概要	適切で効	リアルタイムで把握す 見果的、効率的な水防液			年度										H32 年度	継続
		る。								_	- 414 <del>- 111</del>					H33 年度	継続
					ı			方向性 対前年度比)	拡充		業費 「万円)	56.9		市負担分 <b>万円</b> )	56.9	H34 年度	継続
	担当課	部名	建設部	課名	下	水道	施	設課	会計区	分		一般		事業区	分	ソフ	<u> </u>
35	事業名	雨刀	、貯留タンク設置補	制助事	業												
		下水道や	·水路などへ雨水排水・	の流入	を抑制		-1	①雨水	貯留タン	ンクで	を設置	する市国	引に	対し、購	<b></b> 季入費	の見(対前:	)方向性 見込み 年度比)
	概要	対して購 減を図る	、雨水貯留タンクを設し 入費の一部を補助し、 と共に、新たな水資源	浸水被	害の軽	H 30 年度	内容		を補助	する	。(本体	x購入額	jの3	3分の2	(上限	H31 年度 H32 年度	継続継続
		進する。														H33 年度	継続
								方向性 対前年度比)	継続		業費 [万円)	0.6		市負担分	0.3	H34	継続
	担当課	部名	建設部	課名	下	水道	施	設課	会計区			水企業		事業区	分	ソフ	<u>۱</u>
					l									l			

36	事業名	ダユ	推	進事業														
				主民の生命と財産を													の見	方向性 込み 手度比)
		について	、大	推進に必要不可欠 :阪府等と連携を図			H 30	内容	①建設	促進							H31 年度	継続
	概要	設促進を			41.1.7		年度										H32 年度	継続
		【関連取為	組:5	5-6-4 北部地域の	)魅力向	上】											H33 年度	完了
									方向性 时前年度比)	継続		業費 万円)	0.0		市負担分	0.0	H34 年度	-
	担当課	部名		都市整備部	課名	北部	整例	前扌	推進課	会計区	分		一般		事業区	分	ソフ	<b></b>
取	又 組	4-1-6		安威川ダム	による	治水	対領	ŧ										
37	事業名	ダユ	周	辺道路整備事	業													
		·사실·바선	- 事少 /	備計画に基づき、安	<del>→</del>	ř) E											の見	方向性 込み 拝度比)
	目的 及び			備可画に基づさ、9	て放入リログ	ム川	H 30	内容	] ①スポル <b>②</b> 大岩				(車作1-	号線	<b>!</b> )		H31 年度	継続
		【関連取得	組:5	5-6-4 市北部地域 5-8-2 道路整備の	の魅力	向上】	年度										H32 年度	継続
		大大学以	ыт. с	,02. 但时正佣"/	.1年76.												H33 年度	完了
									方向性 时前年度比)	継続		業費 万円)	160.0		市負担分	41.7	H34 年度	-
	担当課	部名		建設部	課名	道	路2	交ì	<b>通課</b>	会計区	分		一般		事業区	分	ハー	ド

3 過去の実施計画期間中で完了・廃止した事業(担当部課名は事業実施最終年度の名称)

耵	又組	4-1-1		★ 防災体制の	強化					
E1	事業名	災害	手時	F優先特設公衆	電話の	つ設置事業(H29年	三度事業5	完了)		
	<i>እታ የ</i> እ	大規模災 る。	(害)	発生時における通作	言手段を	を確保するため、各避難	難所に設置	するための特設公	衆電話の電	話機等を購入す
	担当課	部名		総務部	課名	危機管理課	会計区分	一般	事業区分	ソフト
耵	又 組	4-1-6	1	安威川ダム	による	治水対策				
E2	事業名	ダル	、周	辺土地改良事	業(平	成29年度事業完了	()			
	目的 及び 概要	水源地域	<b>成整</b> (	備計画に基づき、多	で威川タ	「ム周辺の土地改良事	業を推進す	る。		
	担当課	部名		産業環境部	課名	農とみどり推進課	会計区分	一般	事業区分	ハード

まちの将来像	4	市民・地域とともに備え、命と暮らしを守る安全安心のまち
施策	4-2	消防・救急体制の充実強化を図る
施策の 方向性		災害に即応する消防体制と高齢化社会に対応した救急体制の充実強化を図るとともに、防火意識の向上に災予防を推進します。
	1	★ 消防体制の充実強化
	2	★ 救急業務の充実強化
取 組	3	火災予防の推進
★:重点プラン	4	
該当取組	5	
	6	
	7	

_	<b>+</b>	ᇨᆉᇎ	<del></del>									_	上. 垂上	プニヽゟ	たいと	<b>時如</b> 6	(手)	上一	ニいま	小事業
2	取:	施計画 組	4-2-1		 ★ 消防体制の	充実引	 <b>強化</b>						( ) 里点	ノフンド	<u> </u>	取組、◎	<b>少里</b> /	<u> </u>	ノン政	
1	事	業名	◎ 職員	災	害対応力充実	強化事	事業													
		目的 及び			災害対応力向上の 学校等訓練施設へ			H 30	内容	した訓練	棟の実施	H.				な災害を		-	事業の の見 (対前年 H31 年度	
			実施する。		产仅等训殊他政、	いが追	訓除で	年度		大心									H32 年度	継続
												-	= <del>**</del> #			1			H33 年度	継続
	-								(対	前年度比)	継続		事業費 事万円) 「	2.3		市負担分 万円)	2	.3	H34 年度	継続
	担	当課	部名		防本部·消防署	課名	消	i防約	総務	課	会計区	分	-	一般		事業区	分		ソフ	
2	事	業名	消防	厅	充実強化事業					I										
	7	ョ的 及び 既要	然災害対 上を図る。 消防署と	火災への対応能力及び台風や地震等の自 然災害対応能力を強化し、地域防災力の向 上を図る。 消防署との連携強化を図るとともに、消防団 り装備品を整備し活動しやすい環境づくりを 度					内容			方団		練及び	各分	分団連携	訓絲	東	の見 (対前4 H31 年度 H32 年度 H33 年度	方向性 込度比) 継続 継続 継続
							ı			方向性 前年度比)	継続		事業費 事万円)	3.9		市負担分	3	.9	H34 年度	継続
	担	当課	部名	淮	防本部·消防署	課名	消	i防約	総務	課	会計区	分	-	一般		事業区	分		ソフ	<b>\</b>
3	事	業名	◎ 消防	j車	.両・機器整備 🛚	事業														
																			事業の の見 (対前 <sup>年</sup>	
		目的 及び			資機材を計画的に	更新整	備し、	H 30	内容	①計画	に沿って	た消	的車両	j•資機村	才の	導入			H31 年度	継続
		既要	消防体制	のヲ	だ実強化を図る。			年度											H32 年度	継続
												-	<del>**</del>						H33 年度	継続
									<b>ブ</b> (対	方向性 前年度比)	継続		事業費 事万円)	60.3		市負担分 万円)	46	5.3	H34 年度	継続
	担	当課	部名	淮	防本部·消防署	課名		警师	<b></b>	:	会計区	分	-	一般		事業区	分		ハー	ド

4	事業名	◎ 高標	幾能消防総合情報	システ	ム整備	前事	業								
	及び 概要	を統制す 処理して 運用を図	文急等をはじめとする名でる通信指令業務を迅済防活動時におけるなるである。現在運用中のような大力を計画的に	速かつ的 効果的な )高機能	り確に ・部隊 消防	H 30 年度	内容①高機	能消防約	総合情報	システム0	の更新整備	旨	-	事業の の見 (対前年 H31 年度 H32 年度	込み
							方向性	新規	事業費	598.5	うち市負担分	598	3.5	H33 年度 H34	-
	担当課	部名	消防本部•消防署	課名		藝術	(対前年度比)	会計区分	(百万円)	一般	事業区		,,,,	年度	 K
耳	又組	4-2-2			<b>金化</b>		111 11/15	2112/		722	7-7/2	-,,			
5	事業名	救急	急安心センターお			業									
		<u> </u>					①病気	そけがの	) 竪急性な	や広急手	当の救急	军睿:	相	事業の の見 (対前年	込み
	目的 及び		体制で大阪市消防局 員、看護師が医師のB			H 30	内 談	機関の劉	.,	( ),,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		<u> </u>	'	H31 年度	継続
		医療相談		<b>7</b>	C 1741_1	年度		. 104104 - 51						H32 年度	継続
									<b>市</b> # #					H33 年度	継続
							方向性 (対前年度比)	継続	事業費	5.2	うち市負担分	5	5.2	H34 年度	継続
	担当課	部名	消防本部•消防署	課名		警师	<b></b>	会計区分	分	一般	事業区	经分		ソフト	
6	事業名	◎ 救急	急業務の高度化推	進事業	É										
		N. A. Y.	피 마 ) · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	- <del></del>	۸ . ۷ .						での病院の	开修		事業の の見 (対前年	込み
	目的 及び	処置を行	動時において傷病者と うための資格の取得や ための研修を行い、救	で医学的	J見識	H 30 年		、隊員に排		易として、	教育·指導	享を行	すう	H31 年度	継続
	概要	の向上に		.心阥貝	∨ノ貝 貝	度	C2234	C C Q 1 1 H	争狄加工	.]v/     //X				H32 年度 H33	継続
							方向性	Able (-la	事業費		うち市負担分			年度 H34	継続
	おりま	<b>₩</b>	冰叶++	細々	44	· Æ d	(対前年度比)	継続	(百万円)	3.4	(百万円)		3.4	年度	継続
7	担当課事業名	部名	消防本部・消防署 急手当の普及啓発	課名		.心(I	数助課	会計区分	70	一般	尹未以	בת		ソフ	
,	尹木石	© /\L\n	□ デヨツョ 及合光	(1白 男) =	#未									事業の	方向性
														の見 (対前年	込み
	目的 及び		当の普及啓発を行うこ		、心肺	H 30 左	内 ①救命	講習会の	の開催					H31 年度	継続
	概要	無生 仏が	ぶできる人の増加を図る	) <sub>0</sub>		年度								H32 年度	継続
							七色料		事業費		うた本色セハ			H33 年度 H34	継続
							方向性 (対前年度比)	継続	(百万円)	0.6	うち市負担分		0.6	年度	継続
	担当課	部名	消防本部•消防署	課名	救	急刺	效助課	会計区分	分	一般	事業区	☑分		ソフト	

取	組	4-2-3	火災予防0	D推進												
8	事業名	火災	<b> 以予防推進事業</b>													
															事業の の見 (対前年	
	目的 及び	火災を	未然に防止するため、	火災予[	坊広報	H 30						坊車両、∕1 実施する。	<b>イベントや</b> [	<b>広報誌</b>	H31 年度	継続
	概要	を実施す	る。			年度									H32 年度	継続
															H33 年度	継続
								<b>方向性</b> 前年度比)	継続		業費 万円)	(1) 5	ち市負担分 (百万円)	0.5	H34 年度	-
	担当課	部名	消防本部·消防署	課名	課名				会計区	分	-	一般	事業区	分	ソフ	<u>۱</u>

3 過去の実施計画期間中で完了・廃止した事業(担当部課名は事業実施最終年度の名称)

	EAVE		前中でル ) 洗血した	- 尹 木 (	担ヨの味石は事未夫	心以心干汉	.07121117		1
耳	文 組	4-2-1	★ 消防体制の	充実	<b>強化</b>				
E1	事業名	救助	業務の高度化推	進事業	業(平成29年度事	業完了)			
	目的 及び 概要	建物の倒	到壊など瓦礫に閉じ込	ふめられ	た要救助者を的確、迅	速に検索す	こるために、電磁波	探査装置の	)整備を行った。
	担当課	部名	消防本部•消防署	課名	救急救助課	会計区分	一般	事業区分	ハード
E2	事業名	<b>~</b> IJ	コプター映像受信	装置	整備事業(平成29	年度事業	完了)		
	目的 及び 概要	災害発生	上時に大阪市消防局の	のヘリコ	プターカメラによる上空	きからの映像	東を受信するため <i>の</i>	装置の整備	帯を行った。
	担当課	部名	消防本部•消防署	課名	警備課	会計区分	一般	事業区分	ハード

まちの将来像	4	市民・地域とともに備え、命と暮らしを守る安全安心のまち
施策	4-3	防犯や多様な危機への対策強化を図る
施策の 方向性	策を講し	安全安心を脅かすものとして、犯罪や迷惑行為等、モラル低下によるさまざまな問題があり、これまでから対 じていますが、今後も効果を検証し、内容の見直しを図りながら、取組を発展させなければなりません。また、 症やテロ行為等の市民生活を脅かす多様な危機についても想定し、その対策を進める必要があります。
	1	防犯環境の整備
	2	★ 防犯活動への支援及び市民の防犯意識の向上
取 組	3	多様な危機への体制整備
★:重点プラン	4	
該当取組	5	
	6	
	7	

		7															
2 }	実施計画	<u> </u>									*	:重点	プラン診	亥当取組、	<b>◎重</b> 』	点プラン該	当事業
耳	文 組	4-3-1		防犯環境の	整備												
1	事業名	防狐	Dカ	メラ設置補助事	業												
																の見	)方向性 見込み 年度比)
				置事業補助要綱に るため、地域の危			H 30			連合自治 円×20台				対象に補	助	H31 年度	拡充
				置する自治会に対			年度									H32 年度	継続
									L - La		=	ᄴᄲ				H33 年度	継続
									方向性 前年度比)	拡充		業費 万円)	2.0	うち市負担分	2.	.0 H34 年度	継続
	担当課	部名		総務部	課名	危	機管	管理	課	会計区	分	-	一般	事業[	区分	ソフ	·
2	事業名	通常	学路	見守り用カメラ	設置	事業											
															の見	)方向性 見込み 年度比)	
	目的 及び		路の安全対策として全小学校区に防 5を設置する。					内容		カメラの 契約期			年10月	~平成334	丰9月		継続
	概要	刀メフを彰	或直`	する。			年度									H32 年度	継続
									L - L 1 d		=	ᄴᄲ				H33 年度	継続
									方向性 前年度比)	継続		業費 万円)	15.2	うち市負担分(百万円)	15.	.2 H34 年度	継続
	担当課	部名		総務部	課名	危	機管	管理	課	会計区	分	-	一般	事業[	区分	ソフ	1
3	事業名	防狐	Dカ	メラ保守管理事	業												
		<b>朱丽</b> 和 罪	<b>「頭犯罪抑止のため、市内の犯罪発生危</b> 限													の見	)方向性 見込み 年度比)
		か所等に警察の捜	置し、	H 30	内容	①防犯	カメラ保	:守管	<b>沙理業</b>	<b>務委託</b> (	こよる点検	整備	H31 年度	継続			
		府の街頭	犯罪	『多発地域防犯カ』 『多発地域防犯カ』 『活用し整備した。			年度								H32 年度	継続	
												AUG = 15				H33 年度	拡充
									方向性 <sup>前年度比)</sup>	継続		業費 万円)	0.9	うち市負担分 (百万円)	0.	.9 H34 年度	継続
	担当課	部名	<b>部名</b> 総務部 <b>課名</b> 危				機管	管理	課	会計区	分	-	一般	事業[	区分	ソフ	1

	<b>**</b> *	<b>=</b> -		# <b>₹</b> ⁄⁄~=	早 米									
4	事業名	泰力	力団排除条例関係	事務 5	₽美 ———								1	
		<b>最力田</b> <i>华</i>	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -	ン外 昇 ナ	可学		当要求	行為等に	こ対して、	組織的力	暴力団等によな取り組みをな な取り組みをな な行為等の防	行う	の見	方向性 込み 拝度比)
		を利する	行為を防止し、社会全	体で暴	力団	H 30	関する	要綱」や、	、排除する	ための	指針について	、全	H31 年度	継続
		平穏を確	を推進し、もって市民/ 保するとともに、社会経 に寄与することを目的	圣済活動		年度	所属に ②行政	対象暴力	力対策連約 講習会の		会を開催		H32 年度 H33	継続
									<b>市</b>		5++441A		年度 H34	継続
							方向性 (対前年度比)	継続	事業費	0.0	うち市負担分	0.0	年度	継続
	担当課	部名	総務部	課名		総	<b>务課</b>	会計区分	<del>ं</del> ने	一般	事業区分	<b>†</b>	ソフ	<u> </u>
5	事業名	庁台	含防犯カメラ設置事	業									•	
		『方刹』 カメ	ラは、不特定多数が利	田する」	完全に		口97切	カメラリー 約(6年旬	ース契約継 ਜ更新)	統			の見	方向性 込み ∓度比)
	目的	おいて、	犯罪等を未然に防ぐ抑 また、万が一犯罪が多	止効果	:が期	H 30	本館・南館	6台	<i>4</i> × <i>n</i> 17				H31 年度	継続
		の証拠資	料として活用可能とな ロープ12箇所に設置す	ることが		年度		宁舎4台					H32 年度	継続
		関ロへへ	口 / 12回///(C权恒)	1 °D <sub>0</sub>									H33 年度	継続
							方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	1.1	うち市負担分 (百万円)	1.1	H34 年度	継続
	担当課	部名	総務部	課名		総利	务課	会計区分	i <del>)</del>	一般	事業区分	+	ソフ	ŀ
6	事業名	防豹	D灯LED化補助事	業										
							①補助	金の交付	+				の見	方向性 込み 拝度比)
			防犯活動を支援するたる る防犯灯を対象に、L			30	蛍光灯		219灯				H31 年度	完了
			うとする自治会に対し補			年度			, ==/,				H32 年度	-
													H33 年度	-
							方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	1.8	うち市負担分 (百万円)	1.8	H34 年度	-
	担当課	部名	建設部	課名	建	設領	管理課	会計区分	<del>के</del>	一般	事業区分	4	ソフ	ŀ
7	事業名	街路	各灯設置事業											
													の見	方向性 込み 拝度比)
	目的 及び	夜間の安 灯を設置	・ 全通行と犯罪防止対策 する	策として	、街路	30	内 ①新設	要望によ	る街路灯	の設置			H31 年度	継続
	概要	八で収目	. 7 'Vo			年度							H32 年度	継続
													H33 年度	継続
							方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	8.0	うち市負担分 (百万円)	8.0	H34 年度	継続
	担当課	部名	建設部	課名	建	設管	<b>管理課</b>	会計区分	分	一般	事業区分	}	ソフ	<u>-</u>

8	事業名	防	U灯維持管理補助	事業										
			・理の防犯灯について 注申請により、毎年、電			H 30 年	内容①補助	金の交付	t			(5) H	の見述 対前年 H31 年度	
	概要	補助し、	自治会の負担軽減を図	<b>図</b> る。		度						左	H32 年度 H33	継続
							方向性	継続	事業費	2.5	うち市負担分		年度 H34	継続継続
	担当課	部名	建設部	課名	建	設領	(対前年度比)	会計区分	(百万円)		事業区分	2.0	<b>年度</b> ソフト	
取	又組	4-3-2				-					7 3 3 3 3			
9	事業名	◎防疹	ロパトロール強化す											
		単位への	かた人 パー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	:1 ~1 \`	7 444-64								事業の元 の見込 対前年	
	目的 及び	団体を支	)安全パトロールを実施 接するため、青色回転 報装置を貸与するとと ール車の塗装を警察車	が、スラ もに、青	テッ 色防	H 30 年	内 ①青色容 ③(臨)				き装する(88万 万円)	±	H31 年度 H32	臨時 拡充 完了
		いに変更		2 PO C PO		度						H	年度 H33 年度	-
							方向性 (対前年度比)	臨時 拡充	事業費	2.9	うち市負担分	2 g F	H34 年度	_
	担当課	部名	総務部				<b>学理課</b>	会計区分	<del>}</del>	一般	事業区分		ソフト	
10	事業名	防豹	但協会負担金事業											
												車	事業の2	方向性
													の見: 対前年	
	目的 及び 概要	防犯協会 出する。	<の活動を支援するた&	か負担金	を支	H 30 年度	内容①同協	会への賃	負担金の支	<b>ご</b> 出		(5)	対前年 H31 年度 H32	
	及び		ぐの活動を支援するため	か負担金	金を支	30		会への負	自担金の支	芝出		(5)	対前年 H31 年度	継続
	及び		ぐの活動を支援するため	か負担金	金を支	30 年		冰冷	事業費 (百万円)		うち市負担分 (百万円)	(3 	対前年 H31 年度 H32 年度 H33	継続継続
	及び		総務部	課名	危	30 年度	方向性	冰冷	事業費(百万円)			(3 	対前年 H31 年度 H32 年度 H33 年度 H34	継続継続継続
取	及び 概要	出する。 <b>部名</b> 4-3-3	総務部 多様な危機	課名	危	30 年度	方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	4.5	(百万円)	(3 	対前年 H31 年 B2 年 B3 年 B3 年 B3 年 B4 日 B4 日 B4 日 B4 日 B4 日 B4 日 B4 日 B4 日	継続継続継続
取11	及び 概要 担当課	出する。 <b>部名</b> 4-3-3	総務部	課名	危	30 年度	方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	4.5	(百万円)	(3 	対前年 H31 年 B2 年 B3 年 B3 年 B3 年 B4 日 B4 日 B4 日 B4 日 B4 日 B4 日 B4 日 B4 日	継続継続継続
	及び悪担当課組	部名 4-3-3 国耳	総務部 <b>多様な危機</b> 民保護計画関連事	課名 <b>への</b> 位 業	危 <b>本制整</b>	30年度 機 備	方向性(対前年度比)	継続 会計区分	事業費(百万円)	4.5 一般 <sup> </sup>   そを踏まえ	事業区分	(3 + 4 + 4 + 4 - 4 - 4 - 4 - 5 - 4 - 6 - 7 - 7 - 7 - 7 - 7 - 7 - 7 - 7	対前 H31 E H31 E H32 E H32 E H34 E H34 E H34 E H37 M34 M34 M35 M36 M37 M37 M37 M37 M37 M37 M37 M37	継続継続継続を持つの世上の上度という。
	及概     担     3     事     目及       が要     3     日のび	部名 4-3-3 国 住 民 祭 テ ロ	総務部 多様な危機 民保護計画関連事 を迅速的確に行うためなどの事態を想定して	<b>課名</b> <b>への</b> ( 業 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	危 本制 整 、	30年度 機 備 H 30	内内   内内   内内   内内   内内   内内   内内   内	継続 会計区分	事業費 (百万円) 計の変更を値 機子に適計	4.5 一般	事業区分	(5) ・	対前 H31 E H31 E H32 E H32 E H34 E H34 E H34 E M31 E M31	継続継続継続を持つの世上のとの世上のとの世上のとの世上のとのは、というとのでは、これには、これには、これには、これには、これには、これには、これには、これに
	及概     担     3     事     目及概       び要     課     名     的び更	<b>部名</b> 4-3-3 国 住 民 祭 戸 正 氏 祭 戸 の 正	総務部 <b>多様な危機</b> 民保護計画関連事	<b>課名 への</b> ( 業  カ、国民( が ) 、	危 本制整 <sup>薬</sup> 、計 、計 、計	30年度 機 備 H	内内   内内   内内   内内   内内   内内   内内   内	継続会計区が基本指針国民保民	事業費 (百万円) 計の変更を値 機子に適計	4.5 一般	事業区分	(5) (5) (5) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	対 H31 E H32 H32 E H32 E H32 E M32 E	継続継続継続を持つの大きのは、おいまでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ
	及概     担     3     事     目及概       び要     課     名     的び更	<b>部名</b> 4-3-3 国 住 民 祭 戸 正 氏 祭 戸 の 正	総務部 多様な危機 民保護計画関連事 を迅速的確に行うため などの事態を想定して するとともに、住民避難	<b>課名 への</b> ( 業  カ、国民( が ) 、	危 本制整 <sup>薬</sup> 、計 、計 、計	30年度 機 備 H 30年	内内   内内   内内   内内   内内   内内   内内   内	継続 会計区分 基本指針 国民保民 したする。 臨時	事業費 (百万円) 計の変更を値 機子に適計	4.5 一般 <b>**を踏まえる</b> <b>**</b>	(百万円) 事業区分	(5)   1	対 H31度 H31度 H32度 H32度 H34度 H34度 第の前 H311度 H32度 H32度 H311度 H32度 H32	継続継続継続を持つの世上のとの世上のとの世上のとの世上のとのは、というとのでは、これには、これには、これには、これには、これには、これには、これには、これに

12	事業名	【再	掲】感染症予防対	策事業	ŧ											
		した場合	フルエンザ等、実際に に対策が取れるように	準備する	。。 また										の見	方向性 ,込み 年度比)
	目的 及び	広く感染 の指導を	症の予防について、蔓 行う。	延防止	のため	30	1		的取組 機関との			えへの 周	周知•啓発		H31 年度	継続
	概要					年度									H32 年度	継続
		【関連取	組:1-5-3 感染症予防	対策】											H33 年度	継続
								<b>向性</b> 前年度比)	継続	事業 (百万		(0.1)	うち市負担分 (百万円)	(0.1	H34 年度	継続
	担当課	部名	健康福祉部 課名				医療	課	会計区	分	-	一般	事業に	区分	ソフ	<u>۲</u>

まちの将来像	4	市民・地域とともに備え、命と暮らしを守る安全安心のまち
施策	4-4	消費者教育を推進し、自立した消費者の育成に努める
施策の 方向性		活相談、消費者教育・啓発事業の充実を図りながら消費者意識を高め、自立した消費者を育成するととも 《業務の充実や適切な情報提供などにより消費者の安全・安心の確保(消費者保護)に取り組みます。
	1	消費者教育・啓発の推進
	2	消費者相談の充実
取 組	3	
★:重点プラン	4	
該当取組	5	
	6	
	7	

2	実施計	画									*	:重点	プラン詞	亥当耳	<b>反組、</b> ◎	重点	プラン該	当事業
	取組	4-4-	1	消費者教育	•啓発	の推済	焦											
1	事業名	消	費者	<b>全教育推進事業</b>														
	目的及び概要	者など多に、イベ じ、消費 要性なと	様だった、者のでを理	、消費者団体、市月 な消費者教育の推定 出前講座などあら 基本的な権利と責 理解し、消費者被害 への影響をも考慮し	生主体を ゆる機会 任、契約 の未然	者ととも 会を通 的の重 防止、	H 30 年度	内容	②実③④第高清整 演発費内業	誌生 会パ生教の・教の・教展 マルに機施機	- な ナ及関関	· 啓発イ -、出前 OVD る教育 の消費	ベント等 が講座等 の貸出し ・啓発 ・者教育	等の団 の実 カカラ 推進	団体との 医施 支援事 に関す	業 る連	の見 (対前 <sup>4</sup> H31 年度 H32 年度	方向性 込み 手度比) 継続 継続
		活用がつ	できる	5消費者の育成を図	1る。					* 教 目 伪			<b>教目夫</b>				H33 年度	継続
									<b>与向性</b> 前年度比)	拡充		業費	7.2		5負担分 万円)	6.0	H34 年度	継続
	担当記	部名		市民文化部	課名	市民	:生剂	舌相	談課	会計区	分		一般		事業区	分	ソフ	F
	取組	4-4-	2	消費者相談	の充乳	実												
2	事業名	消	費生	三活相談事業														
	目的及び概要	かつ合理を対し、助ったでは、かったができます。	消費生活相談事業 消費者の被害の防止及び救済並びに自主的かつ合理的に行動できるよう支援するため、消費者である市民と事業者の間で発生した、契約や解約等に関わるトラブルの相談に対し、助言・あっせんを行う。また、社会的弱者やセンターに直接相談できない消費者に対する消費者保護を図るため、既存のセーフティネットワークを活用し、高齢者や障害者の見守り、子どもの安全、地域の防犯など関連				H 30 年度	内容	②関係 ③相談 ④事業 ⑤地域 ⑥(仮科	相談に機関と過者を関係を関係を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を	連携する	し、より 消費者 の改善 アーク会	高度な  教育  要望・    議等へ	問題の 制度の の参	解決を O教示 i加		の見 (対前4 H31 年度 H32 年度 H33	方向性 込み 再度比) 継続 継続
		/		もの安全、地域の『 た相談を展開する		関理		7	 	継続		業費	15.6	うち市	<b>市負担分</b>	15.0	年度 H34	継続
	to vice				-m -	4.	11.5	(対	前年度比)	., ., .	Ť	万円)			万円)		牛皮	
	担当記	部名		市民文化部	課名	市民	:生剂	古相	談課	会計区	分		一般		事業区	分	ソフ	<b>١</b>

# 【まちの将来像5】

都市活力がみなぎる便利で快適なまち

まちの将来像	5	都市活力がみなぎる便利で快適なまち
施策	5-1	地域経済を支える産業をまもりそだてる
施策の 方向性	整備を住また、商	農林業は、都市近郊立地の特性をいかし、都市と農村の交流を基軸とした地産地消の取組や、適切な森林 足進するとともに、地域ぐるみでの営農や市民、企業等の新たな担い手を育成します。 i店街が便利で楽しみのある場所として、買い物客や地域住民で賑わい、市内企業が安定的に事業を継続 を遂げるなど、活力あふれるまちづくりを進めていきます。
	1	★ 農林業の振興
	2	★ 都市と農村の交流活動等による活性化
取 組	3	★ 商業の活性化
★:重点プラン	4	企業活動への支援
該当取組	5	
	6	
	7	

		7															
2	実施計画	<u> </u>								★:重点	<b>ミプラン</b> 記	该当取組、◎:	重点に	プラン該	当事業		
Į	文 組	5-1-1	★ 農林業の	振興													
1	事業名	◎ 新規	見農業者養成事	業													
		により担い	!い手の高齢化や若 い手が不足し、将来 考えられ、今後、持	、農地のi	遊休化			①典类	仕覧の	宇恢				の見	方向性 込み 拝度比)		
	目的 及び	らう必要な	「市住民等に農業に があることから、市民	や学生等	を対象	H 30	内容	②国の		美旭 を活用した アーム受請				H31 年度	継続		
	概要	来、新規	業体験を実施し、農 就農に結びつける。	また、一方	定の営	年度		0点来	日中間大ノ)	) 公文时		H32 年度	継続				
			·取得し、独立・自営 の給付金を活用して											H33 年度	継続		
		ポートする	5.					方向性 前年度比)     継続     事業費 (百万円)     3.4     うち市負担分 (百万円)     0.4							継続		
	担当課	部名	産業環境部	課名	農と	みど	どり推進課         会計区分         一般         事業区分         ソフ										
2	事業名	新し	い農業施策構	築に向け	けた調	查等	눛 F										
		新しい農	業施策を構築・展掲				-≅⊞- <del>*</del> -					の見(対前4	方向性 込み 拝度比)				
			ョップ等により地域のとともに、地域農業			H 30 年	容	①基礎 ②事業		・モデル実	<b>E施</b>			H31 年度	継続		
	概要	事業を検	討・実施する。			度								H32 年度	継続		
														H33 年度	継続		
								方向性 前年度比)	新規	事業費	2.9	うち市負担分 (百万円)	2.9	H34 年度	継続		
	担当課	部名	産業環境部	課名	農と	みど	'り丼	推進課	会計区	分	一般	事業区分	}	ソフ	<b>١</b>		
3	事業名	有智	<b>善</b> 善					•									
		右実獣に	よる農作物被害の	佐正を図え	スため									の見	方向性 込み 拝度比)		
		イノシシ・	アライグマ等の捕獲 「止柵・網の設置に	活動の実	施や					柵設置に 対する支払		泛援		H31 年度	継続		
			経営の安定化と地域			年度								H32 年度	継続		
		· <b>3</b> 0											H33 年度	継続			
								方向性 前年度比)	継続	事業費 (百万円)	3.5	うち市負担分 (百万円)	3.5	H34 年度	継続		
	担当課	部名	産業環境部	課名	農と	みど	'り打	推進課	会計区	分	一般	事業区分	}	ソフ	<u>-</u>		

4	事業名	環境		事業												
								①エコ)		の見	方向性 込み 拝度比)					
		術、営農	収益性の高い作物の場 指導を行い、エコ農産 した環境保全型農業を	物の栽:	培や環	H 30	内容	②有機	性資源	を活用し	た土づくり た土づくり た活用し、				H31 年度	継続
	概要	により、市	でに、現場、民主空展業で 「民に安心・安全な農産 で推進する。			年度		るエコ鳥	<b>農産物</b> €	情報発	信				H32 年度	継続
							_	+		事業費		5+ ±5+0	Λ		H33 年度 H34	継続
	10.11.50	+= =	국 <b>가 게</b> 스 400 [국가 구하		ш	7 10	(対	方向性 前年度比)	継続	(百万円	) 0.9	うち市負担	)	0.9	年度	継続
	担当課	部名	産業環境部	課名				£進課 .、	会計区	分	一般	争习	区分		ソフ	<u> </u>
5	事業名	農業	業振興推進事業(j	佐休農	地解》	肖事		(E)								
								導			た遊休農				の見	方向性 込み ∓度比)
	目的 及び	農地中間	活動に対する支援や ]管理機構等との連携	による都	市住	H 30	内容	い手の	•	H31 年度	継続					
	概要	民等の担消を図る	!い手の確保を行い、返 。	在休農地	也の解	年度		③集落	営農へ	農機具等	等の貸付等	施	H32 年度	継続		
										viv -++		T			H33 年度	継続
								方向性 <sup>前年度比)</sup>	継続	事業費		うち市負担		0.0	H34 年度	継続
	担当課	部名	産業環境部	課名	農と	みど	り推	推課	会計区	分	一般	事第	区分	<b>&gt;</b>	ソフ	F
6	事業名	林美	<b>Ě推進事業</b>													
			機能を有する森林のの			H 30		①林業 助	業者団体等が実施する森林整備事業への補						の見	方向性 込み 拝度比)
	目的 及び	の提供を	市と農村の交流の場とい 行うほか、林業者団体				内容	②森林		対策の写 必要なホ	尾施 k道の維持	È			H31 年度	継続
	概要	_	業に対し支援を行う。	AII III A	+#\#\ <b>T</b>	年度									H32 年度	継続
		【判理以》	組:6-2-2 自然資源の	<b>7</b> 不り円(7)	推進』										H33 年度	継続
								方向性 <sup>前年度比)</sup>	継続	事業費		うち市負担		8.4	H34 年度	継続
	担当課	部名	産業環境部	課名	農と	みど	り推	推課	会計区	分	一般	事第	区分	}	ソフ	<u> </u>
7	事業名	農村	付総合整備事業			1	ı									
		水路や雨	z水堰等の基盤整備を	<b></b>										の見	方向性 込み ∓度比)	
		環境を改	・善することにより農作物 。また、「見山の郷」廻り	勿の生産	<b>E</b> 効率	H 30	内容		実施 〔取水堰	)					H31 年度	継続
			ることで、修景施設とし			年度									H32 年度	継続
										<b>+</b> * *	.				H33 年度	完了
								方向性 前年度比)	継続	事業費		うち市負担		2.6	H34 年度	-
	担当課	部名	産業環境部	課名	農と	みど	り推	推課	会計区	一般事業区分						ド

8       事業名       遊休農地解消事業         目的 及び 保及び担い手の利用促進に努め、遊休農地の解消及び未然防止を図る。       H 30 年度       ②農とみどり推進課との連携、や準農家制度を活用した担い         大向性(対前年度比)       継続 (百万円)       0         担当課       部名       農業委員会       課名       農業委員会事務局       会計区分       一般	手の確保 .0 うち市負: (百万)	担分	<b>工業</b>	の見 (対前4 H31 年度 H32 年度 H33 年度	方向性 込み 手度比) 継続 継続			
目的 農とみどり推進課等と連携し、優良農地の確保及び担い手の利用促進に努め、遊休農地の解消及び未然防止を図る。	手の確保 .0 うち市負: (百万)	担分		年度 H32 年度 H33 年度	継続			
方向性 (対前年度比)         継続         事業費 (百万円)         0	.0 (百万)		0.0	H33 年度				
(対前年度比)     (対前年度比)     (村下市)     (百万円)     (日万円)	.0 (百万)		0.0					
<b>担当課 部名</b> 農業委員会 <b>課名</b> 農業委員会事務局 <b>会計区分</b> 一般	事			H34 年度	継続			
		業区分		ソフ	٢			
取組 5-1-2 ★ 都市と農村の交流活動等による活性化								
9 事業名 ◎ 農業振興推進事業(農空間活用事業)								
①れんげ米の栽培支援				の見	方向性 ,込み 拝度比)			
目的 直売活動や都市と農村の交流活動を活発化 30 ②新たな特産品の開発、販売 20 3 農商連携によるアンテナション 3 2 3 2 3 2 3 2 3 2 3 2 3 2 3 2 3 2 3		設検討		H31 年度	継続			
概要 や農商連携を行い、地産地消の促進を図る。 年度				H32 年度	継続			
				H33 年度	継続			
方向性 (対前年度比)     継続     事業費 (百万円)	.9 うち市負担 (百万)		0.9	H34 年度	継続			
<b>担当課 部名</b>   産業環境部   <b>課名</b>   農とみどり推進課   <b>会計区分</b>   一般	事	業区分		ソフ	<u>۱</u>			
10 事業名 ふれあい農園管理事業								
自然にふれあう機会と農業を体験する場を提供するため、市民農園の管理運営を行うとと ロコアギの草魚	②入園者の募集 ③日常の管理運営							
目的 もに、平成10年よりふれあい農園の管理業務 日 日 2 八園 4 の 寿集 3 日常の管理運営								
概要 目の農園を開園し、業務量が増大しており、 事業費及び事務量の削減のため、平成32年 度	[管理者制度の検討							
度より指定管理者制度による運営を行う。				H33 年度	継続			
方向性 (対前年度比)     継続     事業費 (百万円)     1	.5 うち市負担 (百万)		1.5	H34 年度	継続			
担当課 部名   産業環境部   課名   農とみどり推進課   会計区分   一般	事	業区分		ソフ	<b>١</b>			
11 事業名 農業祭開催事業								
				の見	方向性 ,込み 年度比)			
目的   市内農林産物等を展示し、都市と農村の交   H   内   次   次   次   次   次   次   次   次   次	<u>}</u>			H31 年度	継続			
及び 概要 解と認識を深めるとともに、農林業の健全な 発展と農業・農村の活性化を図る。				H32 年度	継続			
				H33 年度	継続			
方向性 (対前年度比)     継続     事業費 (百万円)	.0 うち市負担 (百万)		5.0	H34 年度	継続			
担当課 部名 産業環境部 課名 農とみどり推進課 会計区分 一般	事	業区分		ソフト				

12	事業名	◎北原	長中学校跡地活用	事業														
		平成23年	≤3月31日を持って廃杉	をとなった	き北辰											の見	方向性 込み 拝度比)	
	目的 及び	中学校助キャンプ	「地のうち、運動場を活場を暫定開場し、利用	用して 者より意	オート 見や	H 30		①事業 ②オー				開設				H31 年度	継続	
	概要	進や山間	取することで、都市住 団地域の活性化につな	げ、併せ	で流促 せて地	年度										H32 年度	継続	
		<b>攻任氏</b> ∅	新たな雇用の可能性	ど採る。				<b>-</b>		事業	弗	1	- 4 -	- <del>41</del> 0		H33 年度 H34	継続	
	10.11.=0	4			# 1	7 18	(対	方向性 前年度比)	継続	(百万	円)	2.3	(百	万円)	2.3	年度	継続	
	担当課	部名	産業環境部	課名		みと	り打	推課	会計区	.分	_	一般		事業区	分	ハー	Γ,	
13	事業名	都「	市と農村交流情報	発信事	<b>∳</b> 兼 ———													
								0 ± ±11	①広報誌及びHPによる情報発信								方向性 込み 拝度比)	
	日的	るイベン	園などの体験型農園や	情報発信	信を行	30	内容	②農林	①広報誌及び日子による情報発信 ②農林業に関係した魅力の発掘や情報の収集 ③交流促進につながる情報発信								継続	
	概要	い、都市を図る。	と農村の交流を促進し	、農業(	り振興	年度										H32 年度 H33	継続	
							_	+ = ++		事業	弗		3+ ±	5負担分		年度 H34	継続	
			and a vite arms sales to a				(対	方向性 前年度比)	継続	(百万	円)	0.0	(百	万円)	0.0	年度	継続	
	担当課事業名	部名	産業環境部 険農園開設支援事	課名	農とみどり推進課会計区分一般事業区分										ソフ	`		
	目的及概要	園を開設 場を提供 ての相談	ぶ農地を利用して体験だし、都市住民に対するではある。市として農いでである。市として農いでアドバイスを行い、できし、都市と農村の交	農業体 園開設( 市民農園	験の こつい 園等の	H 30 年度	内容	1/1	等への	開設に	に向け	た相談	やア	ドバイン	くの実	の見 (対前4 H31 年度 H32 年度 H33	方向性込み手度比)継続継続継続	
								方向性 前年度比)	継続	事業		0.0		5負担分 万円)	0.0	年度 H34 年度	継続	
	担当課	部名	産業環境部	課名	農と	みど	'り打	進課	会計区	分	_	一般		事業区	分	ソフ	<b>,</b>	
耳	又 組	5-1-3	★ 商業の活性	化														
15	事業名	◎ 産	<b>業振興アクションプ</b>	ラン推	進事	業												
	目的及び		具ビジョンに位置付けた 姿」を実現するため、産			H 30	内容	の進捗 ②(70) ③中小	おいも	グルメン を対象	フェア	の実施 ご貿易な	よど油	<b></b>		の見	方向性 込み 拝度比) 継続	
	概要											H32 年度 H33 年度	完了 -					
								方向性 前年度比)	拡充	事業 (百万		4.1		5負担分 万円)	4.1	H34 年度	-	
	担当課	部名	産業環境部	課名	商	jΣŝ	労政	(課	会計区	分		一般		事業区	分	ソフト		

16	事業名	苺-															
10	7.7.1	[p] =	- 不過光冊のず未														方向性
			i工業の活性化を促進					業 イヘ						・同運営 事業に補		(対前年	込み F度比)
	目的 及び	等の設置	行う共同施設関連事業 )、共同運営事業(活 利便施設の運営等)、	性化計画	画の策	H 30 年	内容	た士公								H31 年度	継続
	概要	び中小企	利使施設の運営等人を 業者が行う人材育成↓ ・部を補助する。			度		給								H32 年度 H33	継続継続
								<b>方向性</b> 前年度比)	継続		業費	6.9		市負担分	6.9	年度 H34 年度	継続
	担当課	部名	産業環境部	課名	商	i工タ	<b>労</b> 政	了政課 <b>会計区分</b> 一般 <b>事業区</b>						分	ソフ	<b>F</b>	
17	事業名	◎ 小ラ	· 尼店舗改築(改装)	補助事	事業												
		め、市民 いる小売	j工業施設の活性化をで や法人が市内で所有で 店舗等(小売業、飲食 業)の改築・改装工事に	又は賃借 店、理・	告して 美容			営んで	いる市員	民又	は市内	法人が	、小	と、療術 売店舗		の見	方向性 込み 拝度比)
	及び 概要	象経費のまた、商品業への業	51/2(限度額50万円)を 吉街や中心市街地での 種転換や新規出店を	を補助す O小売業 行う場合	つる。 き・飲食	H 30 年度	内容		街や中 換や新	心† 規出	う街地で 3店する	での小売 事業者	三業・ が、	小売店		H31 年度 H32 年度	継続継続
			費用の一部を補助する 組:5-6-2 魅力ある中		₩1 • EP	_		以来与	XXX CT.	1 <i>) =</i> 7	# □ (⊆1H	177. T	. X /r	F		H33 年度	継続
		周辺の整		心川川利	IE M			方向性 前年度比)	継続		業費 「万円)	6.5		市負担分	6.5	H34 年度	継続
	担当課	部名	産業環境部	課名	商	工党	労政課		会計区	分	-	一般		事業区	分	ソフ	<b>F</b>
18	事業名	産業	<b>業活性化プロジェク</b>	小促進	事業												
		市内産業	ミの活性化につながる!	民間の自	巨体的				<del>上</del> 本光	+1= G	中マカン。	_\ <i>\</i> _	is 44	小体子早	Δn	の見	方向性 込み 拝度比)
	目的及び	な取組を のが実施	促進するため、市内で する、事業者や商品の を行う事業に対し、申	事業を DPR事業	営むも き、新	H 30 年度	内容	意見を		象	事業の智			推委員 、採択事		牛皮	継続
	概要		基づき、経費の一部を													年度 H33	継続
								方向性	継続		業費	1.0	うち	市負担分	1.0	年度 H34	継続継続
	担当課	部名	産業環境部	課名	产	i工党		前年度比)	会計区		万円)	一般	(百	事業区		年度ソフ	
I	取組	5-1-4		の支持				1711									
19	事業名	企業	 K立地支援事業														
		III da A M		- I.			①企業	訪問活	動						の見	方向性 込み 拝度比)	
	及び	既存企業 め、企業 報を把握 ストップ窓	了政情 のワン	H 30 年度	内容	②企業 ③広報	が活用	でき 5市	内企業	の紹介		知		H31 年度 H32 年度	継続継続		
		ている。	ている。			.~										H33 年度	継続
								方向性 前年度比)	継続		業費 万円)	0.5		市負担分	0.5	H34 年度	継続
	担当課	部名	産業環境部	課名	商	工党	労政	(課	会計区分  一般  事業区分					分	ソフト		

20	事業名	企業		事業											
		企業の立	地や設備投資を促進 経済の活性化を図るた	すること				①奨励	金の対	象者や	交付要件等	窓 制度の	見直し	の見	方向性 !込み 年度比)
	目的 及び	新たに取 固定資産	得した土地・建物・設備税・都市計画税額相当	前に課さ	れる	H 30		を実施。 ②本社	機能移		による雇用			H31 年度	継続
	概要		金として交付する。 組:5-2-3 特区制度な	いた汗	田)た	年度		の検討	0					H32 年度	継続
		企業立地		. (二代百)	用した		_	方向性		事業	<b>書</b>	うち市負担分		H33 年度 H34	継続
	担当課	部名	産業環境部	課名			(文	前年度比)	拡充	(百万		(百万円)	391.0	年度ソフ	継続
21	事業名	1	L会議所事業補助 「会議所事業補助						200	,,	/32	7-20	-//		
		市内の新の成長・そのが行う業に対し	産業の創出・育成並で発展を促進するため、2 市内産業の総合的発展で補助金を交付する。 組:5-6-2 魅力ある中	H 30 年度	内容	中小企		所事業	行う、地域が及び創業す			の見 (対前: H31 年度 H32 年度 H33	カラウス (本)		
		/4/C**	. VIII <b>4</b>					方向性制度比)	継続	事業		うち市負担分	13.4	年度 H34 年度	継続
	担当課	部名	産業環境部	課名	商	i工党			会計区		一般	事業	区分	ソフ	<u>۱</u>
22	事業名	経営	営相談・指導事業					'		l I		,			
		主内の新	i店や企業の発展、創	▶○問	н		(助言・	:アドバイザーによる創業希望者の開業支援 ・指導等) :アドバイザーによる商工業者、大学生をはじ					の見 (対前4	方向性 込み 年度比)	
	目的及び概要	業を支援	古く正美の光展、劇   するため、経営アドバ  t士)とともに、事業者へ	イザー(	中小	H 30 年度		めとした	めとした若者等の経営相談 ③事業所・商店街等への巡回						継続
	概要	導等を行		71.									H32 年度 H33	継続継続	
								方向性 方向性 前年度比)	継続	事業		うち市負担分	4.3	年度 H34 年度	継続
	担当課	部名	産業環境部	課名	商	i工党	芳政	女課	会計区		一般	事業	区分	ソフ	<u>۲</u>
23	事業名	融資	資関連補助事業					•							
	<b></b> 4	由小人类	・孝の馴染)っぱてなね	र्थाप्य द	Н	内	の車業	保証料の容を		うえ、必要で	ふわ 1ギ約	结子	の見 (対前 <sup>4</sup> H31	方向性に込みに実践し、	
	目的 及び 概要	び 中小企業の健全な発展と経営の安定を促進				30 年 度	容	る。	ri分でf	火削リン	ノん、必安(	、α)4 いよ形	:NYL 9	年度 H32 年度 H33	継続
							方向性	継続	事業		うち市負担分	9.4	年度 H34	継続継続	
	担当課	部名	産業環境部	課名	商	i工党		対課	会計区	分	一般	事業		<b>年度</b> ソフ	

24	事業名	産業	美情報サイト運営事	業													
		充工業な	中心とした市内企業の	はまれ 小	た伊											の見	方向性 込み 年度比)
	目的	進し、消費	骨者の利便性の向上を ・イトを整備し、サイト内	図るた	め、産	H 30	内容	①サイ1 ②サイ1			理					H31 年度	継続
	概要	の商店や	企業の業務内容や営	業の業務内容や営業案内等を掲貨費者等に情報発信を行う。		年度										H32 年度	継続
									ı			Г				H33 年度	継続
								方向性 <sup>前年度比)</sup>	継続		事業費 百万円)	0.7		市負担分	0.7	H34 年度	継続
	担当課	<b>選名</b>						工労政課 <b>会計区分</b> 一般 <b>事業区分</b>									<b>١</b>
25	事業名	中小	小企業融資対策事	業													
		由小个类	⇒孝の奴骨宍字を図える	<b>〜</b> み +	·KE信			①英木	古山小	△₩	<b>岩</b> 坛 嗣 沒	至金融資	\$ 75.	7 K <del>   </del> KE I	存出小	の見	方向性 ,込み 年度比)
	目的	企業振興資金等融資と大阪府中小企業融資					内容	企業融	資の斡	旋		<b>七四村</b> 記		O')\ \	יני דינו	H31 年度	継続
	概要								×	71	(=   )	14 I D Hr	L'AL			H32 年度	継続
		.,. 3   J pr	.,_0,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,														継続
								方向性 <sup>前年度比)</sup>	継続		業業費 (万円)	0.0		市負担分	0.0	H34 年度	継続
	担当課	部名	産業環境部	課名	商	i工Ś	<b>学</b> 政	(課	会計区分		-	一般		事業区	分	ソフ	١-

まちの将来像	5	都市活力がみなぎる便利で快適なまち
施策	5-2	時代の変化を見通した新しい産業をつくり、そだてる
施策の 方向性	や幹線	度や企業立地促進奨励金などの企業支援施策を活用し、バイオ・ライフサイエンス分野など成長産業の集積 道路沿道等での物流施設など本市の地域特性をいかした企業立地を進めます。また、多様なビジネスの創 に、育成された人材がいきいきと活躍することで、活力がみなぎるまちづくりを進めていきます。
	1	★ 地域経済の成長を先導する事業者の創出・育成
	2	★ 幹線道路沿道での企業立地誘導
取 組	3	★ 特区制度などを活用した企業立地
★:重点プラン	4	
該当取組	5	
	6	
	7	

#### 2 実施計画 ★:重点プラン該当取組、◎重点プラン該当事業 取 組 5-2-1 ★ 地域経済の成長を先導する事業者の創出・育成 事業名 ◎ 創業促進事業 ①市内で営利を目的とした事業を創業・拡大する者に対 事業の方向性 本市における創業を促進するため、創業促進 して補助金を支給(制度を拡充) の見込み ②民間の創業支援事業者と連携して、創業希望者に必 (対前年度比) 事業補助制度(市内で創業する者にテナント 要な知識を習得するための支援を行い、証明書を発行す 賃借料・改装工事費・法人設立に要する経費 内 H31 の一部を補助)、特定創業支援事業(民間の 継続 目的 容 ③女性向け起業セミナー(入門編・実践編)の実施及び 年度 30 及び 創業支援事業者と連携した創業者支援)をは 入門編の継続必要性を検討 年 H32 概要 じめとした創業支援を実施する。 継続 ④学生の起業に対する関心を高めるセミナーの実施 度 年度 ⑤大阪市内で起業志望者誘致セミナーを実施 H33 【関連取組:5-6-2 魅力ある中心市街地・駅 ⑥起業志望者にチャレンジの場を提供する取組の検討 継続 年度 周辺の整備】 事業費 方向性 うち市負担分 H34 拡充 21.3 継続 (百万円) (対前年度比) (百万円) 年度 課名 担当課 部名 産業環境部 商工労政課 会計区分 一般 事業区分 ソフト 事業名 ◎ 産学連携スタートアップ支援事業 事業の方向性 ①中小企業者の具体的な新技術や新製品または の見込み (対前年度比) 新サービスの研究開発、技術革新などに関し、市 市内中小企業者等の優れた技術の掘り起こ 内大学等と行う連携事業にかかる経費の一部を補 しやその実用化に向けた取組を促進すること 内 H31 Н 肋 継続 目的 で、本市の経済成長及びイノベーション創出 年度 30 ②市内大学以外の大学との連携事業も対象とする 及び に寄与することを目的とし、産学連携による新 年 H32 概要 ③企業と大学との連携機会を創出するため、産学 継続 技術、新製品、新サービスの研究開発等に必 度 年度 連携交流サロン事業を実施 要な経費の一部を補助する。 H33 継続 年度 事業費 うち市負担分 H34 方向性 継続 12.0 12.0 継続 (対前年度比) 年度 (百万円) (百万円) 担当課 産業環境部 課名 商工労政課 会計区分 一般 事業区分 ソフト 部名 ◎ バイオインキュベーション施設集積促進補助事業 事業名 事業の方向性 の見込み (対前年度比) バイオインキュベーション施設集積促進事業に 要する経費のうち、施設賃借経費、人件費及び管 バイオインキュベーション施設の集積促進を 内 H31 理経費の一部を助成 継続 目的 図り、本市産業の振興に資するため、バイオ 容 年度 30 ②平成35年9月末の契約期間終了後のあり方につ インキュベーション施設の運営者が行う総合 年 H32 いて検討 継続 度 的なインキュベーション支援活動を支援する。 年度 継続 年度 事業費 H34 方向性 (対前年度比) うち市負担分 継続 継続 23.5 23.5 (百万円) (百万円) 年度 産業環境部 一般 担当課 部名 課名 商工労政課 会計区分 事業区分 ソフト

	± 2111 ±	o *	2. L. D. L	\	=n, /=\-\	/I T-T-	· nl. + · чк							
4	事業名	∅ バ	/オインキュベーシ 	ョン施	設賃料	<b>半補</b>	助事業							
			ンチャー企業の集積を まに資するため、彩都ラ				ベンチ				に入居するバ )賃料の一部?		の見	方向性 込み F度比)
		スパーク	内の施設(彩都バイオ	インキュ	ベー	H 30	内						H31 年度	継続
		ンセンター	存認定施設、彩都バイ ー)において、ライフサ	イエンス	分野	年度	②平成いて検		木の契約	期间終	了後のあり方	につ	H32 年度	継続
			発を行うバイオベンチ 投賃料の一部を補助す		業に対								H33 年度	継続
							方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	15.3	うち市負担分 (百万円)	15.3	H34 年度	継続
	担当課	部名	産業環境部	課名	商	工党	<b>党政課</b>	会計区分	<del>'}</del>	一般	事業区分	<b>\</b>	ソフ	<b>-</b>
I	反 組	5-2-2	★ 幹線道路沿	道での	の企業	立	地誘導							
5	事業名	◎ 幹絲	泉道路沿道土地利	用事業	É									
		て、地権	を道路沿道の市街化調 者等とともに幹線沿道 目を進め、地域のにぎれ	こふされ	しい			別事業化	比支援				の見	方向性 込み 手度比)
	н	性化を図		, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	) C1H	H 30	内【目垣均容 ①関係		義				H31 年度	継続
	及び 概要		組:5-4-1 計画的な都	市基盤	整備	年度		計画変見区画整理	更•決定 里組合設≤	Ĺ.			H32 年度	継続
			型整備】 組:5-9-1 民間との連	携、活っ	りづく								H33 年度	継続
		<b>り</b> 】					方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	110.0	うち市負担分 (百万円)	10.0	H34 年度	継続
	担当課	部名	都市整備部	課名	都	市項	<b>女</b> 策課	会計区分	<del>'i)</del>	一般	事業区分	<b>\</b>	ソフ	<b>-</b>
6	事業名	【再	掲】都市計画決定	等事	务事業						·			
		ら、都市	F関係機関と協議・調整 計画決定等を行う。										の見	方向性 込み 拝度比)
	目的	や市街地				H 30	内容①都市	計画決定	定等				H31 年度	継続
		地利用の			物・土	年度							H32 年度	継続
		【関連取為	組:5-7-1 環境負荷の 組:5-7-4 都市計画施	一設の見	直し								H33 年度	継続
		用】	組:5-9-1 民間との連	捞、石ノ	か店		方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	(1.2)	うち市負担分 (百万円)	(1.2)	<b>⊔</b> 24	継続
	担当課	部名	都市整備部	課名	都	市政	女策課	会計区分	分	一般	事業区分	<b>\</b>	ソフ	<b> </b>
I	区 組	5-2-3	★ 特区制度な	どを活	用した	<b>:</b> 企	:業立地		'		<u>'</u>			
7	事業名	◎ 茨フ	<b>木市成長特区税制</b>	におり	ける事	業計	画認定	等事務	事業					
			fの活性化及び持続的			104	수 식사 나	<b>-</b> 7)	+140	±7.24 or ±1.42.1	<i>L</i> , 7	の見 (対前 <sup>4</sup>	方向性 込み 拝度比)	
		業特区指	業の誘致を図るため、 『定区域において、ライ 「エネルギーハ緊など	フサイニ	Eンス	H 30 年			×における と及び変更		軽減の対象と	ばる	H31 年度	継続
	概要	する企業	「エネルギー分野などの の事業計画を認定し、 「新や田字次充裕の超	当該企	業の	年度							H32 年度	継続
		<b>公人</b> 市氏	民税や固定資産税の軽	例を行	)。								H33 年度	継続
							方向性 (対前年度比)	継続	事業費	0.0	うち市負担分 (百万円)	0.0	H34 年度	継続
	担当課	部名	産業環境部	課名	商	工党	<b>党政課</b>	会計区分	<del>ं</del> ने	一般	事業区分	<b>&gt;</b>	ソフ	<b></b>

8	事業名	◎【再	掲】企業立地促進	奨励金	金事業												
			工地や設備投資を促進 経済の活性化を図るたる					0 2 4000		象者	音や交付	寸要件等	至、朱	度の見	上直し		方向性 込み 拝度比)
	目的	新たに取	至例の日出しを囚るだ。 得した土地・建物・設備 〔税・都市計画税額相〕	前に課さ	れる	H 30	内容	O	機能移	転な	よどによ	る雇用は	曽に	対する	支援策	H31 年度	継続
			金として交付する。		•	年度		の検討	0							H32 年度	継続
		【関連取為	組:5-1-4 企業活動へ	の支援	]				1		- 11144-					H33 年度	継続
							方向性 前年度比)	拡充		事業費 百万円)	(391.6)		市負担分 万円)	(391.6)	H34 年度	継続	
	担当課	部名	産業環境部	商	工党	工労政課 会計区分 一般 事業区分							分	ソフ	<b>F</b>		
9	事業名	【再	掲】彩都建設推進	事業													
		木•箕面	性化・発展に向けて、 市、都市再生機構、民 大学、研究機関、公益	間事業者	者、経			<ol> <li>①交番</li> </ol>	の設置	要室	担						方向性 込み 拝度比)
							内容	③(東部				の事業 アの事業			こ取り	H31 年度	継続
	概要		組:5-4-2 彩都の都市			年度		組み								H32 年度	継続
		【関連取	組:5-8-2 道路整備の 組:5-9-1 民間との連		」の活											H33 年度	継続
		用】						方向性 <sup>前年度比)</sup>	継続		業業費 (万円)	(2.2)		市負担分	(2.2)	H34 年度	継続
	担当課	部名	都市整備部	北部	整例	<b>肯推</b>	進課	会計区	分		一般		事業区	分	ソフ	<b>F</b>	

まちの将来像	5	都市活力がみなぎる便利で快適なまち
施策	5-3	就労支援と働きやすい職場づくりをすすめる
施策の 方向性	力と希望	なはあるが就労にあたり困難な要因を抱える人(就職困難者)や不安定な就労を余儀なくされている人の能 望に応じた就労を支援する施策に取り組みます。また、市内の事業所において、働く人々が安心して、いきい ことができる職場づくりを促進する施策に取り組みます。
	1	★ 就労の支援
	2	★ 働きやすい職場づくりの推進
取 組	3	
★: 重点プラン	4	
該当取組	5	
	6	
	7	

		7															
2 :	実施計画	<u> </u>									<b>★</b> :重	点プラン	該当取	à組、◎	重点に	プラン該	当事業
Į	反 組	5-3-1		★ 就労の支援													
1	事業名	◎ 就聊	哉サ	ポート事業													
		计学学技	≟+> l	ごを行う関係機関と	<b>油堆</b> ]	细怡			②就職		の職業	対する仕事 能力を開 <i>落</i>				の見	方向性 ,込み 年度比)
	目的 及び	困難者等	<b>の</b> 耳	職業的自立を目指 ・セミナーの実施。	すため、	就職	H 30	内容	③求職	者と地方	正企業を	つなぐ企				H31 年度	継続
	概要	等への誘	導、	くらくが一の美麗。 合同就職面接会の を援を行う。			年度					どの実施	.PFK [日] 13	女云り川	用惟	H32 年度	継続
																H33 年度	継続
									<b>方向性</b> 前年度比)	継続	事業費 (百万F			5負担分 万円)	5.7	H34 年度	継続
	担当課	部名		産業環境部	課名	商	工党	<b></b>	(課	会計区	分	一般		事業区	分	ソフ	<b>١</b>
2	事業名	雇月	月促	上進奨励金事業													
									①働き	やすい罪	戦場づく	り推進事	業所と	して認	定した	の見 (対前 <sup>4</sup>	方向性 込み 年度比)
	目的 及び 概要			就労に資するため、 所に対し奨励金を3			H 30 年度	内容	事業所	への奨励 度を実施		の増額等の	の拡充	を行い	、、奨	H31 年度 H32 年度	継続継続
																H33 年度	継続
									<b>方向性</b> 前年度比)	拡充	事業費 (百万F			5負担分 万円)	10.9	H34 年度	廃止
	担当課	部名		産業環境部	課名	商	工党	<b></b>	(課	会計区	分	一般		事業区	分	ソフ	<b>١</b>
3	事業名	障害	手者	雇用奨励金事	業												
									①陪宝	つなるま	日か园	頭用し、国(	か性別	七聯	≠戸田	の見	方向性 ,込み 年度比)
	目的 及び	障害者雇用を促進し、障害者の自立の助力 と福祉の増進を図るため、障害のある市民					H 30	内容	開発助支給	成金を引	民給する	る事業主に	こ対し、	て、奨励	加金を	H31 年度	継続
	概要	雇用する事業主に対して、奨励金を支給する。				給す	年度		<b>火</b> 和							H32 年度	継続
																H33 年度	継続
								方向性 <sup>前年度比)</sup>	継続	事業費 (百万F			5負担分 万円)	2.9	H34 年度	継続	
	担当課	部名		産業環境部	課名	商	i工党	<b></b>	(課	会計区	分	一般		事業区	分	ソフ	<u>-</u>

取	又組	5-3-2	★ 働きやすい	職場に	づくりの	推	 進							
4	事業名	◎ 雇月	月・労働関係セミナ	一及で	び労働	ルコ	関する啓	発事業						
								法制等の ミナーの開		€め、労働	動関係の安定	を	の見	方向性 込み 拝度比)
		環境の実 とともに、	用関係の確立及び働 現を図るため、セミナー 公正な採用選考、障害 などの啓発活動を実施	ーを開作 子者・高	望する 年齢者	H 30 年度	<b>内容</b> ②障害 ための	者等の雇 啓発活動	用促進や		すい職場づく るセミナーの		H31 年度 H32 年度	継続継続
		准用促起	はこり合先伯割を夫別	也し C V	'∕J <sub>o</sub>	IX.							H33 年度	継続
							方向性 (対前年度比)		事業費 (百万円)	0.7	うち市負担分 (百万円)	0.7	H34 年度	継続
	担当課	部名	産業環境部	課名	商	i工党	<b>労政課</b>	会計区分		一般	事業区分		ソフ	<b>F</b>
5	事業名	茨フ	卞市勤労者互助会	補助	事業									
													の見	方向性 込み 拝度比)
	目的 及び		イマーを含む従業員の 業所における雇用の第			H 30	内 ②勤労 事業に			,	止増進のため	の	H31 年度	継続
	概要		者互助会が行う勤労者 業に対し補助金を支糸		進の	年度							H32 年度	継続
													H33 年度	継続
							方向性 (対前年度比)		事業費 (百万円)	5.0	うち市負担分 (百万円)	5.0	H34 年度	継続
	担当課	部名	産業環境部	課名	商	工党	<b>労政課</b>	会計区分		一般	事業区分		ソフ	<b>F</b>
6	事業名	勤労	<b>営者スキルアップ支</b>	援等	セミナ	_								
													の見	方向性 込み 拝度比)
	目的 及び	るため、菫	能力向上や勤労者福助労者の知識・技能の	句上、中	小企	H 30		者の知識 ながるセミ			小企業の人	材育	H31 年度	継続
	概要	業の人材いる。	育成につながるセミナ	ーを開	催して	年度							H32 年度	継続
													H33 年度	継続
							方向性 (対前年度比)		事業費	0.3	うち市負担分	0.3	H34 年度	継続
	担当課	部名	産業環境部	課名	商	工党	<b>労政課</b>	会計区分		一般	事業区分		ソフ	<b>h</b>
7	事業名	◎ 働き	やすい職場づくり	推進	事業								ı	
							事業所	  支援等の     の認定	働きやす	小職場~	づくりを推進 <sup>-</sup>	する	の見 (対前 <sup>4</sup>	方向性 込み 拝度比)
	目的 及び		福祉の向上を図るため生の充実など働きやっ		H 30 左	図働き	やすい職			所として認定 かる奨励金制		H31 年度	継続	
			事業主に支援を行う		• •	年度		等のイン			. —		H32 年度	継続
									古光声		· ·		H33 年度	継続
							方向性(対前年度比)		事業費(百万円)	0.1	うち市負担分	0.1	H34 年度	廃止
	担当課	部名	産業環境部	課名	商	工党	労政課	会計区分		一般	事業区分		ソフ	<b>F</b>

まちの将来像	5	都市活力がみなぎる便利で快適なまち
施策	5-4	地域特性をいかした都市づくりを計画的にすすめる
施策の 方向性	り、強み	な都市基盤施設の充実を図るとともに、計画的な市街地整備や地域特性をいかした土地利用の誘導を図 (ポテンシャル)をいかした整備を推進します。また、住、働、学、憩という都市において行われる機能を備え づくりを進め、活力と魅力の増進に取り組みます。
	1	計画的な都市基盤整備や市街地整備
	2	★ 彩都の都市づくり
取 組	3	適切な開発や建築物・土地利用の誘導
★:重点プラン	4	
該当取組	5	
	6	
	7	

#### 2 実施計画 ★:重点プラン該当取組、◎重点プラン該当事業 取 組 5-4-1 計画的な都市基盤整備や市街地整備 事業名 【再掲】都市計画決定等事務事業 大阪府等関係機関と協議・調整を図りなが 事業の方向性 の見込み ら、都市計画決定・変更を行う。 (対前年度比) 【関連取組:5-2-2 幹線道路沿道での企業 H31 Н ①都市計画決定等 立地誘導】 継続 目的 年度 30 及び 【関連取組:5-4-3 適切な開発や建築物・土 年 H32 概要 地利用の誘導】 継続 度 年度 【関連取組:5-7-1 環境負荷の低減】 H33 【関連取組:5-7-4 都市計画施設の見直し】 継続 年度 【関連取組:5-9-1 民間との連携、活力の活 事業費 方向性 うち市負担分 H34 用】 継続 (1.2)(1.2)継続 (百万円) (対前年度比) (百万円) 年度 都市整備部 課名 事業区分 担当課 部名 都市政策課 会計区分 一般 ソフト 事業名 【再掲】幹線道路沿道土地利用事業 事業の方向性 広域幹線道路沿道の市街化調整区域におい の見込み 【玉島地区】 (対前年度比) て、地権者等とともに幹線沿道にふさわしい ①地区別事業化支援 土地利用を進め、地域のにぎわいづくりと活 【目垣地区】 H31 Н 性化を図る。 継続 目的 ①関係機関協議 年度 30 及び 年 ②都市計画変更・決定 H32 概要 【関連取組:5-4-1 計画的な都市基盤整備 継続 度 ③土地区画整理組合設立 年度 や市街地整備】 H33 【関連取組:5-9-1 民間との連携、活力づく 継続 年度 **b** 事業費 方向性 (対前年度比) うち市負担分 H34 継続 (110)(110)継続 (百万円) 年度 (百万円) 担当課 部名 都市整備部 課名 都市政策課 会計区分 一般 事業区分 ソフト 事業名 【再掲】立地適正化計画策定事業 都市計画マスタープランで掲げた本市の都市 事業の方向性 の見込み づくりを推進し、活力維持と持続可能な都市 の実現に向け、改正都市再生特別措置法に (対前年度比) 基づく立地適正化計画の策定を行う。 内①パブリックコメント等の実施 H31 Н 継続 目的 容 ②立地適正化計画の策定 年度 30 【関連取組:5-6-1 生活を支える拠点の整 及び 年 備・充実(拠点の配置とネットワークの維持)】 継続 度 年度 【関連取組:5-6-2 魅力ある中心市街地・駅 周辺の整備】 継続 年度 【関連取組:5-9-1 民間との連携、活力の活 事業費 H34 方向性 (対前年度比) うち市負担分 用】 継続 (2.3)継続 (4.8)(百万円) (百万円) 年度 担当課 都市政策課 一般 部名 都市整備部 課名 会計区分 事業区分 ソフト

4	事業名	【再	掲】低炭素都市づ	くり推	進事業	€											
		づくりを供	コミュニティの考え方を 足進するなど、環境にそ を実現し、低炭素都市	ささしい	ライフ			①スマ·	<b>ー</b> トコミ <i>:</i>	ュニ	ティの君	きえ方を	導入した	·都市	iづく	の見	方向性 込み 拝度比)
	目的 及び 概要	いきます。 また、東		トコミュ	ニティ	H 30 年	内容		進 工場跡							H31 年度 H32	継続継続
			組:5-7-1 環境負荷の 組:5-9-1 民間との連		カの活	度										年度 H33 年度	継続
		用】	H.O O I MINCOX	D4(10)	3.510			方向性 前年度比)	継続		業費 (万円)	(0)	うち市負担		(0)	1124	継続
	担当課	部名	都市整備部	課名	都	市政	<b>汝</b> 策	課	会計区	分	-	一般	事美	区分		ソフ	<b>-</b>
5	事業名	【再	掲】エリアマネジメ	ント推	進検討	寸事	業			•							
		業者•地	「地や新たな開発にお 権者等の地域の担い!	手が主体	となっ											の見	方向性 込み 拝度比)
	目的 及び		維持管理や運営(マネ)でる取組を推進する。	<b>ネジメン</b> ト	、)等の	H 30 年	内容	①関係 ②市民			D > 4 D - 4	2001.00				H31 年度	継続
	概要		組:5-7-1 環境負荷の		トの江.	度										H32 年度	継続
		【関連取組:5-9-1 民間との連携 用】			りの活			<b>-</b> 44	T	#	· * 弗		7+ + A I	Δ.		H33 年度 H34	継続
								方向性 前年度比)	継続		事業費 「万円)	(0)	うち市負担		(0)	年度	継続
	担当課	部名	都市整備部	課名	都	市項	汝策	課	会計区	分	-	一般	事業	区分		ソフ	<b></b>
6	事業名	【再	揭】茨木市中心市	街地沿	舌性化	事	業	_									
		地活性化 街地活性	市街地の活性化を図るた に関する法律」に基づく、 化基本計画」を策定する。 市計画マスタープランで(	「茨木市	中心市								·協議i		<b>E</b> 1 →	の見	方向性 込み 拝度比)
	日的	多核ネット	ワーク型都市構造の実現の機能配置を踏まえたも	に向け、	都市拠	H 30	内容	向けた	計画書	の精	渣		ント・認気	二十市	月(二	H31 年度	継続
	及び 概要	【関連取組	1:5-6-1 生活を支える拠	L点の整		年度		3推進	作削の	唯工	ない。	た調整				H32 年度	継続
			1置とネットワークの維持) 1:5−6−2 魅力ある中心†		尺周辺											H33 年度	継続
			1:5-9-1 民間との連携、	活力の活	舌用】			<b>方向性</b> 前年度比)	継続		業費 (万円)	(0)	うち市負担		(0)	H34 年度	-
	担当課	部名	都市整備部	課名	市征	封地	新	生課	会計区	分	-	一般	事為	区分		ソフ	<b>F</b>
7	事業名	【再	掲】次なる茨木・ク	<b>ブンド</b>	デザイ	イン	推.	進事業									
		「次なる芝	f地におけるまちの将ラ セ木・グランドデザイン」 ◇多様な主体と共有・発	を示し、	多く				とのワー 家の助		ノヨップ					の見	方向性 込み 拝度比)
		【関連取	。 組:5-6-1 生活を支え			H 30 年	内容	③まち・		担レ		意見交換	換			H31 年度 H32	継続
			(拠点の配置とネットワ 組:5-6-2 魅力ある中 §備】			度										年度 H33	継続継続
			組:5-9-1 民間との連	携、活っ	力の活			方向性 前年度比)	新規		業費	(0.4)	うち市負担		(0.4)	年度 H34 年度	継続
	担当課	部名	都市整備部	都	市項			会計区			 一般				ソフ	L  -	
					都市政策課 会計区分 一般 事業区分												

Ħ	双 組	5-4-2	★ 彩都の都市	づし										
8	事業名		<del> ▼ 杉郁の郁川</del> 『建設推進事業	J 7										
0	7*1	大阪の活 木・箕面市 済団体、	性化・発展に向けて、 市、都市再生機構、民 大学、研究機関、公益	間事業 団体な	者、経 どの産		①交番	の設置	要望				の見	方向性 込み 拝度比)
	及び概要	市「彩都」 【関連取終 企業立地		どを活		H 30 年度	内 ②(東部	羽地区)	先行エリア		推進 纟化に向けた	:取り	H31 年度 H32 年度 H33	継続継続
		【関連取約	且:5-8-2 道路整備の 且:5-9-1 民間との連		力の活		方向性	مادار داما	事業費		うち市負担分		年度 H34	継続
	+D 7/ =B	用】	±77 → ±47 /±5 ±17	=== 4	الد خال	+b+ 1:	(対前年度比)	継続	(百万円)	2.2	(百万円)	2.2	年度	継続
	担当課	部名	都市整備部 掲】山麓線整備事	課名	北部	)登1	情推進課 ————	会計区	分	一般	事業区	7	ソフ	Γ
9	事業名	市域山麓スの円滑	部の東西交通と彩都に 化を図るため、彩都やに合わせ、府道茨木	地区の定安威川	ダムの	Н			3.0百万万				の見	方向性込み手度比)
		都東部地区、府道忍頂寺福井線、府道会 茨木線を経て、中部地区、西部地区へと至 道路の整備を行う。 【関連取組:5-8-2 道路整備の推進】					容③負担	争(=: 金 C=	250.0百万日 2.0百万日	<del>与</del> 円			年度 H32 年度 H33 年度	完了 -
						方向性 (対前年度比)	継続	事業費	(255)	うち市負担分(百万円)	(127.7)	H34 年度	-	
	担当課	部名	建設部	課名	道	[路]	<b>泛通課</b>	会計区	分	一般	事業区	分	ハー	ド
10	事業名	谷山	小路整備事業						·			·		
	目的 及び	谷山水路整備事業 彩都東部地区の一部エリアの事業化に伴い、区域外の雨水放流先となる谷山水路の流下能力が不足しているため、下流河川(保川)と同程度の流下能力(10年確率)とすための整備を行う					2水路	整備工 及び管 嘱託登	理道路用均	也購入			の見	方向性 込み 拝度比) 完了
							方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	69.0	うち市負担分 (百万円)	69.0	H34 年度	-
	担当課	部名	建設部	課名	下	水道	施設課	会計区	分	一般	事業区	分	ハー	ド
耵	双組	5-4-3	適切な開発	や建築	築物•:	土地	也利用の記	秀導						
11	事業名		f計画決定等事務 											
		ら、都市計	関係機関と協議・調整 十画決定等を行う。										の見	方向性 込み ∓度比)
	日的	立地誘導 【関連取約 や市街地	- 且:5-4-1 計画的な都 整備】	『市基盤		H 30 年度	内容	計画決	定等				H31 年度 H32 年度	継続継続
		【関連取約	且:5-7-1 環境負荷の 且:5-7-4 都市計画施 且:5-9-1 民間との連	直設の見			方向性	خارار دام	事業費		うち市負担分		H33 年度 H34	継続
	+0 1/ ==	用】				7	(対前年度比)	継続	(百万円)	1.2	(百万円)	1.2	年度	継続
	担当課	部名	都市整備部	課名	1	цij	文策課	会計区	カ	一般	事業区	ガ	ソフ	Γ

12	事業名	細律	<b></b> 野路等整備事業													
		し、細街は導を行い	「、道路位置指定、建築 格計画及び生活道路惠 、基準に基づき用地費	を備に浴 、工事	ら指 費等の			①用地	味 九 弗	(22	2五子	ш)				方向性 込み 拝度比)
		助成を行 出する。	い整備を進め、良好な	:住環境	を創	H 30	内容	(C) ## /##	補助金	(20	.7百万				H31 年度	継続
	概要		組:5-5-1 快適で良好	な住環	境の	年度		0 4 /14	(1.2 д.	/J   .	1)				H32 年度	継続
			組:5-9-1 民間との連	携、活力	りの活				,						H33 年度	継続
		用】					<b>方向性</b> 时前年度比)	継続		事業費 百万円)	54.2	うち市負担分	54.2	H34 年度	継続	
	担当課	部名	都市整備部	審	查扌	旨導	<b>算課</b>	会計区	分		一般	事業区	分	ソフ	<b>F</b>	
13	事業名	開多	<sup>発</sup> 行為等連絡協議	会事	务事業											
															方向性 込み 拝度比)	
		り、都市記	:都市化を防止し、適正 計画の推進及び環境と			H 30 年	内容	①開発:	行為等	連約	各協議会	会の開催	(0.0百万)	円)	H31 年度	継続
	### ##	するため、一定規模以上の建築を目的とする 開発行為に対し協議調整を行う。													H32 年度	継続
														H33 年度	継続	
								方向性 対前年度比)	継続		事業費 第万円)	0.0	うち市負担分 (百万円)	0.0	H34 年度	継続
	担当課	部名 都市整備部 課名					旨導	<b>掌課</b>	会計区	分		一般	事業区	分	ソフ	F

まちの将来像	5	都市活力がみなぎる便利で快適なまち
施策	5-5	良好で住みよい環境・景観づくりをすすめる
施策の 方向性	の作成、 続けたい	業者等による開発や施設の管理が良好な環境を形成することを基本に、住みよいまちを創るため、計画の共有、ルール 適正な運用と適時適切な見直し、住民への支援などを行い、快適な住環境や美しい街並みが魅力的で将来にわたり住み まちをめざします。 地の適正な保全と緑化を推進し、自然とのふれあいやみどりをいかしたうるおいのある環境づくりをめざします。
	1	快適で良好な住環境の形成
	2	都市におけるみどりの形成
取 組	3	★ 良好な景観の保全と創造
★:重点プラン	4	良好な住宅ストックの形成
該当取組	5	公的住宅の改善・充実
	6	
	7	

2 5	実施計画	<u> </u>								*	▼:重点	プラン診	亥当	取組、②	重点	プラン該	当事業
耳	又 組	5-5-1	快適で良好	な住野	環境の	形	戓										
1	事業名	【再抄	曷】細街路等整備	事業													
	目的び概	し、細街路 導を行い、 助成を行い 出する。 【関連取組	道路位置指定、建築計画及び生活道路野基準に基づき用地野整備を進め、良好な15-4-3 適切な開発	整備に消費、工事 は住環境	合う指 費等の 愛を創	H 30 年度	内容	②整備	購入費 補助金 (1.2百)	(20	.7百万					の (対前: H31 年度 H32 年度	カラウ (大)
		地利用の記 【関連取組 用】	8等】 :5-9-1 民間との連	携、活え	力の活					_	= 4Hc <del>+Hs</del>	T				H33 年度	継続
		πΙ			I			方向性 前年度比)	継続		事業費 百万円)	(54.2)		市負担分 <b>5万円</b> )	(54.2	H34 年度	継続
	担当課	部名	都市整備部	課名	審	查抄	旨導	謀	会計区	分		一般		事業区	分	ソフ	<u>۲</u>
2	事業名	中高	層建築物事前協	議等	事業												
	目的び概要	生活環境の るため、茨 高層建築特 する指導要	市中	H 30 年度	内容	説明を ②要綱 ③建築	指導(0. に基づ	0百くは、10百くは、10万円であった。	万円) 議(0.0 じる紛・ せん」を	百万円) 争につい	)	計画内容 当事者; 万円)		の見	(注)		
								方向性 前年度比)	継続		業費 (万円)	0.0		市負担分	0.0	H34 年度	継続
	担当課	部名	都市整備部	課名	審	查扌	旨導	算課	会計区	分		一般		事業区	分	ソフ	<b>١</b>
3	事業名	建築	基準法制度活用	事業													
		快適で良好	子な住環境の形成を	図るとと	もに、	(1) 老朽化したマンションや病院等の建替え相談に						診に	の見(対前:	)方向性 !込み 年度比)			
	目的 及び	老朽化・密えと周辺環	建替、建築	H 30 年	内容	ナコンプ						を紹介		午及	継続		
	概要	協定や地区計画条例など建築基準法の諸 度の活用を促進する。														H32 年度	継続
							_	方向性	AND I	重	業費		うた	市負担分		H33 年度 H34	継続
			ton finds some				(対	前年度比)	継続	(百	万円)	0.0		5万円)	0.0	年度	継続
	担当課	部名	都市整備部	課名	審	查抄	旨導	課	会計区	分		一般		事業区	分	ソフ	<u>۲</u>

<ul><li>(本の方向性) 別の (本の方) 前年度比) 前年度比) 前年度比 (</li></ul>
D見込み       0月込み       1 度     継続       2 度     継続       3 度     継続       4 度     機       5 月込み     内       6 月込み     内       1 度     大       6 月み
度   株板   2   2   2   2   2   3   3   3   4   4   4   4   4   4   4
度
度 継続 4 継続 後入 をの方向性 り見込み
4 4 ま 後入 **の方向性 シ見込み
<b>その方向性</b> 0見込み
)見込み
)見込み
)見込み
刑 十 及 几 /
1 継続
2 継続
3 継続
4 継続
ード
美の方向性 )見込み 前年度比)
1 継続
2 継続
3 継続
継続
ハード
美の方向性 )見込み
前年度比)
1     完了       2     _
前年度比) 1 完了 2 - 5 -
1     完了       2     _       3
· **

	<b>市₩</b> ₽	/\ E	副长凯 巨 丰 众 () 人	· · · · · · · · · · · · · ·	Ψ.									
8	事業名	公区	園施設長寿命化対	<b>水争</b>	<del>だ</del>									
													の見	)方向性  込み  年度比)
	目的		施設の長寿命化を図 化のための公園施設ラ		収集・	H 30	<b>内</b> (臨)②	"管理 40 公園施設		計画の	策定(その2)	800	H31 年度	継続
	及び 概要		管・更新のためのシスラ			年度	万円						H32 年度	継続
													H33 年度	継続
					I		方向性 (対前年度比)	臨時 拡充	事業費	8.4	うち市負担分 (百万円)	4.4	H34 年度	継続
	担当課	部名	建設部	課名	公	.園糸	录地課	会計区	分	一般	事業区	分	ソフ	<u> </u>
9	事業名	さく	らまつり実施事業											
		ションのり 発すると	然に親しむ場や交流、 易を提供することで、豊 ともに、市民の連帯感が 高め、まちの活性化を	かな環 やふるさ	境を啓				市民主体∂	)催しの	場としての活	5用を	の見 (対前 <sup>生</sup>	)方向性  込み  年度比)
		市の魅力	ある資源として桜の魅 ていくため、平成29年月	力をい		30 5	容 ②周辺		記慮し改善				H31 年度	継続
	概要		リニューアルについて 行い、様々な種類の桜			年度	3月次	がよいい。	で桜を楽し	めるより	以晋		H32 年度	継続
		たシンポ	しむことができるよう、 ジウムや市民ワークショ				-1		<b>市</b> # #		51 - 5 IB 0		H33 年度	継続
		て検討を	進める。 		Г		方向性 (対前年度比)	継続	事業費	16.0	うち市負担分	16.0	H34 年度	継続
	担当課	部名	建設部	課名	公	:園糸	录地課	会計区	分	一般	事業区	分	ソフ	ト
10	事業名	【再	掲】緑の基本計画	推進马	事業									
			像の実現に向けて、綺						業 27万円 ールの作成	÷			の見	方向性 込み 年度比)
	目的 及び	み方針、	緑化の推進に関する 施策等を定め、総合的			30	3緑化		の実施 257				H31 年度	拡充
	概要	に実施す		10 II <del>-1</del>	-1	年度			育成講座の	検討			H32 年度	継続
		【関連取為	組:6-2-1 都市とみど	りの共有	Ŧ.								H33 年度	拡充
							方向性 (対前年度比)	拡充	事業費	(0.5)	うち市負担分 (百万円)	(0.5)	H34 年度	継続
	担当課	部名	産業環境部	課名	農と	みど	り推進課	会計区	分	一般	事業区	分	ソフ	<b>F</b>
11	事業名	新名	<b>呂神周辺遊歩道等</b>	整備	事業									
							① 同游	路の維持	寺管理				の見	方向性 込み 年度比)
	目的 及び 概要	もらい、1 域住民、	:部地域の自然等の魅 公部地域への関心を高 ボランティア団体と連携 1板等の整備を行う。	めるため	め、地	H 30 年度	<b>内</b> ②展望	台の維持					H31 年度 H32 年度	継続継続
			III										H33 年度	継続
							方向性	継続	事業費	0.0	うち市負担分	0.0	H34	継続
							(対前年度比)		(日カロ)	I	(百万円)		年度	
	担当課	部名	産業環境部	課名	農と	みど	り推進課	会計区		一般	事業区		タイプ イント	ド

12	事業名	ダノ	ムサイト周辺遊歩道	等整值	<b>備事業</b>	:								
													の見	方向性 込み 手度比)
	目的 及び		【整備計画に基づき、₹ ■道等を整備する。	安威川タ	ブム周	H 30	内 容 H32年	度実施子	定				H31 年度	継続
	概要					年度							H32 年度	完了
													H33 年度	-
				T	Г		方向性 (対前年度比)	継続	事業費	0.0	うち市負担分	0.0	H34 年度	-
	担当課	部名	産業環境部	課名	農と	みど	り推進課	会計区分	<del>}</del>	一般	事業区分		ハー	ド
13	事業名	景額	閲賞表彰及び記念	講演	事業 ———									
		本古の自	4好な景観形成に関す	ス市 早 元	会議の								の見	方向性 込み    度比)
		高揚を図	るため、建築物やまち  舌動等に対する表彰と	なみ及	び市民	H 30	内 容 H31年	度実施子	定				H31 年度	継続
			に実施する。(次回、H			年度							H32 年度	継続
									- w +				H33 年度	継続
							方向性(対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	0.0	うち市負担分	0.0	H34 年度	継続
	担当課	部名	都市整備部	課名			汝策課	会計区分	<b>→</b>	一般	事業区分		ソフ	<u> </u>
耵	紅組	5-5-3	: │★ 良好な景観	の保全	シング シングラング シングラング シャング しょうしょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しょうしゅう しゅうしゅう しょう しょうしょう しょう	浩								
14	事業名	屋夕	<b>小</b> 広告物指導事業											
14		屋外広告	ト 小広告物指導事業 た物は、景観形成に対	する影響	響が大								の見	方向性 込み 拝度比)
14	目的	屋外広告	ト広告物指導事業 トがは、景観形成に対いら適切な誘導が重要	する影響であり、	響が大 茨木 がら、	H 30	内②屋外容	広告物の	つ制限の東	必要性に	ついて検討		の見 (対前4 H31 年度	込み
14	目的及び	屋外広告 きいことが 市景観記 建築物等 め、地区	トな告物指導事業 ト物は、景観形成に対いら適切な誘導が重要	する影 <sup>響</sup> であり、 を図りな 等導を進 方向性を	繋が大 茨木 がら、 めるた と踏ま	Н		広告物の	)制限の劇	必要性に	ついて検討		の見 (対前 <sup>4</sup> H31 年度 H32 年度	込み    東度比)
14	目のが一般である。	屋外広告 きいことが 市景観計 建築物等 め、て、屋	ト広告物指導事業 ト広告物指導事業 に物は、景観形成に対 いら適切な誘導が重要 計画、景観条例と整合を をとし、た景観説 の特性やまちづくりのご	する影 <sup>響</sup> であり、 を図りな 等導を進 方向性を	繋が大 茨木 がら、 めるた と踏ま	H 30 年	容	広告物の					の見 (対前4 H31 年度 H32 年度 H33 年度	込み 車度比) 継続
14	目のが一般である。	屋外広告 きいことが 市景観計 建築物等 め、て、屋	ト広告物指導事業 ト広告物指導事業 た物は、景観形成に対 いら適切な誘導が重要 計画、景観条例と整合を きと一体となった景観部 の特性やまちづくりので 外広告物の設置を適ら 外広告物の設置を適ら	する影響であり、ションでありない。 でありない。 で変導を進た方向性を である。	響が大 大 がよ が める お き は し 、 た し 、 た と と し 、 た と し い る は り る し る り る り し 、 り し 、 り し 、 り し 、 り し 、 り し 、 り し 、 り し し 、 り し し 、 り し 、 り し 、 し し 、 し し し 、 し し し こ し こ し こ し こ し	H 30 年度	方向性(対前年度比)	広告物の	事業費(百万円)	0.0	3.t 古岳切公	0.0	の見 (対前 <sup>4</sup> H31 年度 H32 年度 H33	込み ≢度比) 継続 継続
	目的び概要担当課	屋外広告きいことが市景観部等め、で、景観部等め、で、景観部等ので、景観部等ので、景を変われている。	ト広告物指導事業 ト広告物指導事業 た物は、景観形成に対 いら適切な誘導が重要 計画、景観条例と整合を きと一体となった景観部 の特性やまちづくりので 外広告物の設置を適ら 外広を図る。	する影響でありないでは、 でありないでは、 できまずのでは、 できまずのでは、 できまずのに、 できまずのに、 できまずのに、 できまずる はいます はいます はいます はいます はいます はいます はいます はいます	響が大 大 が大 がら い る い き は し 、 た ま も れ れ が れ る ま も し る ま も し 、 た ま し し 、 れ ま れ し 、 れ ま れ し 、 れ ま れ し 、 れ ま れ ま れ ま れ ま れ ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま	H 30 年度	方向性		事業費(百万円)		うち市負担分	0.0	の見 (対前4 H31 年度 H32 年度 H33 年度 H34	込み 車度比) 継続 継続 継続
	目的び概要	屋外広告きいことが市景観部等め、で、景観部等め、で、景観部等ので、景観部等ので、景を変われている。	ト広告物指導事業 ト広告物指導事業 た物は、景観形成に対 いら適切な誘導が重要 計画、景観条例と整合を きと一体となった景観部 の特性やまちづくりので 外広告物の設置を適ら 外広告物の設置を適ら	する影響でありないでは、 でありないでは、 できまずのでは、 できまずのでは、 できまずのに、 できまずのに、 できまずのに、 できまずる はいます はいます はいます はいます はいます はいます はいます はいます	響が大 大 が大 がら い る い き は し 、 た ま も れ れ が れ る ま も し る ま も し 、 た ま し し 、 れ ま れ し 、 れ ま れ し 、 れ ま れ し 、 れ ま れ ま れ ま れ ま れ ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま	H 30 年度	方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	0.0	うち市負担分(百万円)	0.0	の見 対前4 H31 年度 H32 年度 H33 年度 H34 年度	込み 車度比) 継続 継続 継続
	目的び概要担当課	屋外広告きいことが市景観部等め、で、景観部等め、で、景観部等ので、景観部等ので、景を変われている。	ト広告物指導事業 ト広告物指導事業 た物は、景観形成に対 いら適切な誘導が重要 計画、景観条例と整合を きと一体となった景観部 の特性やまちづくりので 外広告物の設置を適ら 外広を図る。	する影響でありないでは、 でありないでは、 できまずのでは、 できまずのでは、 できまずのに、 できまずのに、 できまずのに、 できまずる はいます はいます はいます はいます はいます はいます はいます はいます	響が大 大 が大 がら い る い き は し 、 た ま も れ れ が れ る ま も し る ま も し 、 た ま し し 、 れ ま れ し 、 れ ま れ し 、 れ ま れ し 、 れ ま れ ま れ ま れ ま れ ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま	H 30 年度	方向性 (対前年度比) 文策課	継続	事業費(百万円)	0.0	うち市負担分(百万円)	0.0	の見 (対前年 H31 年度 H32 年度 H33 年度 H34 年度 フプ	込み 車度比) 継続 継続 継続
	目及概 担 事 目の 課 名 的	屋外にとおきます。	ト広告物指導事業 トがは、景観形成に対 いら適切な誘導が重要 計画、景観条例と整合を きと一体となった景観部 の特性やまちづくりので 外広告物の設置を適ら 形成を図る。 都市整備部 現重要建造物等指 と好な景観形成を推進	する影響のなどというでというできます。 ままま ままま ままま ままま まままま まままま まままま まままま	響茨がめいます。 大木 たいたま良 都 景	H 30 年度 H 30	方向性 (対前年度比) 故策課	継続会計区分	事業費(百万円)	一般	うち市負担分(百万円)	0.0	の 別 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明	込みより ・ は続 継継 継継 継続 ・
	目のができませる。日本のでは、日本の	屋外にとおきます。	外広告物指導事業 小広告物指導事業 一体と、景観形成に対 の高切な誘導が重要 上面、景観条例と整合を きと一体となった景観が の特性やまちづくりので 外広告物の設置を適ら 別形成を図る。 都市整備部 現重要建造物等指	する影響のなどというでというできます。 ままま ままま ままま ままま まままま まままま まままま まままま	響茨がめいます。 大木 たいたま良 都 景	H 30年度	方向性 (対前年度比) 女策課	継続会計区分	事業費(百万円)	一般	うち市負担分 (百万円) 事業区分	0.0	の 別 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明	込みは 継継継継継継継継継継継継継継継継継継継継継
	目及概 担 事 目及	屋外にとないまで、	ト広告物指導事業 トがは、景観形成に対 いら適切な誘導が重要 計画、景観条例と整合を きと一体となった景観部 の特性やまちづくりので 外広告物の設置を適ら 形成を図る。 都市整備部 現重要建造物等指 と好な景観形成を推進	する影響のなどというでというできます。 ままま ままま ままま ままま まままま まままま まままま まままま	響茨がめいます。 大木 たいたま良 都 景	H 30 年 H 30 年	方向性 (対前年度比) 文策 課	継続会計区分	事業費(百万円)	0.0 一般 対象物がä	うち市負担分 (百万円) 事業区分 あれば指定	0.0	の 別 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明	込み ・ 大
	目及概 担 事 目及	屋外にとないまで、	ト広告物指導事業 トがは、景観形成に対 いら適切な誘導が重要 計画、景観条例と整合を きと一体となった景観部 の特性やまちづくりので 外広告物の設置を適ら 形成を図る。 都市整備部 現重要建造物等指 と好な景観形成を推進	する影響のなどというでというできます。 ままま ままま ままま ままま まままま まままま まままま まままま	響茨がめいます。 大木 たいたま良 都 景	H 30 年 H 30 年	方向性 (対前年度比) 女策課	継続会計区分	事業費(百万円)	0.0 一般 対象物がä	うち市負担分 (百万円) 事業区分	0.0	の 別 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明	込み (大)

16	事業名	景観		業													
		都市景観	見整備を総合的かつ計	画的に												の見	方向性 込み 拝度比)
		画及び景い、屋外	建築行為等について、入 、観条例に基づき協議、 広告物については、大	、指導等 阪府屋	等を行 外広	H 30 年	内容					受付				H31 年度 H32	継続
	似安	出に対し	引に基づき、屋外広告や て設置場所や大きさの 背に許可をする。			度										年度 H33 年度	継続継続
								方向性 前年度比)	継続		業費	0.0		市負担分	0.0	H34 年度	継続
	担当課	部名	都市整備部	課名	都	市項	<b></b>	課	会計区	分		一般		事業区	分	ソフ	<u> </u>
17	事業名	【再	掲】既存民間建築	物耐息	鬘化補	助.	事	業									
			<b>手から市民の生命及び</b> 見									斤·改修				の見 (対前 <sup>4</sup>	方向性 込み 拝度比)
	目的 及び 概要	用及びオ	の住宅・特定建築物の 、造住宅、共同住宅のi ・補助する。			H 30 年	内容	②非木 う。 ③共同	_,						を行	H31 年度 H32	継続継続
		[4-1-3:]	建築物の耐震化の促進		度										年度 H33 年度	継続	
							<b>方向性</b> 前年度比)	継続		業費 万円)	(15.4)		市負担分 万円)	(5.1)	H34 年度	継続	
	担当課	部名	都市整備部	居	住叫	<b>文</b> 策	課	会計区	分		一般		事業区	分	ソフ	<b>.</b>	
I	取 組	5-5-4	良好な住宅	クの形	成												
18	事業名	居住	主マスタープラン策	定事	業												
		変化や温	〉、少子・高齢化等に伴 5力低下、また、建築物	の老朽	化等							討、整				の見	方向性 込み 拝度比)
	目的及び	るため、ī	害リスクの増大などの調 市民生活の基盤である 充実と定住促進を図る	住宅や	住環境		内容		コメ				検診	ţ		H31 年度 H32	継続
	概要	市の住宅	に対策の方針と施策を示 実と安定した住生活の	たし、市	民の暮	度					2 <b>v</b> -> 1	1 /4/2				年度 H33	継続
		す。	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,					方向性	臨時		業費	6.3		市負担分	6.3	年度 H34	継続継続
	担当課	部名	都市整備部	課名		住耳		前年度比)	拡充		万円)	 一般	(百	事業区		年度ソフ	
19			 世代近居・同居支持														
				~ 1 /15												の見	方向性 込み 拝度比)
	目的 及び 概要	フォーム 支えあっ や介護な	)近居・同居に向けた住 に対して補助を行うこと て暮らせるまちづくりを さど、各世代が抱える不	で、多 進め、 <del>-</del>	世代が 子育て	H 30 年度	内容	①茨木	市多世	代让	丘居•同	居支援	事業	軽補助の	実施	H31 年度 H32 年度	継続継続
		るとともに	工、定住促進を図る。			132										H33 年度	継続
								方向性 <sup>前年度比)</sup>	拡充		業業費 (万円)	15.0		市負担分 万円)	15.0	H34 年度	継続
	担当課	部名	都市整備部	課名	居	住耳	汝策	課	会計区	分		一般		事業区	分	ソフ	<b></b>

20	事業名	長其	明優良住宅認定事	務事業	Ě												
		長期にわ	たり良好な状態で使用	]される	ための			0	優良住 (0.0百7			十画の審	を を を を を を を を を を を を を を を を を を を	をし、認	定を	の見	方向性 ,込み 年度比)
	日的	することに	じられた優良な住宅の こより、住生活の向上及	び環境	<b>たへ</b> の	H 30	内容	②認定	を受けれ	た長	期優良	住宅で 持保全				H31 年度	継続
	概要	及の促進	減を図るため、長期優 に関する法律に基づる			年度			(0.0百)			打床土	1/1/1		乙八	H32 年度	継続
		住宅建築	等計画の認定を行う。													H33 年度	継続
								<b>方向性</b> 前年度比)	継続		業費 (万円)	0.0		市負担分	0.0	H34 年度	継続
	担当課	部名	都市整備部	課名	審	查扌	旨導	課	会計区	分		一般		事業区	分	ソフ	<b>١</b>
21	事業名	市智	営住宅長寿命化計	画推过	進事業												
								OV €	20年度	1 = 36	rd欠到证金	<del> </del> を行っ	たは	ものめ 竪	≨∃⁄r	の見	方向性 ,込み 年度比)
	目的 及び		を安全で安心な住まい て確保するため、耐震				内容	1.5 P				施(2棟)		ドリンプト空	ELX.	H31 年度	継続
	概要		ど適切な維持管理を写 図的・効果的な活用に多		らことに	年度										H32 年度	継続
																H33 年度	継続
								方向性 前年度比)	継続		業費 万円)	120.0		市負担分	99.0	H34 年度	継続
	担当課	部名	建設部	課名		建多	车 課	1	会計区	分		一般		事業区	分	ハー	ド

3 過去の実施計画期間中で完了・廃止した事業(担当部課名は事業実施最終年度の名称)

	取	組	5-5-2	都市におけ	るみと	りの形成				
Ī	E1	事業名	岩倉	公園防災公園街	区整例	#事業(平成29年₽	度事業完	了)		
		及び	ともに、都市	市景観の向上や市民	の憩い	よる防災公園街区整備 の場としての総合的な ので、URより用地の買	公園機能の			
		担当課	部名	建設部	課名	公園緑地課	会計区分	一般	事業区分	ハード

まちの将来像	5	都市活力がみなぎる便利で快適なまち
施策	5-6	時代と市民の期待・要請に応え活力みなぎる都市づくりをすすめる
施策の 方向性	活を支え	わたって住み続けたい、さらに活力ある都市として成長・発展させていくという視点から都市構造を捉え、生える都市機能を維持・向上させるとともに、中心部における魅力ある地域、拠点への再生、北部地域をはじめとかな文化、自然資源等をいかし効果を高める取組などにより、これからの時代を先導する活力あるまちづくります。
	1	★ 生活を支える拠点の整備・充実(拠点の配置とネットワークの維持・増進)
	2	★ 魅力ある中心市街地・駅周辺の整備
取 組	3	(仮称)JR総持寺駅を活かした都市づくり
★:重点プラン	4	★ 北部地域の魅力向上
該当取組	5	
	6	
	7	

		7	,															
2 3	実施計画	1									*	:重点	プラン記	亥当取組、	◎重.	点フ	゚ラン該	当事業
耳	又 組	5-6-1	*	生活を支え	る拠点	の整	備•	充	実(拠,	点の配	置と	ヒネッ	トワー	クの維持	寺∙増	進	)	
1	事業名	◎ 立;	也適正	化計画策定	事業													
		づくりを指 の実現に	推進し、注 に向け、引	ープランで掲け 活力維持と持続 改正都市再生物 化計画の策定	売可能な 特別措置	都市												方向性 込み F度比)
	目的 及び			Lan 圏の水足  -1 計画的な者		軟件	H 30	内容	①パブ ②立地	リックコ! 適正化							H31 年度	継続
		や市街地	也整備】	-2 魅力ある中			年度										H32 年度	継続
		周辺の整	孫備】														H33 年度	継続
		用】	祖:5-9-	-1 民間との連	:វ汚、石ノ	リの石			<b>方向性</b> 前年度比)	継続		業費 万円)	4.8	うち市負担分		2.3	H34 年度	継続
	担当課	部名	都	市整備部	課名	都	市區	女策	課	会計区	分	-	一般	事業	区分		ソフ	<b>,</b>
2	事業名	◎【再	掲】茨	木市中心市	街地 <sup>2</sup>	舌性化	事	業										
		地活性化/ 街地活性化 また、都	に関する 化基本計 市計画マ	○活性化を図るた 法律」に基づく、 十画」を策定する。 マスタープランで(	「茨木市 、 立置づけ	中心市 ている								崔・協議調 ント・認定		に	の見 (対前年	方向性 込み F度比)
	目的 及び	多核ネット 点とのして	ワーク型の機能	都市構造の実現 記置を踏まえたも	見に向け、 のとする	都市拠 。	30	内容	向けた	計画書 体制の	の精	查			1 1111		H31 年度	継続
	概要		1:5-4-1	計画的な都市	基盤整備	で市街	年度		O JEXE	11-1111-5	HE	.(=).3()	7 C H/HJ IE	•			H32 年度	継続
		地整備】 【関連取組 の整備】	1:5-6-2	魅力ある中心で	方街地・馬	尺周辺											H33 年度	継続
			1:5-9-1	民間との連携、	活力の治	舌用】			<b>方向性</b> 前年度比)	継続		業費 万円)	(0)	うち市負担分(百万円)		(0)	H34 年度	継続
	担当課	部名	都	市整備部	課名	市行	封地	新生	生課	会計区	分	-	一般	事業	区分		ソフ	,
3	事業名	◎【再	掲】次	なる茨木・ク	「ランド	デザィ	イン・	推ì	進事業									
		「次なるき	大木・グラ 多様な	けるまちの将す ランドデザイン 主体と共有・発	を示し、	多く				とのワー 家の助		゚゚゚ョップ					の見 (対前年	方向性 込み F度比)
	目的 及び			-1 計画的な者	『市基般	整備	H 30	内容	③まち	づくりの 学民の	担い		意見交	换			H31 年度	継続
		や市街地	也整備】	-2 魅力ある中			年度			1 140)	ヘエリケ						H32 年度	継続
		周辺の整	孫備】	-1 民間との連													H33 年度	継続
		用】	,a.t. 0 J	· 以同Cv/座	.1/5\ 1Li /	J * > 1Ll		<b>ブ</b> (対	<b>方向性</b> 前年度比)	新規		業費 万円)	(0.4)	うち市負担分(百万円)		).4)	H34 年度	継続
	担当課	部名	都	市整備部	課名	都	市項	女策	課	会計区	分	-	一般	事業	区分		ソフ	<u> </u>

取	2 組	5-6-2	★ 魅力ある中	心市征	 街地 •馬	 尺盾	 ]辺の整	 備							
4	事業名	◎【再	 掲】市民会館跡地	エリア	活用	事業	美(ソフト)								
	及び概要	民との対いう立地ない。その注 に関連取締る・つなか	市民会館の跡地エリア 話を基本に、市中心部 や、社会情勢、政策課 舌用を検討、推進する。 组:3-3-2 文化芸術と ざる「場」づくり】 组:7-2-4 公共施設等 効活用】	に位置 題など。 ふれる	すると をふま ・感じ	H 30 年度	内容。②実施。	施方針作 でる広場 の実施) 臨時	東明	本の取ります。		了能性調? -クショッフ	《、社会	の見 (対前4 H31 年度 H32 年度 H33 年度	方向性 込みよい 臨拡、継続 継続
	担当課	部名	企画財政部	課名	市民会館	官跡は	(対前年度比	1,0,0		万円)	一般	事業		/ 年度 ソフ	
5	事業名	◎【再	掲】市民会館跡地	エリア	 活用	事業	美(ハード	)		<u> </u>					
	目的 及び	民との対いう立地な、その活し、その活し、その活し、その活している。	市民会館の跡地エリア話を基本に、市中心部や、社会情勢、政策課 舌用を検討、推進する。 组:3-3-2 文化芸術と 超:3-3-2 文化芸術と 30「場」づくり】 组:7-2-4 公共施設等	いに位置 題など ふれる	すると をふま ・感じ	H 30 年度	(48.6	百万円) 市民会館	*•人		会館・人解体工=	、工台地角 事		の見 (対前4 H31 年度 H32 年度 H33 年度	方向性 込みま度比) 継続 拡充 継続 臨拡充
	担当課	部名	企画財政部	課名	市民会館	官跡は	也活用推進詞	会計区			一般	事業	区分	ハー	
6	事業名	【再	掲】小売店舗改築	(改装	)補助	事	業								
	目的 及び 概要	め、市民 いる小売 業、療術 象経費の また、商品 業への業	工業施設の活性化を や法人が市内で所有7 店舗等(小売業、飲食 業)の改築・改装工事7 1/2(限度額50万円)を 1/2(限度額50万円)を 1 活動や中心市街地での 種転換や新規出店を 費用の一部を補助する	又は賃付店、理・ 店、対して と補助で か売業 行う場合	昔して ・美対 こ、る。 き・飲食	H 30 年度	<b>内容</b> 営ん <sup>*</sup> 築・改 ②商/ 業種種	ごいる市 装する場 告街や中 伝換や新	民ス場合で規	は市内に補助 お街地 <sup>*</sup> お店する	法人が 金を支糸 での小売	業・飲食が、小売	<b>浦の改</b> <b>業への</b>	の見	が 大向性 込み 年度比) 継続 継続
		【関連取約	狙:5-1-3 商業の活性	化】			方向性(対前年度比	継続		事業費 5万円)	(6.5)	うち市負担分	(6.5	H24	継続
•	担当課	部名	産業環境部	課名	商	i工党	<b>芳</b> 政課	会計区	分		一般	事業	区分	ソフ	<u>۲</u>
7	事業名	【再	掲】創業促進事業			ı									
	及び概要	事業補助賃借料・での一部を創業支援じめとした	ける創業を促進するため制度(市内で創業する) 制度(市内で創業する) 数装工事費・法人設立 補助)、特定創業支援 事業者と連携した創業 上創業支援を実施する。 銀:5-2-1 地域経済の 者の創出・育成】	が者にデ に要す 事業(I 業者支持	ナント る経費 民間の 緩)をは	H 30 年度	して民間 (で民知) (本語) (本語) (本語) (本語) (本語) (本語) (本語) (本語	助の識を支業得に動の機を関する。 動の調を対した。 のは、	給(制) というだった という という という という こうしょう こうしょう こうしょう こうしょう はい こう はい こう はい こうしょう はい こう はい こ	制度をおといった。大きなといったという。大きなので、大きなので、大きな関者を記述されている。	流 連携して、 支援を行い 、 門編・実 ・ を高める。 致セミナ	業・拡大する。 、創業希望 、ハ、践編)の実 とミナ実のの 、サーを実取組 、100円)	者に必を発行す施及び実施の検討	の 対前 H31 年度 H32 年度 H33 年度	方向性 込み 主度比)継続継続継続継続継続
	担当課	部名	産業環境部	課名	商	i 工党	労政課	会計区			 一般	事業	区分	ソフ	<u></u>

8	事業名	【重		<b>坐</b> 補目	<u></u>												
0	7.4.1		産業の創出・育成並な													の見	方向性 込み 拝度比)
	目的 及び	の成長・養	発展を促進するため、 市内産業の総合的発展	炭木商:	L会議	H 30	内容	中小企	商工会 業相談 助金を2	所事	業及で	、地域 が創業支	産業活	性化	事業、	H31 年度	継続
	概要		て補助金を交付する。 狙:5-1-4 企業活動へ	の士垣	:1	年度		未に開	別金でり	X I'I						H32 年度	継続
		【判定以》	祖.5-1-4 正未佔助。·	·V/又1反	. 1		_	方向性	Value Andre	事	業費	(10.1)	うち市賃	担分	(10.1)	H33 年度 H34	継続
	担当課	部名	産業環境部	課名	<del>74</del>	工党	(対	前年度比)	継続会計区	(百	万円)	(13.4) 一般	(百万		(13.4)	年度ソフ	継続
9	事業名		据】立地適正化計		,		713	C IIAC	五川区	<i>)</i> ]		ЛУ	7	未区	/]		1.
9	<b>7</b> *1	都市計画 づくりを推 の実現に	19月 エ	た本市 記可能な 時別措置	の都市 :都市		_		II. <i>b</i>	n d	kt o.d	<del>7 1/-</del>				の見 (対前 <sup>4</sup>	方向性 込み 拝度比)
			组:5-4-1 計画的な都	市基盤	整備	H 30 年	容	①パブ ②立地								H31 年度 H32	継続
	概要		整備 <b> </b> 狙:5-6-1 生活を支え (拠点の配置とネットワ・			度										年度 H33	継続継続
			祖:5-9-1 民間との連					方向性 前年度比)	継続		業費	(4.8)	うち市賃		(2.3)	年度 H34 年度	継続
	担当課	部名	都市整備部	課名	都	市項			会計区			一般		業区	分	ソフ	<u> </u>
10	事業名	◎ 次な	よる茨木・グランドラ	デザイン	ン推進	事	業										
		「次なる落	「地におけるまちの将来 〒木・グランドデザイン」 ・多様な主体と共有・発 。	を示し、	多く				とのワー 家の助		/ヨップ					の見 (対前4	方向性 込み 拝度比)
	目的 及び 概要	【関連取締や市街地	組:5-4-1 計画的な都 !整備】	市基盤	整備	H 30 年	内容		づくりの? 学民の;			意見交	換			H31 年度 H32	継続
			狙:5-6-1 生活を支え 拠点の配置とネットワ・			度										年度 H33	継続継続
			組:5-9-1 民間との連	携、活っ	りの活			方向性 前年度比)	新規		業費	0.4	うち市賃		0.4	年度 H34 年度	継続
	担当課	部名	都市整備部	課名	都	市項	女策	課	会計区	分		一般	事	業区	分	ソフ	ŀ
11	事業名	◎ 茨フ	ド市中心市街地活	性化	事業												
	E4.	地活性化心市街地また、都	がある。 「地の活性化を図るため に関する法律」に基づ は活性化基本計画」を第 はないなり、20世紀ませ	く「茨オ を定する で位置	r市中 )。 づけ	Н	内	②内閣	府との協	協議	・パブリ	養会開催				の見	方向性 込み 手度比)
	目的 及び 概要	向け、都でものとする 市基盤整	核ネットワーク型都市権 市拠点としての機能配 5。【関連取組:5-4-1 5備や市街地整備】【『	置を踏 計画的 関連取締	まえた な都 狙:5-	30 年 度	容		計画書の 体制の			かた調整				年度 H32 年度	継続継続
		配置とネ	fを支える拠点の整備・ ットワークの維持・増進 □ 民間との連携、活力	)】【関	連取			方向性	20年2年	事	業費	0.0	うち市賃	担分	0.0	H33 年度 H34	継続
	担当課	部名	都市整備部	課名		ŧrłuh	(対	前年度比)	継続会計区		万円)	0.0   一般	(百万	円)		年度ソフ	継続
	15日球	마선	印川宝川印	<b>林</b>	1111	IJ地	1791 <u></u>	上味	云山区	71	•	川又		未心	71	//	ı'

12	事業名	◎阪		前周辺	刀整備	事	業									
12	7.7.1	市の玄関	同口である西口駅前周』	辺におい	て、	7		①事業		画 2,29 前広場・	7万円 道路•駅i	前ビル)			の見	方向性 込み 手度比)
	及び	が集える	5点の機能強化とともに 空間として、活性化を図 のの実現を図る。			H 30 年	内容	2基本記	受計作局 幾関との	戊(駅前点 協議	広場·交差				H31 年度 H32	継続
	概要	【関連取活用】	組:5-9-1 民間との連	携、活力	つの活	度				り方検診	†				年度 H33	継続継続
							(交	方向性 対前年度比)	継続	事業費		うち市負担		18.7	年度 H34 年度	継続
	担当課	部名	都市整備部	課名	市行	封地	新	生課	会計区	分	一般	事	業区	分	ハー	۲
13	事業名	⊚ JR≀	<b>灰木駅西口駅前周</b>	辺整例	#事業	•										
			引口である西口駅前周覧 近点の機能強化とともに								488万円				の見	方向性 込み 拝度比)
	及び	が集える	空間として、活性化を図 の実現を図る。	図り、魅	力ある	H 30 年	内容	1まちつ 2公共 3関係	を設・施	設建築物	<b>勿基本計</b> 回	卣			H31 年度 H32	継続
	概要	【関連取活用】	組:5-9-1 民間との連	携、活力	つの活	度		0,000	×1/4 003 #1	~					年度 H33	継続継続
		) 13 <b>2</b>						方向性 対前年度比)	継続	事業費		うち市負担		11.3	年度 H34 年度	継続
	担当課	部名	都市整備部	課名	市行	<b>打地</b>		生課	会計区		一般		業区	分	八一	ド
14	事業名	⊚ JR₹	<b>茨木駅構内エスカ</b> ル	ノータ	一整備	事	業	<u> </u>								
		の玄関ロ創出を図	R利用者の利便性向上 にとしてのイメージアップ はため、駅構内におす	°やにぎ るエスオ	わい	н	内	①駅構	内エスク	カレータ・	一整備負持	担金 1億	£4,2	40万	の見	方向性 込み 手度比)
	及び	整備とな	等を行うとともに、本事 っている東口駅前広場 びに駅前広場の交差点	上部デ	ッキ庇	30 年 度	容	円							年度 H32 年度	-
		【関連取 用】	組:5-9-1 民間との連	携、活力	力の活					viv		T			H33 年度	-
			<u> </u>					方向性 <sup>打前年度比)</sup>	完了	事業費		うち市負担		72.0	H34 年度	-
	担当課	部名	都市整備部	課名				生課	会計区	分	一般	事	業区	分	ハー	ド
	取組	5-6-3	(1)/(1)/(1)						つくり							
15	事業名	PX	急総持寺駅西口駅	削父期	担仏場	"從"	1)用·	尹来							車業の	方向性
		ら、その動	E春にJR総持寺駅が開 整備効果をより活かすた	こめ、阪	急総		-			.0百万円	] 嘱託登記]	<b>\</b>			の見 (対前 <sup>4</sup>	が同住 込み 手度比)
	及び	により、糸	百口に駅前交通広場を 終持寺地域の交通利便 )充実・強化を図る。			H 30 年度	内容	②補償		7.0百万日		,			H31 年度 H32 年度	継続完了
															H33 年度	_
							(文	方向性 対前年度比)	継続	事業費		うち市負担		22.0	H34 年度	-
	担当課	部名	建設部	課名	道	路3	交通	通課	会計区	分	一般	事	業区	分	ハー	ド

16	事業名	IR総																
			春、JR京都線摂津富		:間に			①工事	2年 7. 192	<b>の</b> 権	#+ <i>(</i> #	地等用	44h <i>h</i>	1 TH . ) Z	; <i>(</i> ⇌₩	156	事業の の見 (対前年	込み
	目的 及び 概要	性の向上	と周辺整備を行うこと と都市機能の充実・強	化を図	る。	H 30 年	内容	械等		V / 1F	以云、旧	地寺用	ЛΕХ	"" " " " " " " " " " " " " " " " " " "	21百亿	Ž.	H31 年度 H32	-
	177.5	【関連取約用】	祖:5-9-1 民間との連	携、活え	りの活	度											年度 H33 年度	_
					Г			方向性 前年度比)	完了		事業費 百万円)	145.6		市負担分	94	.1	H34 年度	-
	担当課	部名	都市整備部	課名	市行	封地	新生	生課	会計区	分		一般		事業区	经分		ハー	K.
耳	文 組	5-6-4	★ 北部地域の	魅力[	<b></b> 白上													
17	事業名	◎ 北部	『魅力アップ事業															
			也域にある緑豊かな自然 『業推進している安威川タ						づくり連								事業の の見 (対前年	込み
	日的	なぐとともに	都の大規模プロジェクト こ、地域課題や地域のあり	)方も踏る	まえ、北	30	内容		たデザ	イン	プロジ	ェクトの					H31 年度	継続
	概要		魅力向上を図るための検 本とともに進める。	討と取組	.を地域	年度		・いばき	たマル	シュ	-の開催						H32 年度	継続
		【関連取組	:5-9-1 民間との連携、	活力の活	5用】												H33 年度	継続
								<b>与向性</b> 前年度比)	継続		事業費 事万円)	5.3		市負担分	5	5.3	H34 年度	縮小
	担当課	部名	都市整備部	課名	北部	整個	備推	進課	会計区	分		一般		事業区	∑分		ソフト	`
18	事業名	⊚ダム	周辺整備事業															
			水効果発現を目指し <sup>*</sup> において、ダム完成後					① 民間 ② 安威	事業者	との	)ヒアリン	/グ  本構想	レカ	キレめ			事業の の見 (対前年	込み
	及び		つながる整備を実施す			H 30 年	内容		者公募			2>4+.144VE.	·C >	<i>&amp;Cv)</i>			H31 年度 H32	継続
	概要		祖:5-9-1 民間との連	携、活っ	力の活	度											年度 H33	継続
		用】						<b>-</b> 44		큠	業費			<b>+447</b>			年度 H34	完了
								方向性 前年度比)	継続		万円)	36.5		市負担分 <b>万円</b> )	21	.4	年度	_
	担当課	部名	都市整備部	課名			<b>備推</b>	進課	会計区	分		一般		事業区	经分		ハー	K .
19	事業名	【再	掲】公共交通対策	事業(	ハート	;) 												
			通体系づくりの基本理、9のテーマと短、中期				_					こに向け					事業の の見 (対前年	込み
	目的 及び 概要	実施する	20の交通施策に取組。 F来像」を実現する。	み、目標	票とする	H 30 年度	内容	②移動 ③鉄道 16.7百	駅可動								H31 年度 H32 年度	継続継続
		用】	祖:5-9-1 民間との連	1汚、店ノ	リッパ百						- die -44-						H33 年度	継続
					ı			方向性 前年度比)	拡充		事業費 事万円)	(16.7)		市負担分 <b>万円</b> )	(16	5.7)	H34 年度	継続
	担当課	部名	建設部	課名	道	路	交通	課	会計区	分		一般		事業区	经分		ハー	ド

20	事業名	【再	掲】ダム推進事業												
	目及概的び要	まちづくり	記域住民の生命と財産? の推進に必要不可欠 、大阪府等と連携を図 図る。	な安威	ダム	H 30 年	内容	①建設	促進					の見 (対前 <sup>4</sup> H31 年度 H32	方向性 込み 拝度比) 継続
		【関連取 策】	組:4-1-6 安威川ダム	による浴	台水対	度		<b>方向性</b> 前年度比)	継続	事業費(百万円)	(0)	うち市負担分 (百万円)	(0)	年度 H33 年度 H34 年度	完了
	担当課	部名	都市整備部	課名	北部	整例	<b></b> 指推	進課	会計区	分	一般	事業区分	+	ソフ	<b>-</b>
21	事業名	【再	掲】新名神周辺道	路等團	<b>Ě備事</b>	業				·		•			
		環境、歴源を活か	引連事業として、千提寺 史、文化資源等の恵ま して、都市住民との交 にでいまり地域の	れた地 流を促む	域資 進する	Н	内		泉原千排 針 C=0i	是寺線道區 百万円	烙改良事	業			方向性込み事度比)継続
	及び	る。また、	っている。 新名神高速道路の供 が増加するため、市道	用開始	こ伴い	30 年 度	容	/13/63	費 C=0 費 C=0					年度 H32	継続
		ことにより	歩行者、車両等の安全	を確保		及								年度 H33 年度	継続
		【関連取	組:5-8-2 道路整備の	)推進】				方向性 前年度比)	継続	事業費 (百万円)	(0)	うち市負担分 (百万円)	(0)	H34 年度	継続
	担当課	部名	建設部	課名	道	路2	を通	課	会計区	分	一般	事業区分	+	ハー	ド
22	事業名	【再	掲】千提寺菱ヶ谷	遺跡史	跡整	備	事美	色							
	目的	値を評価	をなる遺跡の歴史的資 するために調査を行い の一つの拠点としても活	、北部:	地域	H 30		①埋蔵 ②科学		確認調査 8万四	194万円	]		の見	方向性 込み 拝度比)
	及び概要	史跡指定	だに向けて取り組む。 組:3-3-4 歴史遺産の			年度		W117	<i>χ</i> <b>3</b> -γγ  10	3/3   1				H32 年度 H33 年度	-
								<b>方向性</b> 前年度比)	完了	事業費 (百万円)	(2.2)	うち市負担分 (百万円)	(1.1)	H34 年度	-
	担当課	部名	教育総務部	課名	歴史	史文	化月	け課	会計区	分	一般	事業区分	<del>}</del>	ハー	ド
23	事業名	【再	掲】ダム周辺道路	整備事	業	ı	ı								
			就整備計画に基づき、5 3整備事業を推進する。		ン周	н	内	_		道路事業	(車作1号	<b></b> 亭線)		の見	方向性 込み 手度比)
	目的 及び 概要	【関連取	祖:4-1-6 安威川ダム 組:5-8-2 道路整備の	による消	台水対	30年度	容		).0百万F 9号線(/	円 ダム関連)	C=100.0	百万円		年度 H32 年度 H33	継続継続
		1000000	~ ~~~ H IE VIR * ^	, par ( )				方向性	継続	事業費	(160)	うち市負担分	(41.7)	年度 H34	完了
	担当課	部名	建設部	課名		.路3		前年度比)	会計区:	(百万円)	一般	事業区分		年度	ド
			·												

# 3 過去の実施計画期間中で完了・廃止した事業(担当部課名は事業実施最終年度の名称)

	取組	5-6-3	(仮称)JR約	総持寺	駅を活かした都市	づくり			
E1	事業名	JR終	持寺駅開業記念	:式典0	つ実施(新規追加)	(平成294	年度で完了)		
	目的 及び 概要	東海道本 駅前広場	線 摂津富田·茨木間 、自由通路等周辺整	引に建設 備の完成	'中であるJR総持寺駅の 対を祝う式典を、JR西 F	り平成30年 日本との共同	春開業を記念し、同 同開催にて行う。	関係者を招	き、新駅開業及び
	担当課	部名	都市整備部	課名	市街地新生課	会計区分	一般	事業区分	ソフト

まちの将来像	5	都市活力がみなぎる便利で快適なまち
施策	5-7	環境負荷の低減や少子・高齢化社会を見据え持続可能な都市づくりをすすめる
施策の 方向性	まちづく ることが	上資源を有効に活用し、地域内で循環する省エネルギー型の都市をめざすとともに、誰にもやさしい福祉のりや、既存のストックの活用や施設の長寿命化などを進めていきます。これにより、将来にわたって住み続けできるまちをめざします。 曽加すると懸念される空き家については、所有者への働きかけを行うほか、まちづくりへの活用をめざします。
	1	環境負荷の低減
	2	★ 誰にも優しいまちづくりの推進
取 組	3	危険家屋・老朽マンション対策
★:重点プラン	4	都市計画施設の見直し
該当取組	5	
	6	
	7	

		7	'																
2 3	実施計画	Ξ									*	:重点	プラン訂	核当耳	取組、◎	重点	まプラ	ラン該	当事業
耳	又 組	5-7-1		環境負荷の	低減														
1	事業名	低於	<b></b> 表	都市づくり推進	生事業														
	目的	づくりを仮 スタイルを いきます。 また、東京	を進った実現である。 を実現である。 でエー	ニティの考え方をきするなど、環境にペ 見し、低炭素都市・ 場跡地でのスマー こ向け協議を行って	やさしい づくりを トコミュ	ライフ 進めて ニティ	H 30 年		①スマ· りの促述 ②東芝 する協	進 工場跡				•			i 	の見 (対前年 H31 年度 H32	方向性込みを手度比が継続
		や市街地	整備	-4-1 計画的な都 計】 -9-1 民間との連			度		方向性	継続		業費	0.0		市負担分	0.	0	年度 H33 年度 H34	継続継続
	担当課	部名		都市整備部	課名	耂	र ततंत्र व		<del>前年度比)</del> 一	会計区		万円)	一般	白	「万円) 事業区			<b>年度</b> ソフト	
2	事業名		+F 1	都市計画決定		ы		<i>X y</i>	K IIK	Ane	/)		ЛХ		<b>平木</b> 凸	/1		// 1	
_		_	関係	機関と協議・調整を図														の見	
	目的 及び 概要	導】 【関連取組 地整備】 【関連取組 用の誘導】 【関連取組 【関連取組	1:5-4 1:5-4 1:5-1	2-2 幹線道路沿道 4-1 計画的な都市 4-3 適切な開発や 4-3 適切な開発や 7-4 都市計画施設 9-1 民間との連携、	基盤整備 建築物・1 の見直し	や市街 上地利 】	H 30 年度		方向性対策年度比)	計画決継続	事	業費	(1.2)		市負担分 「万円)	(1.	2)	H31 年 H32 H32 H33 日 H34 日 H34 日 H34	継続継続継続
	担当課	部名		都市整備部	課名	都	市政		<b></b>	会計区			一般		事業区	分		ソフト	,
3	事業名	【再	掲】	エリアマネジメ	ント推		十事	[業	4										
		既成市往 業者・地	がない 大地々 権者	や新たな開発におり等の地域の担い目	いて、住手が主体	E民・事 Sとなっ				±17 FFF □	B /		D Ltt =>+				(	の見 (対前年	
	目的 及び	地域を育 【関連取続 や市街地	でる 組:5 也整備	取組を推進する。 -4-1 計画的な都	『市基盤	整備	H 30 年度	内容										H31 年度 H32 年度 H33 年度	継続継続
		用】							方向性 対前年度比)	継続		業費 万円)	(0)		市負担分	(	(0)	+ 及 H34 年度	継続
	担当課	部名		都市整備部	課名	都	市政	_	<b></b> 意识	会計区			一般		事業区	分		ソフト	`

耳	文 組	5-7-2	★ 誰にも優し	ハまち	づくりの	の 打	 推進							
4	事業名	⊚ バリ	アフリー化推進事	業(ソ	フト)									
	目的 及び	に関する 客施設や 者等が利 備地区)(	障害者等の移動等の「法律(バリアフリー法) 法律(バリアフリー法) ・病院、福祉施設などる 同ける施設が集まった のバリアフリー化を重点	に基づる 高齢者や こ地区(	き、旅 や障害 重点整	H 30 年	<b>内</b> ①バリア 理	アフリー	基本構想に	こ基づい	た取組の進	行管		継続
		的に推進 【関連取組用】	する。 組:5-9-1 民間との連	携、活っ	力の活	度							年度 H33 年度	継続継続
		π』					方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	0.0	うち市負担分 (百万円)	0.0	H34 年度	継続
	担当課	部名	建設部	課名	道	路2	<b> 泛通課</b>	会計区	分	一般	事業区	分	ソフ	<b></b>
5	事業名	⊚ バリ	アフリー化推進事	業(ハ	ード)									
			ー基本構想及び特定 点整備地区の道路なと				①工事 ·生活関 市道駅	連経路		息パチカン			の見	方向性 込み 拝度比)
	及ひ	リー化に		. • >/ • • > /	, ,	H 30 年	容 C=20.		9	W1212			年度 H32	継続
	概要	【関連取線 用】	組:5-9-1 民間との連	携、活っ	力の活	度		0百万円					年度 H33	継続
		, , <b></b>					方向性	継続	事業費	22.7	うち市負担分	12.3	年度 H34	継続継続
	担当課	部名		課名	渞	2007	(対前年度比)	会計区	(百万円)	一般	事業区		年度	
6	事業名		 止のまちづくり事業		, e	.вн./	~	Ann	,,	/1/	于 木 匚	<u> </u>		
		高齢者や会に参画よう、都市	障害者が、安全で気軽し、自らの意思で自由 施設のうち大阪府福祉	軽にあら に行動 业のまち	できる らづくり	Н			の受領・審	査及び	完了届出書	の審	の見 (対前 <sup>4</sup> H31	方向性込み 軍度比)
	及び 概要	について	づく基準適合努力義 、事前協議を行う。 組:5-9-1 民間との連			30 年 度	容 查(0.0)	自万円)					年度 H32 年度	継続
		用】	祖.5-9-1 民間との産	1万、(白ノ	グジカロ		+ 4 44		市光弗		54 + 441 A		H33 年度 H34	継続
							方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	0.0	うち市負担分	0.0	年度	継続
	担当課	部名	都市整備部	課名		-	旨導課	会計区	分	一般	事業区	分	ソフ	<u> </u>
	文組	5-7-3	7015757.1	老朽マ	ンショ	ンタ	対策 ————							
7	事業名	空》	京対策事業											
			心や人口減少の進行					会の運					の見 (対前 <sup>4</sup>	方向性 込み 拝度比)
	及び	等対策計	加が懸念されるため、 ·画」に基づき、空家化 家の適正管理、利活用	を抑制	すると	H 30 年度		バンク0 金の創	D運用 設、運用				H31 年度 H32 年度	継続継続
													H33 年度	臨時 拡充
							方向性 (対前年度比)	拡充	事業費 (百万円)	6.4	うち市負担分 (百万円)	6.4	H34 年度	縮小
	担当課	部名	都市整備部	課名	居		•							

8	事業名	マン	/ション建替	円滑化等	事務	事業											
																	方向性 込み F度比)
	目的		vの良好な居住 vの適正管理や				H 30			. —	アンションの合の設立な			–		H31 年度	継続
	及び 概要	組合の設	さ立などに対する	る支援を行	います		年度									H32 年度	継続
																H33 年度	継続
									<b>向性</b> i年度比)	継続	事業費 (百万円)	0.1		市負担分	0.1	H34 年度	継続
	担当課	部名	都市整備	部	<b>果名</b>	居	主项	女策詞	課	会計区	分	一般		事業区	分	ソフ	<b>,</b>
9	事業名	建築	<b>桑物維持保</b> 全	全指導事	業												
																	方向性 込み F度比)
	目的 及び		住環境を保全 れていない建築			- 不比	H 30				全指導(0. 0百万円)	0百万円	()			H31 年度	継続
	概要		を継続的に保	14 1 2 7 7 1 1 4			年度									H32 年度	継続
																H33 年度	継続
									向性 i年度比)	継続	事業費 (百万円)	0.0		市負担分	0.0	H34 年度	継続
	担当課	部名	都市整備	部	<b>果名</b>	審	查指	旨導詞	課	会計区	分	一般		事業区	分	ソフ	<b>\</b>
]	取組	5-7-4	都市記	計画施設	の見	直し											
10	事業名	【再	掲】都市計画	画決定等	事務	事業											
			関係機関と協議・ ・変更を行う。	・調整を図りた	ながら、	都市											方向性 込み F度比)
	目的	【関連取組導】	1:5-2-2 幹線道	1路沿道での	企業立		H 30	内容	①都市	計画決	定等					H31 年度	継続
	及び 概要	地整備】	1:5-4-1 計画的				年 度									H32 年度	継続
		用の誘導	1:5-4-3 適切な <b>]</b> 1:5-7-1 環境負		≦物・土±	也利										H33 年度	継続
			1:5-7-1 壊現角 1:5-9-1 民間と		力の活月	月】			<b>向性</b> i年度比)	継続	事業費 (百万円)	(1.2)		市負担分	(1.2)	H34 年度	継続
	担当課	部名	都市整備	部	<b>果名</b>	都可	市區	女策詞	果	会計区	分	一般		事業区	分	ソフ	<u> </u>

まちの将来像	5	都市活力がみなぎる便利で快適なまち
施策	5-8	暮らしと産業を支える交通を充実させる
施策の 方向性	い・移動	に位置する優位性をさらにいかしていくとともに、平成25年度に策定した総合交通戦略に基づき、「住みやす」しやすい」まちづくりのため、道路ネットワークの充実と強化、公共交通の利用促進や歩行者・自転車空間 生の向上等の総合的な交通施策を進めます。
	1	★ 公共交通の維持・充実
	2	★ 道路整備の推進
取 組	3	駐車場・駐輪場の充実
★:重点プラン	4	歩行者、自転車利用環境の整備
該当取組	5	★ 交通安全対策の推進
	6	
	7	

		7																
2 :	実施計画	<u> </u>									*	:重点	プラン訂	亥当耳	反組、◎	重点に	プラン該	当事業
Į	取 組	5-8-1		★ 公共交通の	維持・	充実												
1	事業名	◎ 公‡	<b></b>	通対策事業(ノ	<b>ハード</b> )	)												
		将来の交	で通体	本系づくりの基本理	念、基	本方針			①市民	の移動和	钊便	[性向上	:に向け	トた施	近策の検	討	の見	方向性 ,込み 年度比)
	目的及び	実施する	200	Dテーマと短、中期 D交通施策に取組 象」を実現する。			H 30 年	内容	②移動 ③鉄道 16.7百								H31 年度 H32	継続
	概要			-6-4 北部地域 <i>の</i>	魅力向	止】	度		10.7 Д	/3   1							年度 H33	継続
									方向性 計前年度比)	拡充		業費	16.7		市負担分 - 下 四 \	16.7	年度 H34 年度	継続縮小
	担当課	部名		建設部	課名	道	[路3			会計区			一般	(H	事業区	分	一年度	ド
2	事業名	3 ◎ 公共交通対策事業(ソフト) 将来の交通体系づくりの基本理念、基本に基づき 9のテーマと毎 中期及び長期																
					- 0 - +						£ , , ,						の見(対前年	方向性 込み 年度比)
	目的 及び 概要	に基づき 実施する	. 90 200		及び長	期で	30	内容	①地域 ②市民	バス路線の移動え					万円)		H31 年度 H32 年度	継続継続
									方向性計前年度比)	継続		業費万円)	1.5		市負担分 万円)	1.5	H33 年度 H34 年度	臨時 拡充 継続
	担当課	部名		建設部	課名	道	[路3	交通	通課	会計区分	分	-	一般		事業区	分	ソフ	<b>١</b>
3	事業名	◎ 茨フ	大 市	総合交通戦略	事業													
				しい交通のあり方 通事業者、関係機						の進行管			<b>いる毎</b> •	, rfn ffi	B旋等σ	宇族	の見	方向性 込み 年度比)
	及び			画事業者、関係機 により、計画的に2			H 30 年	内容	③短期 に中期	(概ね5年で実施す	年) ナる	で実施 施策に	した施第 ついて	策を村	食証する	3225	H31 年度 H32	協時 拡充
	概要	【関連取為用】	組:5	-9-1 民間との連	携、活っ	りの活	年度		必要に	応じて計	r画?	ど見直`	<sup>-</sup> 9 <sup>-</sup> °				年度 H33	継続継続
									 方向性  前年度比)	臨時 拡充		業費 万円)	3.7		市負担分 万円)	3.7	年度 H34 年度	継続
	担当課	部名		建設部	課名	道	[路3	交通	通課	会計区分			一般		事業区	分	ソフ	١

耵	又 組	5-8-2	★ 道路整備の	推進										
4	事業名	山加	<u></u> 電線整備事業											
	目的び概要	滑化を図 進捗に合 部地区、 線を経て の整備を	部の東西交通と彩都にるため、彩都や安威川るため、彩都や安威川かせ、府道茨木亀岡線府道忍頂寺福井線、原、中部地区、西部地区行う。 銀:5-4-2 彩都の都市	ダムの 線から彩    ゴ余里  へと至	事業 が都東 が表す が表する が表する がある がある がある がある がある がある がある があ	H 30 年度	(P) ②工 ③負担	事 C=2 金 C=	3.0百万 50.0百万 2.0百万	円円	24+#40()		の見 (対前4 H31 年度 H32 年 H33 年度	方向性 込み 手度比) 完了
			74 - 7 Lu				方向性 (対前年度比)	継続	事業費(百万円)	255.0	うち市負担分	127.7	H34 年度	-
5	担当課事業名	部名	<ul><li>建設部</li><li>召神周辺道路等整</li></ul>	課名		路2	文通課 	会計区	分	一般	事業区	分	ハー	F
3	目的及び	新名神関環境、歴際を活か空間を整る。また、通過ではより	国連事業として、千提寺史、文化資源等の恵まして、都市住民との交通であるとにより地域の新名神高速道路の供が増加するため、市道歩行者、車両等の安全銀:5-6-4 市北部地域	・地区の にれた地 流を促ら か活性付 用開拡幅 全を確保	自然 域資する とを伴行う になする。	H 30 年度	内 委託	泉原千打 料 C=0页 費 C=0页 費 C=0页	百万円	格改良事 0.0	事業 うち市負担分 (百万円)	0.0	の見	方向性 込みよ 乗度比) 継続 継続 継続
	担当課	部名	建設部	課名	道	路2	<b>泛通課</b>	会計区	1,211,	一般	事業区	分	ハー	F
6	事業名	JR糸	<b>総持寺駅周辺整備</b>	事業										
	目的	れることを と都市機 辺道路等	根津富田・茨木間に新たけ、利用者の交通を と受け、利用者の交通を 能の充実・強化を図る の整備を行う。 組:5-9-1 民間との連	利便性の ため、駅	の向上 R前周	H 30 年度	内 容 C=26 ③公嘱	16.5百万 寺駅前線 31.9百万	線 「円				の見 (対前4 H31 年度 H32 年度 H33	方向性 込み 拝度比) 継続 完了
							方向性(対前年度比)	継続	事業費	488.4	うち市負担分 (百万円)	227.0	年度 H34 年度	_
	担当課	部名	建設部	課名	道	路2	<b>交通課</b>	会計区		一般	事業区	分	ハー	ド
7	事業名	道路	各新設・改良事業(	補助分	分)									
	及び	消等、円ため、国際	自転車等の通行の安全 滑で快適な交通の流れ からの補助採択を受け 整備や車道の拡幅及び	ιを確係 て、用♯	Rする 地買	H 30 年度	内 容 ②市道 C=11	.0百万円	丁目沢良 <u>′</u> 円 事業費		うち市負担分	94.0	の見 (対前4 H31 年度 H32 年度 H33 年度 H34	方向性という。 おおり おおり おり おり はんしょう おいま はんしょう おいま はんしょう はんしょ はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょ はんしょう はんしょう はんしょ はんしょ はんしょ はんしょ はんしょ はんしょ はんしょ はんしょ
	担当課	部名	建設部	課名	冶	ぬっ	(対前年度比)	会計区	(百万円)	一般	事業区		年度	
	江二二杯	⊔Р*П	WH.	14年1	甩	.µП.	~.WIM	AH E		/IJX	尹禾匹	/ 3	, ,	1

			to be an experience of the second													
8	事業名	道路	各新設·改良事業(	単独分	子)			_								
										1 64					の見	方向性 込み 拝度比)
	日的	歩行者、 消等、円	自転車等の通行の安全 滑で快適な交通の流れ	全や渋浴 いを確保	帯の解	H 30	内容	②安元	地区内	線	(土地開発 <i>!</i> C= ]丁目線 C	=113.	1百万		H31 年度	継続
	及び 概要		の単独事業として現道 色の拡幅整備を行う。	に沿って	て歩道	年度			而田叫: 町玉島:				0百万		H32 年度	継続
															H33 年度	継続
								<b>方向性</b> 时前年度比)	継続	事業			5負担分 万円)	30.5	H34 年度	継続
	担当課	部名	建設部	課名	道	路	交迫	<b>通課</b>	会計区	分	一般		事業区	分	ハー	ド
9	事業名	橋勢	梁新設改良事業													
								C=97.	宮3号線 .6百万F 耐震補	9	でぼの橋)				の見	方向性 込み 拝度比)
		ることによ	診断の結果を基に、** こり、地震発生時におけ	る安全	を確保	H 30	内容	C=0首	万円		計委託)				H31 年度	継続
	抽車	するととŧ を実施す	。に、老朽化橋梁の架だる。 る。	す替えや	改良	年度		C=0首			7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7				H32 年度	継続
															H33 年度	継続
								方向性 対前年度比)	継続	事業			5負担分 万円)	53.7	H34 年度	継続
	担当課	部名	建設部	課名	道	路	交迫	<b>直課</b>	会計区	分	一般		事業区	分	ハー	ド
10	事業名	橋夠	<b>梁維持事業</b>													
			型橋梁の定期的な点検 きを継続的に実施するご					②負担		月点検	C=50.6百				の見	方向性 込み 拝度比)
	目的	梁を常に	健全な状態に保ち、歩	行者及	び車	30		4 長寿	命化修	繕計画	C=16.0百万 「策定	円			H31 年度	継続
		全による	計画的修繕(長寿命化 こよりコストの縮減を図る	修繕)を	実施	年度		C=10.	.0百万月	4					H32 年度	継続
			修繕を実施する。	J, C. > (											H33 年度	継続
								方向性 <sup>対前年度比)</sup>	継続	事業			5負担分 <b>万円</b> )	71.9	H34 年度	継続
	担当課	部名	建設部	課名	道	路3	交迫	<b>通課</b>	会計区	分	一般		事業区	分	ハー	ド
11	事業名	◎【再	掲】ダム周辺道路	整備事	業											
			(整備計画に基づき、ま	*******	・ム周			①スポし	ンク関連	道路事	事業(車作1	号線`	)		の見 (対前 <sup>4</sup>	方向性 込み ∓度比)
	日的		客整備事業を推進する。		, , , ,	H 30	内容	C=60	.0百万	円	連) C=100.0				H31 年度	継続
	概要	策】	組:4-1-6 安威川ダム			年度			2 NA (	-1/4					H32 年度	継続
		判理取	組:5-6-4 市北部地域	くい胚力	月上]				ı	士业	<b>#</b>		- to		H33 年度	完了
								方向性 対前年度比)	継続	事業 (百万			5負担分 <b>万円</b> )	(41.7)	H34 年度	-
	担当課	部名	建設部	課名	道	路	交ù	<b>直課</b>	会計区	分	一般		事業区	分	ハー	ド

12	事業名	駅前	前太中線整備事業	(第4]	工区)									
		市街地中	ュ心部における交通の	円滑化 <sup>3</sup>	や歩行		<b>1</b> 0 <b>3</b> 3		****				の見 (対前 <sup>4</sup>	方向性 込み F度比)
			注確保等、交通環境の[ を南北に結ぶ道路であ			30 7	内①委託容	C= 0	百万円				H31 年度	継続
		線のうち、	、天王一丁目から丑寅 を備を行う。			年度							H32 年度	継続
													H33 年度	継続
							方向性 (対前年度比)	継続	事業費	0.0	うち市負担分 (百万円)	0.0	H34 年度	継続
	担当課	部名	建設部	課名	道	路3	<b>交通課</b>	会計区分	<del>'</del>	一般	事業区分		ハー	ド
13	事業名	新名	名神推進事業 											
														方向性 込み F度比)
	目的 及び		高速道路㈱が整備する 、阪府が整備するアクセ			H 30	内 ①施設	移管					H31 年度	-
		設促進を		-/ \\	, v)Æ	年度							H32 年度	ı
													H33 年度	-
							方向性 (対前年度比)	完了	事業費 (百万円)	0.0	うち市負担分 (百万円)	0.0	H34 年度	-
	担当課	部名	都市整備部	課名	北部	整例	<b>⋕推進課</b>	会計区分	के	一般	事業区分		ソフ	<b>-</b>
14	事業名	【再	掲】彩都建設推進	事業										
		木・箕面市 体、大学、 携して、魅 成に取り約 阪府、都市	反の活性化・発展に向けて 方、都市再生機構、民間事 研究機関、公益団体なと は力と活力ある複合機能都 目む。彩都のまちづくりを注 方再生機構、民間事業者	事業者、終 で産学で でででででいる。 ででででできる。 でででできる。 でででできる。 ででできる。 ででできる。 でできる。 できる。	経済団 宮が連 別の大 対関係	H 30	内 ② (東部 3) (東部		も行エリア		推進 :化に向けた取	<u>.</u> b		方向性 込み 拝度比) 継続
	概要	_	<ul><li>協議調整を行いながら整値</li><li>1:5-2-3 特区制度などを</li></ul>			年度	組み						H32 年度	継続
		立地】	1.5-2-3 存区耐及などで 1:5-4-2 彩都のまちづく		二正未								H33 年度	継続
			1:5-9-1 民間との連携、		5用】		方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	(2.2)	うち市負担分 (百万円)	2.2)	H34 年度	-
	担当課	部名	都市整備部	課名	北部	整例	<b>⋕推進課</b>	会計区分	分	一般	事業区分		ソフ	<b>-</b>
取	組	5-8-3	駐車場•駐	論場の	充実									
15	事業名	市智	営駐車場管理運営	事業										
								forte were about 1	) ~ 5	a LEI bebe wett			の見 (対前 <sup>4</sup>	方向性 込み F度比)
	目的 及び		)道路交通の円滑化を するため駐車場施設(			H 30			こよる駐車 見直しの検		ķ	,	H31 年度	継続
	概要	行う。	. , a. = / ga   -/////EBA	H - T- X		年度							H32 年度	継続
													H33 年度	継続
							方向性 (対前年度比)	継続	事業費	(312.0)	うち市負担分 (百万円)	0.0	H34 年度	継続
	担当課	部名	建設部	課名	建	設領	<b>管理課</b>	会計区分	ने	一般	事業区分		ソフ	<b></b>

16	事業名	市計	営駐車場修繕事業												
														の見	方向性 込み     手度比)
			i営駐車場を常に良好			H 30	2非常		制御盤個		· (D)	/#: <del>==</del>		H31 年度	継続
			ため、定期的に施設を 判定して修繕を実施っ		る。損	年度	3)施設	の修繕(	中央公園	駐里場I	IV設	(偏史新)	)	H32 年度	継続
														H33 年度	継続
							方向性 (対前年度比)	継続	事業費	12.0	うち 市負 (百万		2.0	H34 年度	継続
	担当課	部名	建設部	課名	建	設管	<b></b>	会計区分	}	一般	事	事業区分		ハー	ド
17	事業名	送	印用バスターミナル	管理证	軍営事	業									
														の見	方向性 込み 拝度比)
			マスロッ では できます できまる できない でんけい でんしょ でんしょ でんしょ でんしょ でんしょ でんしょ でんし はい でんし はい でんし はい			H 30	内容 ①用地	賃借料						H31 年度	継続
			営営を行う。	1 147	741)	年度								H32 年度	継続
										T T				H33 年度	継続
							方向性(対前年度比)	継続	事業費	20.4	うち市負		9.1	H34 年度	継続
	担当課	部名	建設部	課名		-	<b>管理課</b>	会計区分	}	一般	事	事業区分		ソフ	<u> </u>
耵	双 組	5-8-4	歩行者、自	転車利	用環	境(	か整備								
	t ** #														
18	事業名	自車	运車利用環境整備 	事業											
18	争耒石	自車	运車利用環境整備 	事業					や路線の軸					の見	方向性 込み    下度比)
18	目的	安全で快	R適な自転車の利用環	境を実現		H 30	内·市道》		一丁目玉					の見 (対前 <sup>4</sup> H31 年度	込み
18	目的	安全で快ることを目		境を実現			内·市道》	尺良宜西	一丁目玉					の見 (対前 <sup>4</sup> H31 年度 H32 年度	込み    東度比)
18	目的及び	安全で快ることを目	R 適な自転車の利用環 目的に自転車利用環境	境を実現		30 年	内·市道》 C=1	尺良宜西	一丁目玉					の見 (対前 <sup>4</sup> H31 年度 H32 年度 H33 年度	込み 車度比) 継続
18	目的及び	安全で快ることを目	R 適な自転車の利用環 目的に自転車利用環境	境を実現		30 年	内·市道》	尺良宜西	一丁目玉		うち市負		0.7	の見 (対前4 H31 年度 H32 年度 H33	込み (事度比) 継続 継続
18	目的及び	安全で快ることを目	登適な自転車の利用環 目的に自転車利用環境 整備を行う。 建設部	境を実現無常を開きます。	画に道	30 年度	内 ·市道》 C=1 方向性	尺良宜西	事業費(百万円)	島台線	(百万		0.7	の見 (対前4 H31 年度 H32 年度 H33 年度 H34	込み 車度比) 継続 継続 継続
	目的び概要	安全で快 ることを 基づいて <b>部名</b> 5-8-5	登適な自転車の利用環境 目的に自転車利用環境 整備を行う。 建設部 * 交通安全対	境を実現無常を開きます。	画に道	30 年度	内·市道》 C=1  方向性 (対前年度比)	尺良宜西 .5百万円 継続	事業費(百万円)	島台線	(百万	5円)	0.7	の見 (対前4 H31 年度 H32 年度 H33 年度 H34 年度	込み 車度比) 継続 継続 継続
	目的び概要担当課	安全で快 ることを 基づいて <b>部名</b> 5-8-5	登適な自転車の利用環 目的に自転車利用環境 整備を行う。 建設部	境を実現無常を開きます。	画に道	30 年度	内·市道》 C=1  方向性 (対前年度比)	尺良宜西 .5百万円 継続	事業費(百万円)	島台線	(百万	5円)	0.7	の見 (対前4 H31 年度 H32 年度 H33 年度 H34 年度	込み 車度比) 継続 継続 継続
取	目及概要担当課組名	安全で快ることを 基づいて <b>部名</b> 5-8-5 ⊙ 交減 交通事故	を適な自転車の利用環境 目的に自転車利用環境整備を行う。 建設部 * 交通安全対 重安全対策事業 なの撲滅や無秩序なめ が排除を図るため、幼稚	境を実践を 主整備計 は、かっく に 関・小いっと に 関・小いっと	画に 道 <b>推進</b> 達車・違校	30 年度 路 3	内 · 市 C = 1	尺良宜西.5百万円 継続 会計区分 安全教室	事業費(百万円)	島台線 1.5 一般	(百万	事業区分		の見 (対前4 H31 年 H32 年 H33 年 B H34 年 D M M M M M M M M M M M M M M M M M M	込み 車度比) 継続 継続 継続
取	目及概 担 報 業 目及	安全で快ることを 基づいて <b>部名</b> 5-8-5 ② 英駐車の 交法等で通安全	を適な自転車の利用環境的に自転車利用環境整備を行う。  建設部 <b>★ 交通安全</b> 重安全対策事業  なの撲滅や無秩序なめ	境を実践を強計・できるとと	画に 道 <b>進</b> 車・違校 もに、	30 年度 B30	内容	R良宜西 .5百万円 継続 会計区分 安全教室 重事故をプ	事業費(百万円)	島台線 1.5 一般	市推進	5円) 事業区分 追本部交		の見 (対 ) H31 年 132 年 133 年 日 34 年 8 の 別 (対 131 年 の 別 141 141 141 141 141 141 141 141 141 1	込みより と
取	目及概 担 報 書 目及概	安全で を全 で を を を を で を を を で が で 通 い で の で が で の で あ で の で あ で の ま で の の ま で の の ま の の の ま の の の ま の の の の の の の の の の の の の	最適な自転車の利用環境 目的に自転車利用環境 整備を行う。 建設部  ★ 交通安全対策事業  なの撲滅や無秩序なめ が通安全教室を実施して ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	境を実計 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	画に <b>進</b> ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ は で 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	30年度 路30年	内容 方向性 (対前年度比) ②「交交」 ②「交交」 ②「交交」 ③下ででする。 では、「内容」 では、「内容」 では、「内容」 のでは、「大容」 に、「大容」 のでは、「なななななななななななななななななななななななななななななななななななな	R良宜西 .5百万円 継続 会計区分 安全教室 重事故をプ	事業費(百万円)	島台線 1.5 一般	市推進	5円) 事業区分 追本部交		の 所 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明	込みより ・ は ・ は ・ は ・ は ・ は ・ は ・ は ・ は
取	目及概 担 報 書 目及概	安全とというでは、 一部を では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	を適な自転車の利用環境的に自転車利用環境整備を行う。  建設部  ** 交通安全対策事業  なの撲滅や無秩序なめが、対策を図るため、幼稚に通安全教室を実施して対し交付	境を実計 課名 「策のす」 に関するを「知いない」 に関するを「知いない」 に関するを「知いない」 に関するという。	画に <b>進</b> <b>進校</b> ・違校、頭へ 正耳	30年度 路30年	内容 方前 (対 通 大 方前 に で で で で で で で で で で で で で	尺良宜西円.5百百円 継続 会計区分 安事 百高助五 5.市補の百 0.0百円	事業費(百万円) 実施でまる。	島台線 1.5 一般	<b>(百万</b> 事	<b>5円)</b> <b>事業区分</b> 進本部交 支援		の 所 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明	込みより ・ は と は と は と は と は と は と は と は と は と は
取	目及概 担 報 書 目及概	安全といって <b>お 5-8-5</b> <b> </b>	最適な自転車の利用環境 目的に自転車利用環境 整備を行う。 建設部  ★ 交通安全対 重安全対策事業  なの撲滅や無秩序なめ が通安全教室を実施して が通安全教室を実施して対し交付 齢者の自転車乗用中の 重大事故から身を守る	境を実計 課名 「策のす」 に関するを「知いない」 に関するを「知いない」 に関するを「知いない」 に関するという。	画 <b>進</b> 車学にす よ耳す よ 違校、 頭へ。	30 年度 H 30 年度	内容 方向性 (対前年度比) ②「交交」 ②「交交」 ②「交交」 ③下ででする。 では、「内容」 ・「内容」 ・「大変 ・「大変」 ・「大変」 ・「大変 ・「大変」 ・「大変 ・「大変 ・「大変 ・「大変」 ・「大変 ・「大変」 ・「大変」 ・「大変」 ・「大変 ・「大変」 ・「大変」 ・「大変」 ・「大変」 ・「大変 ・「大変」 ・「大変 ・「大変」 ・「大変 ・「 ・「 ・「 ・「 ・「 ・「 ・「 ・「 ・「 ・「	R良宜西円.5百万円 継続 会計区分 安事 百高助五万 円名 0.0 百高助五万円名	事業円) をおります 事業 のます 事業 のます 事業 のます 事業 のます 事業 のまま のまま のまま のまま のまま のまま のまま のまま のまま のま	島台線 1.5 一般	市推進	<b>事業区分</b> 基本部交 支援		の 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明	込みより ・ 大

00	事業名	◎ 下;											
20	尹未石	◎ 少1	1000世未										
				市道において			① 棒 咻	1年74年	投工事 C	11 0 =	5 <del>5</del> 111	の見	)方向性 見込み 年度比)
	目的		の安全確保やバリアス 、通学路になっている			H 30		路カラー	·舗装 C		<b>百万円</b>	H31 年度	継続
	及び 概要		備するとともに、歩道の			年度						H32 年度	継続
									古光弗		24 + 6 + 6 + 0	H33 年度 H34	継続
							方向性 (対前年度比)	継続	事業費	16.7	うち市負担分 (百万円) 16.7	年度	継続
	担当課	部名	建設部	課名	道	路3	を通課	会計区	分	一般	事業区分	ハー	ド
21	事業名	◎ 交近	通安全施設整備事	業									
				の見	)方向性 見込み 年度比)								
	日的	管理道路	全性向上を図るため、 において安全施設(カ	<b>リーブミ</b>	ラー、	H 30	<b>内</b> ①交通	安全施設	投整備事業	色		H31 年度	継続
	概要	横断防止備する。	柵、ガードレール、車	止め等)	を整	年度						H32 年度	継続
										Г		H33 年度	継続
							方向性 (対前年度比)	継続	事業費	55.0	うち市負担分 (百万円) 55.0	H34 年度	継続
	担当課	部名	建設部	課名	道	路3	を通課	会計区	分	一般	事業区分	ハー	ド
22	事業名	◎ 交近	鱼安全施設維持管	理事業	<b>Ě</b>								
		古道及び	市管理道路において	設置され	1.てい			安全施記				の見	)方向性 !込み 年度比)
		る道路の	安全施設(カーブミラー 維持管理を行うとともに	一、横断防止	防止	30	容 ②交通					H31 年度	継続
	概要	査し、道路	格改良工事における資	料として	で活用	年度	C=1.	9百万円				H32 年度	継続
		7.00										H33 年度	継続
							方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	18.9	うち市負担分 (百万円) 18.9	H34 年度	継続
	担当課	部名	建設部	課名	道	路2	を通課	会計区	分	一般	事業区分	ハー	ド
23	事業名	放置	置自転車等対策事	業									
			の美観の保持と歩行き				. 0 10 44		動・保管の数件			の見(対前:	)方向性 見込み 年度比)
	目的 及び 概要	メートルの	ため、市内各駅からお )範囲を放置禁止区域 転車・ミニバイクを定期 行う。	置され	H 30 年度	内(2)保管容	事務所の	∕ਾ <b>ਤ</b> ੇ⊮			H31 年度 H32 年度	継続継続	
		-71 /KC										H33 年度	継続
							方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	36.1	うち市負担分 (百万円) 31.7	<b>□34</b>	継続
	担当課	部名	建設部	課名	建	設領	<b>学理課</b>	会計区	分	一般	事業区分	ソフ	<u> </u>
	二二四杯	HI-,TH	선물 남자 되나	11° A11	Æ	HV.	→ T.H/K	A1167	, ,	川人	4.本匠刀	//	1

# 3 過去の実施計画期間中で完了・廃止した事業(担当部課名は事業実施最終年度の名称)

耵	又 組	5-8-2	2	★ 道路整備の											
E1	事業名	3 茨木松ヶ本線竣工式典の開催(H29年度事業完了)													
	目的 及び 概要	及び													
	担当課	課 部名         建設部         課名         道路交通課         会計区分         一般         事業区分         ソフト													
耵	又 組	5-8-2	)	★ 道路整備の	推進										
E2	事業名	茨フ	木杉	公ケ本線整備事	業(平	成29年度事業完了	<b>(</b> )								
						め、平成29年度末の完 拡幅・改良工事を実施		、府道大阪高槻京	都線(松ケス	本町)から東中条					
	担当課	部名		建設部	課名	道路交通課	会計区分	一般	事業区分	ハード					

まちの将来像	5	都市活力がみなぎる便利で快適なまち												
施策	5-9	市民・民間によるまちづくりを促進する												
施策の 方向性	進に努る	らづくりに関する知識の普及、情報の提供、まちづくり活動への支援を継続して進め、住民主体のまちづくりの促 に努めるだけでなく、民間事業者と協力して進める新しいまちづくりについても検討、推進し、本市の魅力と活力 発信していきます。												
	1	民間との連携、活力の活用												
	2	市民による地域づくり												
取 組	3													
★:重点プラン	4													
該当取組	5													
	6													
	7													

		7	7																
2																			
取組 5-9-1 民間との連携、活力の活																			
1	事業名	【再	揭)	阪急茨木市駅	西口馬	沢前周	辺整備事業												
	目的及び概要	市の玄関口である西口駅前周辺において、 交通結節点の機能強化とともに、多くの市民 が集える空間として、活性化を図り、魅力ある まちづくりの実現を図る。 【関連取組:5-6-2 魅力ある中心市街地・駅 周辺の整備】					H 30 年度		1測量 2基本 3関係 4事業 5東口原	事業基本計画 2,297万円  量業務(駅前広場・道路・駅前ビル) 5本設計作成(駅前広場・交差点等)  係機関との協議 5業採択時評価 「口周辺のあり方検討				-	事業の方向 の見込み (対前年度) H31 年度 H32 年度 H33 年度				
									方向性 <sup>対前年度比)</sup>	継続		事業費 5万円)	(23)		市負担分	(18	.7)	H34 年度	継続
	担当課	部名		都市整備部	課名	市征	街地	新	往課	会計区	分		一般		事業区	分		ハー	ド
2	事業名	【再	掲]	JR総持寺駅整	備事業	<b>Ě</b>													
	目的及び要	平成30年春、JR京都線摂津富田・茨木間に新駅設置と周辺整備を行うことで、交通利便性の向上と都市機能の充実・強化を図る。 【関連取組:5-6-3 (仮称)JR総持寺駅を活かした都市づくり】						卢容	械等設				·地等用		心理、通	信機	- -	の見 (対前4 H31 年度 H32 年度 H33 年度	方向性 込み 拝度比) - -
									方向性 対前年度比)	完了		事業費 写万円)	(145.6)		市負担分 万円)	(94	.1)	H34 年度	-
	担当課	部名		都市整備部	課名	市	街地	新	<b>「生課</b>	会計区	分		一般		事業区	分		ハー	ド
3	事業名	【再	掲】	バリアフリー化	推進事	事業()	ノフ	ト)	)										
	及び概要	高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律(バリアフリー法)に基づき、旅客施設や病院、福祉施設など高齢者や障害者等が利用する施設が集まった地区(重点整備地区)のバリアフリー化を重点的かつ一体的に推進する。 【関連取組:5-7-2 誰にも優しいまちづくりの推進】					H 30 年度	_	<b>う</b> ①バリン理	アフリー	基本	体構想に	こ基づい	たほ	取組の道	<b>生行</b>	· ************************************	の見	方向性 込み 拝度比) 継続 継続 継続
		_							方向性 対前年度比)	継続		事業費 写万円)	(0)		市負担分 万円)		(0)	H34 年度	継続
	担当課	部名		建設部	課名	道	路	交ì	通課	会計区	分		一般		事業区	分		ソフ	<b></b>

4	事業名	【再	掲】バリアフリー化	推進事	事業(ノ	. / _	-ド)							
	目的	づき、重ん	リー基本構想及び特定事 点整備地区の道路、歩う フリー化に取り組む。	道、施設なる		H 30		関連経路 ?前一丁	目学園南紀	象ほか			の見	方向性 .込み 年度比) 継続
	及び 概要		組:5-7-2 誰にも優しい		づくりの	年度	<ul><li>総合</li></ul>	案内表示.0百万円	表示板					継続
							方向性 (対前年度比)	継続	事業費(百万円)	(22.7)	うち市負担分 (百万円)	(12.3)	年度 H34 年度	継続継続
	担当課	部名	建設部	課名	道	[路3	泛通課	会計区	分	一般	事業区	分	ハー	ド
5	事業名	【再	掲】JR総持寺駅周	辺整値	<b>備事業</b>				·					
	目及概的び要	れることを と都市機	関連富田・茨木間に発送では、利用者の交通を 対している。 での充実・強化を図る。 での整備を行う。	利便性の	の向上	H 30 年	内 容 C=2 ③公明	16.5百万 诗寺駅前 61.9百万	線				の見 (対前 <sup>4</sup> H31 年度 H32	方向性 込み 手度比) 継続 完了
	1712	【関連取	組:5-8-2 道路整備の	推進】		度	C=	10.0百万	`円				年度 H33	-
						方向性 (対前年度比)	継続	事業費(百万円)	(488.4)	うち市負担分 (百万円)	(227)	年度 H34 年度	_	
	担当課	部名	建設部	課名	道	[路3	<b>交通課</b>	会計区	分	一般	事業区	分	ハード	
6	事業名	エリ	アマネジメント推進	<b>É検討</b>	事業			1						
	目的及び	業者・地た将来の	「地や新たな開発におし 権者等の地域の担い手 維持管理や運営(マネ でる取組を推進する。	手が主体	はとなっ	H 30			ほく の連携・協				の見	方向性、込み、手度比)
	概要	や市街地	組:5-4-1 計画的な都 2整備】 組:5-7-1 環境負荷の	整備	年度							H32 年度 H33 年度	継続継続	
				PENION			方向性 (対前年度比)	継続	事業費	0.0	うち市負担分 (百万円)	0.0	H34 年度	継続
	担当課	部名	都市整備部	課名	都	市政	文策課	会計区		一般	事業区	分	ソフ	<u>-</u>
7	事業名	【再	掲】地域でのまちつ	づくり扌	上 進事	業								
		本日 必ず	ちづくり活動等に参加	ナフセ	ーツハナ		<b>d</b> (1) 1/2	<b>ご</b> らきまち	づくりラボ	の開催			の見 (対前 <sup>4</sup>	方向性 ,込み       実度比)
	目的及び概要		意識啓発のための事業		H 30 年		づくり塾( E学習出i	の開催 前講座の9	実施			H31 年度 H32	継続	
	概要	【関連取組:5-9-2 市民による地域づくり】											年度 H33	継続継続
							方向性(対前年度比)	継続	事業費	(0.5)	うち市負担分 (百万円)	(0.5)	年度 H34 年度	継続
	担当課	部名	都市整備部	課名	都	市政	文策課	会計区		一般	事業区	分	半度 ソフ	

8	事業名	【再	掲】幹線道路沿道	土地和	刊用事	業									
		て、地権	B道路沿道の市街化調 者等とともに幹線沿道 Bを進め、地域のにぎれ	にふされ	っしい			別事業	化支援	잘			の見	方向性 込み 拝度比)	
	目的 及び	性化を図		, , ,	УСІЦ	30	容①関係	5 【目垣地区】 ■ ①関係機関協議							
		【関連取得のおります。	組:5-4-1 計画的な都 !整備】	『市基盤	整備	年度		「計画変 也区画整					H32 年度	継続	
		【関連取り】	組:5-9-1 民間との連	携、活っ	りづく			,					H33 年度	継続	
		_					方向性 (対前年度比)	継続	事業		うち市負担分	(110)	H34 年度	継続	
	担当課	部名	都市整備部	課名	都	市項	<b>汝</b> 策課	会計区	分	一般	事業区	分	ソフ	<b>F</b>	
9	事業名	【再	掲】低炭素都市づ	€											
		づくりを仮 スタイルを	コミュニティの考え方をご 足進するなど、環境にや と実現し、低炭素都市・	ライフ				ュニティ	イの考え方をシ	導入した都	市づく	の見	方向性 込み 拝度比)		
		いきます。 また、東芝工場跡地でのスマートコミュニティ					内 りの促 ②東芝		地での	)スマートコミ:	ュニティ事業	美に関	H31 年度	継続	
	概要		化に向け協議を行って	年度	する協	する協議									
		や市街地	VIII -		整備								H33 年度	継続	
		【関連取為	組:5-7-1 環境負荷の	)			方向性 (対前年度比)	継続	事業 (百万		うち市負担分 (百万円)	(0)	H34 年度	継続	
	担当課	部名	都市整備部	課名	都	市項	汝策課	会計区	分	一般	事業区	分	ソフ	<b>-</b>	
10	事業名	【再	掲】都市計画決定	等事務	务事業										
		ら、都市	・関係機関と協議・調整 計画決定・変更を行う。									方向性 込み ‡度比)			
	目的	立地誘導		H 30	内容①都市	5計画決	定等				H31 年度	継続			
		や市街地			年度				H32 年度	継続					
		地利用の			:物・土								H33 年度	継続	
			組:5-7-1 環境負荷の 組:5-7-4 都市計画施		直し】		方向性 (対前年度比)	継続	事業		うち市負担分 (百万円)	(1.2)	H34 年度	継続	
	担当課	部名	都市整備部	課名	都	市項	<b>女</b> 策課	会計区	分	一般	事業区	分	ソフ	<b>,</b>	
11	事業名	【再	掲】立地適正化計	画策定	定事業				·		·	·			
		づくりを指 の実現に	「マスタープランで掲げ 主進し、活力維持と持総 に向け、改正都市再生特 地適正化計画の策定を	売可能な 寺別措置	都市										
	目的 及び		<sup>迅</sup> 過二七計画の床と 組:5-4-1 計画的な都		:整借	H 30	内 ②立均	リックコァ 地適正化					H31 年度	継続	
	概要	や市街地	阻.5 4 1 日 回 日がよ相 1整備】 組:5-6-1 生活を支え			年度							H32 年度	継続	
		備•充実	(拠点の配置とネットワ	一クの斜	推持)】									継続	
		【関連取組:5-6-2 魅力ある中心市街地・駅 周辺の整備】									(2.3)	H34 年度	_		
	担当課	部名	都市整備部	課名	都	市連	汝策課	会計区	分	一般	事業区	分	ソフ	<b>F</b>	

12	事業名	【再		<b>通戦</b>	各事業	<u> </u>									
	7 11 2		さわしい交通のあり方					①計画		の見	方向性 込み 拝度比)				
	目的 及び	け、市民	、交通事業者、関係機協働により、計画的に変	関など	多様な	H 30 年	内容	③短期	(概ね5	年)で実施	回した施領	中期施策の 策を検証す 中間検証を	るととも	H31 年度 H32	臨時 拡充
	껪安		組:5-8-1 公共交通の	)維持・3	充実】	度		必要に	応じて計画を見直す。						継続継続
							方向性 対前年度比)	臨時 拡充	事業費 (百万円)	(9)	うち市負担分 (百万円)	(9)	年度 H34 年度	-	
	担当課	建 部名 建設部 課名 道					交迫	通課	会計区	分	一般	事業区	5分	ソフ	<b></b>
13	事業名	【再	掲】ダム周辺整備	事業											
			水効果発現を目指し <sup>*</sup> において、ダム完成後			н	内	②安威	川ダム原	とのヒアリン 周辺整備基		とりまとめ		の見	方向性 込み 手度比)
	目的 及び		つながる整備を実施す		30 年	容	3事業	者公募	開始				年度 H32	継続	
	114.55	【関連取組:5-6-4 北部地域の魅力向上】												年度 H33 年度	継続
								方向性 対前年度比)	継続	事業費	(36.5)	うち市負担分	(21.4)	1124	_
	担当課	<b>当課 部名</b> 都市整備部 <b>課名</b> 北部				整例	前拍	推進課	会計区	分	一般	事業区	公分	ハー	ド
14	事業名	【再	掲】彩都建設推進	事業	L			•							
		木·箕面 済団体、	性化・発展に向けて、 市、都市再生機構、民 大学、研究機関、公益	者、経 どの産				の設置					の見	方向性 込み 拝度比)	
	目的 及び	学官が連携して、魅力と活力ある複合機能都市「彩都」の形成に取り組む。 【関連取組:5-2-3 特区制度などを活用した企業立地】						③(東部		先行エリア 残りのエリ		推進 終化に向ける	た取り	H31 年度	継続
								組み			H32 年度	継続			
		【関連取	祖:5-4-2 彩都の都市 組:5-9-1 民間との連											H33 年度	継続
		用】						方向性 <sup>打前年度比)</sup>	継続	事業費 (百万円)	(2.2)	うち市負担分 (百万円)	(2.2)	H34 年度	継続
	担当課	部名	都市整備部	課名		整例	備拍	推進課	会計区	分	一般	事業区	分	ソフ	F
15	事業名	【再	掲】北部魅力アップ	プ事業											
		境、現在事	地域にある緑豊かな自然 耳業推進している安威川∮ 彡都の大規模プロジェクト・	ゴム、新名	3神高	н	内	(資源や	り向上事業 や人、組織との連携強化と対話の推進、プロ						方向性 込み 手度比)
	目的 及び 概要	なぐとともい部地域の別	がいくができる。 と、地域課題や地域のあり 魅力向上を図るための検り 本とともに進める。	り方も踏っ	まえ、北	30 年度	容	・新名礼	ーション展開) 「名神開通イベントの実施 いばきた フォトサイクリングの実施					H31 年度 H32 年度	継続継続
			1:5-9-1 民間との連携、	活力の活	5月】									H33 年度	継続
								方向性 <sup>計前年度比)</sup>	継続	事業費 (百万円)	(2)	うち市負担分 (百万円)	(2)	H34 年度	-
	担当課	部名	都市整備部	課名	北部	整例	- 備打	進課	会計区	分	一般	事業区	5分	ソフ	 ト

16	事業名	【再	揭】茨木市中心市	街地沿	舌性化	事	業							
		地活性化 心市街地	が現場では、1世代を図るために関する法律」に基づれた。 1世代を表す計画」を発える。 プラン	うく「茨オ 食定する	市中						·協議調整	き!ァ	の見	方向性 込み F度比)
	目的	ている多	₿市計画マスタープラン 核ネットワーク型都市様 ī拠点としての機能配置	構造の実	₹現に	H 30	内けた	計画書の			ント・認定申	前(こ	H31 年度	継続
	及び 概要	のとする。		十画的な	都市	年度	②推進	74年市リワノ44	<b>正</b> √□円(,	) た朝登			H32 年度	継続
		生活を支	える拠点の整備・充実 一クの維持)】 【関連Ⅰ	(拠点の	)配置								H33 年度	継続
			中心市街地・駅周辺の				方向性 (対前年度比)	継続	事業費	(0)	うち市負担分 (百万円)	(0)	H34 年度	継続
	担当課	部名	都市整備部	課名	市往	封地	新生課	会計区分	分	一般	事業区分	ने	ソフ	<b>-</b>
17	事業名	【再	掲】JR茨木駅西口	駅前月	司辺整	備	事業							
			コーである西ロ駅前周 5点の機能強化とともに					1. 1 1 12 1 . 2 .	定等 1,48	8万円			の見 (対前 <sup>4</sup>	方向性 込み F度比)
		が集える	空間として、活性化を )の実現を図る。	図り、魅	力ある	H 30 左	容 2公共	づくり協議 施設・施記 幾関協議	设建築物	基本計画	Ĭ		H31 年度	継続
	概要	【関連取	組:5-6-2 魅力ある中	心市街	地·駅	年度	3 関係和	幾) (景) (協議	Š				H32 年度	継続
		周辺の整	·備】				+ <b>-</b> + + + + + + + + + + + + + + + + + + +		<b>車業弗</b>		<b>&gt;+ + 4.4</b> (1)		H33 年度 H34	継続
							方向性(対前年度比)	継続	事業費	(14.9)	(日万円)	(11.3)	年度	継続
	担当課	部名	都市整備部	課名			新生課	会計区分	<del>चि</del>	一般	事業区分	र्ग	ハー	ド
18	事業名	【再	掲】JR茨木駅構内	]エスナ	1レーク	<b>y</b> —	整備事業	<b>\begin{align*}</b>						
		の玄関ロ創出を図	R利用者の利便性向上 としてのイメージアッフ るため、駅構内におけ	プやにぎ るエスフ	わい bレー	ш	<b>内</b> ①駅構	内ェスカ	1レーター!	整備負お	旦金 1億4,24	1075		方向性 込み F度比)
	及び		等を行うとともに、本事	(業により	の暫定	Н				TE MII > < 1-		10/5	年度	_
	概要		っている東口駅前広場 びに駅前広場の交差。	上部デ	ッキ庇	30 年 度	容円	. 1—> 1					H32 年度	-
	做安	部分なら 【関連取済	っている東ロ駅前広場 びに駅前広場の交差 <i>。</i> 組:5-6-2 魅力ある中	景上部デ 点整備を	ツキ庇と行う。	年	谷円						H32	
	做安	部分なら	っている東ロ駅前広場 びに駅前広場の交差 <i>。</i> 組:5-6-2 魅力ある中	景上部デ 点整備を	ツキ庇と行う。	年	方向性(対前年度比)	完了	事業費(百万円)	(142.4)	うち市負担分 (百万円)	(72)	H32 年度 H33	-
	担当課	部分なら 【関連取 周辺の整 部名	っている東口駅前広場 びに駅前広場の交差, 組:5-6-2 魅力ある中 発備】 都市整備部	上部デ点整備を心市街	で を行う。 地・駅	年度	方向性		(百万円)	(142.4) 一般			H32 年度 H33 年度 H34	-
19		部分なら 【関連取 周辺の整 部名	っている東口駅前広場 びに駅前広場の交差, 組:5-6-2 魅力ある中 6備】	上部デ点整備を心市街	で を行う。 地・駅	年度	方向性(対前年度比)	完了	(百万円)		(百万円)		H32 年度 H33 年度 H34 年度	-
19	担当課	部分なら 【関連取測 <b>部名</b> 【再 開発細行い 導を打り	っている東口駅前広場 びに駅前広場の交差が 組:5-6-2 魅力ある中 発備】 都市整備部 「 、道路位置指定、建築 路計画及び生活道路 と 、基準に基づき用地費	是上部デ点整備を 有事 事業 等 等 等 等 が に 事 が に り に り に り に り に り に り に り に り に り に	シキ庇 ・行う。 地・駅 市 お指等の	年度	方向性 (対前年度比) 新生課	完了 会計区5	32.3百万	一般	(百万円)		H32 年度 H33 年度 H34 年度 へ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	方向性
19	担当課事業名目的び	部分なら 【関連取測 <b>部名</b> 【再 開発細行い 導を打り	っている東ロ駅前広場 びに駅前広場の交差が 組:5-6-2 魅力ある中 係 都市整備部 掲】細街路等整備 「、道路位置指定、建 路計画及び生活道路	是上部デ点整備を 有事 事業 等 等 等 等 が に 事 が に り に り に り に り に り に り に り に り に り に	シキ庇 ・行う。 地・駅 市 お指等の	年度	方向性 (対前年度比) 新生課 ①用地偏 ②整備	完了 会計区5	( <b>百万円</b> ) 分 32.3百万 20.7百万	一般	(百万円)		H32 年度 H33 年度 H34 年度 へ)	方向性経続継続
19	担当課事業名目的	部分なら 関連のの 整	っている東口駅前広場 びに駅前広場の交差が 組:5-6-2 魅力ある中 発備】 都市整備部 「掲】細街路等整備 「、道路位置指定、建築 路計画及び生活道路連 に基準に基づき用地費 い整備を進め、良好な 組:5-4-3 適切な開発 誘導】	引上部備を は整本市 は 事業 に 事業 に 等でである。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	シキ ・	年 <b>度</b>	方向性 (対前年度比) 新生課 ①用地偏 ②整備	完了 <b>会計区 会計区 统 禁 </b>	( <b>百万円</b> ) 分 32.3百万 20.7百万	一般	(百万円)		H32 年 日 日 日 日 日 日 33 年 日 日 34 年 年 の 前 14 年 り 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -
19	担当課事業名目的び	部分なら 関連のの 整	っている東口駅前広場 びに駅前広場の交差が 組:5-6-2 魅力ある中 発備】 都市整備部 「掲】細街路等整備 「、道路位置指定、建築 路計画及び生活道路整 に基準に基づき用地費 い整備を進め、良好な 組:5-4-3 適切な開発	引上部備を は整本市 は 事業 に 事業 に 等でである。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	シキ ・	年度	方向性 (対前年度比) 新生課 ① ② 公 ② ③ 公 方向性	完了 会計区5 購入費( 補助金( 5(1.2百万	( <b>百万円</b> ) (32.3百万 (20.7百万 万円)	一般 一般 円) 円)	事業区分	it i	H32 年 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -
19	担当課事業名目的び	部分なら 関連のの 整	っている東口駅前広場 びに駅前広場の交差が 組:5-6-2 魅力ある中 発備】 都市整備部 「掲】細街路等整備 「、道路位置指定、建築 路計画及び生活道路連 に基準に基づき用地費 い整備を進め、良好な 組:5-4-3 適切な開発 誘導】	引上部備を は整本市 は 事業 に 事業 に 等でである。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	が か か か ・ 歌 市 が お が ず が が が の の の の の の の の の の の の の	年度 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	方向性 (対前年度比) 新生課 ① 果 地 (② ② 公 (3) 公 (3) 公 (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4)	完了 <b>会計区 会計区 统 禁 </b>	(百万円) (32.3百万 (20.7百万 万円) 事業費 (百万円)	一般	事業区分	(54.2)	H32 年 日 33 年 34 年 4年 イ イ イ イ イ イ イ イ イ イ イ イ イ イ イ イ イ	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -

20	事業名	【再	掲】福祉のまちづく	くり事業	<b>美</b>									
		会に参画	Ρ障害者が、安全で気軸 近、自らの意思で自由 5施設のうち大阪府福名	に行動	できる		<b>内</b> ①東前	切送書の	<b>严</b> 領• <b></b>	本品で	完了届出書	せの家	の見	方向性 込み 手度比)
	目的 及び	条例に基	づく基準適合努力義和			30 75	容 査(0.0		文帜 番	重及い	化 ] 畑山首	TVJ省	年度	継続
	概要		、事前協議を行う。			年度							H32 年度	継続
		【関連取為推進】	組:5-7-2 誰にも優しい	ハまちつ	うくりの								H33 年度	継続
							方向性 (対前年度比)		事業費 (百万円)	(0)	うち市負担分 (百万円)	(0)	H34 年度	継続
	担当課	部名	都市整備部	課名	審	查技	旨導課	会計区分		一般	事業区	分	ソフ	<b>F</b>
21	事業名	【再	掲】次なる茨木・グ	ランド	デザイ	イン	推進事業							
		「次なる対	f地におけるまちの将来 対木・グランドデザイン」 ○多様な主体と共有・発	を示し、	多く		0.11.24	とのワーク					の見	方向性 込み 拝度比)
	目的 及び	,,	^。 組:5-4-1 計画的な都	:整備	30	容 ③まち	家の助言 づくりの担	い手との	意見交	煥		H31 年度	継続	
	概要	や市街地			年度	4)産官	学民の連	携				H32 年度	継続	
		備·充実	(拠点の配置とネットワー 組:5-6-2 魅力ある中。	挂持)】								H33 年度	継続	
		周辺の整					方向性 (対前年度比)		事業費	(0.4)	うち市負担分 (百万円)	(0.4)	H34 年度	継続
	担当課	部名	都市整備部	課名	都	市項	<b>汝</b> 策課	会計区分		一般	事業区	分	ソフ	F
耳	双組	5-9-2	市民によるは	地域で	うくり									
22	事業名	地均	或でのまちづくり推	進事業	É									
		丰田松子	ナベノルエ利な)ァ仝hn	十フキ。	- 3.14			ስ ታብታ /	<b>ヾノ</b> ハニ・ギィ	の間/宏			の見	方向性 込み 拝度比)
	目的		ちづくり活動等に参加 意識啓発のための事業	,		H 30	7 ②まち	らきまちて づくり塾の 学習出前	開催				H31 年度	継続
	及び 概要		組:5-9-1 民間との連	りの活	年度	②生涯	子首田則	神)坐り)ヲ	<b></b>			H32 年度	継続	
		用】											H33 年度	継続
			,				方向性 (対前年度比)		事業費 (百万円)	0.4	うち市負担分 (百万円)	0.4	H34 年度	継続
	担当課	部名	都市整備部	課名	都	市項	<b>汝</b> 策課	会計区分		一般	事業区	分	ソフ	<b>١</b>

# 3 過去の実施計画期間中で完了・廃止した事業(担当部課名は事業実施最終年度の名称)

耳	文 組	5-9-1	【 再掲】中心市街地活性化支援補助事業(H29年度事業完了)  心市街地の活性化を図るため、市民等によるまちづくり活動に対して、提案公募型公益活動支援事業(自由テーマ型業)での補助により対応を図った。  別連取組:5-9-2 市民による地域づくり】  おれる 都市整備部 課名 都市政策課 会計区分 一般 事業区分 ソフト  5-9-2 市民による地域づくり													
E1	事業名	【再	掲】	中心市街地活	性化ラ	支援補助事業(H29	年度事業	<b></b> (完了)								
	目的 及び 概要	中心市街地の活性化を図るため、市民等によるまちづくり活動に対して、提案公募型公益活動支援事業(自由テーマ型事業)での補助により対応を図った。 【関連取組:5-9-2 市民による地域づくり】 <b>部名</b> 都市整備部 <b>課名</b> 都市政策課 <b>会計区分</b> 一般 <b>事業区分</b> ソフト														
	担当課	部名         都市整備部         課名         都市政策課         会計区分         一般         事業区分         ソフト														
耳	文 組	5-9-2		市民による	地域で	<b></b> うくり										
E2	事業名	中心	<b>小市</b>	<b></b> 街地活性化支	援補與	助事業(H29年度事	業完了)									
	目的 及び 概要	事業)での	の補	の活性化を図るた& 助により対応を図っ 5-9-1 民間との連:	った。	等によるまちづくり活動 力の活用】	かに対して、	提案公募型公益活	舌動支援事	業(自由テーマ型						
	担当課	部名		都市整備部	課名	都市政策課	会計区分	一般	事業区分	ソフト						

# 【まちの将来像6】

心がけから行動へ みんなで創る環境にやさしいまち

まちの将来像	6	心がけから行動へ みんなで創る環境にやさしいまち
施策	6-1	いごこちの良い生活環境をたもつ
施策の 方向性	整備に。	、環境等の環境監視による環境の把握に努めるとともに、事業者に対する指導や公共下水道・公設浄化槽のよる環境の保全対策を進めます。また、環境美化などについての意識啓発を進め、市民一人ひとりのマナー、、いごこちの良い生活環境を保ちます。
	1	健康に過ごすことができる生活環境の保全
	2	新たな環境課題への対応
取 組	3	快適環境の保全
★:重点プラン	4	
該当取組	5	
	6	
	7	

#### 2 実施計画 ★:重点プラン該当取組、◎重点プラン該当事業 健康に過ごすことができる生活環境の保全 取 組 6-1-1 大気汚染防止法等関連事務事業 事業名 事業の方向性 の見込み (対前年度比) ①届出の受理及び審査 工場・事業場の事業活動や建築物の解体等 内 H31 Н ②立入調査 継続 目的 に伴うばい煙、揮発性有機化合物及び粉じ 容 年度 30 及び ③特定粉じん等測定業務委託 んの排出を規制する等により、市民の健康を 年 H32 概要 継続 度 保護するとともに生活環境を保全する。 年度 H33 継続 年度 事業費 方向性 うち市負担分 H34 継続 0.8 継続 (百万円) 年度 (対前年度比) (百万円) 担当課 部名 産業環境部 課名 環境政策課 会計区分 事業区分 ソフト 一般 事業名 水質汚濁防止法等関連事務事業 事業の方向性 の見込み (対前年度比) ①届出の受理及び審査 工場・事業場からの排出水及び地下浸透水 ②立入調査 内 H31 Н ③排水測定 について規制を行なうほか、生活排水対策を 継続 目的 年度 30 講じる等により、公共用水域及び地下水の水 ④指導·助言 及び 年 H32 概要 質の汚濁の防止を図り、もって市民の健康を ⑤検査用機器の購入 継続 度 年度 保護するとともに生活環境を保全する。 H33 継続 年度 事業費 H34 方向性 (対前年度比) うち市負担分 継続 2.7 2.7 継続 (百万円) 年度 (百万円) 担当課 部名 産業環境部 課名 環境政策課 会計区分 一般 事業区分 ソフト 下水道施設(管渠)改良事業(ハード) 事業名 事業の方向性 の見込み (対前年度比) 老朽化した管渠等の損傷による機能停止及 内①計画に基づく改築更新 H31 Н 継続 目的 び事故発生を未然に防ぐため、長寿命化計 容【長寿命化計画】(10,500万円) 年度 30 画及びストックマネジメント計画に基づき対策 年度 H32 継続 工事を実施する。 年度 継続 年度 事業費 うち市負担分 H34 方向性 (対前年度比) 継続 105.0 0.0継続 (百万円) (百万円) 年度 担当課 建設部 課名 下水道施設課 ハード 部名 会計区分 下水企業 事業区分

4	事業名	下力	k道施設(管渠)改	良事業	業(ソフ	(イ										
			た管渠等の損傷による												の見	方向性 込み 拝度比)
		全体の今	き生を未然に防ぐため、 ・後の老朽化の進展状	況を考り	慮し、リ	H 30	内容	②SM計 (18,954		ど(調査・点	(検含む)	1			H31 年度	継続
			等による優先順位付け との点検・調査、修繕・3			年度		(10,55	I     1/						H32 年度	継続
			‼の最適化を図るための ├画(以下、SM計画)を			12									H33 年度	継続
								<b>方向性</b> 前年度比)	拡充	事業費 (百万円)	19.0	うち市負担		5.7	H34 年度	継続
	担当課	部名	建設部	課名	下	水道	施詞	没課	会計区	分 下	水企業	事	業区分	<b>}</b>	ソフ	<b>F</b>
5	事業名	下力	k道施設(ポンプ場	<del> </del> )改良	事業	(ハ	—	ド)				·				
								①計画	に甘べ	<機械・電	<b>与</b> 乳借4	なの画弁	一十	r	の見	方向性 込み ∓度比)
	目的 及び	つため、	、道ポンプ場の適正な道 長寿命化計画及びスト	ックマネ	ベジメン	H 30 年	内容		心計画	(大池ポ)			上尹	r	H31 年度	継続
	概要	ト計画に	基づき、対策工事を実	施する。		度									H32 年度	継続
												Γ			H33 年度	継続
								方向性 <sup>前年度比)</sup>	継続	事業費	793.0	うち市負担		357.0	H34 年度	継続
	担当課	部名	建設部	下	水道	施詞	<b>没課</b>	会計区	分下	水企業	事	業区分	<del>}</del>	ハー	ド	
6	事業名	下力	k道施設(ポンプ場	引改良	事業	(ソ)	フト	.)								
								①調杏	• 点畚等	筝(中央P)					の見	方向性 込み 拝度比)
	目的 及び	つため、	く道ポンプ場の適正な過点検調査を実施し、電	気・機械	战設備	H 30	内容	(2,591)		1 (1)(1)					H31 年度	継続
	概要	の更新計る。	画等を定めた「SM計	画」を第	定す	年度									H32 年度	継続
															H33 年度	継続
								方向性 前年度比)	新規	事業費 (百万円)	25.9	うち市負担		15.5	H34 年度	継続
	担当課	部名	建設部	下	水道	施詞	<b>没課</b>	会計区	分下	水企業	事	業区分	<del>}</del>	ソフ	ŀ	
7	事業名	公共	共下水道整備事業	.)												
		小井田木	(域の水質保全、浸水質	古怪 水	ルル			①整備	丁重费						の見	方向性 込み 拝度比)
		による公	、域の水質床主、侵水原 衆衛生の向上に資する E備を進める。			H 30 年	内容	②測量		担金					H31 年度	継続
		公共下水	《道計画区域内におけ 進を図る。	る下水泊	首施設	年度									H32 年度 H33	継続
								- <del>-</del> -	1	車業弗		3+ ± 4.1	1/2		年度 H34	継続
			<u> </u>					方向性 前年度比)	継続	事業費 (百万円)	54.7	うち市負担		0.5	H34 年度	継続
	担当課	部名	建設部	課名	下力	水道	総	务課	会計区	分下	水企業	事	業区分	र्	ハー	ド

8	事業名	性:	上 定環境保全公共下	小消	改借車	类										
0	<b>7</b> *1					*									の見	方向性 ,込み 丰度比)
	目的	洗化によ	<域(安威川ダム湖)の る公衆衛生の向上に資 値の整備を進める。			H 30	内容	①整備	工事費						H31 年度	継続
		特定環境	の整備を進める。 【保全公共下水道区域 どの整備促進を図る。	内にお	ける下	年度									H32 年度	完了
		7,772,721,0	I MI VEZ C E BO							- str	***				H33 年度	-
							(文	方向性 l前年度比)	継続	事業	円) 21	.0	うち市負担分 (百万円)	0.0	H34 年度	-
	担当課	部名	建設部	課名	下7	水道	総	務課	会計区	分	下水企	:業	事業区	分	ハー	ド
9	事業名	合信	并処理浄化槽整備	事業				_								
		<b>公</b>	x域の水質保全、水洗・	<i>(レにトス</i>	小衆			①整備	工事費						の見	方向性 込み 年度比)
			]上に資するため、合併			H 30	内容	②測量		担金					H31 年度	継続
	概要		∄浄化槽区域内におけ i促進を図る。	る生活	非水施	年度									H32 年度	継続
									ı	古来	#.				H33 年度	継続
								方向性  前年度比)	継続	事業			うち市負担分 (百万円)	0.0	H34 年度	継続
	担当課	部名	建設部	課名	下7	水道	総	務課	会計区	分	下水企	:業	事業区	分	ハー	ド
10	事業名	水光	先便所普及事業													
													するため、	助成	の見 (対前4	方向性 ,込み 年度比)
	目的 及び		に用開始区域及び合併 はける水洗化を促進し、		. —	H 30		②公設	浄化槽	への切		促進	するため、	助成	H31 年度	継続
	概要	向上を図				年度		金の文	稲及い	、以定)	資金を貸	[11]			H32 年度	継続
															H33 年度	継続
					1			方向性  前年度比)	継続	事業:			うち市負担分	0.1	H34 年度	継続
	担当課	部名	建設部	課名	下	水道	総	務課	会計区	分	下水企	:業	事業区	分	ソフ	<b>١</b>
11	事業名	騒音	音•振動規制法等	関連事	務事	<b></b>										
								②設置		の受理	及び審				の見 (対前4	方向性 込み 年度比)
	目的 及び 概要	発生する	業場の事業活動や建詞 騒音及び振動を規制 の健康を保護するととも 。	すること	によ	H 30 年度	容	<ul><li>④立入</li><li>⑤拡声</li></ul>	調査	用及び			里及び審査 る音響機器		H31 年度 H32 年度	継続継続
															H33 年度	継続
							Η.		1		#					
								方向性  前年度比)	継続	事業			うち市負担分 (百万円)	0.0	H34 年度	継続

12	事業名	<b>小</b> 領		丰業													
	7 33 1	<i>→</i> 1						①苦情									方向性 込み 拝度比)
		及び相談 発生源事	質・騒音・振動などに関係を受けたときは、関係に ・業所に対する改善指	課と連携	隽し、	H 30 年	内容	○11日1日	調査	_ , .						H31 年度 H32	継続継続
		好な生活	環境を保全する。			度			1000							年度 H33 年度	継続
								方向性 前年度比)	継続		事業費 百万円)	0.0		市負担分	0.0	H34 年度	継続
	担当課	部名	産業環境部	課名	環	境區	<b></b>	<b>意課</b>	会計区	分	-	一般		事業区	分	ソフ	<u> </u>
13	事業名	環均	竟監視事務事業					(A) Wild at		L+ M	<del>^</del> ~ →π						
			気汚染、水質汚濁、駅					査にお る	測定業いて、訓	務に調査	こおける 地点を打	広大し、	精质	モニタリン 度の向亅		の見	方向性 込み F度比)
		查、河川	ため、大気常時監視や 及び地下水の水質測り	定、一般	環境	H 30	内容	④測定	結果の	評価	西及びグ	表				H31 年度	縮小
	概要	シダント	経治道の騒音測定を行 経急時等の際には、関			年度		⑥耳原	小学校	局C	大気一点 )x計、風	向風速				H32 年度	継続
		連絡する	0						局廃止	によ	撤去費る維持					H33 年度	継続
		部名 産業環境部 課名						方向性 <sup>前年度比)</sup>	臨時 拡充		事業費 百万円)	15.2		市負担分	15.2	H34 年度	臨時 拡充
	担当課	部名	産業環境部	環	境项	政策	課	会計区	分	-	一般		事業区	分	ソフ	<b>-</b>	
14	事業名	環均	竟アセスメントに関	務事	<b>美</b>												
		四位に対	Fしい影響を及ぼすおそ	zh ot	プ目目			①開発	者及び	庁⋫	<b>勺関係</b> 調	限との調	整ちず	いる場合	事悉	の見	方向性 込み 拝度比)
	目的 及び	発事業のに十分に	でいるを登せ及は 9 ねつ 9実施に当たり、事業が 配慮して行われるよう、 5 や各方面からの意見の	環境の 、環境景	保全 /響評	H 30 年度	内容	者に対	し意見る 例に基	を述 づく	べ、国、 環境影	府と連	絡	うわれる		H31 年度 H32	継続継続
		する。	, H ) 4 MI. 3 . 10.04			及		,,,,,,	-,0,,0,	_	22					年度 H33 年度	継続
								方向性 前年度比)	継続		業業費 (万円)	0.0		市負担分	0.0	H34 年度	継続
	担当課	部名	産業環境部	課名	環	境。	政策	課	会計区	分	-	一般		事業区	分	ソフ	<b>F</b>
I	取 組	6-1-2	新たな環境	への対	応												
15	事業名	PR	TR法等関連事務	事業			1	,									
			学物質の環境への排出				①届出 ②国へ	の届出	及て	が審査					の見(対前年	方向性 込み 拝度比)	
	概要	法) に基 量等の届 化学物質	)改善の促進に関する) づき、特定化学物質の 出を事業者が行い、耳 「の自主的な管理の改	の排出 よる 進し、	H 30 年度	容	④施設	の状況 所にお					及び立力 町書の作		H31 年度 H32 年度	継続継続	
		環境の保	全上の支障を未然に	防止する	5.								I			H33 年度	継続
								方向性 前年度比)	継続		事業費 百万円)	0.0		市負担分	0.0	H34 年度	継続
	担当課	部名	産業環境部	課名	環	境區	政策	課	会計区	分	-	一般		事業区	分	ソフ	<b></b>

16	事業名	ライン	フサイエンス環境	保全対	策事	務事	事業							
							①施設	·設置予?	定者との協	議			の見	方向性 込み F度比)
	目的 及び		換え実験等を行うライ 置者に対し必要な規制			H 30	内 ②専門	委員会の					H31 年度	継続
	概要	で、地域住を保全する	民の健康を守り、良い。	好な生活	舌環境	年度	④立入	.調査					H32 年度	継続
							方向性		事業費		うち市負担分		H33 年度 H34	継続
	+0 1/ =0	÷n /2	文 <b>光</b> 是 <del>立</del>	/2	т <u>ш</u> .		(対前年度比)	継続	(百万円)	0.2	(百万円)	0.2	年度	継続
	担当課	部名 6-1-3	産業環境部 	課名	坂	現場	汝策課	会計区	ते	一般	事業区	经分	ソフ	
	事業名		喫煙防止対策事											
	目的	周りに迷惑	をかける路上喫煙を の安全及び健康的な	市域か		H 30	内の3市内の	、委託業 こおいて  各団体 <sup>2</sup>	き者によるさ 啓発活動の	巡回指導 の実施	めの調査を 算や市主催 関煙マナー	のイベ	の見(対前年	方向性 込み 拝度比) 継続
	及び 概要	確保するだ	こめ、路上喫煙の実態 防止に関する啓発を	点を把握		年度	を美施	な路上導	契煙禁止地	区の指	定及び喫煙	堙場所	H32 年度	継続
							改直の	快的					H33 年度	継続
							方向性 (対前年度比)	継続	事業費	3.0	うち市負担分 (百万円)	3.0	H34 年度	継続
	担当課	部名	市民文化部	課名	市民	生活	舌相談課	会計区	分 -	一般	事業区	☑分	ソフ	<u> </u>
18	事業名	動物	愛護推進事業											
		捨て猫をな												方向性
			とくし、動物愛護につい								上勢手術費 ;	の補助	の見 (対前4	込み F度比)
		高揚や動物	めの虐待の防止を図 び一定要件を満たす	るため、 所有者	猫の 不明猫	H 30	内 ②所有 ③犬の	者不明 飼い方	猫活動団体 数室の実施	本の育成 i		の補助	(対前 <sup>4</sup> H31 年度	
		高揚や動物 飼い主及び を減らする 手術費の	物の虐待の防止を図	るため、 所有者 <sup>2</sup> て避妊・ 、犬等の	猫の 不明猫 ・去勢 の飼い		内 ②所有 ③犬の ④犬猫	者不明額飼い方数	<b>猫活動団</b> 体	本の育成	ζ	の補助	(対前 <sup>4</sup> H31 年度 H32 年度	F度比)
	及び	高揚や動物 飼い主及び を減らする 手術費の	めの虐待の防止を図 び一定要件を満たす 活動を行う団体に対し 一部を補助する。また	るため、 所有者 <sup>2</sup> て避妊・ 、犬等の	猫の 不明猫 ・去勢 の飼い	30 年	内容 ②所有 ③犬の ④犬猫 ⑤犬猫	者不明額飼い方材を受ける	描活動団体 数室の実施 ットの作成 手引き策定	の育成での検討	,	の補助	H31 年度 H32 年度 H33 年度	継続継続継続
	で 概要	高揚や動物を動物を動物を表している。	物の虐待の防止を図 ボー定要件を満たす。 計画を行う団体に対し 一部を補助する。また 一向上を図るための見	るため、 所有者を て避妊・ 、大学等の 、大学の 、大学の	猫の 不明猫 ・去飼い かを行	30 年度	内容 ②所大公 ②(3) (4) (大) (对前年度比)	者不明があります。カースを関い方があります。からの飼養を拡充	描活動団体 対室の実施 ットの作成 手引き策定 事業費 (百万円)	kの育成 i cの検討 1.6	うち市負担分 (百万円)	1.6	H31 年度 H32 年度 H33 年度 H34 年度	継続 継続 継続 継続
10	している。 世当課	高揚や動物に 飼い主及で を減らすだ 手術のマナー う。 部名	物の虐待の防止を図 が一定要件を満たす。 計画を行う団体に対し 一部を補助する。また 一向上を図るための見 市民文化部	るため、 所有者されて避妊・ 、大等6 。 、大発活重 ま発活重	猫の 不明猫 ・去飼い かを行	30 年度	内容 ②③子犬光 ②③・ ②③・ ②③・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	者不明額飼い方材を受ける	描活動団体 対室の実施 ットの作成 手引き策定 事業費 (百万円)	の育成での検討	うち市負担分	1.6	H31 年度 H32 年度 H33 年度 H34	継続 継続 継続 継続
19	で 概要	高揚や動物に 飼い主及で を減らすだ 手術のマナー う。 部名	物の虐待の防止を図 ボー定要件を満たす。 計画を行う団体に対し 一部を補助する。また 一向上を図るための見	るため、 所有者されて避妊・ 、大等6 。 、大発活重 ま発活重	猫の 不明猫 ・去飼い かを行	30 年度	内容 ②所大公 ②(3) (4) (大) (对前年度比)	者不明があります。カースを関い方があります。からの飼養を拡充	描活動団体 対室の実施 ットの作成 手引き策定 事業費 (百万円)	kの育成 i cの検討 1.6	うち市負担分 (百万円)	1.6	(対前4 H31 年度 H32 年度 H33 年度 H34 年度	継続継続継続
19	している。 世当課	高揚や動物に 飼い主及で を減らすだ 手術のマナー う。 部名	物の虐待の防止を図 が一定要件を満たす。 計画を行う団体に対し 一部を補助する。また 一向上を図るための見 市民文化部	るため、 所有者されて避妊・ 、大等6 。 、大発活重 ま発活重	猫の 不明猫 ・去飼い かを行	30 年度	内容 ②所子の ③(小子 ②(小子 ②() (対) (対) (対) 新作度 は) まままままままままままままままままままままままままままままままままままま	者不明な病の対象を表現しています。	描活動団体 対学の実施 が が が が が が が が が が が が が が が が が が が	kの育成 での検討 1.6 一般	うち市負担分 (百万円) 事業区	1.6	(対前4 H31 年度 H32 年度 H33 年度 H34 年度	経続 継続 継続 継続 かっちょう とうしゅう かいしゅう しゅう かいしゅう しゅう かいしゅう かいしゅう かいしゅう かいしゅう かいしゅう しゅう かいしゅう しゅう しゅう かいしゅう しゅう かいしゅう かいしゅう かいしゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう
19	している。 世当課	高揚や動物を手上である。 おお で おお と から	物の虐待の防止を図 が一定要件を満たすだ 計動を行う団体に対し 一部を補助する。また 一向上を図るための見 市民文化部 屋敷等対応事務	るため、お有者妊・なので、大発活動となる。	猫の猫・去飼いた。 ・お飼いたがある。 ・お飼いたがある。 ・おきないできます。 ・もないできます。 ・もないできます。 ・もないできまする。 ・もないできます。 ・もないでもないでもないでもないでもないでもないでもないでもないでもないでもないで	30 年度 生活 H 30	内容 ②所子の ③ ① 小 で	者に対する。 者に対する。 者に対する。 者に対する。 者に対する。 者に対する。 者に対する。 者に対する。 はなない。 はなない。 はなない。 はなない。 はなない。 はないのでは、はないのでは、 はないのでは、はないのでは、 はないのでは、はないのでは、 はないのでは、はないのでは、 はないのでは、はないのでは、 はないのでは、はないのでは、 はないのでは、はないのでは、 はないのでは、はないのでは、 はないのでは、はないのでは、 はないのでは、はないのでは、はないのでは、 はないのでは、はないのではないでは、はないのでは、はないのでは、はないのでは、はないのでは、はないのでは、はないのでは、はないのでは、はないのでは、はないでは、はないのでは、はないでは、はないでは、はないでは、はないでは、はないでは、はないでは、はないでは、はないでは、はないでは、はないでは、はないでは、はないでは、はないでは、はないでは、はないでは、はないでは、は、は、はないでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	描活動団体 対学の実施 が が が が が が が が が が が が が が が が が が が	kの育成 での検討 1.6 一般	うち市負担分(百万円)事業区	1.6	(対前4 H31 年度 H32 年度 H33 年度 H34 年度 グブブ	経続 継続 継続 継続 かっちょう とうしゅう かいしゅう しゅう かいしゅう しゅう かいしゅう かいしゅう かいしゅう かいしゅう かいしゅう しゅう かいしゅう しゅう しゅう かいしゅう しゅう かいしゅう かいしゅう かいしゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう
19	及概 担当業 名 目的	高揚や動物を手上である。 おお で おお と から	物の虐待の防止を図 が一定要件を満たす 動を行う団体に対し 一部を補助する。また 一向上を図るための見 市民文化部 屋敷等対応事務	るため、お有者妊・なので、大発活動となる。	猫の猫・去飼いた。 ・お飼いたがある。 ・お飼いたがある。 ・おきないできます。 ・もないできます。 ・もないできます。 ・もないできまする。 ・もないできます。 ・もないでもないでもないでもないでもないでもないでもないでもないでもないでもないで	30 年度 生 油	内容 ②所子の ③ ① 小 で	者に対する。 者に対する。 者に対する。 者に対する。 者に対する。 者に対する。 者に対する。 者に対する。 はなない。 はなない。 はなない。 はなない。 はなない。 はないのでは、はないのでは、 はないのでは、はないのでは、 はないのでは、はないのでは、 はないのでは、はないのでは、 はないのでは、はないのでは、 はないのでは、はないのでは、 はないのでは、はないのでは、 はないのでは、はないのでは、 はないのでは、はないのでは、 はないのでは、はないのでは、はないのでは、 はないのでは、はないのではないでは、はないのでは、はないのでは、はないのでは、はないのでは、はないのでは、はないのでは、はないのでは、はないのでは、はないでは、はないのでは、はないでは、はないでは、はないでは、はないでは、はないでは、はないでは、はないでは、はないでは、はないでは、はないでは、はないでは、はないでは、はないでは、はないでは、はないでは、はないでは、は、は、はないでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	描活動団体 対字の作成 手引き策 東高 分	kの育成 での検討 1.6 一般	うち市負担分(百万円)事業区	1.6	(対前4   H31   年度   H32   年第   日34   年度   フ   本の前3   年度   フ   大列前3   年度   フ   大列前3   年度   大列前3   年度   大列前3   年間1   日前3   年間1   日前3   年間1   日前3   日前3   日前3   日前4   日   日   日   日   日   日   日   日   日   日	継継続 継継続 継継続 <del>方込E</del> 度 継継続
19		高揚や動物を手上である。 おお で おお と から	物の虐待の防止を図 が一定要件を満たすだ 計動を行う団体に対し 一部を補助する。また 一向上を図るための見 市民文化部 屋敷等対応事務	るため、お有者妊・なので、大発活動となる。	猫の猫・去飼いた。 ・お飼いたがある。 ・お飼いたがある。 ・おきないできます。 ・もないできます。 ・もないできます。 ・もないできまする。 ・もないできます。 ・もないでもないでもないでもないでもないでもないでもないでもないでもないでもないで	30 年度 生活 H 30 年	内容 ②所大の ③ (1) (3) (4) (5) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	者飼りの飼養・拡充・大力を表別の飼養・大力を表別の関係を表別の関係を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を	描活動団体 対室の作成定 事業 事業 の下で 事業 の下で が対対 が対対 が対対 が対対 が対対 が対対 が対対 が対	kの育成 での検討 1.6 一般 間り援連絡	うち市負担分(百万円)事業区	1.6 3分 める	(対前4   H31   年度   H32   年度   H34   年度   ソフ   事業の見   (対前4   年度   H31   年度   H31   年度	整 整 整 整 。 方 込 下 度 整 継 継 継 継 継 継 継 継 継 継 継 経 続 に を り み り と り と り と り と り と り と り と り と り と
19		高揚や動物を手上である。 おお で おお と から	物の虐待の防止を図 が一定要件を満たすだ 計動を行う団体に対し 一部を補助する。また 一向上を図るための見 市民文化部 屋敷等対応事務	るため、お有者妊・なので、大発活動となる。	猫の猫の猫 中 動を 前を 市 家る。	30年度	内容 ②所子の ③ ① 小 で	者に対する。 者に対する。 者に対する。 者に対する。 者に対する。 者に対する。 者に対する。 者に対する。 はなない。 はなない。 はなない。 はなない。 はなない。 はないのでは、はないのでは、 はないのでは、はないのでは、 はないのでは、はないのでは、 はないのでは、はないのでは、 はないのでは、はないのでは、 はないのでは、はないのでは、 はないのでは、はないのでは、 はないのでは、はないのでは、 はないのでは、はないのでは、 はないのでは、はないのでは、はないのでは、 はないのでは、はないのではないでは、はないのでは、はないのでは、はないのでは、はないのでは、はないのでは、はないのでは、はないのでは、はないのでは、はないでは、はないのでは、はないでは、はないのでは、はないのでは、はないのでは、はないのでは、はないのでは、はないのでは、はないのでは、はないのでは、は、はないでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	描法室の作策を 事でである。 一本のでは、 一本のでで、 一をででで、 一をででで、 一をででで、 一をででで、 一をでででででででででで	kの育成 での検討 1.6 一般	うち市負担分 (百万円) 事業区 (百万円) 事業区	1.6 S分 める	(対前4   H31   年度   H32   年度   H34   年度   フ   本の前4   年の前4   年の前4   日本の見4   日本の   日本   日本   日本   日本   日本   日本   日本   日本	整 継 継 継 継 継 継 継 継 継 継 継 継 継 継 継 継 継 継 継

20	事業名	不過	去屋外広告物対策	等環境	竟美化	事	業	(資源領	<b>香環課</b>	分)						
		協議会と	協働して不法屋外広告		が土			の開催		屋外広告特			竞協議会	会総会	の見	方向性 込み 拝度比)
		活動や、	街頭キャンペーン(6月 計(6月)を実施し、美化	、9月)、	市内	H 30	内容	③街頭	キャンペ	告物等撤 <del>:</del> ペーン(6月		6月)			H31 年度	縮小
		向上を図		NEV NHW △ ⊃ /		年度		④市内	一斉清掃	帚(6月)					H32 年度	継続
															H33 年度	継続
								方向性 前年度比)	縮小	事業費 (百万円)	1.6		5負担分 万円)	1.6	H34 年度	継続
	担当課	部名	産業環境部	課名	資	源征	盾璟	課	会計区分	分	一般		事業区	分	ソフ	<b>١</b>
21	事業名	不清	去投棄防止·対応事	事業												
								間部を	中心にノ	より、不法 ペトロール( 廃棄物の	の実施		- •		の見	方向性 込み 拝度比)
	目的 及び		き物を撤去することによ	り、清潔	で美し	H 30	内容	た啓発	や対策	ール車両					H31 年度	継続
	概要	い地域環	境を保全する。			年度		物の収			CIAC	-JX.A	C407C		H32 年度	継続
									. 10 7016						H33 年度	継続
								方向性 前年度比)	継続	事業費 (百万円)	0.3		5負担分 万円)	0.2	H34 年度	継続
	担当課	部名	産業環境部	課名	環	境	事業	<b></b>	会計区分	分	一般		事業区	分	ソフ	<b>F</b>
22	事業名	ごみ	华集積場所美化事	業												
										ている集	積場所を	を中心	ふにパト	・ロー	の見	方向性 込み 拝度比)
	目的 及び	, , , , , , ,	場所においてごみが間 るため、パトロール車で		_	H 30	内容		に排出さ	<b>られるよう</b> す	旨導を行	う			H31 年度	継続
			で美しい地域環境を保			年度		③適宜	、啓発看	板設置					H32 年度	継続
															H33 年度	継続
								方向性 前年度比)	継続	事業費 (百万円)	0.0		5負担分 万円)	0.0	H34 年度	継続
	担当課	部名	産業環境部	課名	環	境	事業	<b></b>	会計区分	分	一般		事業区	分	ソフ	<b>F</b>
23	事業名	不	去屋外広告物対策	等環境	竟美化	事	業	(環境事	事業課	分)						
															の見	方向性 込み 手度比)
	目的 及び		・ 物を迅速に撤去すると を行う事によって、美イ			H 30	内容			ール車両~	で違法屋	外点	告物の	)簡易	H31 年度	継続
			を2017争によって、実1を図り美しいまちを保全		ノビ	年度									H32 年度	継続
															H33 年度	継続
								方向性 前年度比)	継続	事業費 (百万円)	0.1		5負担分 万円)	0.1	H34 年度	継続
	担当課	部名	産業環境部	課名	環	境	事業	<b></b>	会計区分	分	一般		事業区	分	ソフ	<u>-</u>

まちの将来像	6	心がけから行動へ みんなで創る環境にやさしいまち
施策	6-2	バランスのとれた自然環境をつくる
施策の 方向性		・育む取組や生態系への配慮を推進するとともに、身近な「まちの緑」「農地」「里山」「水辺」を保全し、自然と ・機会の創出に取り組み、人の生活と自然とのバランスのとれた自然環境を創ります。
	1	都市とみどりの共存
	2	★ 自然資源の利用の推進
取 組	3	生物多様性の保全
★:重点プラン	4	
該当取組	5	
	6	
	7	

		7																
2	実施計画	画									*	r:重点	プラン診	亥当.	取組、◎	重点	プラン該	当事業
	取組	6-2-1		都市とみどり	りの共	存												
1	事業名	緑0	り基	本計画推進事	業													
				)実現に向けて、約						相談事							の見	)方向性 !込み 年度比)
	目的 及び		施策	との推進に関する ₹等を定め、総合的			H 30 年	内容	3緑化	発信ツー 講習会( イベント	の実	ミ施 25					H31 年度	拡充
	概要	【関連取為成】	組:5	i-5-2 都市におけ	るみどり	)の形	度		⑤緑化	の人材	育成	え講座の	検討				H32 年度 H33	継続拡充
		)3X.							方向性財前年度比)	拡充		業費	0.5		市負担分	0.5	年度 H34 年度	継続
	担当課	部名		産業環境部	課名	農と	みど		性進課	会計区			一般	\_	事業区	分	ソフ	<u>۱</u>
2	事業名	ヒー	トフ	イランド対策事	業													
																	の見	)方向性 !込み 年度比)
	目的 及び 概要	め、市内	の学 ると	ド対策や環境意識 校等においてみと ともに、市民・事業 。	りのカー	ーテン	H 30 年度	内容	①説明 ②苗の		施						H31 年度 H32 年度	継続継続
									方向性	Anti Cala	事	業費		うち	市負担分		H33 年度 H34	継続
								(文	时前年度比)	継続	(百	万円)	1.2		万円)	1.2	年度	継続
	担当課			産業環境部	課名	環	境。	<b></b>	兼課	会計区	分	-	一般		事業区	分	ソフ	<b>١</b>
3	事業名	緑化	匕推	進事業				ı										
				進進により、緑豊か													の見	方向性 込み 年度比)
	目的及び	と地域住	民と	るため、公園及び目の協働で花と緑の	輪を広	げ、ま	H 30	-	可能と終 で記載する で記述する でここ でここ でここ でここ でここ でここ でここ でここ でここ でこ						万円		H31 年度	継続
	概要	の緑化や	`、緑	の生垣設置に加え 化が困難な場合で 成制度を検討する	では壁面		年度										H32 年度 H33	継続
			0-7-		- 0				方向性	⟨n ⟨√-+	事	業費	<b>5</b> ^	うち	市負担分		年度	継続
	40 W ==	÷n >		衣 <b>华</b> 理		# 1	7. 18	(対	対前年度比)	継続	(百	万円)	7.8		万円)	7.8	年度	継続
	担当課	部名		産業環境部	課名	農と	みど	り打	推進課	会計区	分	-	一般		事業区	分	ソフ	٢

4	事業名	安原		/キャン	/ペン:	推進	生事	<b>手業</b>							
		# <b>1</b> 1 \(\dagger\)		91 )	حاد ر حار										方向性 込み F度比)
		民に親し	うるおいのある水辺空間 まれている安威川河川 、地域住民と行政が一	敷の環	境美	H 30	内容					台会や関係 活動を実施		H31 年度	継続
			とにより、良好な水辺環			年度								H32 年度 H33	継続継続
								<b>方向性</b> 前年度比)	継続	事業費	0.0	うち市負担分 (百万円)	0.0	年度 H34 年度	継続
	担当課	部名	建設部	課名	下7	水道	施	没課	会計区	分	一般	事業区	分	ソフ	<b>-</b>
5	事業名	親ス	水水路整備事業											_	
															方向性 込み F度比)
	目的 及び 概要	部地域の	。部の高瀬川・小川親元 島地区せせらぎ水路? ことって憩いとうるおい	を適切に	こ管理	H 30 年度	内容					こて維持管 材センター		H31 年度 H32 年度	継続継続
		目で維竹	· 9 ⑤。		区								H33 年度	継続	
								<b>方向性</b> 前年度比)	継続	事業費 (百万円)	1.1	うち市負担分 (百万円)	1.1	H34 年度	継続
	担当課	部名	建設部	下列	水道	施	<b>没課</b>	会計区	分	一般	事業区	分	ハー	ド	
耳	<b>反組</b>	6-2-2	★ 自然資源の	利用(	の推進										
6	事業名	◎市月	民参加型森林保全	事業											
			]型の里山保全を推進 >里山景観の復元や水												方向性 込み F度比)
		ど森林の 森林ボラ	持つ多面的機能を発力である。	揮させる	らほか、	H 30 年	内容	①森林	サポーク	ター養成講	摩座の実	施		H31 年度 H32	継続
	概要		推進する。	L o /E A		度								年度 H33	継続
		【関理事	業:6-2-3 生物多様性	Eの保全			_	方向性	小小公士	事業費	1.0	うち市負担分	1.7	年度 H34	継続
	担当課	部名	産業環境部	課名	典レ	<b>ユ</b> ど	(対	前年度比)	継続会計区	(百万円)	1.9 一般	(百万円)	1.7	年度ソフ	継続
7	事業名				<i>,,</i> , , , ,	,,,,,	711		ZII E	<b>73</b>	74X	7.	.,,		
	-	100	111112111111111111111111111111111111111	<u> </u>	- //<									事業の	方向性
														の見 (対前 <sup>4</sup>	込み F度比)
		動を推進	]による自主的な里地!  するため森林ボランテ 活動の拠点施設として	ィアの丿	人材育	H 30 左	内容				管理者が	ぶ行う事業と	して市	H31 年度	継続
	概要		ターを、指定管理者制			年度								H32 年度 H33	継続
							-	   	<b>◇</b> № ◇±	事業費	10.0	うち市負担分	10.0	年度 H34	継続
								前年度比)	継続	(百万円)	12.8	(百万円)	12.8	年度	継続
	担当課	部名	産業環境部	課名	典レ	なじ	n±	進課	会計区	分	一般	事業区	· 分	ソフ	

8	事業名	【再	掲】林業推進事業													
		公益的な	機能を有する森林の優	建全な管	管理育			<ul><li>①林業</li></ul>	者団体	等が実施	正する森林	來作事	巻への	)補	事業の の見 (対前年	
	目的 及び	の提供を	市と農村の交流の場とし 行うほか、林業者団体			H 30	容			対策の実					H31 年度	継続
	概要		業に対し支援を行う。	e cro		年度		③森林	整備に	必要な材	道の維持	Ê			H32 年度	継続
		【関連事	業:5-1-1 農林業の振	製】								ı			H33 年度	継続
								7向性 前年度比)	継続	事業費		うち市負担		(8.4)	H34 年度	継続
	担当課	部名	産業環境部	課名	<i>/-</i>	みど	り推	進課	会計区	分	一般	事第	区分		ソフ	·
9	事業名		掲】環境フェア開係													
		し、これか 創造する	境の現状などをわかり らの市域環境を市民。 契機の場とするため、 画のもと、市民一人ひ	とともに 市民団(	保全・ 体や事			ナーを	廃止し、		ニイトセンタ 園北グラン 布			小セ	の見 (対前年	方向性 込み F度比)
	及び 概要	むべきこく紹介し、	とを、催し物などを通じ 環境への理解を深め。 実施に伴う会場設営費	て分か <sup>り</sup> る場とす	りやす る。市	H 30 年度	容	②3階語 ランドに ③実施	部分の= ニテントを	ロナー( と設置し、 いては、	こ こついてに 出展希望 農業祭と同	皇を募る			H31 年度 H32 年度	縮小継続
			担 9 つ。 狙 : 6-3-1 省エネルギ	一の実	践及			未的な							H33 年度	継続
		び普及啓	_					7向性 <sup>前年度比)</sup>	臨時 拡充	事業費		うち市負担		(6.4)	H34 年度	継続
	担当課	部名	産業環境部	課名	環	境项	汝策	課	会計区	分	一般	事第	区分		ソフ	<b>\</b>
耳	文 組	6-2-3	生物多様性	の保	全 ———											
10	事業名	生物	物多様性保全事業			ı										
			々な環境資源(動植物 守り、再生していくこと													方向性 込み F度比)
	目的 及び	境資源調	1の保護、特定外来生物 1査の継続実施、生物。			H 30				ガイドブッ 連続講座	ック作成の 区の実施	完了			H31 年度	継続
	概要		度に環境資源調査の			年度									H32 年度	継続
		た生さもで	ひ発見ガイドブックの作	=万义•四乙/	巾ど				ĺ	<b>=</b> * #					H33 年度	継続
								7向性 <sup>前年度比)</sup>	拡充	事業費		うち市負担		0.3	H34 年度	継続
	担当課	部名	産業環境部	課名	環	境區	<b>汝策</b>	課	会計区	分	一般	事第	区分		ソフ	
11	事業名	刊)	体験型環境教育	事業												
																方向性 込み F度比)
	目的 及び		R護者が実際に川に入 現察・同定することで、			H 30 年	1	O	団体に体が行		業の実施	(講師と	の調惠	とは	H31 年度	継続
	概要	ど環境意	識を向上させる。		度									H32 年度 H33	継続	
							方	7向性	公	事業費		うち市負担		0.6	年度 H34	継続
	担当課	部名	産業環境部	課名	ī=	一		前年度比)	継続会計区	(百万円		(百万円		0.6	<b>年度</b> ソフ	継続
	担当誌	마伯	生未垛児司	砵伯	界	児児	义尔	床	云山区	71	州又	尹才	(四万)		//[	'

12	事業名	ホタ	ル再生事業												
														事業の の見 (対前年	込み
	目的	生息環境	ける自然環境回復とし ぎを整え、保護し、生物	と触れる	うう機	H 30	内容	①ホタ/	レ生息類	環境管理				H31 年度	継続
	概要		することで、自然環境 <sup>.</sup> 意識を向上させる。	や生物	多様性	年度								H32 年度	継続
														H33 年度	継続
								<b>方向性</b> 前年度比)	縮小	事業費 (百万円)		ち市負担分 ( <b>百万円</b> )	1.2	H34 年度	継続
	担当課	部名	部名 産業環境部 課名 農とみどり推進課 会計区分 一般 事業区分											ソフ	<b>F</b>
13	事業名	【再	部名     産業環境部     課名     農とみどり推進課     会計区分     一般     事業区分       【再掲】市民参加型森林保全事業												
			]型の里山保全を推進											事業の の見 (対前 <sup>年</sup>	込み
	目的	ど森林の	\里山景観の復元や水 持つ多面的機能を発 ンティアを育成し、市長	軍させる	ほか、	H 30	内容	①森林	サポー	ター養成詞	構座の実施	<u>ī</u>		H31 年度	継続
			ンノイノを育成し、III B ・推進する。	() 少加至	:v/王	年度								H32 年度	継続
		【関連事業:6-2-2 自然資源の利用の推進】												H33 年度	継続
								<b>方向性</b> 前年度比)	継続	事業費 (百万円)		ち市負担分 (百万円)	(1.7)	H34 年度	継続
	担当課	部名	産業環境部	課名	農と	みど	り推	進課	会計区	分	一般	事業区	分	ソフ	<u> </u>

まちの将来像	6	心がけから行動へ みんなで創る環境にやさしいまち
施策	6-3	ライフスタイルの見直しで低炭素なまちをめざす
施策の 方向性	ネルギー	たして省エネルギー対策を行うとともに、市民や事業者と連携して、再生可能エネルギーの利用促進や省エーの推進に努めます。また、情報交換の場を通じてさまざまな主体が連携し、新たな取組の輪を広げ、ライフの見直しで低炭素なまちをめざします。
	1	省エネルギーの実践及び普及啓発
	2	再生可能エネルギー・省エネルギー設備の導入促進
取 組	3	
★:重点プラン	4	
該当取組	5	
	6	
	7	

		7													
2	実施計画	<u></u>								★:重点	プラン該	核当取組、@	重点	プラン該	当事業
	取組	6-3-1	省エネルギ	一の身	<b>ミ践及</b>	びi	普	及啓発							
1	事業名	H	パイント制度実施	事業				_							
		環境基本	<b>計画の環境像である</b>	「心がけ	から行				*** C )	1 1° A	1 744			の見	方向性 込み 拝度比)
	目的 及び 概要	動へ」一 への参加 を行なっ	歩踏み出すよう促すた 1、省エネ行動などの環 た市民に対し、エコポ	め、環境 環境配慮 イントを	竟教育 (行動 発行	H 30 年	内容	②プラ		してポイン 、において <u>「</u>		換		H31 年度 H32	臨時 拡充 継続
	100.5		物品との交換等できるだ と地域の活性化の好循			度								年度 H33 年度	継続
								方向性  前年度比)	拡充	事業費	0.9	うち市負担分 (百万円)	0.9	H34 年度	継続
	担当課	部名	産業環境部	課名	環	境项	汝第	<b>管課</b>	会計区分	<del>}</del>	一般	事業区	分	ソフ	<b>١</b>
2	事業名	環均	竟フェア開催事業												
	目的 及要 概要	し、これが遺者の参れできる。と、これが、事業	本市の環境の現状などをわかりやすく提供 人、これからの市域環境を市民とともに保全・ 川造する契機の場とするため、市民団体や事 著名の参画のもと、市民一人ひとりが取り組 30 名 名 一												
		【関連取	祖:6-2-2 自然資源の	利用の	推進】			方向性計前年度比)	臨時 拡充	事業費	6.4	うち市負担分 (百万円)	6.4	年度 H34 年度	継続継続
	担当課	部名	産業環境部	課名	環	境项	汝第	き課 (	会計区分	<del>}</del>	一般	事業区	分	ソフ	<b></b>
3	事業名	環境	竟教育•啓発事業												
												近な環境と	向き合	の見(対前を	方向性 込み 手度比)
	及び	会・観察め、環境	「民を対象に、環境に関する学習会・研修  ・観察会等を開催し、環境保全意識を高  、環境行動につなげていく。実施にあたっ   大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大												拡充
	概要		が直接実施するほか、 や市内環境保全活動市			度				教育の検討				H32 年度 H33 年度	継続継続
								方向性   前年度比)	継続	事業費	0.6	うち市負担分 (百万円)	0.6	H34	継続
	担当課	部名	産業環境部	課名	環	境區	汝第	<b>き課</b>	会計区分	<b>†</b>	一般	事業区	分	ソフ	F

oせるなど、 	、効果的	的な	の見 (対前 <sup>4</sup>	)方向性 !込み 年度比)					
oせるなど、 	、効果的	的な	の見 (対前 <sup>4</sup>	込み					
oせるなど、 	、効果的	的な		,					
			H31 年度	継続					
			H32 年度	継続					
			H33 年度	継続					
		1.0	H34 年度	継続					
事	事業区分	•	ソフ	<u>۲</u>					
			の見	)方向性 !込み 年度比)					
トの実施			H31 年度	継続					
			H32 年度	拡充					
			H33 年度	縮小					
		0.2	H34 年度	継続					
事	事業区分	•	ソフ	<b>١</b>					
部名     産業環境部     課名     環境政策課     会計区分     一般     事業区分       エコオフィスプランいばらき推進事業									
			の見 (対前 <sup>4</sup>	)方向性 !込み 年度比)					
施			年度	継続					
			年度	継続					
74 + A	<del>41</del> 7.0		年度	継続					
(百万		0.2	年度	継続					
事	事業区分	`	ソフ	<u>۲</u>					
用燃料電泡	池等へ	の補	の見 (対前 <sup>4</sup>	)方向性 !込み 年度比)					
共施設への	の導入権	負討	年度 H32	継続継続					
			H33 年度	継続					
		14.7	H34 年度	継続					
事	事業区分	•	ソフ	<u>-</u>					
	1.0 (百万	(日カ円)   事業区分   ***********************************	1.0 (百万円) 1.0 (百万円) 1.0 事業区分 0.2 (百万円) 0.2 事業区分 の.2 (百万円) 0.2 事業区分 は 事業区分 14.7 (百万円) 14.7	1.0					

0	事業名	少-	 ニネ・省CO2設備キ	首ス結	田車	些											
8	尹未石	11-	- 小・省 UU2 畝 棚 4	テノヘ作用	卯尹	卡											
		/b _ <del>\</del> \	V 76 West to the large	H I 스펙	( <del>-                                      </del>											の見	方向性 込み 拝度比)
	目的	対し、市	ギー改修を実施する「 が補助金を交付するこ 備及び新エネルギー	とにより	省エネ	H 30		①省エ補助を		Ю2	設備を	導入する	る市に	内事業	所へ	H31 年度	継続
		及並びに	二酸化炭素排出量の	削減を		年度										H32 年度	継続
		し、もつ(	「市域の低炭素化を図	<b>ි</b>												H33 年度	継続
								方向性 <sup>前年度比)</sup>	継続		業業費 (万円)	12.0		<sup>市負担分</sup> 万円)	12.0	H34 年度	継続
	担当課	部名	産業環境部	課名	環	境项	汝策	課	会計区	分	-	一般		事業区	分	ソフ	<b>F</b>
9	事業名	街路	A灯LED化促進事	業													
						Н	内		4641	an la		· 142 / CJ 1432	E ±→ Ь	# <del>*</del> * * * * * * * * * * * * * * * * * *	./.	の見	方向性込み手度比)
	及ひ		f路灯を計画的にLED。 、環境負荷の低減を図		負する	30 年	容		HJ/CLE	ルングリ	<b>~</b> の転	換(目標	民 甲二十	奥学87	%)	年度 H32	継続
	概要	CCICA	、水売気間の皮が	∄. <b>∿</b> °		度										年度	完了
		方向性 継続 事業費												- 7 II ()		H33 年度	-
								万 问 性 前年度比)	継続		万円)	20.0		<sup>市負担分</sup> 万円)	20.0	H34 年度	-
	担当課	部名	建設部	課名	建	設領	<b>学</b> 理	課	会計区	分	-	一般		事業区	分	ソフ	<b>F</b>
10	事業名	庁台	各へのLED導入事	業													
																の見	方向性 込み 拝度比)
	目的 及び	庁舎の省	「エネルギー化を推進 <sup>、</sup>	するため	、年次	H 30	内容	①南館	10階 5	5287	本					H31 年度	継続
	概要	的にLED	照明設備等を導入する	5.		年度										H32 年度	完了
																H33 年度	-
								方向性 <sup>前年度比)</sup>	継続		業費 (万円)	14.0		市負担分 <b>万円</b> )	14.0	H34 年度	-
	担当課	部名	総務部	課名		総	务調	Ę	会計区	分	-	一般		事業区	分	ソフ	<b>F</b>
11	事業名	工	カー等導入促進	事業											•		
			速かつ機動的な活動 車(軽自動車、単車、			Н	内	的な配ことによ	車により、低が	)、 大素	ブリン等 なまちく	車、電重等の燃料づくりの気	∤使月 実現	月量を測	妨す	の見	方向性 込み 拝度比)
	目的 及び	している	平(軽ロ勁平、平平、『 が、低公害車・電動自『 ることで、ガソリン等の	伝車を努	办率的	30	容	25 /c.	ス車両(	マイ	クロバス	川減を図 <2台・コ		ーター1	台)の	年度 H32	継続
		減らすと	ることで、カフラン等の ともに省エネルギーのジ さちづくりの実現に貢	実践に多	らめ、	度		廃車に 【削減額				)削減				年度 H33	縮小
		KN12/21/4		111/ / JO				<b>+</b>		ŧ	* 弗		>+ -	+名41八		年度 H34	縮小
								方向性 前年度比)	縮小		事業費 事万円)	11.8		<sup>市負担分</sup> 万円)	11.8	H34 年度	継続
	担当課	部名	総務部	課名		総	务誤	1	会計区	分	-	一般		事業区	分	ハー	ド

12	事業名	市営	営駐車場へのLED	導入事	業											
																方向性 込み 手度比)
			fの低減及び節電を図	市営	H 30	内 容	H31•32	2年度実	施予	定				H31 年度	新規	
	概要	駐車場に	LED照明設備等を導え		30 年 度									H32 年度	完了	
															H33 年度	ı
								<b>5向性</b> 前年度比)	_	事業		-	うち市負担分 (百万円)	-	H34 年度	ı
	担当課	部名	建設部				9理	課	会計区	分	-	一般	事業区	分	ハー	K

まちの将来像	6	心がけから行動へ みんなで創る環境にやさしいまち
施策	6-4	きちんと分別で資源の循環をすすめる
施策の 方向性	ほか、奴	盾環とごみの減量化を図るため、新たな分別品目の追加検討を行うとともに、市民等への意識啓発に努める 上理施設については、炉の更新に向けて計画的に取り組みます。 民、事業者は、ごみの発生抑制、再資源化に努め、きちんとした分別で資源の循環を進めます。
	1	減量化の推進
	2	再資源化の推進
取 組	3	適正処理の推進
★:重点プラン	4	
該当取組	5	
	6	
	7	

			L									_		_			
	実施計画 租	6-4-1	減量化の推	:						*	<b>r</b> :重点	プラン該	<u> </u>	<u>◎重</u>	点フ	ラン該	当事業
1	事業名		大 大 大 在 来 物 处 理 計 画		主業												
,	7.11	, , ,	会の形成に資するため	<u> </u>				①進捗	状況の	確認	恩及び診	平価の実	施				方向性 込み F度比)
	目的 及び 概要	するほか、計画を策	i一般廃棄物処理基本 5年毎の見直し及び4 定する。また、計画の打 画するとともに、計画項	年度毎0 性進に	の実施 必要な	H 30 年度	内容	3廃棄	計画の 物減量 の立案	等推	推審請		置営			H31 年度 H32 年度	継続臨時
		管理する。		学士(ソル	生抄で	Æ									-	H33 年度	拡充 継続
					ı			方向性 前年度比)	継続		業費 [万円)	0.5	うち市負担分 (百万円)	(	0.5	H34 年度	継続
	担当課	部名	産業環境部	課名	資	源徘	盾環	課	会計区	分		一般	事業[	区分		ソフ	<b>\</b>
2	事業名	家庭	系ごみ減量推進	事業													
		<b>循帶刑</b> 4-	型社会の形成に向け、市民がごみの減 画際変変化に関する理解を変め、2Dの 画際変変化に関する理解を変め、2Dの 一大ののでは、1万万円) 一大ののでは、1万万円) のででする。1万万円) のででする。1万万円)												方向性 込み F度比)		
		量化と再資		と深め、	⑥(臨)ご 円)	み分別で	アプリ	Jの多言	語オプシ	/ョン追加(0	.1百		H31 年度	継続			
	概要	【関連取糺	∃:6-4-2 再資源化の	推進】		年度		布) (0.3 ⑧(臨)食	百万円)	対策り	リーフレッ	小の作成	-ルコンポス え(0.2百万F		2	H32 年度 H33 年度	継続臨時
								方向性 前年度比)	臨時 拡充	事	業費 「万円)	3.3	うち市負担分 (百万円)		3.3	H34 年度	拡充継続
	担当課	部名	産業環境部	課名	資	源徘	盾環	課	会計区	分	-	一般	事業[	区分	,	ソフ	<b>,</b>
3	事業名	事業	系ごみ減量推進	事業(	ソフト)												
			会の形成に向け、事業						所への								方向性 込み F度比)
	目的 及び	促進する				H 30			み分別	ボッ	クス設置	置補助		<i>,</i>	ш,	H31 年度	継続
	概要	を推進する	することにより、ごみの減量化と再資源化 30 容 ③紙ごみ分別ボックス設置補助 生する。										作成(0.3	白万	円)	年度	継続
			1:6-4-2 再資源化の	が低性】			7	方向性	臨時	事	業費	0.0	うち市負担分			H33 年度 H34	継続
	TO 71/ =00	±11.52	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	-m #	Yh-	State A	(対i	前年度比)	拡充	(百	万円)	3.0	(百万円)		3.0	年度	継続
	担当課	部名	産業環境部	課名	貿	源徘	自塓	課	会計区	分	-	一般	事業[	≚分		ソフ	,

4	事業名	生ご	ごみ処理容器等支	援事業	美											
			排出される生ごみの減れる			H 30	内容	①生ご	み処理名	容器等	等の購入補足	助			事業の の見 (対前年 H31 年度	込み
			み処理容器等の購入 <b></b> 等及促進を図る。	乳田 どり	75处79	年度									H32 年度 H33	継続
								方向性 前年度比)	継続		業費 5円)		市負担分	1.4	年度 H34 年度	継続
	担当課	部名	産業環境部	課名	資	源征	盾環	課	会計区	分	一般		事業区分		ソフ	,
取	組	6-4-2	再資源化の	推進										•		
5	事業名	再生	<b>上資源集団回収報</b>	奨金	事業											
		- > - > 1						0#		> 1.d		La ferfer ) v	-41) +0	lick A	事業の の見 (対前 <sup>年</sup>	込み
		減量に対	量及び資源の有効利 する市民の意識向上	を図るた	め、自			少集団を支給	回収を作	丁ク地	地域住民団体	下等(	上対し、報	<b>突金</b>	H31 年度	継続
			「生資源集団回収を行 けし、報奨金を支給する		上民団	年度									H32 年度	継続
							_	一点性		車当	<b>集費</b>	5.t	市負担分		H33 年度 H34	継続
			and the steel of the Long		VE-		(対	前年度比)	継続	(百万	5円) 21.4		5万円)	21.4	年度	継続
	担当課	部名	産業環境部	課名		源征	首環	課	会計区	分	一般		事業区分	`	ソフ	`
6		循環型社	掲】家庭系ごみ減 二会の形成に向け、市長 資源化に関する理解を	民がごみ	よの減	Н	内容	②出前 ③廃棄物 ④ごみ ⑤(臨)多 ⑥(臨)ご	分別アプリ 言語用タ	施 推進』 か運 分別リ	員の活動促進	F成((	).6百万円) 追加(0.1 <sub>1</sub>	百万	事業の の見 (対前年 H31 年度	込み
	及び 概要		行できるよう、啓発等を 組:6-4-1 減量化の推			30 年 度	台	布) (0.3 ⑧(臨)食	百万円) 品ロス対	策リー	)実施(ダンボ -フレットの作 実施(0.1百万	成(0.		配	H32 年度 H33 年度	継続臨時拡充
								<b>方向性</b> 前年度比)	臨時 拡充	事第			市負担分	(3.3)	H34 年度	継続
	担当課	部名	産業環境部	課名	資	源征	盾環	課	会計区	分	一般		事業区分	•	ソフ	`
7	事業名	【再	掲】事業系ごみ減	量推進	進事業	(ソ	フト	·)								
			こ会の形成に向け、事業 また男 またが男子で						所への記			<del></del>			事業のの見(対前年	込み
	目的 及び	_ , , ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	再使用、再生利用及て ことにより、ごみの減量 っ			H 30 年		④紙ご	み分別は	ドック	者研修会の ス設置補助 リーフレット		哉(0 3酉⁻	4田)	H31 年度 H32	継続
	ベ安		る。 組:6-4-1 減量化の推	進】		度			XIII LA	MIN	, , , r , l (	· / 1 1 / 1	-⁄~ (U•U □ /	J   J)	年度 H33	継続継続
								向性	臨時		<b>集費</b> (3)		市負担分	(3)	年度 H34	継続
	担当課	部名	産業環境部	課名	資	源征		課	拡充 会計区	(百7 分	<u>「円)</u> 一般	(E	事業区分		<b>年度</b> ソフ	

E	仅 組	6-4-3	適正処理の	推進													
8	事業名	廃勇	<b>棄物処理施設整備</b>	調査・	検討	事業	É (	(ソフト)									
			<b>薬物の将来を見据え</b>					①(臨)	長寿命	化絲	(合計画	<b>町作成業</b>	<b>全</b> 務	委託 25	5.0百	の見	方向性 込み 拝度比)
			を備方針を「長寿命化」 命化総合計画を作成し しめる。			H 30 年		<u>у</u> — Ш						× 110 -	лод	H31 年度 H32	縮小
			施設の整備にあわせ、 こついて検討する。	摂津市。	との広	度										年度 H33 年度	継続継続
								方向性 対前年度比)	臨時 拡充		業費 万円)	24.0		市負担分	16.0	H34 年度	継続
	担当課	部名	産業環境部	課名	資	源征	盾	<b>景課</b>	会計区	分		一般		事業区	分	ソフ	<b>F</b>
9	事業名	廃到	<b>美物処理施設整備</b>	調査・	検討	事業	٤(	(ハード)									
																の見	方向性 込み 拝度比)
	及び		1理施設の整備方針に 十画に沿って、基幹改作			H 30 年度	空	H32年月	度事業領	実施						H31 年度 H32 年度	- 新規
															H33 年度	継続	
								方向性 対前年度比)	-	-	業費 (万円)	_		市負担分	_	H34 年度	継続
	担当課	部名	産業環境部	課名	資	源征	盾	環課	会計区	分		一般		事業区	分	ハー	ド
10	事業名	資源	原物持ち去り対策	事業(新	新規追	加	)									_	
																の見	方向性 込み 拝度比)
	目的 及び	禁止」条	l定する「資源物の収集 項に基づき、定期的に	パトロー	-ルを	H 30	卢容	1 ①資源	物持ち	去り	パトロー	ル形態	[の]	見直し実	施	H31 年度	継続
	概要	し、持ちる	去り行為者に対し、必身 う。	要な啓発	きや指	年度										H32 年度	継続
												1				H33 年度	継続
					1			方向性 対前年度比)	継続		業費 「万円)	0.1		市負担分	0.1	H34 年度	継続
	担当課	部名	産業環境部	課名	資	源征	盾	<b>景課</b>	会計区	分		一般		事業区	分	ソフ	<b>F</b>
11	事業名	スマ	アイル収集事業														
		高齢者及	なび障害者の方々の在	<b>住生活</b>	の支援											の見 (対前4	方向性 込み 拝度比)
	目的 及び	と負担をごみをご	軽減するため、家庭かみステーションに持ち! 「に対して、決まった曜	ら排出さ 出すこと	される が困	H 30 年度			者及び	障害	<b>手者の世</b>	せ帯のご	` <i></i> 40	の戸別収	集	H31 年度 H32	継続継続
	"风女		でに対して、伏まった唯 の収集を行う。	н (C/T)	旧川はいい	度										年度 H33 年度	継続
								方向性 対前年度比)	継続		業費 (万円)	0.0		市負担分	0.0	H34 年度	継続
	担当課	部名	産業環境部	課名	環	境	事	業課	会計区	分		一般		事業区	分	ソフ	<u> </u>

12	事業名	ごみ	少処理施設運営事	業													
								0#A	で安定	1 1-	<del>1/::</del> =11.\=	: <u>)</u>					方向性 込み F度比)
	,		生した一般廃棄物を め、事故のない安全で			H 30	内容	0 - 1				とたごみ	処理	運転を	実施	H31 年度	継続
			め、事故のない安全で  るとともに、効率的な追			年度		9 0.								H32 年度	継続
																H33 年度	継続
								<b>方向性</b> 前年度比)	継続		業費 万円)	1966.0		5負担分 万円)	1966.0	H34 年度	継続
	担当課	部名	産業環境部	課名	環	境	事業	謀	会計区	分		一般		事業区	分	ソフ	<b>\</b>
13	事業名	ごみ	メ・し尿収集事業														
		⇔ e kr.ı	.ともLUよしフディ. 次3	医 the on t	±			①ステ <sup>・</sup> 源物の		方式	<b></b> たよる	普通ご	み・料	且大ごみ	*•資	事業の の見 (対前年	込み
		かつ円滑	ら排出されるごみ・資液な収集を行い、減量化 た、し尿収集業務につい	1、再資	源化を	H 30	内容	②一般	家庭及			設トイレ				H31 年度	継続
	概要	収集を行	い、快適な生活環境を			30 年 度		0 5 47 11	市域で				《Æ蒙	マロロマノガ	で出れ	H32 年度	継続
		用エツル	衛生の向上を図る。												H33 年度	継続	
								方向性 前年度比)	継続		業費 万円)	1107.7		5負担分 万円)	1088.9	H34 年度	継続
	担当課	部名	産業環境部	課名	環	境	事業	其課	会計区	分		一般		事業区	分	ソフ	,

3 過去の実施計画期間中で完了・廃止した事業(担当部課名は事業実施最終年度の名称)

耳	又 組	6-4-1	減量化の推	進					
E1	事業名	事業	系ごみ減量推進	事業(	ハード) (H29年度	事業完了	<b>^</b> )		
	目的 及び 概要	ため廃止す			<b>生するため、事業所生</b> こ	ごみ処理機	導入事業補助金を	創設したが	、需要が無かった
	担当課	部名	産業環境部	課名	資源循環課	会計区分	一般	事業区分	ハード

まちづくりを進めるための基盤

まちの将来像	7	まちづくりを進めるための基盤
施策	7-1	まちの魅力を市内外に発信する
施策の 方向性	ど)、企	ンティプロモーションを展開していく際の基本的な考え方や方向性を決定し、市民・団体(NPO、地域団体な業や大学、行政が協働して具体的な取組を進めるほか、対象者に応じたさまざまな広報媒体を活用して本力を市内外に積極的に発信します。また、魅力の発掘や資源間の連携による新たな魅力の創造にも努めま
	1	戦略的なシティプロモーションの構築と展開
	2	魅力発信力の強化
取 組	3	魅力の発掘と創造
★:重点プラン	4	
該当取組	5	
	6	
	7	

#### 2 実施計画 ★:重点プラン該当取組、◎重点プラン該当事業 取 組 7-1-1 戦略的なシティプロモーションの構築と展開 事業名 シティプロモーション基本方針推進事業 事業の方向性 の見込み (対前年度比) 平成27年度に策定したシティプロモーション 基本方針について、市民、事業者・団体との H31 ①今後のプロモーション活動の検討 継続 目的 共有を含め、今後のプロモーション活動の展 年度 30 及び 開を検討する。また、設定した成果指標の進 年 H32 臨時 概要 捗状況を5年毎に測定、分析し、基本方針の 度 年度 拡充 見直しを検討する。 H33 継続 年度 事業費 方向性 うち市負担分 H34 継続 継続 (対前年度比) (百万円) (百万円) 年度 企画財政部 課名 まち魅力発信課 会計区分 事業区分 担当課 部名 一般 ソフト 事業名 茨木市ブランドメッセージ形成事業 事業の方向性 の見込み 茨木らしさを表現したブランドメッセージ(ロ (対前年度比) ゴ)により、市内外の人に一貫性のある茨木の ①ブランドメッセージ(ロゴ)を活用した取組みを展 魅力を効果的に発信するとともに、市民のま H31 Н 継続 目的 ちへの誇りと愛着を高めることで、「さまざまな活動への参画」や「ずっと住み続ける」という **容** 開する。各種団体に周知するとともに、活用してもら 年度 30 及び 年 うことで一層の浸透を図る。 H32 概要 継続 行動に繋げることを目的とする。 度 年度 また、市制施行70周年記念のメッセージ、ロ H33 継続 ゴとしても利活用する。 年度 事業費 方向性 (対前年度比) うち市負担分 H34 拡充 8.7 8.7 継続 年度 (百万円) (百万円) 担当課 部名 企画財政部 課名 まち魅力発信課 会計区分 一般 事業区分 ソフト 事業名 【再掲】市制施行70周年記念関連事業 事業の方向性 の見込み (対前年度比) ①ブランドメッセージ(ロゴ)の活用(7-1-1 No2参 平成30年の市制施行70周年を記念した事業 昭) 内 H31 を実施する。また、実施にあたっては、「市民 目的 容 ②記念事業の実施 年度 30 参加」・「市民参画」・「魅力発信」の視点に立 年度 ③記念式典の実施 H32 ち、市民、関連団体と一体となって本市の魅 年度 力を発信する行事となるよう工夫をする。 H33 年度 事業費 H34 方向性 (対前年度比) うち市負担分 完了 (53.502)(53.502)(百万円) (百万円) 年度 企画財政部 まち魅力発信課 担当課 部名 課名 会計区分 一般 事業区分 ソフト

I	反 組	7-1-2	魅力発信力	の強化	Ľ										
4	事業名	茨オ	マ 市魅力発信事業												
							21	市民	等と連携		発信(F	Bでの発信)		の見	方向性 込み 年度比)
	目的 及び 概要	くの人にタ	や市が持つ地域資源 町ってもらうため、イメー プにつながる情報発信	ージアッ	プや認	H 30 年度	容動行、	産事 、有料	業者と= 斗広告等	ラボした子	<sup>2</sup> 育て世 たイベン	る魅力発信 代訴求冊子 ト情報の発	の発	H31 年度 H32 年度	継続臨時拡充
														H33 年度	臨時 拡充
					ı		方向的		継続	事業費	1.3	うち市負担分 (百万円)	1.3	H34 年度	継続
	担当課	部名	企画財政部	課名	まち	魅力	力発信制	果	会計区	分	一般	事業区	分	ソフ	<b>١</b>
5	事業名	パフ	ブリシティ活動事業												
														の見	方向性 ,込み =度比)
			向け、市政情報の周知			H 30				ケーブルラ 長記者会見		の情報発信 :		H31 年度	継続
	及び 概要		ため、新聞やテレビ等 し情報を発信する。	<b>F</b> のマス	メディ	年度								H32 年度	継続
														H33 年度	継続
							方向(対前年原		継続	事業費 (百万円)	0.0	うち市負担分 (百万円)	0.0	H34 年度	継続
	担当課	部名	企画財政部	課名	まち	魅力	力発信制	果	会計区	分	一般	事業区	分	ソフ	<u>۲</u>
6	事業名	ふる	さと寄附金推進事	業											
		る「ふるさ	応援したい人からの巻 と寄附金制度」につい	て、市の	の重点		2) 3)	返礼。 制度I	品の拡き PRの推		の拡大が	など) 、、市内高校 のある民間・		の見 (対前 <sup>4</sup>	方向性 ,込み 年度比)
	目的 及び	額以上の	みに活用される使途を 寄附者には、地元特別	産品等を	P返礼	H 30	等等	<u>への</u> [	広告掲	馘等)		- 発送·証明		H31 年度	継続
	概要	保するとと	生呈することなどにより もに、本市及び本市	特産品等	等の魅	年度	送	等)の	業者選	定プロポー	ーザル実			H32 年度	継続
			的にPRすることで、本 ノてくださる寄附者の増						対・実		H/1107C		<b>~</b> ) -1	H33 年度	継続
							方向 (対前年原		拡充	事業費	38.8	うち市負担分 (百万円)	38.8	H34 年度	継続
	担当課	部名	企画財政部	課名	まち	魅力	力発信制	果	会計区	分	一般	事業区	分	ソフ	<u>۲</u>
7	事業名	ホー	-ムページ・SNSi	軍営事	業										
		するため、	政情報等を市内外の 、市ホームページ及び	市総合	アプリ					S 40 A	011 646-	well were Mr.		の見 (対前 <sup>4</sup>	方向性 込み 年度比)
		の充実を	管理・運営を行うととも 図る。また、SNSの持 た積極的な情報発信を	つ即時		H 30 年度				ジ・総合アン した情報発		唑•運宮		H31 年度 H32 年度	継続 臨時 拡充
			狙:7-7-4 協働のまち の広報広聴】	づくりを	推進									H33 年度	臨時 拡充
							方向付対前年原		継続	事業費 (百万円)	7.4	うち市負担分 (百万円)	7.4	H34 年度	継続
	担当課	部名	企画財政部	課名	まち		力発信制	果	会計区	分	一般	事業区	分	ソフ	<u>۲</u>

8	事業名																
J	7,7,1	全ての市	民に市政情報等を周ばらき」の発行を行う。					①「広幸の各戸」	配布				世帯	·全事	業所へ	の見	方向性 ,込み 年度比)
		害者や高	「齢者等を対象とした広 広報いばらき」や点訳版	「報誌の	音訳	H 30 年	内容		版「広幸	いば 等の 活	らき」の 日用	の制作	及ひ	送付		H31 年度 H32	継続継続
			組:7-7-4 協働のまち の広報広聴】	づくりを	推進	度							年	関連特集	集等)	年度 H33 年度	継続
		7.0100	· ン/ユ +収/ユ かい』					方向性	継続	事業		63.2		市負担分	63.2	H34 年度	継続
	担当課	部名	企画財政部	課名	まち	魅力	力発	信課	会計区	分	_	一般		事業区	分	ソフ	<u>۲</u>
9	事業名	広幸	服刊行物発行事業														
			に市政の概要をわか					0.4.0	. 10	8	- ma /					の見(対前な	方向性 ,込み 年度比)
	目的 及び	広報刊行	してもらうため、市民ハラ物を発行する。			H 30 年	内容		ハンドフ	「ックの	)発行	•				H31 年度	臨時 拡充 臨時
	概要	し、市内	は市の魅力を発信す。 外に広く配布するため、 ぎで実施する。			度										H32 年度 H33	拡充
		7616 <del>7</del> 7	C C JCNE / JO				_	方向性		事業	書	1	うち	市負担分		年度 H34	継続
	10.11.=	±0.50	A ====================================		. 11.	<del></del>	(対	前年度比)	継続	(百万	円)	1.2		万円)	1.2	年度	継続
10	担当課事業名	部名	企画財政部 力発見ツアー事業	課名	より	魅ノ	<b>小</b> 纸	信課	会計区	分		一般		事業区	分	ソフ	Γ
		市政への の愛着や アー等を	関心と理解を深めると 魅力を感じていただく 開催する。「魅力発見 の時々に話題となって)	ための ツアー」	バスツ につい	H 30	内容	の公教	発見ヅ 課マイク て団体が	フロバン	スの廃	止に伴	シン、実施	 民間バ ī	スを	の見 (対前 <sup>4</sup> H31 年度	方向性込み、手度比)縮小
	概要	やスポッ だく。「施	〜を巡り、「まちの魅力」 設見学会」については 「市の取組み」を学ん	を知っ <sup>*</sup> 、、市内:	ていた 公共施	年度										H32 年度 H33	縮小縮小
								方向性 前年度比)	継続	事業		0.8		市負担分	0.8	年度 H34 年度	継続
	担当課	部名	企画財政部	課名	まち	魅力	力発	信課	会計区	分	_	一般		事業区	分	ソフ	<u>۲</u>
耳	知 組	7-1-3	魅力の発掘	と創造	Ė												
11	事業名	魅っ	力発掘•創造事業														
		茨木市の	)文化歴史や自然、人、	商品、	あるい	н	内	①茨木 ②組合	せ、支担	爰、売り	が出し	方の検	討	<u> </u>		の見	方向性 ,込み 丰度比)
	目的	は行政サ め、つな	ービスといった魅力を ぎ、積極的に支援してい の創造に努める。	見つけ	、集	30 年 度	容		と連携し							年度 H32 年度 H33	継続継続
								方向性	継続	事業	費	0.0	うち	市負担分	0.0	年度 H34	継続継続
	担当課	部名	企画財政部	課名	まち	魅っ	(対	前年度比)	会計区	分		0.0 一般	(百	万円) 事業区	0.0 分	<b>年度</b> ソフ	
		FF 14		₩N 44	5.)	/ 1211/	√ )L	- IH HAL	H1 F			/2/		, <u></u>			•

12	事業名	市制	削施行70周年記念	関連事	事業											
		を実施す 参加」・「	その市制施行70周年を る。また、実施にあたっ 市民参画」・「魅力発信	っては、「 「」の視点	市民に立				<b>ンドメッ</b> コ	セー	ジ(ロゴ	")の活用	∄(7-1-1 ì	Vo2参		方向性 込み 拝度比)
	目的 及び		、関連団体と一体となっ する行事となるようエヺ			H 30	内容	( ) HO, O.							H31 年度	-
	概要	【関連取注推進】	組:3-4-3 官民協働で	観光事	業を	年度		③記念	八典(/)	美加	<u>ii</u>				H32 年度	-
		【関連取	組:7-1-1 戦略的なシ 講築と展開】	モー			方向性		車	業費		うち市負担分		H33 年度 - H34	-	
		·		課名			(文	対前年度比)	完了	(百	万円)	53.5	(百万円)	55.5	年度	-
	担当課	部名	企画財政部	まち	魅力	刀角	<b>Ě信課</b>	会計区	分		一般	事業	区分	ソフ	F	
13	事業名	ロク	ーション誘致事業	:												
		変 木 古 $\sigma$	文化歴史や自然等を	痔極的心	≠PR											方向性 込み 拝度比)
	目的	し、映画	等のロケーションの誘致 とに利用されることで、	女 支援	を進め	H 30	内容	0 7 - 777 -			19 4 -2 -1	部会での 活動の	)意見交換 展開	:	H31 年度	継続
			市民のまちへの誇りと			年度									H32 年度	継続
		<b>~</b> 0							<u>.</u>						H33 年度	継続
								方向性 时前年度比)	継続		業費 「万円)	0.1	うち市負担分 (百万円)	0.1	H34 年度	継続
	担当課	部名	企画財政部	課名	まち	魅力	力务	<b>Ě信課</b>	会計区	分		一般	事業[	区分	ソフ	<u>-</u>

まちの将来像	7	まちづくりを進めるための基盤
施策	7-2	社会の変化に対応する効率的・効果的な自治体運営を推進する
施策の 方向性	率的に	価を含めた新たな行財政マネジメントシステムの確立や市有資産の有効活用により、限られた経営資源を効いかし、健全で安定した行財政運営を行います。また、情報通信技術の活用などにより、場所や時間にとらい使いやすい行政サービスの提供を段階的に進めていきます。
	1	計画的な政策の推進
	2	行財政改革の推進
取 組	3	健全な財政運営
★:重点プラン	4	公共施設等の計画的な整備と資産の有効活用
該当取組	5	組織機構の整備
	6	使いやすい行政サービスの提供
	7	電子自治体の推進

2 }	実施計画	<u> </u>									★:重/	気プラン診	亥当	取組、◎	重点に	プラン該	当事業
耳	反 組	7-2-1		計画的な政	策の推	推進											
1	事業名	政策	<b></b>	進事業													
	目的及び	の推進及 に立った	で 健全	画の実現に向け、 1策の実現と中長身な行財政運営を図	朝的な見 図ることを	見通し を目的	H 30	内容	②(階)	後期基	55期) の第 本計画策		ナた	市民アン	ケート	の見 (対前 <sup>4</sup> H31 年度	方向性 込み 下度 比) 時 拡 拡
	概要			夏、実施計画を策策 養を活用し、行政調			年度									H32 年度	継続
		協議を行	う。													H33 年度	継続
									   <b>         </b> 	臨時 拡充	事業費 (百万円)	5.8		市負担分 百万円)	5.8	H34 年度	継続
	担当課	部名		企画財政部	課名	政	(策)	企画	課	会計区	分	一般		事業区	分	ソフ	<b>,</b>
2	事業名	行项	<b></b>	価事業													
	目的	第5次茨	大市	総合計画の進行管	等理を行	<b>デ</b> うた	H 30			評価の領						の見 (対前4 H31	方向性込みを実践という。
	及び	め、「施領	、茨木市総合計画の進行管理を行う 施策評価」及び「取組評価」を実施し 結果を市民に公表する。					容	②学識	経験者(	こよる施賃	<b>휝評価</b> (夕	卜部	評価 の	実施	年度 H32 年度 H33	継続
									方向性 前年度比)	拡充	事業費	0.3		市負担分 <b>百万円</b> )	0.3	年度 H34 年度	継続継続
	担当課	部名		企画財政部	課名	政	 〔策』			会計区		一般	.,	事業区	分	ソフ	<b> </b>
3	事業名	地力	ト 方創	生推進事業													
																の見	方向性 込み 拝度比)
	目的 及び	の好循環	し、そ	す止めをかけ、「しこれを支える「まちの	)活性化	[]を実		内容	①茨木	市総合	戦略の進	捗管理				H31 年度	臨時 拡充
	概要			茨木市総合戦略 進捗管理及び公表			年度									H32 年度	継続
											古光井					H33 年度	継続
			ı	1				(対	<b>方向性</b> 前年度比)	継続	事業費	0.1		市負担分 <b>百万円</b> )	0.1	H34 年度	継続
	担当課	部名		企画財政部	課名	政	策分	企画	課	会計区	分	一般		事業区	分	ソフ	<b>-</b>

Į	文 組	7-2-2	行財政改革	の推済	<u> </u>										
4	事業名	行則	<b> </b>												
									-1/ ++ l/s	ALF TO TOUR	· <b>I</b> = 1////	<i>t</i> .			方向性 込み 拝度比)
		改訂した行 な行財政	効果的な行財政運営に 行財政改革指針に基・ 改革を進めるとともに、 対する意識を高める。	づき、積	極的	H 30 年度		②取組	内容の			≝ 見直しを実	施	H31 年度 H32 年度	拡充継続
		次 <del>以</del> 中に	V1 ) 2/7/ IBM G IBI 42 20							viv. ++>			T	H33 年度	継続
								方向性 討前年度比)	継続	事業費	0.0	うち市負担分	0.0	H34 年度	拡充
	担当課	部名	企画財政部	課名	政	策	企画	<b> 画課</b>	会計区	分	一般	事業区	分	ソフ	<b></b>
5	事業名	広垣	<b>述連携推進事業</b>												
		施設の共	同利用や差異の少な	い事務	を連携			エーシ				能性やシラ携を調査・		の見 (対前4	方向性 込み F度比)
	目的 及び	して行うなを検討す	ど、広域連携による事る。また、少子高齢化は等を踏まえ、近隣都市	事務の対 による人	率化	H 30 年		検討 ②今後	、人口相	構造の変化	公により増	学生でも 関大する事績 ついて研究		H31 年度 H32	継続継続
	IM SC		夢を研究する。	1C07/X	61// 1보	度		V · C 、/2	4. 水压	歩(CみのX/)-	#1L(C .	JV · C11/17L		年度 H33 年度	継続
								方向性 対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	0.0	うち市負担分 (百万円)	0.0	H34 年度	継続
	担当課	部名	企画財政部	課名	政	策分	企画	<b> 丁課</b>	会計区	分	一般	事業区	分	ソフ	<b>F</b>
6	事業名	業務	5改善推進事業												
		改善事例 チャレンシ	務改善意識の向上やの共有、職員一人ひとでする組織風土づくりを 大により実施した具体	とりが主 とめざし	体的に 、職員	н	内	踏まえ、動は終東側集	表彰制	l度としての が、これま	)、全庁( での取)	が高まった 的な業務改 組を取りまと 通じた取組の	:善運 :めた	の見 (対前4 H31	方向性 込み 拝度比)
	及び	善(市民党経費の削票、庁内の 改善事例	ナービスの向上、事務: 減など)について募集 の審査を経て選出した を褒賞する。業務改書	効率の[ し、職員 :優秀な	向上、 員投 業務	30 年 度		性を確 ②行財	保 政改革		版】に基	もづき、引き		年度 H32 年度 H33 年度	-
		も実施する	<b>్.</b>					方向性 対前年度比)	縮小	事業費 (百万円)	0.0	うち市負担分 (百万円)	0.0	H34 年度	-
	担当課	部名	企画財政部	課名	政	策	企理	<b></b> 可課	会計区	分	一般	事業区	分	ソフ	<u> </u>
耳	文 組	7-2-3	健全な財政	運営				ļ		<u> </u>					
7	事業名	電力	7入札導入事業												
			力調達による経費削減	載を図る	ため、		_	②契約	施設・1 期間の	39低圧施調査研究			文41)	の見 (対前 <sup>4</sup>	方向性 込み 拝度比)
	目的 及び 概要	【電気需約 46設備 また、一層	を実施する。 合】68高圧施設及び13 層の経費負担が軽減さ	れる方		H 30 年度	容	につい	て、入村の削減見	Lを実施す L込額:182	る。 2百万円	南館・合庁・ ▪	<i>闲 切</i>	H31 年度 H32 年度	継続継続
		光しながら	5、事業の拡充を図る。					方向性		(古)(株)(約)(表) 事業費	1	-		H33 年度 H34	継続
			10-70-10			1::	(文)	方向性計前年度比)	継続	(百万円)	454.5	うち市負担分(百万円)	454.5	年度	継続
	担当課	部名	総務部	課名		総	努部	果	会計区	分	一般	事業区	分	歳入	

8	事業名	ガン	 <>ス札導入事業													
								①入札 98施設							の見	方向性 込み 三度比)
	目的		ス調達による経費削減 8施設のガス入札を実施		ため、	H 30	卢容	2契約	期間の詞	調査研	究				l31 E度	継続
	及び 概要		層の経費負担が軽減さ ら、事業の拡充を図る。		策を研	年度			減見込 阪瓦斯(		百万円 単価比】				l32 E度	継続
														年	l33 E度	継続
								方向性 対前年度比)	継続	事業領		うち市負担を			l34 E度	継続
	担当課	部名	総務部	課名		総	答詞	課	会計区	分	一般	事業	区分		歳入	
9	事業名	市和	说等徴収事務事業													
	目的		ドー般廃棄物処理手数 、現年課税分の納期内			H 30		②臨時職 ③滞納者 務 ④市外車 ⑤長期差	戦員を活用 者の財産記 会出者をは き押物件の	用した電 間査、督 はじめと の整理	をに関する事務 話による早期 促状・催告書 する差押強化 権も含めた滞	自主納付の の発送等落	持納整理	は事(文	の見	方向性 込み で度比) 継続
	及び 概要	納税環境	の整備及び滞納繰越 率の向上、税収等の確	分の縮	減を図			⑦整理力	針検討る	会議の実	惟も己のた命 を施による滞終 、適切な時效	整理の進		Н	l32 E度	継続
		, ,	, , , , == (	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	-			⑨滞納智	き理システ	ムの一					I33 E度	継続
								方向性 対前年度比)	継続	事業		うち市負担を			l34 E度	継続
	担当課	部名	総務部	課名		収約	納言	課	会計区	分	一般	事業	区分		歳入	
10	事業名	債材	雀管理事務事業					'								
							Þ	②各課 ③各課 ④部長/	へのヒアリ こよる滞糸	針・徴収 ング実力 内整理力	実績まとめ 施 5針検討会議 り措置の実施			(対	の見	度比)
	及び	権の回収	つ各課に対し、指導・ 【を進めるとともに徴収】			H 30 年	_	<b>予</b>	触制徴収	推滞納事 公債権	事案の定期的 をもつ所管課	な進捗管理との債権の	里 >情報‡	- 年	isi 度 l32	継続
	概要	改善及び	<b>が対策の推進を行う。</b>			度			たを検討 とによる信	責権回収	スのノウハウを	生かした	数収の引	鱼	isz 度 l33	継続
								⑨債権領 方向性	管理マニ:	ュアルの事業	<b>患</b>	うち市負担祭	4	Н	度  34	継続
			r →r. r				(5	対前年度比)	継続	(百万I	円) 0.0	(百万円)		.0 年	度	継続
	担当課	部名	総務部	課名		収約	納言	果	会計区	分	一般 ————	事業	区分		ソフト	`
11	事業名	余第	热発電運営事業													
			<b>生持補修整備を徹底す</b>			н	þ		収入が み5,200		る売電先との	の契約 き	見年度	収 (対	の見	度比)
	及び	で、環境	はかり、より効率的な系 衛生センターで消費す 剰電力を売電すること	る電力	を賄う	30年度	容	[1]施記			)実施 14,2 っている電		勺3.6億	年 H	度  32   <b>度</b>	継続継続
		14.00												年	l33 E度	継続
					r			方向性 対前年度比)	継続	事業		うち市負担を		(1)	l34 E度	継続
	担当課	部名	産業環境部	課名	環	境	事	業課	会計区	分	一般	事業	区分		歳入	·

12	事業名	新么	公会計制度による	央算事	務•分	析	事	 業									
		り、財政情	基準に基づく財務諸ま 青報等を市民に分かり。 1似都市との比較による	やすく伝	えると			① 統 —	甘淮に	トス田	公 卦	また作品	成(期末	一圩	<i>-</i>	の見	方向性 込み 拝度比)
	目的 及び		行い、今後の財政運営			H 30	内容	1/1/	<b>坐</b> 中(C)	7.0%1	127 1111	27.5 IFA	J. (791/1C	111	<u>  1.</u>	H31 年度	継続
	概要	<総務大	:臣通知> ~29年度までの3年間	で全ての	り批方	年度										H32 年度	継続
		公共団体	において統一的な基準の													H33 年度	継続
								方向性 前年度比)	継続	事業		0.0	うち市負担		0.0	H34 年度	継続
	担当課	部名	企画財政部	課名		財政	<b>汝</b> 語	E S	会計区	分	-	一般	事	医分	<b>&gt;</b>	ソフ	<u> </u>
13	事業名	企業	美会計推進事業 (														
		下水道等	事業については、次の	り##イキトルフ	· 健仝			①公党	企業会	計支援	***	* 季	ž.			の見	方向性 込み 拝度比)
	目的 及び 概要	な施設を 必要があ	引継ぐためにも、経営 ることから、経営戦略の 事業の更なる効率化	の安定を	を図る	H 30 年	内容	②下水		業会計	トシス		· 守業務多	託		H31 年度 H32	継続継続
	1,77	化を図る。		W= 1.1C	. 2277	度										年度 H33 年度	継続
								方向性 前年度比)	継続	事業		6.4	うち市負担		1.3	H34 年度	継続
	担当課	部名	建設部	課名	下	水道	総	務課	会計区	分	下	水企業	事	医分	<b>\</b>	ソフ	<b>F</b>
E	D 組	7-2-4	公共施設等	の計画	画的な	:整	備	と資産の	の有効	活用			·		·		
14	事業名	公共	は施設等マネジメン	小事業	É												
		設等(公	50年代に集中的に整 は建築物及びインフラ 低下が進み、今後、改	)は、老	朽化に			②包括	的空調	設備更	新訳	周査(39,	〔(24,516 960千円	])	])	の見	方向性 込み 拝度比)
	目的 及び	費が集中	は下が進み、今後、以 する時期を迎え、多大 が想定される。人口減少	な財政	負担と	H 30	内容	④施設	カルテ	の作成	·公表	長	性の検言			H31 年度	拡充
	概要	化等の人	口構造の変化等による も踏まえ、公共施設等	る市民ニ	ニーズ	年度		⑤公共 の実施		検マニ	ュア	ル等に	沿った点	.検・1	呆全	H32 年度	拡充
			、全体最適化等に係る													H33 年度	継続
		7,110						方向性 前年度比)	拡充	事業		64.5	うち市負担		64.5	H34 年度	臨時 拡充
	担当課	部名	企画財政部	課名	財	産活	舌月	課	会計区	分	-	一般	事	医分	<b>\</b>	ソフ	<b>F</b>
15	事業名	市月	民会館跡地エリア活	5用事	業(ソ	フト	)										
		民との対	市民会館の跡地エリア 話を基本に、市中心部 や、社会情勢、政策課	いに位置	すると		ф	①基本 ②実施		-	P手沿	去導入市	丁能性調	査		の見	方向性 込み 乗度比) 臨時
	目的 及び 概要	【関連取約	舌用を検討、推進する。 组:3-3-2 文化芸術と		感じ	H 30 年度		③育て実験の	る広場等		の取	組(ワー	・クショッ	プ、ネ	士会	年度 H32 年度	拡充 継続
			ぶる「場」づくり】 狙:5-6-2 魅力ある中 :備】	心市街:	地·駅											H33 年度	継続
			•					方向性 前年度比)	臨時 拡充	事業(百万		33.5	うち市負担		21.7	H34 年度	継続
	担当課	部名	企画財政部	課名	市民会館	馆跡は	也活	用推進課	会計区	分	-	一般	事美	医分	<b>&gt;</b>	ソフ	<b>F</b>

16	事業名	市目	民会館跡地エリア流	舌用事	業(ハ	<u>-</u> ]	ド)									
		民との対	市民会館の跡地エリア話を基本に、市中心部	『に位置	すると			0-4		1=11-11	. ^ ^	<b></b> /> tulo //	# /.L.=.	(対	の見	方向性 込み (度比)
	目的 及び		や、社会情勢、政策課 活用を検討、推進する		どかよ	H 30	内容	(48.6音	万円)	・福祉文化 ・人工台地			¥14)設	Н	l31 F度	継続
			組:3-3-2 文化芸術と ぶる「場」づくり】	:ふれる・	・感じ	年度		دارو	NAM	八工口地	<i>1</i> /1+ /++ -1.	<del>,</del>		年	H32 F度	拡充
		【関連取済 周辺の整	組:5-6-2 魅力ある中 &備】	心市街:	地•駅			方向性		事業費		うち市負担分	<u> </u>	年	133 F度 134	継続臨時
	+□ 小==	如夕	企画財政部	無点	±₽△4	Sch Balt 1	(対	前年度比)	継続	(百万円)	48.6 一般	(百万円)	48	4	度	拡充
	担当課	部名		課名	甲氏云印	- 日助上	包(古)	†推進踩	会計区	מ	一加又	事業	区分			
17	事業名	直流	定資産台帳運用事	·美 ———												
		<b>小</b> 右財商	<b>歪管理運用システムの</b> 過	毎田ノァト	-n 紘					う提出され				(対	の見	方向性 込み 度比)
	目的 及び	一的な基	と単生産用ンパノムの別 基準に基づく固定資産で 比較可能性を担保した	台帳を調	問製し、	H 30	内容	を関係	各課で共	:有財産の 共有するこ	とにより、	適正な智	の情報	报 行 年	H31 F度	継続
			国用を行うとともに、財産			年度		う(シス	テム保守	子業務:1,2	275千円)			年	l32 F度	継続
										<b>市</b> ** #				年	133 F度	継続
			г					方向性 前年度比)	継続	事業費	1.3	うち市負担分			134 F度	継続
	担当課	部名	企画財政部	課名	財	産活	舌用	課	会計区	分	一般	事業	区分		ソフト	`
18	事業名	普通	<b>通財産管理事業</b>													
		送吸磁机	也、元里道・水路敷など	の社会	b) is the					についてに				(文	の見	方向性 込み 度比)
		物や用途	R. 元至垣・小崎敷など R廃止した行政財産で、 L込めない土地につい	、今後の	有効	30	内容	の確保	行い、維 に努める	É持管理経 る(平成30	費を削減 年度歳入	載し、新た 、見込額:	な歳 <i>)</i> 38,23	入 4 年	H31 F度	継続
		分または	有償貸付することによ	り維持管	管理経	年度		千円)						年	l32 F度	継続
															133 F度	継続
					ı			方向性 <sup>前年度比)</sup>	継続	事業費	(38.0)	うち市負担分			134 F度	継続
	担当課	部名	企画財政部	課名	財	産活	舌用	課	会計区:	分	一般	事業	区分		歳入	
19	事業名	広告	<b>告事業</b>													
														-	の見	方向性 込み 度比)
	目的 及び	サービス	E保や経費節減を図りたの向上や地域経済の液	活性化を	と図る	H 30		_ ,		の広告掲載 業の検討』		Ī			l31 F度	継続
	概要		の印刷物や施設等の資 広告事業を推進する。		告を	年度									I32 F度	継続
											, ,			年	H33 F度	継続
					ı			方向性 <sup>前年度比)</sup>	継続	事業費 (百万円)	(11.7)	うち市負担タ			134 F度	継続

20	事業名	庁台	合内行政財産の目	的外值	を 用許 だんしょう かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かい	可	事務							
							①行政	:財産への	の目的外側	<b></b> 使用許可	「を行うこと <sup>、</sup>	で、当		方向性 込み F度比)
	目的 及び	許可申請	所管する行政財産へ を受け、使用の妥当t	生を考慮	したう	H 30	<b>内</b> 該財産 <b>容</b> ②行政			月料を徴	収し、歳入	の確	H31 年度	継続
	概要	えで使用 収する。	許可を行う。また、その	つ使用料	を徴	年度	保に努	める。					H32 年度	継続
													H33 年度	継続
							方向性 (対前年度比)	継続	事業費(百万円)	(19.6)	うち市負担分(百万円)	(19.6)	H34 年度	継続
	担当課	部名	総務部	課名			<b>务課</b>	会計区分	के	一般	事業区	分	歳入	
21	事業名	庁台	ミエレベータ修繕	事業(新	折規追	加)	)							
		庁舎エレ 超過して	ベータ設備は、耐用年いる.	F数(17 <sup>4</sup>	手)が		【本館	化エレベ	<b>ー</b> タ】				(対前年	込み
	及び	また、平月られた「戸転装置」	、。。 成21年の法改正で設置 可開走行保護装置」、「 が備わっていない状態 軍行と機能の維持を図	地震時であるこ	管制運 ことか	H 30 年度	アルトウ	可の一部の			り合いおも	り等)	H31 年度 H32 年度	継続
		の改修を		160/2007	十列								H33 年度	ı
							方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	52.5	うち市負担分 (百万円)	52.5	H34 年度	ı
	担当課	部名	総務部	課名		総	务課	会計区分	分	一般	事業区	分	ハー	ド
I	10 組	7-2-5	組織機構の	整備										
22	事業名	機林	構適正化事業 ————————————————————————————————————											
													事業の の見 (対前 <sup>4</sup>	込み
			政課題や市民ニーズ ぶするため、適時、効率			H 30	内 ① 効率	的•効果	的な組織	•機構の	検討及び	再編	H31 年度	継続
	概要		:備を行う。	F 3 79321	(1).6	年度							H32 年度	継続
									* * #	ı			H33 年度	継続
							方向性 (対前年度比)	継続	事業費	0.0	うち市負担分	0.0	H34 年度	継続
	担当課	部名	企画財政部	課名	政	策分	) 直課	会計区分	ने	一般	事業区	分	ソフ	
23	事業名	中植	亥市移行検討事業	<del></del>										
		N. ad					①先行	・市へのと	:アリング	資料収	集		の見 (対前 <sup>4</sup>	方向性 込み F度比)
	目的び概要	行が可能 合に課題	より、本市においても となったことから、移行 しとなる財政、人材の確 ついて 調本・研究す	fを想定 保、市 □	した場	H 30 年度	②大阪	府の意向	:アリング、 可確認、調 ロヒアリンク	整等	集		の見 (対前 <sup>4</sup> H31 年度 H32	込み
	及び	行が可能 合に課題	となったことから、移行	fを想定 保、市 □	した場	30	②大阪	府の意向	向確認、調	整等	集		の見 (対前 <sup>4</sup> H31 年度 H32 年度 H33	込み F度比) 継続
	及び	行が可能 合に課題	となったことから、移行 となる財政、人材の確	fを想定 保、市 □	した場	30 年	②大阪	府の意向	向確認、調	整等	集 うち市負担分 (百万円)	0.0	の見 (対前 <sup>4</sup> H31 年度 H32 年度	継続継続

耵	又組	7-2-6	使いやすい	行政+	ナービ	スの	D提供							
24	事業名	電	子行政サービスの打	推進										
	目的及び	市民が、窓口以外の所で、より身近で簡単に 利用できる利便性の高い行政サービスをできる限りノンストップ、ワンストップで受けられるよる。30 容 ③マイナンバー利用事務の拡大対応								事業の方向性 の見込み (対前年度比) H31 年度 拡充				
	概要	報提供ネ	ンバー制度で導入、雲 ベットワークシステム及で 利用する。	を備され バマイナ	る情 ポータ	年度	(4)タブ1	H32 年度 H33 年度	継続継続					
							方向性 (対前年度比)	拡充	事業:		うち市負担分 (百万円)	4.5	H34 年度	継続
	担当課	部名	企画財政部	課名	情幸	長シ	ステム課	会計区	分	一般	事業区	区分	ソフ	<b>-</b>
25	事業名	総合窓口導入検討事業												
		5224											の見 (対前 <sup>4</sup>	方向性 込み 拝度比)
	目的 及び 概要	供」が求る入を検討	より使いやすく、便利な行政 は」が求められていることから、 人を検討し、市民が利用しや くの実現に向けた取組を推進		コの導	導 30	内容   ①総合	窓口導入PTの設置・検討					H31 年度 H32 年度	臨時 拡充 拡充
							方向性	継続	事業		うち市負担分	9.9	H33 年度 H34	継続継続
	担当課	部名	企画財政部	課名	政	    策』	(対前年度比)	会計区	分	<del>4)</del>   一般	事業図		年度ソフ	
26	事業名	市立		(ソフト	.)									
													の見	方向性 込み 拝度比)
	目的 及び 概要	るため、シ 市直営に	、衆衛生の向上及び福 人葬場の運営・管理を行 よる稿等・厳粛な葬儀	らに、	H 30 年度		号(火葬場・告別式場)の運営 :葬儀の運営						継続継続	
		の供与等	₹ <b>21</b> 17°			IZ.							年度 H33 年度	継続
							方向性 (対前年度比)	継続	事業:		うち市負担分 (百万円)	55.5	H34 年度	継続
	担当課	部名	市民文化部	課名		市	民課	会計区	分	一般	事業区	区分	ソフ	<b>١</b>
27	事業名	戸籍	籍•住民基本台帳等	等事務	事業									
			び住民基本台帳法に			н	0 / 11	票等自	動交付	長•印鑑登錄 事務事業 †事業	禄事務		の見	方向性 込み 手度比)
	及び	適正かつ 各証明書	印鑑登録及び証明に関する事務について、 適正かつ迅速に行うとともに、受付窓口及び 各証明書の交付事務等について、総合窓口 を導入し市民の利便性の向上を図る。				容但個人	番号の付番、個人番号カード申請受 窓口化の検討(PTに参画)				付·交	年度 H32 年度 H33	継続
							方向性	継続	事業		うち市負担分	51.8	年度 H34	継続継続
	担当課	部名	市民文化部	課名		市目	(対前年度比)	会計区	分	円)	事業図		<b>年度</b> ソフ	
	nv	HF H	11-2/2   11-11	HAY TI		111 F	- AHAIN	± H1 F=		/IX	7 7 1	-73		'

取 組		7-2-7	電子自治体	の推注	<u> </u>											
28	事業名	ITガバナンスの強化														
	目的 及び 概要	した調、仕様では、 では、 では、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	情報システム調達ガイドライン」により標準化 た調達プロセスに沿って、システム調達の と画、仕様書の作成等を支援し、業務の見直 ・改善及び情報システムの最適化を図る。ま よ、積算・見積方法の標準化・共通化により、 圏用経費、更新経費の事前評価等を検討 、、「情報システム調達事業実施計画」を策定 けることで、システム経費の最適化に努める。 また、これらの実施により、情報システムの調				内容	①「情報システム調達ガイドライン」運用 ②情報システム調達事業実施計画策定 ③「情報システム調達ガイドライン」開発編運用 ④「情報システム調達ガイドライン」運用保守編策 定 ⑤システム管理台帳運用							の見	が を を が が が が が が が が が が が が が
			達に関する知識やノウハウの蓄積・共有を 図っていく。						継続	事業費	8.0		市負担分 <b>百万円</b> )	8.0	H34 年度	継続
	担当課	部名	企画財政部	課名	情報	<b>見シ</b> に	ンステム課 会計区分 一般 事業区分						分	ソフト		
29	事業名	基章	<b>全系システム運用</b> 管	<b></b>	業			_								
			ビスに直結する行政 <i>0</i>					①ホスト機器等電子計算機の賃借							の見	)方向性 !込み 年度比)
			務について、電子計算 動的、効率的なシスティ		H 30		③基幹	②住基オンライン等基幹系システムの維持・運用 ③基幹業務オープン系機器の賃借					H31 年度	継続		
	脚亜	多量化、多様化する内部事務処理の迅速 化、効率化を図り、電子計算処理組織の安全						4)2	ープン系システムの運用							継続
		で安定し	た運営を行う。												H33 年度	継続
								方向性 前年度比)	継続	事業費	481.5		市負担分	459.5	H34 年度	継続
	担当課	部名	企画財政部	課名	情報	シン	ステ	ム課 <b>会計区分</b> 一般 事業区分					分	ソフト		
30	事業名	情幸	最システム全体最近	商化事	業	É										
			5化した基幹系ホスト					<ul><li>④税シ</li></ul>	ステム関						の見(対前:	)方向性 見込み 年度比)
	日的	最適化す	ていないオープン系シ るため、情報システム	適化計		容	6住基システム調達準備 年度								継続	
	概要	画に沿っ備しながら		年度									H32 年度	継続		
		ステムの再構築を進める。													H33 年度	継続
								方向性 前年度比)	継続	事業費	474.1		市負担分	474.1	H34 年度	継続
	担当課	部名	企画財政部	課名	情報	シン	ステ	ム課	会計区	分	一般		事業区	分	ソフ	<b>١</b>
31	事業名	オー	ープンデータ・ビック	グデー	タの活	用										
																方向性
			生を高め、市民の参画				1 -	ープンデータ利用促進の検討							見込み 年度比)	
	目的	の協働を促進するため、市が保有するデータ を二次利用可能な形式でインターネットを通 じて公開し、官民協働による新たな公共サー						⑤アプ	ガイドラインの運用アプリ化検討・ファイン・ファイン・ファイン・ファイン・ファイン・ファイン・ファイン・ファイン							継続
	及び 概要	ビスの提付	30 年 度		⑥オープンテータの拡充 H						H32 年度	継続				
			多種多様な大量データを収集・分析し、従来 こはなかった価値を創出する。												H33 年度	継続
								方向性 前年度比)	継続	事業費	0.0		市負担分	0.0	H34	継続
	担当課	部名	企画財政部	課名	情報	引シ	ステ	ム課	会計区		一般		事業区	分	ソフ	<u>۱</u>

32	事業名	自治体クラウドの推進														
		初期導入費や運用費の低減を図るため、内													方向性 込み 拝度比)	
	目的 及び	部情報系、コミュニケーション系システム等の クラウド化が最適なシステムについては、導入 を推進し、老朽化した基幹系システムについ ては、刷新手法の一つとして検討を進める。 また、クラウド化したシステムについて利用の						①基幹系システムクラウド化の調査・検討 ②内部事務系システム等クラウド化の調査・検討						H31 年度	継続	
	概要														継続	
		促進を図る。													継続	
									継続	事業費		うち市負担分 (百万円)	0.0	H34 年度	継続	
	担当課	部名	企画財政部	艮シン	システム課         会計区分         一般         事業区分					分	ソフト					
33	事業名	IC	Γ-BCPの運用													
												事業の方向性 の見込み (対前年度比)				
	目的 及び		セ震災害の初動対応に 系継続計画について、ま				①インターネット予備回線増築 ②住民情報データ分散保管						H31 年度	継続		
	概要	のとするだ を実施す	訓練等	年度									継続			
														H33 年度	継続	
								<b>方向性</b> 前年度比)	継続	事業費		うち市負担分 (百万円)	0.4	H34 年度	継続	
	担当課	部名	部名 企画財政部 課名 情幸					ム課 会計区分 一般 <b>事業区分</b>					分	ソフト		

まちの将来像	7	まちづくりを進めるための基盤
施策	7-3	地域社会の発展に貢献できる職員を育成する
施策の 方向性		が全体の奉仕者として、高い倫理観と基礎自治体における行政の担い手としての強い使命感を持つととも 成の実情に柔軟できめ細やかに対応し、市民とともに課題解決を図る意識や能力の高い職員の育成に努め
	1	職員の能力開発
	2	人材育成に主眼をおいた人事制度の確立
取 組	3	
★:重点プラン	4	
該当取組	5	
	6	
	7	

		7	7											
2	実施計画	<u> </u>							★:重点	プラン該	当取組、②	重点に	プラン該	当事業
I	取 組	7-3-1	職員の能力	開発										
1	事業名	專門	門的能力開発事業	<u>.</u>										
								別研修の					の見	方向性 込み 手度比)
	目的及び概要	て、階層が	₹請に応えられる人材の 別研修や能力開発研 ℥研修等を適切に実施	修、専門	機関	H 30 年	<b>内</b> ②選択 ③自己		研修の実施 爱の実施	包			H31 年度 H32	継続
	概要		る知識の習得や能力に			度							年度 H33	継続
							方向性	<b>沙</b>	事業費	16.1	うち市負担分	16.1	年度 H34	継続継続
		45.55	(A) The day				(対前年度比)	継続	(百万円)	16.1	(百万円)	16.1	年度	
	担当課	部名	総務部	課名		人	事課	会計区分	分	一般	事業区	.分	ソフ	h
2	事業名	職場	場における能力開	発事業	<b>\\\\\</b>								1	
													の見	方向性 込み 拝度比)
	目的 及び	の実践に	②力開発においては、『 こおいて習得する知識	や経験な	が最も	H 30	内 ②OJT				.手引きの作	乍成	H31 年度	継続
	概要		ることから、体系的に『 『できるよう支援する。	番場で丿	人材育	年度							H32 年度	継続
													H33 年度	継続
							方向性 (対前年度比)	拡充	事業費 (百万円)	0.3	うち市負担分 (百万円)	0.3	H34 年度	継続
	担当課	部名	総務部	課名		人事	事課	会計区分	分	一般	事業区	分	ソフ	F
I	取 組	7-3-2	2 人材育成に	主眼を	をおい	たノ	(事制度(	の確立						
3	事業名	人木	オマネジメント事業											
		取り組ん	常に意欲を持って自行でいくことができるように評価結果に応じた適り	こ、職務	や職		<ul><li>①働き</li></ul>	方改革に	こ向けた検	討			の見	方向性 込み 拝度比)
		制度の構	群価福来に応じた週 り 「な全ての職員が働き」 「な全ての職員が働き」	躍に向り	けた管	H 30	容 ③管理	職制度の					H31 年度	拡充
		境の構築	を、職員のチャレンジす  度など、職員のモチへ	る意欲	に応え	年度	(4)複線	型人事制	制度の創設	΄Σ			H32 年度	拡充
			ための制度を構築し、						古光弗		>+ <del> 6</del> 10 ··		H33 年度	継続
			I		ı		方向性(対前年度比)	拡充	事業費	0.2	うち市負担分	0.2	H34 年度	継続
	担当課	部名	総務部	課名		人	事課	会計区	分	一般	事業区	分	ソフ	<b>F</b>

4	事業名	戦闘	各的職員採用事務													
		古、次形	うし <del>さ</del> ぬナナナフ ↓ ++ σ	\Th. [0] 17	占以											方向性 込み 拝度比)
	目的 及び	て、民間	と意欲を有する人材の 企業等経験者の採用記 験者増加に向けた大	式験導力	(\$,	H 30	内容	O 4 1111		, -		導入 5法の検	:計		H31 年度	継続
			戦略的な職員採用制度			年度									H32 年度	継続
		)L ) .D <sub>0</sub>													H33 年度	継続
								方向性  前年度比)	継続		業業費 (万円)	5.6	うち市負担分	5.6	H34 年度	継続
	担当課	部名	総務部	課名		人	事調	Ł	会計区	分		一般	事業区	分	ソフ	<b>F</b>
5	事業名															
		茨木市に	おける女性職員の活躍	星の推進	生に関							た研修の検討	の実施			方向性 込み 拝度比)
	目的 及び		事業主行動計画に基加に向けた取組みや、		H 30	内容	じの労性	の育児	休業	と取得の	)推進(2	本人又は配 子の作成)	偶者	H31 年度	拡充	
	概要	織全体で	すい職場環境の構築に 継続的に女性職員の		年度							取得の推進	1	H32 年度	継続	
		る。												H33 年度	継続	
							方向性 前年度比)	拡充		事業費 百万円)	0.0	うち市負担分 (百万円)	0.0	H34 年度	継続	
	担当課	部名	総務部	課名		人	事調	Ę.	会計区	分		一般	事業区	分	ソフ	<u>-</u>

一心水の似女		
まちの将来像	7	まちづくりを進めるための基盤
施策	7-4	人権尊重のまちづくりを推進するとともに平和の実現をめざす
施策の 方向性	市民一点に立って	の恐ろしさや平和の尊さの認識を深めるとともに、核兵器の廃絶に向けた取組を進めます。 人ひとりの人権が尊重・擁護された差別のないまちづくりの実現に向けて、すべての施策を人権尊重の視点 て推進します。 有する個人情報を適切に保護するとともに、個人情報保護に必要な施策を推進します。
	1	生命の尊さを守る非核平和社会の実現
	2	一人ひとりの人権を尊重するまちづくりの推進
取 組	3	個人情報保護への対応
★:重点プラン	4	
該当取組	5	
	6	
	7	

#### 2 実施計画 ★:重点プラン該当取組、◎重点プラン該当事業 取 組 7-4-1 生命の尊さを守る非核平和社会の実現 事業名 非核平和推進事業 事業の方向性 の見込み ①(70)非核平和展の開催 (対前年度比) ②民間団体の平和行動の支援 「非核平和都市宣言」の趣旨の普及高揚を図 ③非核平和街頭キャンペーン り、核兵器廃絶と平和に関する市民の関心と 内 H31 ④立命館大学国際平和ミュージアムとの共同企画 継続 目的 理解を深めるため、非核平和展及びパネル 年度 30 ⑤市内小・中・高校等学校と連携した事業の実施 及び 展を開催するとともに街頭啓発を実施する。 年 H32 ⑥(臨)被爆体験語り部のDVD化 概要 継続 また、民間団体が実施する平和行動を支援 度 年度 する。 H33 継続 年度 臨時 事業費 方向性 うち市負担分 H34 継続 (対前年度比) 拡充 (百万円) (百万円) 年度 市民文化部 課名 人権 男女共生課 会計区分 担当課 部名 一般 事業区分 ソフト 取 組 7-4-2 一人ひとりの人権を尊重するまちづくりの推進 事業名 人権施策推進事業 事業の方向性 の見込み (対前年度比) 平成29年3月に策定した「第2次茨木市人権 ①人権尊重のまちづくり審議会の開催 施策推進計画」に基づき、必要な人に必要な 内 ②H29の見直しを踏まえた人権施策推進計画に基 H31 Н 継続 目的 支援が届くよう計画を効果的に推進するため 容 づく事業の推進 年度 30 及び の手法や財源確保の方法、指標設定を考 年 H32 概要 継続 え、計画を推進していく。 度 年度 また、人権尊重のまちづくり審議会を定期的 H33 継続 に開催し、計画の進捗状況を確認する。 年度 事業費 うち市負担分 (**百万円**) H34 方向性 継続 0.3 継続 (対前年度比) (百万円) 年度 担当課 市民文化部 課名 人権 男女共生課 一般 ソフト 部名 会計区分 事業区分 人権啓発推進事業 事業名 事業の方向性 ①講演会の開催 の見込み 市民一人ひとりが人権尊重の精神を当然のこ (対前年度比) ②懸垂幕の作成 ととして身につけ、日常生活において実践す ③啓発物の作成 ることにより、豊かな人権文化の創造をめざす 内 Н H31 ④多文化共生に向けた取組の実施 継続 目的 ため、相談への対応や冊子の発行、講演会 容 年度 30 ⑤第2次人権施策推進計画に基づいた重点課題 及び 年 や展示の実施等により、市民の人権意識の高 を選択し啓発に取り組む 継続 揚に向けた啓発を行う。 度 年度 また、多様化する人権課題の解決に向けて、 H33 継続 毎年度重点課題を選択し、啓発に取り組む。 年度 事業費 H34 方向性 (対前年度比) うち市負担分 継続 5.0 4.0 継続 (百万円) 年度 (百万円) 担当課 部名 市民文化部 課名 人権•男女共生課 会計区分 一般 事業区分 ソフト

4	事業名	人材	権·男女共同参画	<b>能進事</b>	業補助	<b></b>	業	Ė							
		市内に活	・動の拠点を置く民間区	F1体が自	ョ主活									の見	)方向性 !込み 年度比)
	目的	動として	実施する講演会などの 能進事業に対し、補助金	人権・男	男女共	H 30	内容	①提案	公募型	補助事	業の実施			H31 年度	継続
	<b>恢安</b>	揚を図り、	意識、男女共同参画意 、もってすべての人の <i>)</i>	人権が導		年度								H32 年度	継続
		れた、明	るいまちづくりに努める	0										H33 年度	継続
					Т			方向性 <sup>前年度比)</sup>	継続	事業(百万		うち市負担を	0.5	H34 年度	継続
	担当課	部名	市民文化部	課名	人権	•男	女‡	<b>共生課</b>	会計区	分	一般	事業	区分	ソフ	<b>١</b>
5	事業名	V 10	りち・愛・ゆめセンタ	ノー運	営事業	ŧ									
			上法及び基本的人権尊 地域交流及び住民福祉					等の実 (地域の 人等へ	施 )実情に 委託す	:応じた る。)	習としての詩 内容となる。	よう、社会		の見	方向性 !込み 年度比)
	目的 及び	ざし、市見 差別をは	民に対する人権啓発を じめあらゆる人権課題	推進し、 の解決	、部落 を図	H 30 年	内容	③人権	に関す	る資料	談への対応 の収集及び 或交流の促	提供		H31 年度	継続
	概要		が尊重される社会の実 目的に、各種事業や、			度		⑤地域	団体の	会議や	行事のため		、自主	H32 年度	継続
		報収集、	貸館等を実施する。					⑥セン:		らり方検	所の提供 注討結果に基			H33 年度	継続
								方向性 <sup>前年度比)</sup>	継続	事業		うち市負担分	20.8	H34 年度	継続
	担当課	部名	市民文化部	課名	人権	•男	女扌	共生課	会計区	分	一般	事業	区分	ソフ	ト
6	事業名	大木市人権センター補助事業													
			られた豊かで住みよい で保障された基本的人					0 : 15			Net A I.			の見(対前4	方向性 !込み 年度比)
		神に基づ	き、あらゆる差別をなく もの普及・高揚を促進す	すようで	市民の	30					補助金の交 )方について			H31 年度	継続
		事業を実	施する茨木市人権セン 」金を交付することにより	/ターに	対し、	年度								H32 年度	継続
			どりに寄与する。	) ( ) ( I E	:4-77									H33 年度	継続
								方向性 前年度比)	継続	事業 (百万	h h	うち市負担分(百万円)	6.5	H34 年度	継続
	担当課	部名	市民文化部	課名	人権	•男	女‡	<b>共生課</b>	会計区	分	一般	事業	区分	ソフ	<u>۲</u>
7	事業名	いの	りち・愛・ゆめセンタ	7一相	談事業	€									
			]えるあらゆる課題が、ネ こった相談により解決が					に応じ、	適切な	:助言•	の相談や人 指導を行う 関等と連携			の見(対前4	方向性 込み 年度比)
	及び	者の自立 に、生活	工支援・自己実現に資す 困窮者支援等の福祉が	を目的 び子ど	H 30 年	内容	的な相 (地域の	談に対原 実情に	応する :応じた	内容となる。			H31 年度	継続	
		概要 も・若者支援施策等と連携を図り、生活」 あらゆる相談に対応する総合相談を実施 る。							一部委 ターのあ		。) 討結果に基	基づく事業	の実施	H32 年度 H33	継続
		්ං					方向性	Ante de la	事業	書	うち市負担分		年度 H34	継続	
							(対	前年度比)	継続	(百万	円) 17.9	(百万円)	4.9	年度	継続
	担当課	部名	市民文化部	課名	人権	•男 <u>:</u>	女扌	<b>+生課</b>	会計区	分	一般	事業	区分	ソフ	<b>F</b>

取	組	7-4-3	個人情報仍	護への	の対応											
8	事業名	個丿	<b>人情報保護事業</b>													
							0 ,, .,	己情報	の開え	示手網	に関す	び目録の§ る指導をす		の見	方向性 込み F度比)	
	日的	信頼され	利利益を保護するとる る市政を実現するため	て適	H 30	内容	②特定	個人情	報の	適正な	取扱い	について、 を講じる。	関係	H31 年度	継続	
	概要	正な個人 む。	情報保護事務事業の	取り組	年度		③個人	情報保	護運	営審請		個人情報	保護署	H32 年度	継続	
							E.Z.	7 177 1111		、光·安·	***********	. 11 70		H33 年度	継続	
									継続	-	業費 万円)	3.0	うち市負担分 (百万円)	3.0	H34 年度	継続
	担当課	部名	総務部	課名	法務コ	ノプ	ライ	アンス課	会計区	分	-	一般	事業区	分	ソフ	,

まちの将来像	7	まちづくりを進めるための基盤
施策	7-5	市民とともに男女共同参画社会の実現をめざす
施策の 方向性		:同参画社会基本法」に基づき、男女が互いの人権を尊重しつつ、いきいきと暮らすことのできる男女共同参の実現をめざします。
	1	市民と協働した男女共同参画の推進
	2	DVの予防啓発及び被害者の支援
取 組	3	
★:重点プラン	4	
該当取組	5	
	6	
	7	

		7																	
2	実施計画	<u> </u>									+	▶:重点	プラン記	亥当.	取組、◎	重	点プ	ラン該	当事業
]	D 組	7-5-1		市民と協働	した男	女共[	司参	画	「の推議	<b>崖</b>									
1	事業名	女性	生の注	舌躍推進事業															
									究 ②商工	労政課	と連	携した	事業所	に向	幸に向け けた女・	性活	躍	の見	方向性 込み 拝度比)
	目的 及び			社会の実現を目をび「第2次男女					推進(起) 支援課	と連携し	た	ワークラ	イフバ				7	H31 年度	継続
	概要	(改訂版)を図る。	」に基	づき、更なる女性	生の活躍	推進	年度		③人事	マクール 課と連打 対象WL	隽し	た特定	事業主	行動	計画の	推進	É	H32 年度	継続
										Ŋ ∌K W L								H33 年度	継続
						ı			方向性 前年度比)	継続		事業費 百万円)	0.6		市負担分	0	.6	H34 年度	継続
	担当課	部名	-	市民文化部	課名	人権	•男	女‡	<b>共生課</b>	会計区	分	-	一般		事業区	分		ソフ	<b>١</b>
2	事業名	地址	或によ	おける男女共	司参迪	推進	事美	É											
		III. I-\$\) \			11.51b- 1 w	* ): .)				講座の協働企			なが市目	<b>売</b> にご	よる男女	·共同	<b>1</b>	の見 (対前4	方向性 込み 拝度比)
	目的 及び	地域と協	働して	男女共同参画を持 「男女共同参画の 施及び市民の自	り推進に	上資す	H 30 年	内容	参画活 ③市民	動の支 協働推	援 進調	果と連携			に向け			H31 年度 H32	継続
	概要			支援する。	エロゾムノ	N <del>S N</del>	度		活躍促	進事業	の争	<b></b>						年度 H33	継続
								_	方向性		重	事業費 「		うち	市負担分			年度 H34	継続
								(対	前年度比)	継続		万円)	0.1		万円)	0	.1	年度	継続
	担当課	部名		市民文化部	課名				<b>+生課</b>	会計区	分	-	一般		事業区	分		ソフ	<u> </u>
3	事業名	ロー	-ズV	VAMにおける	5男女	共同参	画	推	進事業										
									画を得 の事業	て、男 <i>‡</i> を展開	7共	同参画	社会の	実現	きや市国 に向け 集整理を	た各	·種		方向性 込み 拝度比)
				社会の実現に向		H 30 年	内容	開架提	共同参 供を行 誌を発	Ď					.11∨	``\	H31 年度	臨時 拡充	
	概要	協働して、各種事業の実施や情報収集及で 提供等、センターの運営を行う。							<b>④</b> 女性	の活躍	推進	生、ワー	クライフ	バラ	コフ ンスの扌 項目とし			H32 年度	継続
									施施	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,			1× €		ЛПС		^	H33 年度	継続
									<b>方向性</b> 前年度比)	継続		業業費 第万円)	90.0		市負担分	90	0.0	H34 年度	継続
	担当課	部名		市民文化部	課名	人権	•男:	女‡	<b>共生課</b>	会計区	分	-	一般		事業区	分		ソフ	<b>F</b>

4	事業名	ロー	-ズWAM	相談事業	ŧ												
											電話相談、 女性のキャ					の見	方向性 込み 手度比)
	目的及び		とりわけ女性の ることを通して				H 30	内意	炎、男性	生のため	の電話相 がにあった	談等を	実施			H31 年度	継続
	概要	する。	ることを通じく	V 1117/T1E	127	4, 1.	年度			。 につい		.1 P P X 3 F 3	***	AZ JAII C C	3,974	H32 年度	継続
																H33 年度	継続
									<b>句性</b> 年度比)	継続	事業費 (百万円)	12.5		市負担分 万円)	12.5	H34 年度	継続
	担当課	部名	市民文化	公部 講	果名	人権	•男	女共生	上課	会計区	分	一般		事業区	分	ソフ	<b>١</b>
5	事業名	第2	2次茨木市男	男女共同	参画	計画排	隹迮	生事美	<b></b>								
								(I	D EF #	<b>北同</b> 会	画推進審	学会の則	目/比			の見	方向性 込み 拝度比)
	目的		『参画社会の実 :同参画推進署				H 30	内灾	9男女	共同参	画推進本 画推進本 く事業の推	部会議及		研修会∂	開催	H31 年度	継続
	及び 概要		き画推進本部会 施策の推進と				年度		2) 티 四	に基づい	、争未の作	EJE				H32 年度	臨時 拡充
																H33 年度	臨時 拡充
									<b>句性</b> 年度比)	継続	事業費 (百万円)	0.3		市負担分 「万円)	0.3	H34 年度	継続
	担当課	部名	市民文化	公部 講	果名	人権	•男:	女共生	主課	会計区	分	一般		事業区	分	ソフ	<b>F</b>
]	取組	7-5-2	DV0.	)予防啓	発及	び被割	宇君	が対	を援								
6	事業名	DV	の予防啓発	色及び被領	害者:	支援	事業	<b>É</b>									
		DVの予防啓発及び被害者支援事業 ①DV、デートDVに関する各種啓発・研修の実												実施	の見	方向性 込み 拝度比)	
	目的		止や被害者支		- , .		H 30	容	配偶	者暴力	護事業等相談支援 <sup>*</sup>	センター	- 40-4			H31 年度	継続
	及び 概要		施するとともに 環境の提供等		年度	4	砂被害	者回復	プログラム	の実施				H32 年度	継続		
														H33 年度	継続		
									<b>句性</b> 年度比)	継続	事業費 (百万円)	1.1		市負担分	1.1	H34 年度	継続
	担当課	部名	市民文化	公部 #	果名	人権	•男	女共生	上課	会計区	分	一般		事業区	分	ソフ	F

まちの将来像	7	まちづくりを進めるための基盤
よりの行木隊	,	ようしてできたののとののを重
施策	7-6	地域コミュニティを育み、地域自治を支援する
施策の 方向性	の中で、	活動の活性化とともに、より多くの市民が利用できる地域活動の拠点の整備(公民館のコミセン化)を進め、そ地域が一体となった「地域自治組織」の結成を推進し、市民・さまざまな地域組織が主体的に協働した地域向けた体制づくりを進めます。市民の「地域」に対する関心を高め、「地域づくりは自らの手で」という意識を醸っ。
	1	コミュニティ活動の推進
	2	コミュニティ施設の整備
取 組	3	
★: 重点プラン	4	
該当取組	5	
	6	
	7	

		7																
2 }	実施計画	<u> </u>									*	:重点	プラン診	[世]	取組、◎	重点フ	プラン該	当事業
Į	文 組	7-6-1		コミュニティ	活動の	推進												
1	事業名	自治	台会	活性化事業														
										会連合	会と	の協働			集を含ションへ		の見	方向性 込み 拝度比)
	目的 及び			と活性化するととも! を図りつつ、真に信			H 30	内容	③集会	施設整	備及	び物量	量設置σ □入促進	    チ	助 ラシの配	布	H31 年度	継続
	概要			構築することを目的			年度		⑤自治	会加入	促進	の研修		その	の方策の		H32 年度	継続
										0 11 11 2	L 11232		, , , , , ,	<b>4</b> 2 · ×	712470		H33 年度	継続
									<b>7向性</b> 前年度比)	拡充		業費 万円)	12.4		市負担分	12.4	H34 年度	継続
	担当課	部名		市民文化部	課名	市民	協信	動推	進課	会計区	分	-	一般		事業区	分	ソフ	<b>F</b>
2	事業名	地址	或自	治組織推進事	業													
		茨木市圳	地二	ミュニティ基本指針	計に掲げ	<b></b> ずられ			5校区		円=]	150万F	円 (2カ <sup>ュ左</sup>	手限	定)		の見 (対前4	方向性 込み 拝度比)
	目的 及び	ている「坩	地域目	自治組織」の結成を 地域の課題解決の	と促進し	、 地	H 30		②地域 9校区=	=860万	円						H31 年度	拡充
	概要		金0	)推進や地域自治			年度		③地域 9校区:	行事開 =622万		:補助句	Ž				H32 年度	拡充
				•													H33 年度	拡充
									が向性 (前年度比)	拡充		業費 万円)	16.4		市負担分	16.4	H34 年度	拡充
	担当課	部名		市民文化部	課名	市民	協信	動推	進課	会計区	分	-	一般		事業区	分	ソフ	<b>F</b>
Ħ	文 組	7-6-2		コミュニティ	施設σ	)整備												
3	事業名	コミ	ユニ	ティセンター運	営事	業												
		町まのっ	5 -		シェハロ	始の一			OHT ≠	₩:::\./	1条4)	の活形					の見	方向性 込み 拝度比)
	目的 及び	ミセン化り	こよる	ニティセンター並び る移行施設の管理 ンターが地域活動	運営を	行い、	30	内容	①既存 ②移行	ル政(1. 施設(6f	館)の	ツ遅呂)運営					H31 年度	継続
	概要		コミニ	ユニティの醸成に資			年度										H32 年度	継続
									_			_					H33 年度	継続
									<b>方向性</b> 前年度比)	拡充		業費 万円)	127.8		市負担分 万円)	127.8	H34 年度	継続
	担当課	部名		市民文化部	課名	市民	:協信	動推	進課	会計区	分	-	一般		事業区	分	ソフ	<b>F</b>

4	1	事業名	公臣	民館コミュニティセン	ノター	化事業	É										
			公民館を	・取り巻く社会経済情勢	が大き	く変化			が不可	欠である	るた	め、市民	民協働推		携して、		方向性 込み F度比)
			し、これからの公民館は、住民ニーズに基づく H 内 理解の深化及び課題把握等、情報共有に努める事業活動だけでなく、地域における課題解決 30 容 ②新規コミセン化施設の移行検討												H31 年度	継続	
		概要	ニティ活	動の一層の活性化を図	るため		年度		③山手						0.4.1カ	H32 年度	継続
			館のコミュ	ュニティセンター化を図	る。											H33 年度	継続
									<b>与向性</b> 前年度比)	継続		業費 「万円)	0.0	うち市負担分 (百万円)	0.0	H34 年度	継続
	:	担当課	部名	教育総務部	課名	社会	教育	育振	興課	会計区	分	-	一般	事業区	区分	ソフ	<b>-</b>

まちの将来像	7	まちづくりを進めるための基盤
施策	7-7	多様な主体による協働のまちづくりを推進する
施策の 方向性	的に行政 政などの	き続き、多くの市民が市民活動に参加できるようNPO等の活動情報の集積・発信はもとより、さまざまな媒体を通じて積極な情報を提供していきます。まちづくり、福祉、教育、子育てなどのさまざまな分野において市民、事業者、NPO、大学、行多様な主体が互いを補完しながら、最善の事業手法でまちづくりに取り組みます。 くの市民が地域課題解決のための公益活動に取り組みます。
	1	協働とパートナーシップによるまちづくりの推進
	2	新しい公共への市民参加・参画の促進と行政との協働体制の構築
取 組	3	行政の透明性の向上
★:重点プラン	4	協働のまちづくりを推進するための広報広聴
該当取組	5	大学との連携によるまちづくりの推進
	6	
	7	

#### 2 実施計画 ★:重点プラン該当取組、◎重点プラン該当事業 取 組 7-7-1 協働とパートナーシップによるまちづくりの推進 事業名 協働のまちづくり推進事業 事業の方向性 の見込み (対前年度比) ①年末市内一斉清掃の実施 ②自転車マナースクールの実施 H31 住みよいまちづくり協議会が中心となり、市民 ③ひったくり被害防止キャンペーンの実施 継続 目的 年度 30 及び 活動団体、民間事業者と連携を保ちながら協 ④協議会の活動についての広報誌を配布 年 H32 概要 働のまちづくりを推進することを目的とする。 ⑤市民憲章カードの配布 継続 度 年度 H33 継続 年度 事業費 方向性 うち市負担分 H34 継続 1.6 継続 (対前年度比) (百万円) (百万円) 年度 市民文化部 課名 市民協働推進課 事業区分 担当課 部名 会計区分 一般 ソフト 事業名 リノベのいばらきプロジェクト推進事業 事業の方向性 の見込み (対前年度比) 活動人口を増やすための「リノベのいばらき」 H31 プロジェクトにおいて、リノベーション、DIYを ①(臨)リノベのいばらきプロジェクトの実施 継続 目的 30 年 年度 切り口に、「楽しく」まちづくりを始めるきっかけ 及び H32 概要 を提供し、活動人口の増加を図り、まちの持 継続 度 年度 続的発展をめざす。 H33 継続 年度 事業費 方向性 (対前年度比) H34 うち市負担分 継続 17.6 継続 年度 (百万円) (百万円) 担当課 部名 企画財政部 課名 政策企画課 会計区分 一般 事業区分 ソフト 事業名 市民活動センター運営事業 事業の方向性 の見込み 市民活動センターを設置し、市民らの公益活 (対前年度比) 動を推進するとともに、中間支援組織として、 ①各種講座・各種事業の実施 市民活動団体、民間事業者、地域団体、大 ②市民活動応援フェスタの実施 内 H31 継続 目的 学等、多様な活動主体の連携を図りながら協 容 ③協働事業についての職員研修 年度 30 及び 年度 働のまちづくりを推進することを目的とする。 ④中間支援組織として各活動主体間の連携を図る 継続 年度 【関連取組:7-7-2 新しい公共への市民参 継続 加・参画の促進と行政との協働体制の構築】 年度 事業費 H34 方向性 (対前年度比) うち市負担分 継続 継続 12.3 12.3 (百万円) (百万円) 年度 市民文化部 市民協働推進課 担当課 部名 課名 会計区分 一般 事業区分 ソフト

4	事業名	r ☆ F	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □													
4	尹未石	- 日上	民連携推進事業													
		市が実施	〕している事業について	、民間	事業										の見	方向性 込み F度比)
		者、市民 意工夫を	H 30				度実施要領 容の検討(			案型)		H31 年度	拡充			
	抽車	もに、市民	との協働のまちづくりを 民サービスの質の向上		年度										継続	
		図る。				<del>-</del>		<b>古</b> ** #			+ = I= 0		H33 年度	継続		
								向性 <sup>年度比)</sup>	拡充	事業費	0.0		市負担分	0.0	H34 年度	継続
	担当課	部名	企画財政部	課名	政	策红	<b>企画</b> 認	果	会計区:	分	一般		事業区	分	ソフ	<b>١</b>
耵	又 組	7-7-2 新しい公共への市民参加・参画の促進と行政との協働体制の構築														
5	事業名	市具	民公益活動支援事	業												
		# est_1	61 - IB 6				<ol> <li>計提案</li> </ol>	公募型	補助制度(	チャレン	/ジ\	ハばらき	補助	の見	方向性 込み 拝度比)	
	目的 及び	各種市民け、市がなとなったよ	が主体	体 計 30 年		②3年間	公募型補助制度(チャレンジいばらき補助 関施と周知を図る 間の補助期間中の補助率を年次的に逓減さ により、事業の自立に向けた取組みを促						H31 年度	継続		
	概要	るとともに 改革を進				さること							H32 年度	継続		
		推進する								H33 年度	継続					
								向性 <sup>年度比)</sup>	継続	事業費 (百万円)	3.0		市負担分	3.0	H34 年度	継続
	担当課	部名	市民文化部	課名	市民	協賃	協働推進課		会計区	分	一般		事業区分		ソフ	<b>-</b>
6	事業名	【再	掲】市民活動センク	ター運	営事	<b></b>				•						
			カセンターを設置し、市」 マオストレも、アーロ問支持				D各種	講应•名	・種事業の	宝施				の見	方向性 込み F度比)	
	目的 及び	動を推進するとともに、中間支援組織として、 市民活動団体、民間事業者、地域団体、大 学等、多様な活動主体の連携を図りながら協					内容	②市民 ③協働	活動応	援フェスタ ついての耶	の実施 裁員研修				H31 年度	継続
	概要		づくりを推進することを			年度		④中間支援組織として各活動主体間の連携を図る							H32 年度	継続
			組:7-7-1 協働とパー) らづくりの推進】	トナーシ	ノツブ										H33 年度	継続
								向性 年度比)	継続	事業費	(12.3)		市負担分	(12.3)	H34 年度	継続
	担当課	部名	市民文化部	課名	市民	協信	動推進	進課	会計区	分	一般		事業区	分	ソフ	<b>F</b>
耵	又 組	7-7-3	行政の透明	性の「	<b></b> 白上											
7	事業名	情幸	服公開事務事業													
		行政の诱	明性を向上させ、市政	で運営に							付や各課への		の請求情報の		の見	方向性 込み 拝度比)
	目的	て市民へ	の説明責任を果たすと 参加の下に公正で開か	市民	H 30 年	容(	2情報		により、適 査会の事務					H31 年度	継続	
		推進のた	め、継続して適正な情 施に取り組む。		年度		Ö.							H32 年度	継続	
		* N. 1. N.								+ 40 +b					H33 年度	継続
			Т					向性 年度比)	継続	事業費 (百万円)	0.6		市負担分 万円)	0.5	H34 年度	継続
	担当課	部名	総務部	課名	法務コン	ノプ	ライア	ンス課	会計区	分	一般		事業区	分	ソフ	<u> </u>

取	双 組	7-7-4	協働のまち	づくりる	を推進	すん	るための	)広報広						
8	事業名	確か	な未来ミーティン	グ推進	進事業									
												事業の方向性 の見込み (対前年度比		
		め、市政のと職員(市	対話を重視したまちづ の重要テーマや課題 「長)の対話を行う「確だされ	30 年	内容①確	かな未来		H31 年度 H32 年度	継続継続					
		<b>アインク 』</b> (	を実施する。			度								
							方向性 (対前年度)	継続	事業費 (百万円)	0.4	うち市負担分	0.4	H34 年度	継続
	担当課	部名	企画財政部	課名	政	策红	企画課	会計区	分	一般	事業区分	<b>\</b>	ソフ	<b>١</b>
9	事業名	未来	そのいばらきコンテ	スト実	施事業	<b>美【</b>	新規追加	川】						
		重視で公	に掲げる6本柱の一つ 平公正な市政運営」の い世代の知恵がいきる	)重要政	対策で		<b>内</b> ①(7	o) (##) [ ]		の見	方向性 込み 手度比) 完了			
	目的 及び 概要	一環としてによる施第	て、39歳以下の若い世 を提案コンテストを実施	代のグ. 施し、若	ループい世代		容 (1)(7	0)(臨)!ヲ	(臨)「未来いばらきコンテスト」の実施					
		の郷土愛の醸成を図るとともに、活動人増加や地域の活性化につなげ、まちの打				度						年度 H33	_	
		的発展に	資することを目的とす	රං			方向性	臨時 拡充	事業費	3.7	うち市負担分 (百万円)	3.7	年度 H34 年度	_
	担当課	部名	企画財政部	課名	政	(策)	<b>企画課</b>	会計区		一般	事業区分		ソフ	<u> </u>
10	事業名	市民	2.相談業務											
						H 30	O.E.	早生活に	火坐	事業の方向! の見込み (対前年度比				
	目的 及び		えている問題等を解え 談により、専門の委員				内 密	75   75   75   75   75   75   75   75						
	概要		示・助言を行う。	\	- ( 194	年度		II IAWC C	71262	THIC (1 ->	1777111170710	103	H32 年度	継続
											H33 年度	継続		
							方向性(対前年度)	継続	事業費	9.7	うち市負担分	9.7	H34 年度	継続
	担当課	部名	市民文化部	課名	市民	生活	舌相談課	会計区	分	一般	事業区分	<b>\</b>	ソフト	
11	事業名	広聴	<b>三業務</b>										1	
			いら市政に対する意見				②市 電子	①アイデアボックス運用見直し ②市政に対する意見や要望等をメールで受付ける 電子メールボックス						
		聴取し、市政運営に反映させるため、市政へのアイデアボックス、電子メールボックス等を 実施するほか、市長が直接、若者世代や各							の意見交 若手従業		施 /ンミーティン	グを	H31 年度 H32	継続継続
	100.女		と意見交換をすること 画意識の醸成の一助	女への	度	天旭						年度 H33	継続	
							方向性	縮小	事業費	0.1	うち市負担分	0.1	年度 H34 年度	継続
	担当課	部名	市民文化部	課名	市民	市民生活相談課 会計区分 一般 事業区分								L Ь

12	事業名	【再	掲】広報誌発行事	業														
		全ての市民に市政情報等を周知するため、 「広報いばらき」の発行を行う。また、視覚障 ・位置では、100円のでは、100								業所・	~	事業の方向性 の見込み (対前年度比)						
	及び	仏報いはらざ」の発行を行う。また、倪見障害者や高齢者等を対象とした広報誌の音訳  版「声の広報いばらき」や点訳版「広報いばら					内容	③点訳 ④市民	版「広報 モデルタ	ひい 等の	ばらき」 活用	の制作	及び	送付			H31 年度 H32	継続
	概要	き」の発行を行う。 【関連取組:7-1-2 魅力発信力の強化】							⑤広報誌のデジタル媒体掲載 ⑥親しまれる広報誌の工夫(70周年関連特集等)								年度 H33	継続継続
		【为足以		-4 胚刀光信刀叼強化】				方向性対前年度比)	継続		業費	(63.2)		市負担分	(63.	.2)	年度 H34 年度	継続
	担当課	部名	企画財政部	課名	まち	魅力		·信課	会計区			一般		事業区分			ソフト	`
13	事業名	【再	掲】ホームページ・	SNS	運営事	<b>事業</b>	4											
		最新の市政情報等を広く市内外の人に広く 提供するため、市ホームページ及び市総合アプリの適切な管理・運営を行うとともに、コンテンツの充実を図る。また、SNSの持つ即時性															事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
	目的 及び						内容		ムページ・総合アプリの管理・運営 6を活用した情報発信								H31 年度 H32	継続臨時
	似女	などを活かした積極的な情報発信を行う 【関連取組:7-1-2 魅力発信力の強化】				年度											年度 H33 年度	拡充 臨時 拡充
								方向性 対前年度比)	継続		業費	(7.37)		市負担分	(7.3	37)	H34 年度	継続
	担当課	部名	企画財政部	課名	まち	魅力	力発信課		会計区分			一般事業区			分		ソフト	
耳	又組	7-7-5	大学との連	携によ	るまち	らづ	<b>ا</b> ک	りの推進	<u>ŧ</u>	<b>.</b>								
14	事業名	大学	学•地域連携推進事	事業														
		大学及び大学生が地域の課題解決及び活 性化に取り組む事業に対して支援することに						直1及7	①いばらき・大学連携事業補助金の制度設計の見 直し及び拡充実施								の見 (対前年	
	目的 及び	より、地域学及びそ	或での活躍を促進し、も -の学生との連携による	域と大 くりを	H 30 年	内容	いばま	さと地域のマッチングの仕組みの一つであるまちボード」の運用								H31 年度 H32	縮小	
	概要	推進する。また、連携協定を締結している大学とともに、市民の学習意欲の向上を図る連維護座を展開する						③大学	③大学連携講座の実施							年度 H33	継続	
		携講座を展開する。						方向性	拡充	事	業費	7.8	うちī	市負担分	7	.8	年度 H34	継続
	担当課	部名	企画財政部	課名	政	:策:		<del>対前年度比)</del> <b></b>	会計区		万円)	····   一般	(百	事業区		.0	<b>年度</b> ソフト	
15	事業名	大学	L	ム事業	<u> </u>													
	7.1	共士の財	よわった フタギャの小どっ	<b>5</b> .3.1												事業の の見 (対前年		
	目的 及び 概要	茨木の魅力である多数の大学立地を活かし、 市内大学や連携協定を締結している大学で 構成される連携プラットホームを構築、運営 し、情報共有や、地域との連携、大学間の連					内容		連携プ	ラット	ホーノ	会議の	開催	崔			H31 年度 H32 年度	継続継続
		携促進を	1凶る。													H33 年度	継続	
								方向性 対前年度比)	継続		業費 万円)	0.0		市負担分	0.	.0	H34 年度	継続
	担当課	部名	企画財政部	課名	政	策企	企區	<b></b>	会計区	分		一般		事業区	分		ソフト	`